
第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業 計画策定に係るニーズ調査報告書



令和6年6月
千葉県 富津市

目 次

共通編	1
第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査票の種類と調査対象者等	3
3 調査の実施方法と配付・回収状況	3
(1) 調査時期と調査方法	3
(2) 調査の配付・回収状況	4
4 報告書利用上の留意点	4
(1) 年齢の定義	4
(2) 調査結果の表示方法	4
就学前児童編	5
第2章 満足度・調査対象者属性等	7
1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況	7
(1) 市の取り組みへの満足度	7
(2) 居住地域の状況	8
(3) 調査対象児童の属性	9
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無	10
第3章 子育て家庭を取り巻く環境	11
1 子育ての環境について	11
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	11
2 保護者の就労状況	13
(1) 母親の就労状況	13
(2) 父親の就労状況	18
3 家庭の経済状況	22
(1) 世帯の収入状況	22
(2) 家庭における費用負担の状況	23
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	24
1 定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	24
(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）	24
(2) 土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	37
(3) 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）	43
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向	50
(1) 地域の子育て支援の利用について	50
(2) 子どもの遊び場の利用について	58

(3) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について	61
(4) 宿泊を伴う一時保育の利用について	68
3 放課後の過ごし方について	73
(1) 平日の放課後や夏休みなどの長期の休暇中の過ごし方について.....	73
(2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用について	75
第5章 児童虐待に対する意識	76
1 児童虐待に対する意識について	76
(1) 児童虐待に対する理解・認識について	76
第6章 望まれる子育て支援サービス	79
1 今後希望する子育て支援サービスについて	79
(1) 今後希望する子育て支援サービス	79
第7章 ヤングケアラーに対する意識	80
1 ヤングケアラーについて	80
(1) ヤングケアラー	80
第8章 自由意見	82
小学生編	97
第9章 満足度・調査対象者属性等	99
1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況	99
(1) 市の取り組みへの満足度	99
(2) 居住地域の状況	100
(3) 調査対象児童の属性	100
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無	101
第10章 子育て家庭を取り巻く環境	102
1 子育ての環境について	102
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	102
2 保護者の就労状況	104
(1) 母親の就労状況	104
(2) 父親の就労状況	108
3 家庭の経済状況	111
(1) 世帯の収入状況	111
(2) 家庭における費用負担の状況	112
第11章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	113
1 放課後の過ごし方について	113
(1) 平日の放課後の過ごし方	113
(2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向	114
(3) 病児・病後児教育事業の利用意向	116

(4) 今後希望する子育て支援サービスについて	123
第12章 児童虐待に対する意識	124
1 児童虐待に対する意識について	124
(1) 児童虐待に対する理解・認識について	124
第13章 ヤングケアラーに対する意識	127
1 ヤングケアラーについて	127
(1) ヤングケアラー	127
第14章 自由意見	129
資料編	153

共通編

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」（2025年度～2029年度）の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握するために、アンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査票の種類と調査対象者等

■調査の実施方法

調査票「第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査」

調査対象者	就学前児童（0～5歳）全員の保護者	就学児童（小学1～6年生）全員の保護者
調査件数	1,109 件	1,491 件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、児童虐待、ヤングケアラーなどに関する設問	

3 調査の実施方法と配付・回収状況

（1）調査時期と調査方法

■調査時期と調査方法

調査時期	令和6年3月1日～3月31日	
調査方法	就学前児童	郵便配付・回収（郵便・WEB併用）
	小学生	学校配付・回収（郵便・WEB併用）

（２）調査の配付・回収状況

■調査票の配付・回収状況

	配付数	回収数	回収率
就学前児童	1,109 票	515 票	46.4%
小学生	1,491 票	699 票	46.9%

4 報告書利用上の留意点

（１）年齢の定義

就学前児童の調査においては、お子さんの生年月の年齢を回答していただき、下表による年齢区分により集計を行いました。

小学生の調査においては、お子さんの学年を選択肢から回答していただき、集計を行いました。

■二歳調査における年齢定義

年齢区分	該当する生年月
0 歳児	令和 5 年 4 月以降
1 歳児	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
2 歳児	令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月
3 歳児	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月
4 歳児	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
5 歳児	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
6 歳児	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

（注）調査期間【令和 5 年度】における年齢定義

（２）調査結果の表示方法

- ・図表中の「n（回答者数）」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（％）の母数をあらわしています。
- ・調査結果の数値については小数第 2 位を四捨五入しているため、単数回答（選択肢が一つの問）においても、内訳を合計して 100%に合致しない場合があります。
- ・複数回答（選択肢を 2 つ以上選択可能）においては、合計が 100%を超える場合があります。
- ・設問の表記中（SA）は単数回答、（MA）は複数回答を表しています。
- ・グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。
- ・3 地区（富津、大佐和、天羽）は、11 地区（旧学区）を以下のように分類したものです。
 - 富津　：富津、飯野、青堀
 - 大佐和：大貫、吉野、佐貫
 - 天羽　：湊、天神山、竹岡、金谷、環・関豊

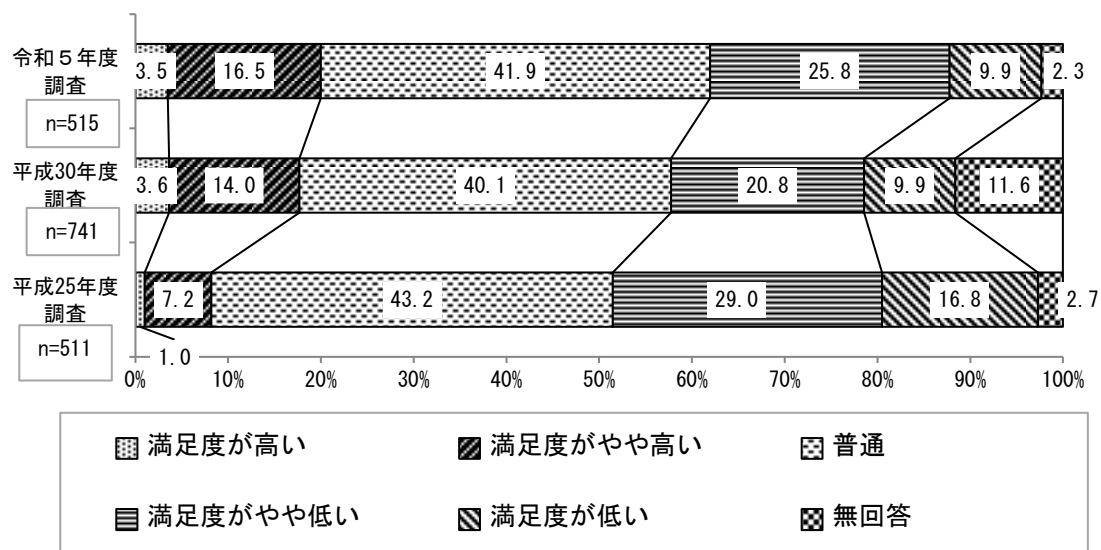
就学前児童編

第2章 満足度・調査対象者属性等

1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況

(1) 市の取り組みへの満足度

問1 市の取り組みへの満足度（SA）



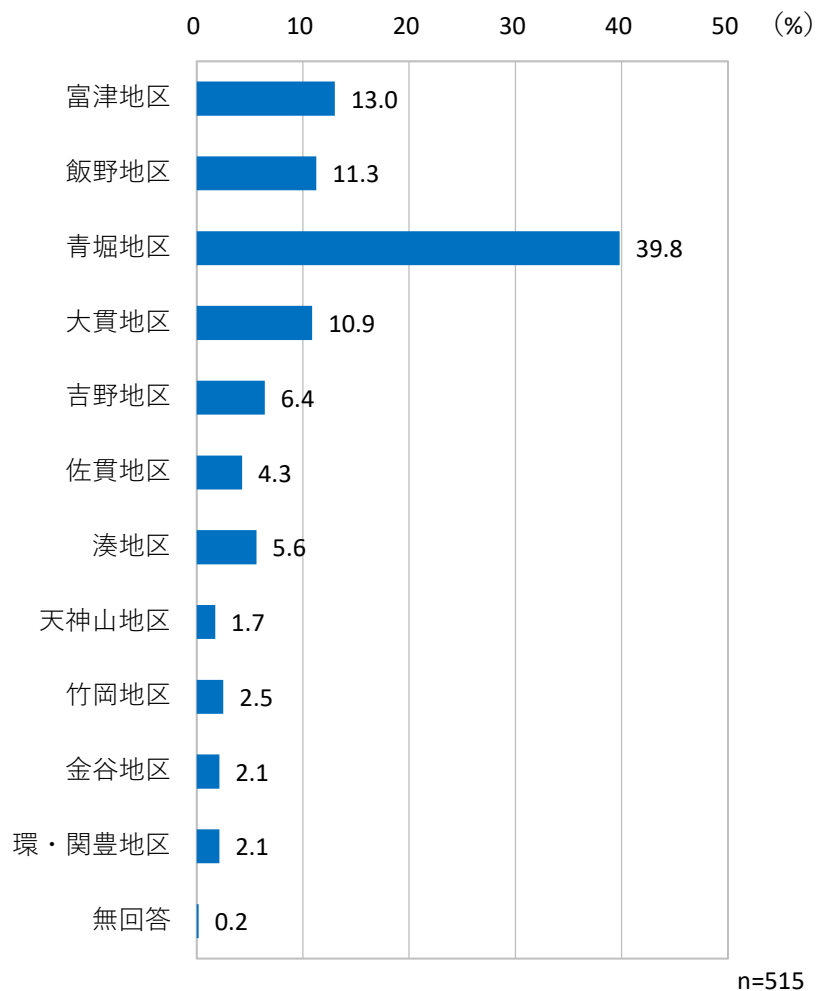
「普通」の割合が最も高く41.9%となっています。次いで「満足度がやや低い」（25.8%）、「満足度がやや高い」（16.5%）となっています。

市の取り組みへの満足度（3地区別）

	合計	満足度が高い	満足度がやや高い	普通	満足度がやや低い	満足度が低い	無回答
全体	515	18	85	216	133	51	12
	100.0%	3.5%	16.5%	41.9%	25.8%	9.9%	2.3%
富津地区	330	7	55	135	92	34	7
	100.0%	2.1%	16.7%	40.9%	27.9%	10.3%	2.1%
大佐和地区	111	8	18	51	27	6	1
	100.0%	7.2%	16.2%	45.9%	24.3%	5.4%	0.9%
天羽地区	73	3	12	30	14	11	3
	100.0%	4.1%	16.4%	41.1%	19.2%	15.1%	4.1%
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

（２）居住地域の状況

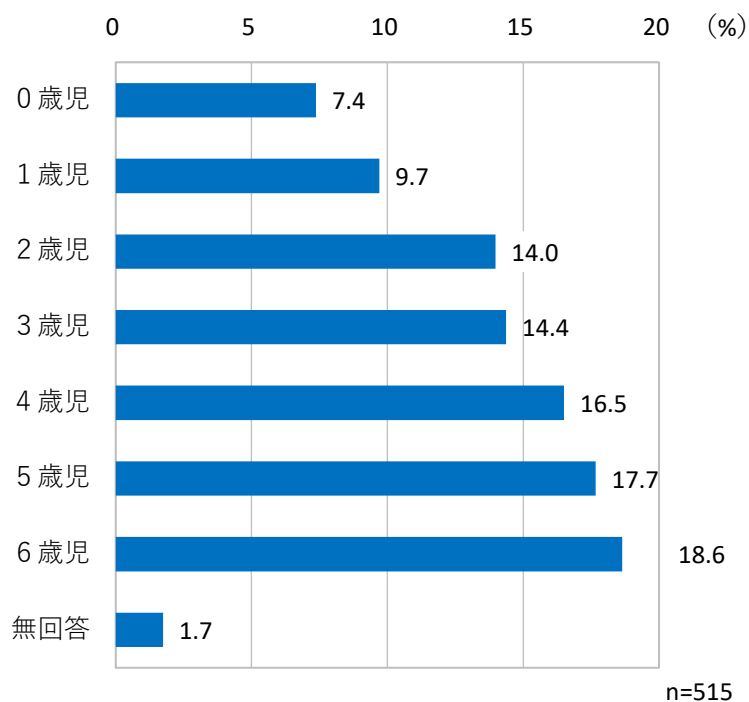
問２ お住まいの地区（ＳＡ）



「青堀地区」の割合が最も高く 39.8%となっています。次いで「富津地区」（13.0%）、「飯野地区」（11.3%）となっています。

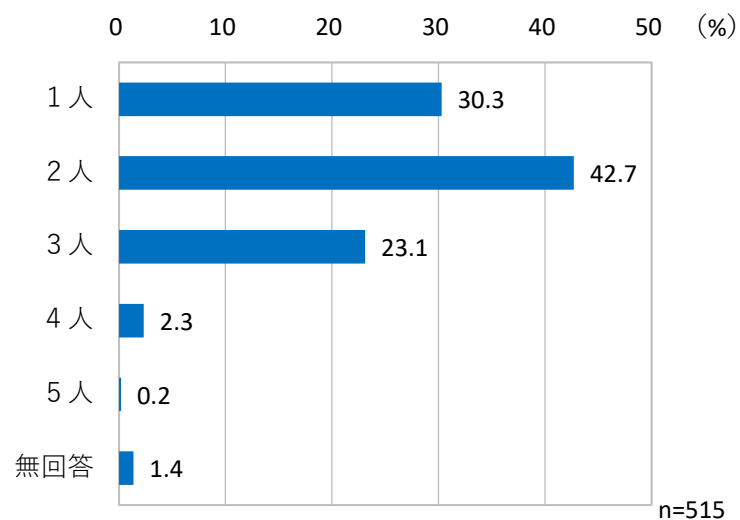
(3) 調査対象児童の属性

問3 年齢（SA）



「6歳児」の割合の方が最も高く 18.6%となっています。次いで「5歳児」（17.7%）、「4歳児」（16.5%）となっています。

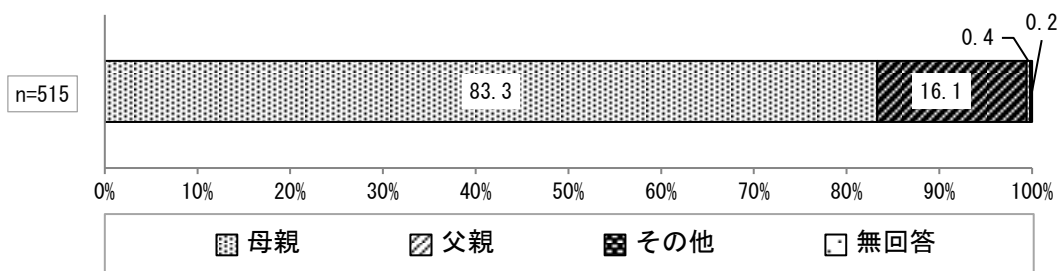
問4 お子さんの人数



「2人」の割合が最も高く 42.7%となっています。次いで「1人」（30.3%）、「3人」（23.1%）となっています。

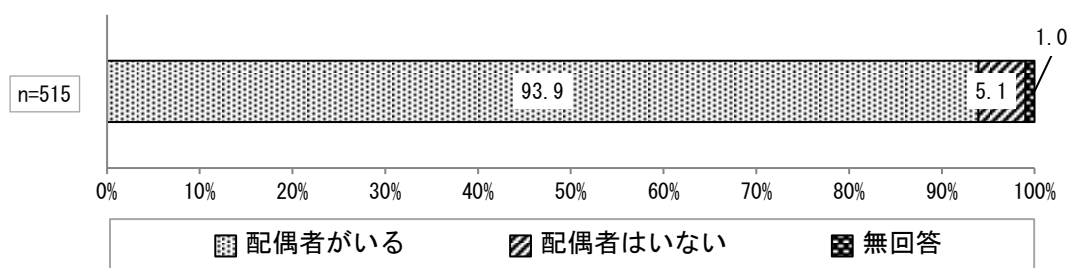
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

問5 調査回答者（SA）



「母親」の割合が最も高く 83.3%となっています。次いで「父親」（16.1%）、「その他」（0.4%）となっています。

問6 配偶者の有無（SA）



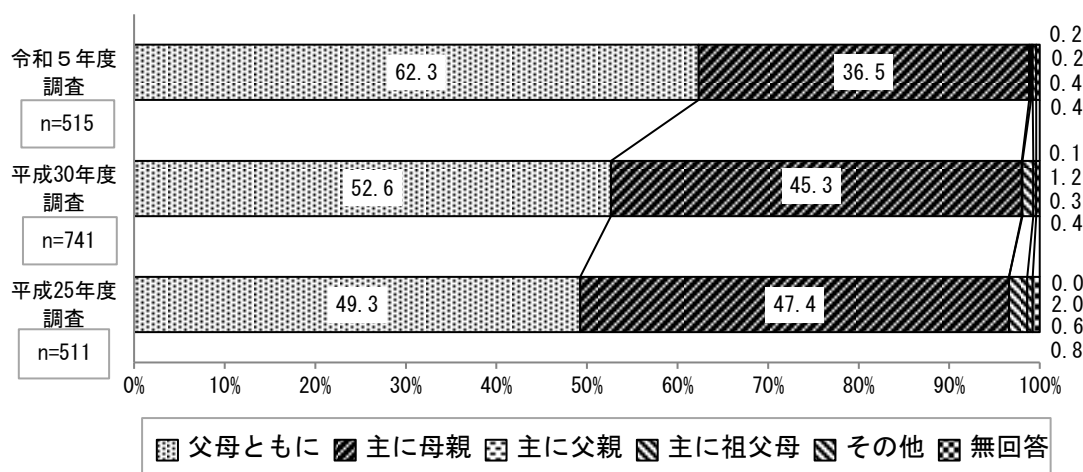
「配偶者がいる」の割合の方が高く、93.9%となっており、「配偶者がいない」が5.1%となっています。

第3章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

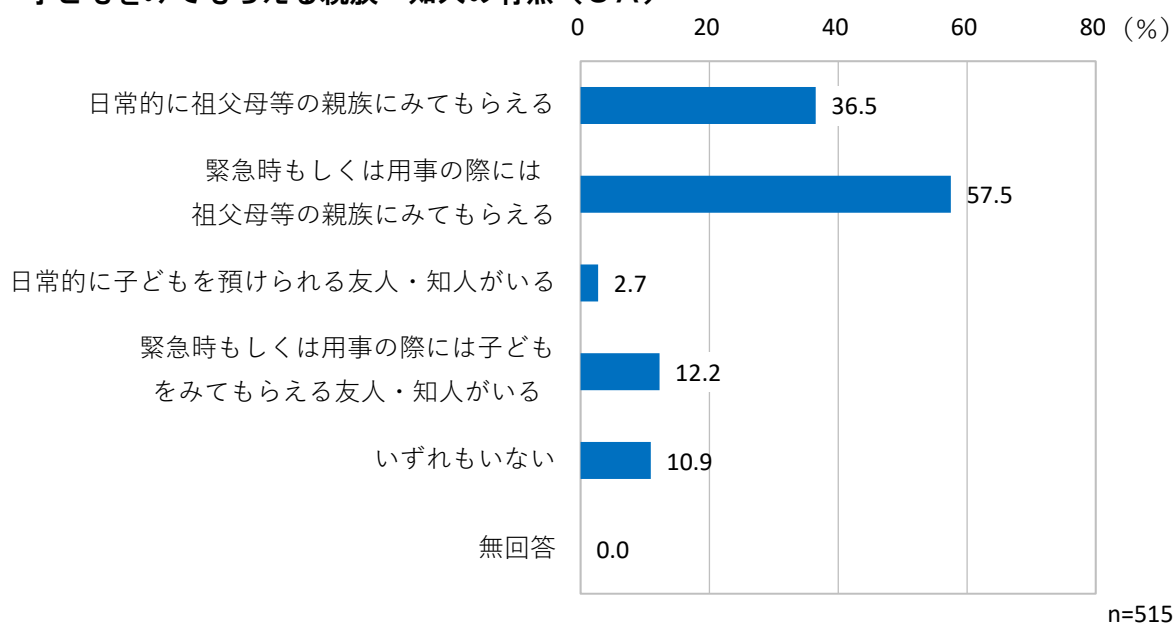
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

問7 主に子育てを行っている方（SA）



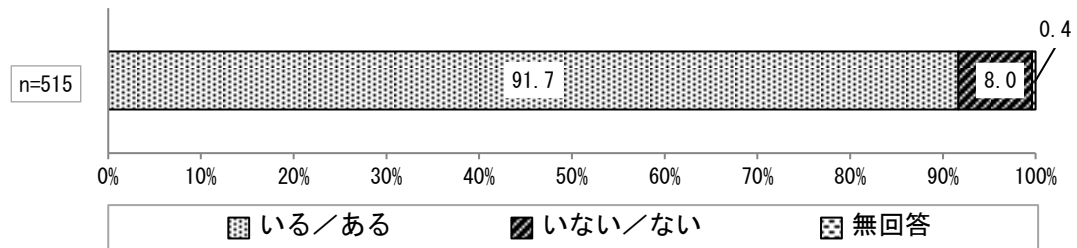
「父母ともに」の割合が最も高く 62.3%となっています。次いで「主に母親」（36.5%）となっています。

問8 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（SA）



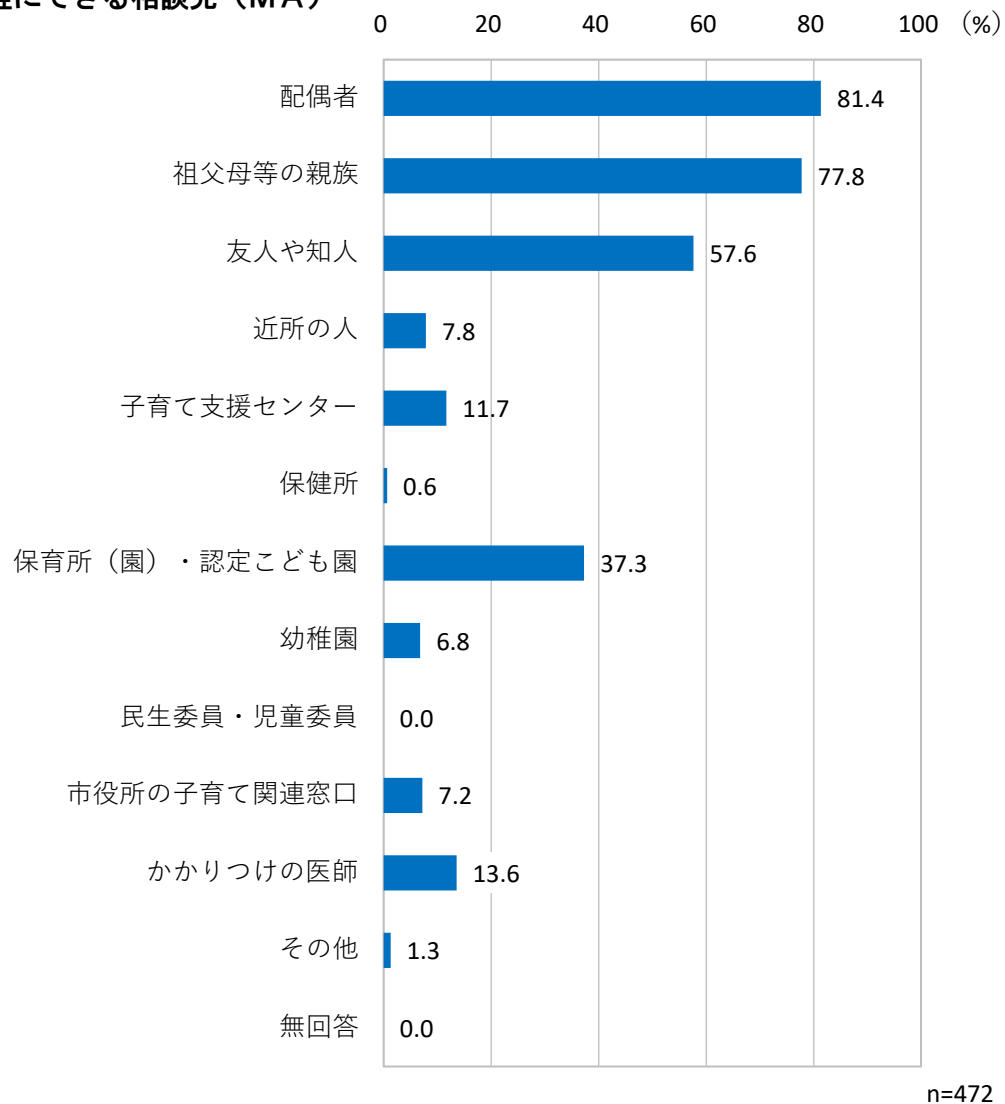
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が最も高く 57.5%となっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（36.5%）、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（12.2%）となっています。

問9 気軽に相談できる人の有無（SA）



「いる／ある」の割合の方が高く 91.7%となっており、「いない／ない」が8.0%となっています。

問9-1 気軽にできる相談先（MA）

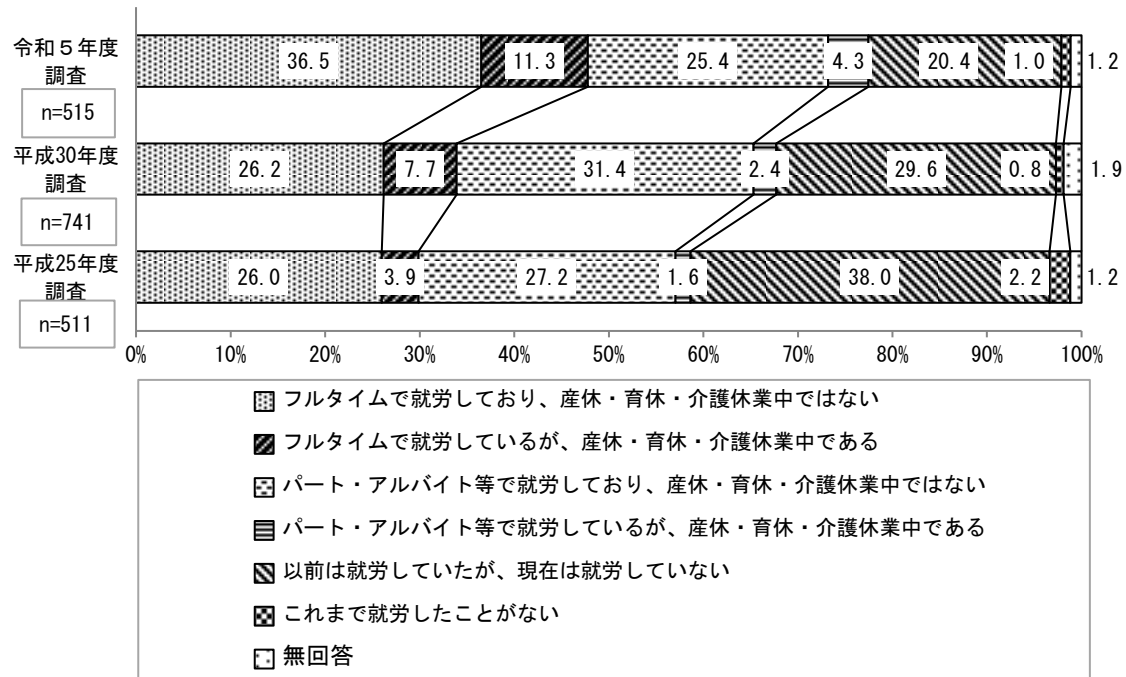


「配偶者」の割合が最も高く 81.4%となっています。次いで「祖父母等の親族」（77.8%）、「友人や知人」（57.6%）となっています。

2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

問 10① 母親の就労状況（SA）



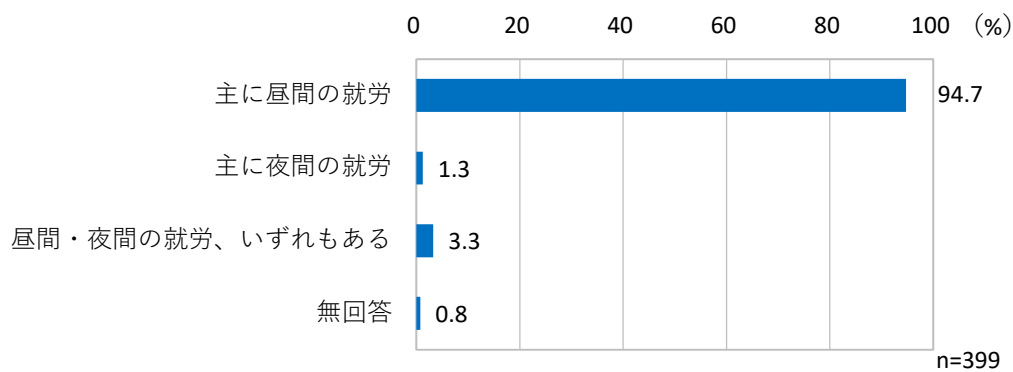
※ここでは「フルタイム」は週に5日程度、1日8時間程度の就労、フルタイム以外の就労を「パート・アルバイト等」とする。

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く 36.5% となっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（25.4%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（20.4%）となっています。

母親の就労状況（3地区別）

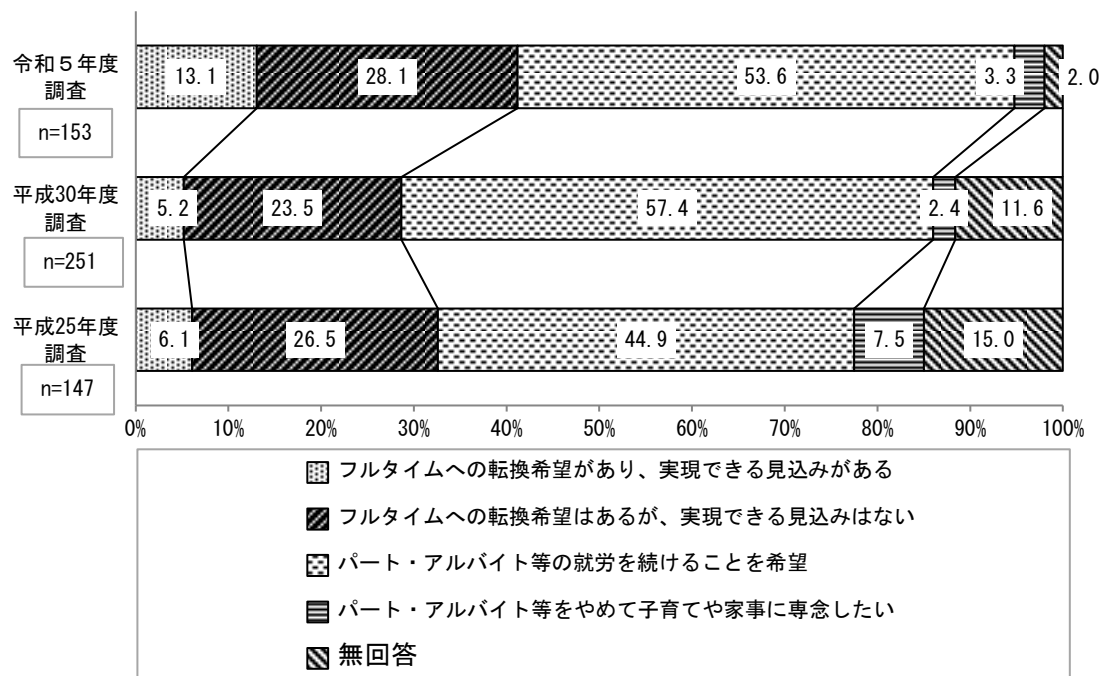
	合計	フルタイムで就労	フルタイムで就労（休業中）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（休業中）	現在は就労していない	就労したことがない	無回答
全体	515	188	58	131	22	105	5	6
	100.0%	36.5%	11.3%	25.4%	4.3%	20.4%	1.0%	1.2%
富津地区	330	117	36	78	16	76	4	3
	100.0%	35.5%	10.9%	23.6%	4.8%	23.0%	1.2%	0.9%
大佐和地区	111	42	15	29	4	19	1	1
	100.0%	37.8%	13.5%	26.1%	3.6%	17.1%	0.9%	0.9%
天羽地区	73	29	7	23	2	10	0	2
	100.0%	39.7%	9.6%	31.5%	2.7%	13.7%	0.0%	2.7%
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 10-1 ① 母親の就労時間帯（SA）



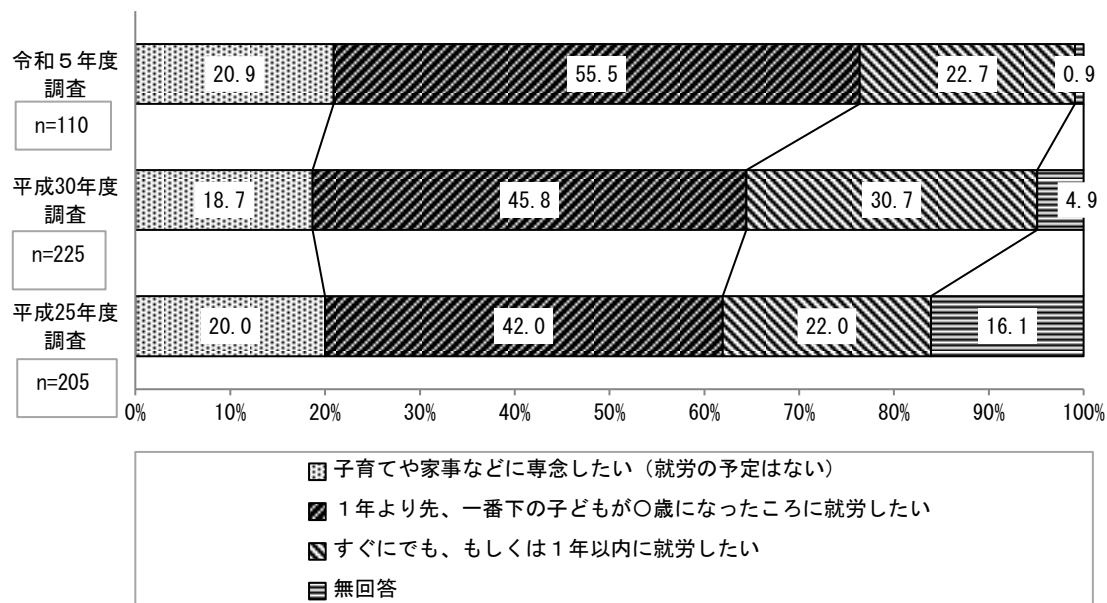
「主に昼間の就労」の割合が最も高く 94.7%となっています。次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」（3.3%）、「主に夜間の就労」（1.3%）となっています。

問 11① 母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向（SA）



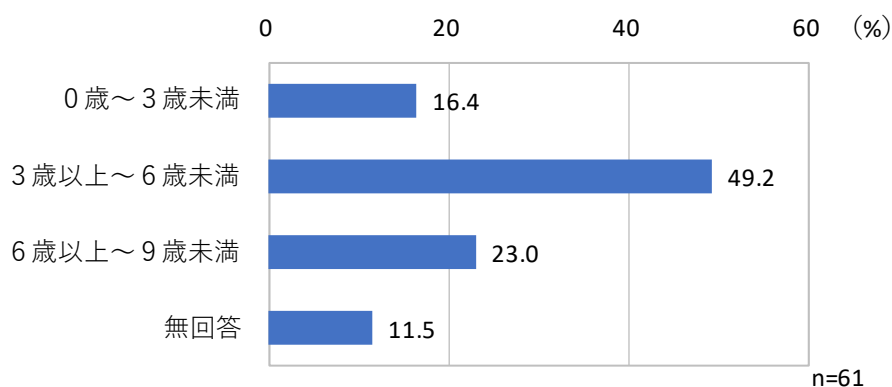
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高く 53.6%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（28.1%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（13.1%）となっています。

問 12① 就労していない母親の今後の就労希望（就労時期）（S A）



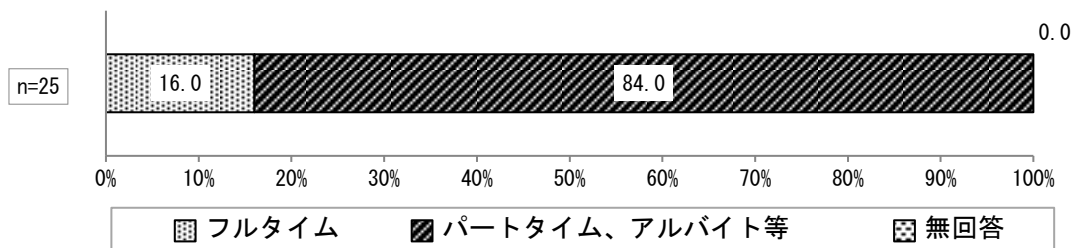
「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が最も高く55.5%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（22.7%）、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（20.9%）となっています。

問 12① 将来の就労希望（一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい）



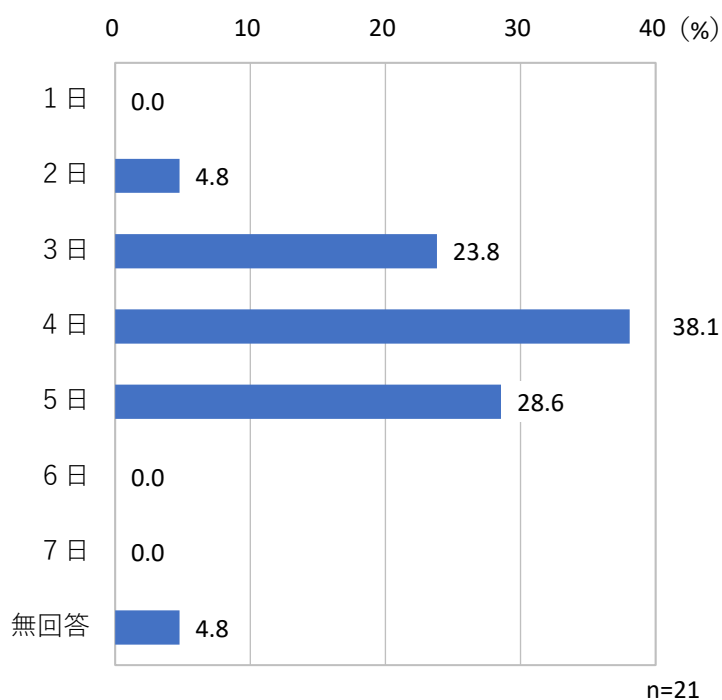
「3歳以上～6歳未満」の割合が最も高く49.2%となっています。次いで「6歳以上～9歳未満」（23.0%）、「0歳～3歳未満」（16.4%）となっています。

問 12-1① 就労していない母親の今後の就労希望（勤務形態）（S A）



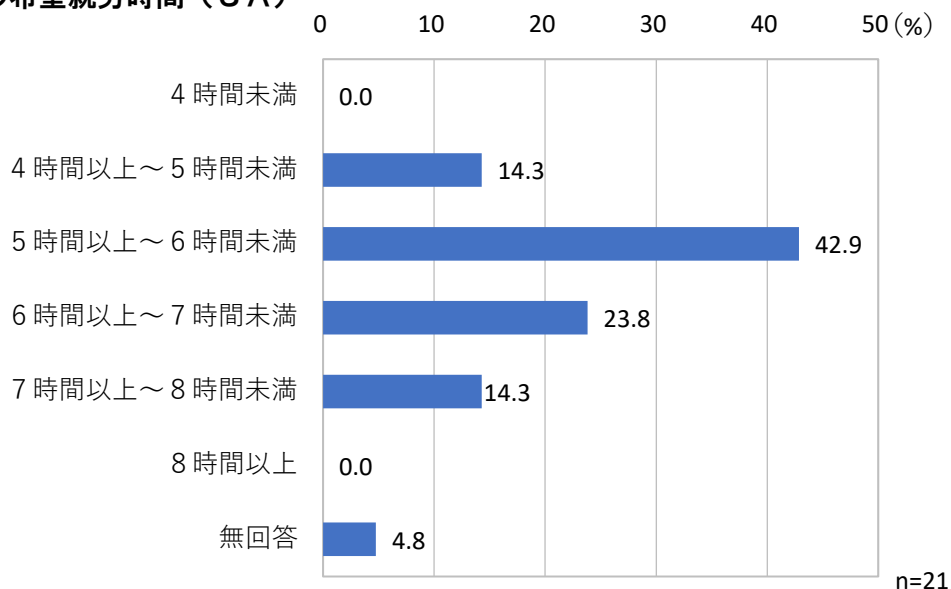
「パートタイム、アルバイト等」の割合の方が高く84.0%となっており、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が16.0%となっています。

問 12-2 ① 母親の希望就労日数（SA）



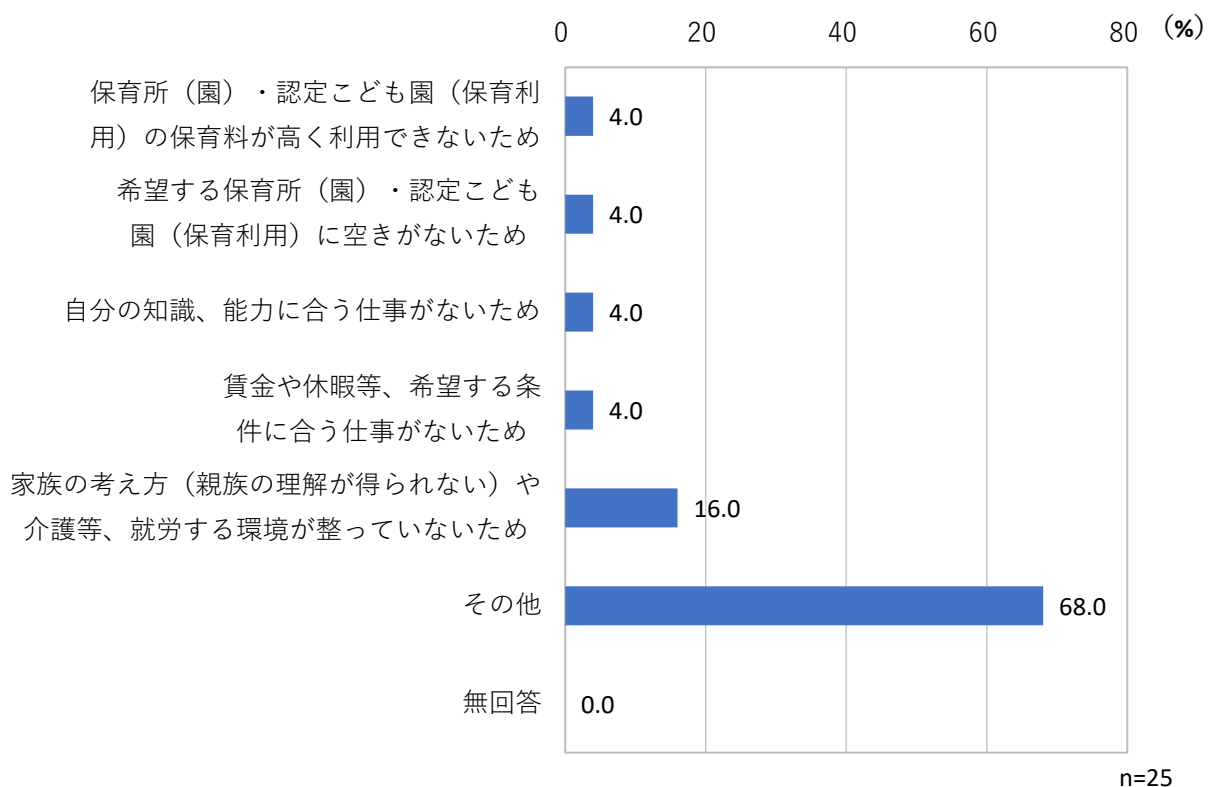
「4日」の割合が最も高く 38.1%となっています。次いで「5日」（28.6%）、「3日」（23.8%）となっています。

問 12-2 ① 母親の希望就労時間（SA）



「5時間以上～6時間未満」の割合が最も高く 42.9%となっています。次いで「6時間以上～7時間未満」（23.8%）、「4時間以上～5時間未満」、「7時間以上～8時間未満」（各 14.3%）となっています。

問 12-3 ① 母親の就労希望があるが、現在働いていない理由（SA）

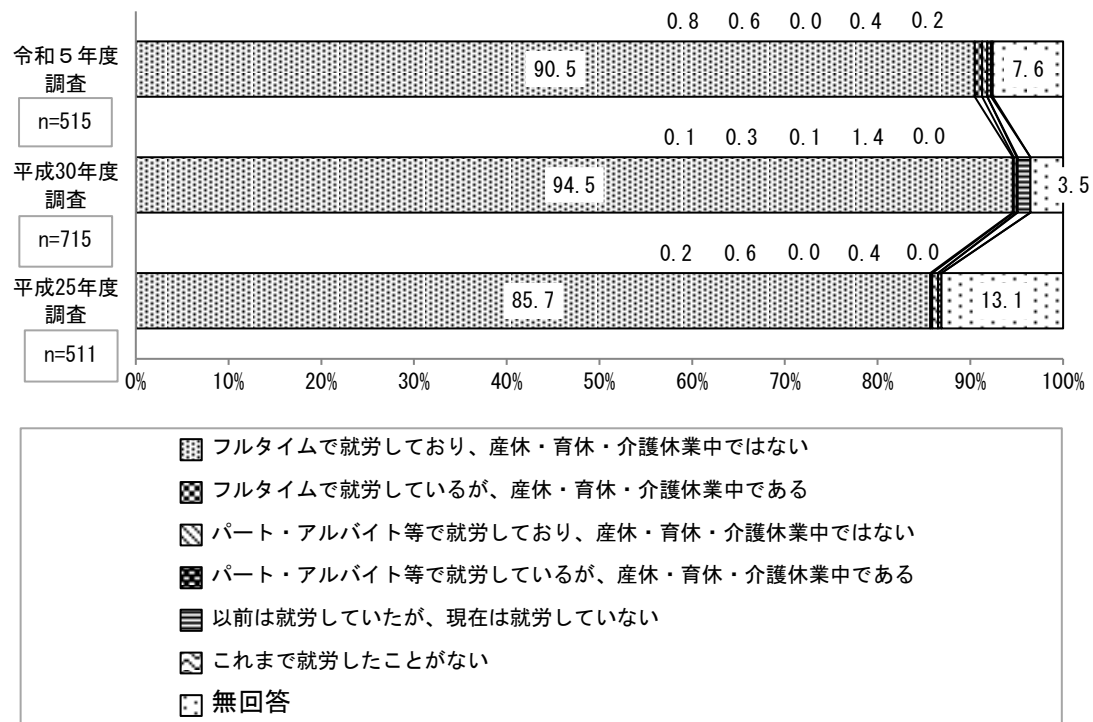


「その他」の割合が最も高く 68.0%となっています。次いで「家族の考え方（親族の理解が得られない）や介護等、就労する環境が整っていないため」（16.0%）、「保育所（園）・認定こども園（保育利用）の保育料が高く利用できないため」、「希望する保育所（園）・認定こども園（保育利用）に空きがないため」、「自分の知識、能力に合う仕事がないため」、「賃金や休暇等、希望する条件に合う仕事がないため」（各 4.0%）となっています。

〔その他〕幼稚園に入学するので、4月から仕事をします／まだ子供が小さいため／年少になるまでは家庭保育したかった／できれば在宅ワークを希望していますが、市の求人や希望のものが無い為／産後のため／スーパーなどのサービス業以外で時短勤務を見つけるのは難しい／2歳の子どもが入園前で私が見ているため／令和6年4月から就労予定／子どもたちの生活の時間のタイミング 等

（２）父親の就労状況

問 10② 父親の就労状況（ＳＡ）



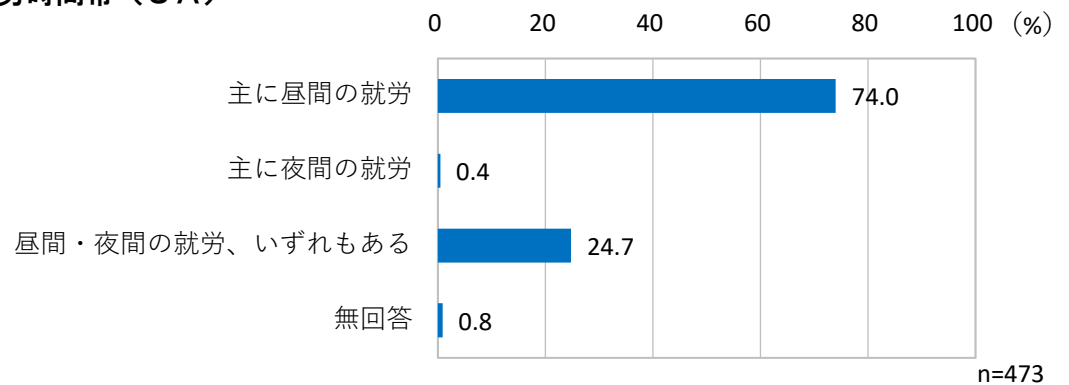
※ここでは「フルタイム」は週に5日程度、1日8時間程度の就労、フルタイム以外の就労を「パート・アルバイト等」とする。

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く 90.5% となっています。次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(0.8%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(0.6%) となっています。

父親の就労状況（3地区別）

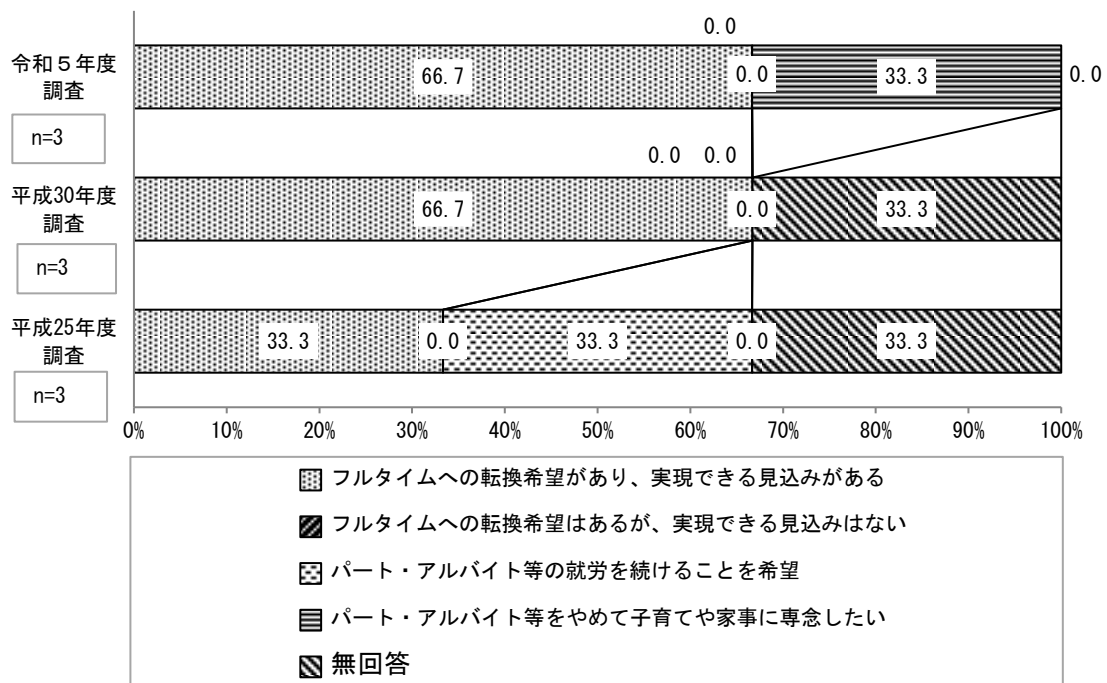
	合計	フルタイムで就労	フルタイムで就労（休業中）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（休業中）	現在は就労していない	就労したことがない	無回答
全体	515	466	4	3	0	2	1	39
	100.0%	90.5%	0.8%	0.6%	0.0%	0.4%	0.2%	7.6%
富津地区	330	301	1	3	0	1	0	24
	100.0%	91.2%	0.3%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	7.3%
大佐和地区	111	98	3	0	0	1	1	8
	100.0%	88.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	7.2%
天羽地区	73	67	0	0	0	0	0	6
	100.0%	91.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

問 10-1 ② 父親の就労時間帯（SA）



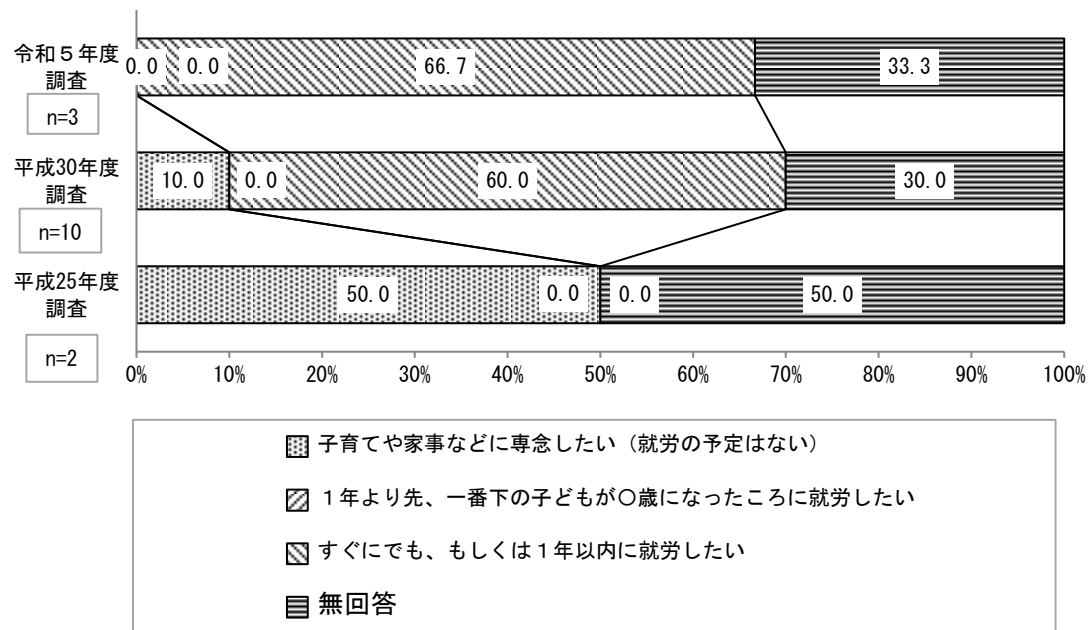
「主に昼間の就労」の割合が最も高く 74.0%となっています。次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」（24.7%）となっています。

問 11② 父親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向（SA）



「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が最も高く 66.7%となっています。次いで「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」（33.3%）となっています。

問 12② 就労していない父親の今後の就労希望（就労時期）（S A）

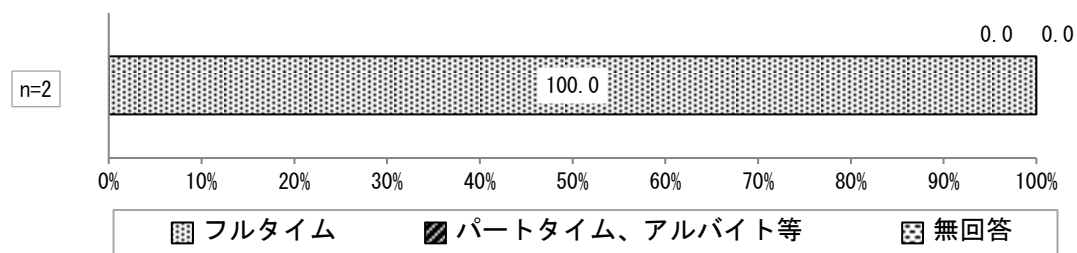


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が最も高く 66.7%となっています。

問 12② 将来の就労希望_一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい

（該当件数：0件）

問 12-1② 就労していない父親の今後の就労希望（勤務形態）（S A）



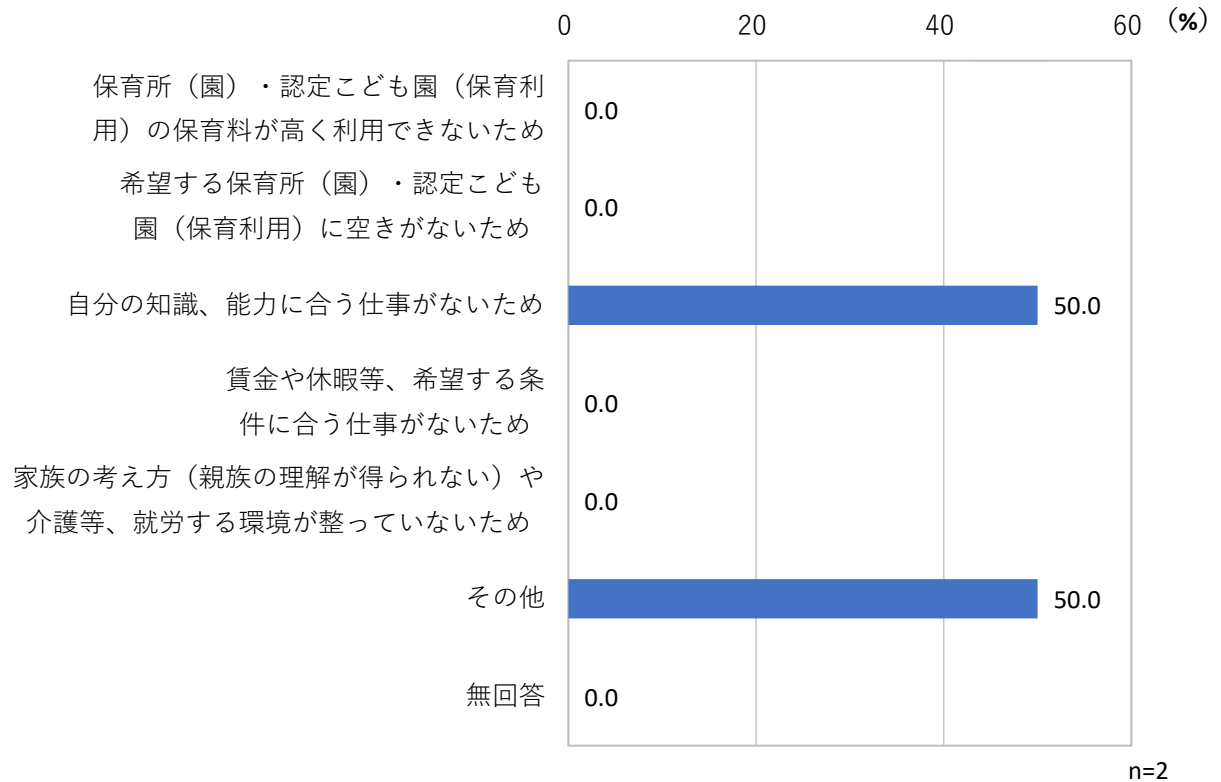
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が 100%となっています。

問 12-2② 父親の希望就労日数（S A）

問 12-2② 父親の希望就労時間（S A）

（該当件数：0件）

問 12-3② 父親の就労希望があるが、現在働いていない理由（SA）



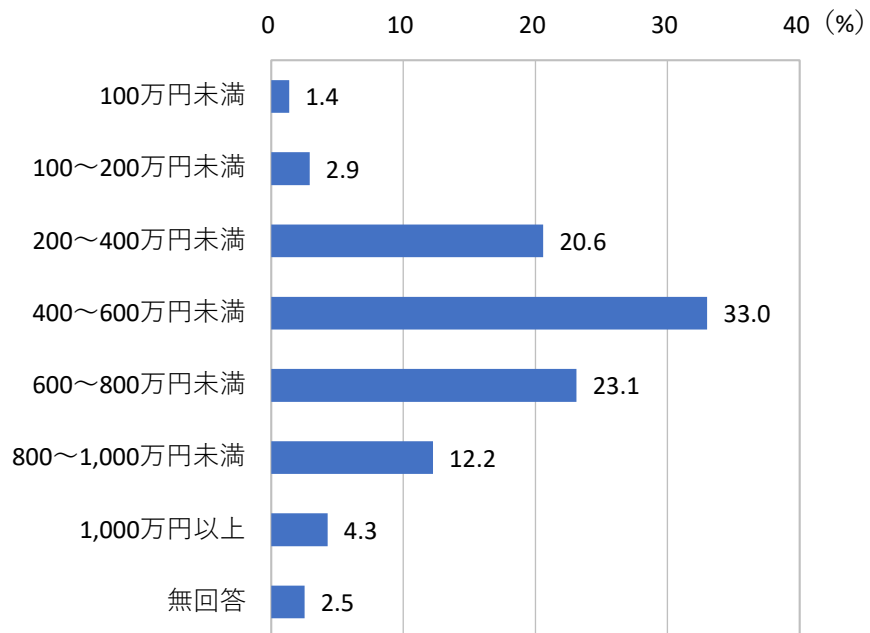
「自分の知識、能力に合う仕事がないため」、「その他」の割合が、ともに 50.0%となっています。

〔その他〕 自営の勉強中

3 家庭の経済状況

(1) 世帯の収入状況

問 13 世帯収入（SA）

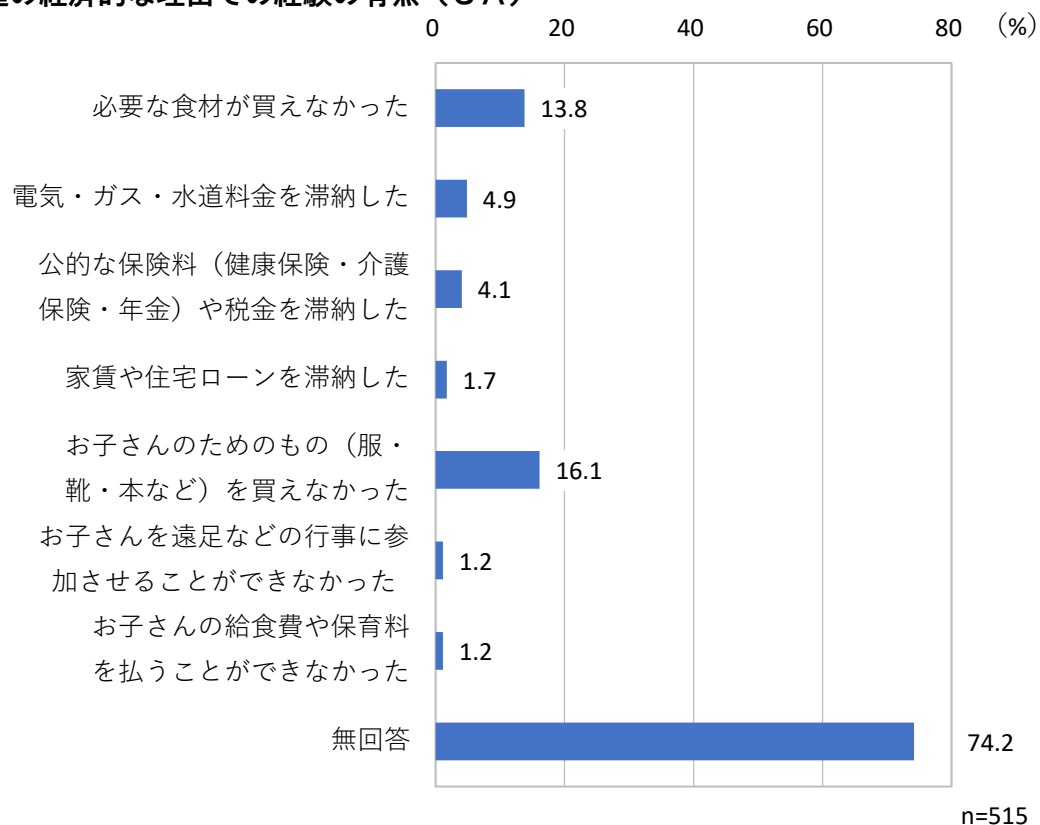


n=515

「400～600 万円未満」の割合が最も高く 33.0%となっています。次いで「600～800 万円未満」（23.1 %）、「200～400 万円未満」（20.6 %）となっています。

（２）家庭における費用負担の状況

問 14 家庭の経済的な理由での経験の有無（ＳＡ）



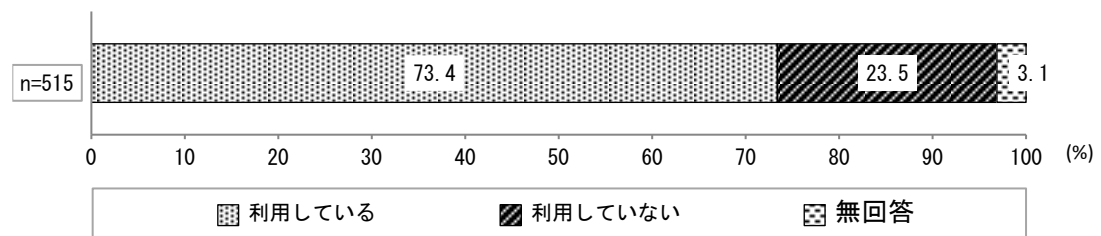
「お子さんのためのもの（服・靴・本など）を買えなかった」の割合が最も高く 16.1%となっています。次いで「必要な食材が買えなかった」（13.8%）、「電気・ガス・水道料金を滞納した」（4.9%）となっています。

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）

問 15 定期的な教育・保育事業の利用（SA）

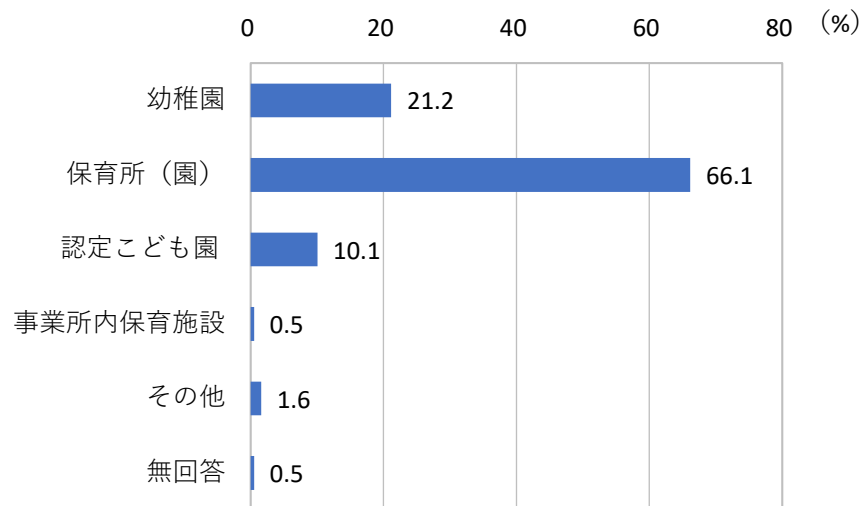


「利用している」の割合の方が高く 73.4%となっており、「利用していない」が 23.5%となっています。

年齢別の定期的な教育・保育事業の利用状況

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
全体	515	38	50	72	74	85	91	96	9
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
利用している	378	5	12	41	58	80	86	90	6
	73.4%	13.2%	24.0%	56.9%	78.4%	94.1%	94.5%	93.8%	66.7%
利用していない	121	32	38	27	15	3	2	1	3
	23.5%	84.2%	76.0%	37.5%	20.3%	3.5%	2.2%	1.0%	33.3%
無回答	16	1	0	4	1	2	3	5	0
	3.1%	2.6%	0.0%	5.6%	1.4%	2.4%	3.3%	5.2%	0.0%

問 15-1 定期的に利用している教育・保育事業（SA）



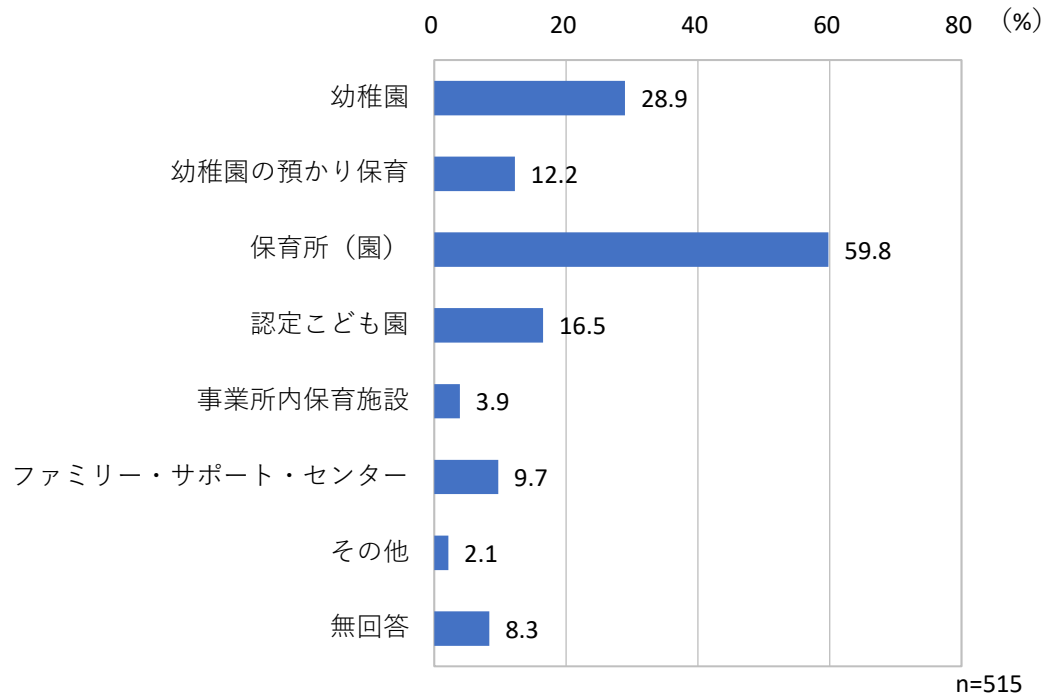
n=378

「保育所（園）」の割合が最も高く 66.1%となっています。次いで「幼稚園」（21.2%）、「認定こども園」（10.1%）となっています。

事業別利用年齢【現在】

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
全体	378	5	12	41	58	80	86	90	6
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
幼稚園	80	0	0	3	10	22	21	23	1
	21.2%	0.0%	0.0%	7.3%	17.2%	27.5%	24.4%	25.6%	16.7%
保育所（園）	250	5	11	32	38	49	57	54	4
	66.1%	100.0%	91.7%	78.0%	65.5%	61.3%	66.3%	60.0%	66.7%
認定こども園	38	0	1	4	7	7	7	12	0
	10.1%	0.0%	8.3%	9.8%	12.1%	8.8%	8.1%	13.3%	0.0%
事業所内保育施設	2	0	0	0	1	0	0	0	1
	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
その他	6	0	0	1	2	2	0	1	0
	1.6%	0.0%	0.0%	2.4%	3.4%	2.5%	0.0%	1.1%	0.0%
無回答	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	0.5%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%

問 17 今後の平日の教育・保育利用検討事業（定期的）（SA）



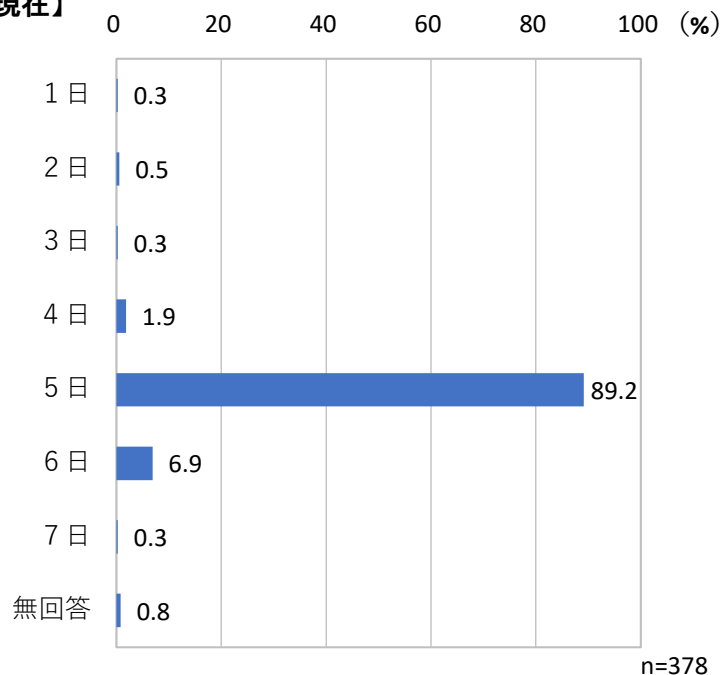
「保育所（園）」の割合が最も高く 59.8%となっています。次いで「幼稚園」（28.9%）、「認定こども園」（16.5%）となっています。

事業別利用年齢【今後】

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
全体	515	38	50	72	74	85	91	96	9
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
幼稚園	149	14	20	19	29	22	22	22	1
	28.9%	36.8%	40.0%	26.4%	39.2%	25.9%	24.2%	22.9%	11.1%
幼稚園の預かり保育	63	4	6	7	13	10	9	13	1
	12.2%	10.5%	12.0%	9.7%	17.6%	11.8%	9.9%	13.5%	11.1%
保育所（園）	308	27	39	40	42	46	57	52	5
	59.8%	71.1%	78.0%	55.6%	56.8%	54.1%	62.6%	54.2%	55.6%
認定こども園	85	9	14	8	15	13	13	11	2
	16.5%	23.7%	28.0%	11.1%	20.3%	15.3%	14.3%	11.5%	22.2%
事業所内保育施設	20	2	4	3	1	4	4	2	0
	3.9%	5.3%	8.0%	4.2%	1.4%	4.7%	4.4%	2.1%	0.0%
ファミリー・サポート・センター	50	5	7	4	4	6	9	13	2
	9.7%	13.2%	14.0%	5.6%	5.4%	7.1%	9.9%	13.5%	22.2%
その他	11	0	1	3	1	2	1	3	0
	2.1%	0.0%	2.0%	4.2%	1.4%	2.4%	1.1%	3.1%	0.0%
無回答	43	2	1	9	3	9	6	11	2
	8.3%	5.3%	2.0%	12.5%	4.1%	10.6%	6.6%	11.5%	22.2%

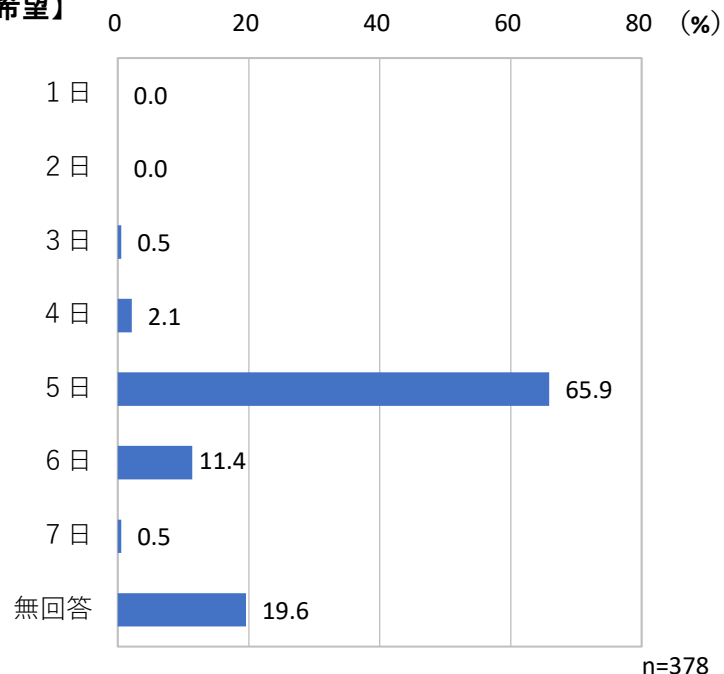
問 15-2 平日の教育・保育事業を、「定期的に」利用したいと考える日数

(1) 1週当たり利用日数/日【現在】



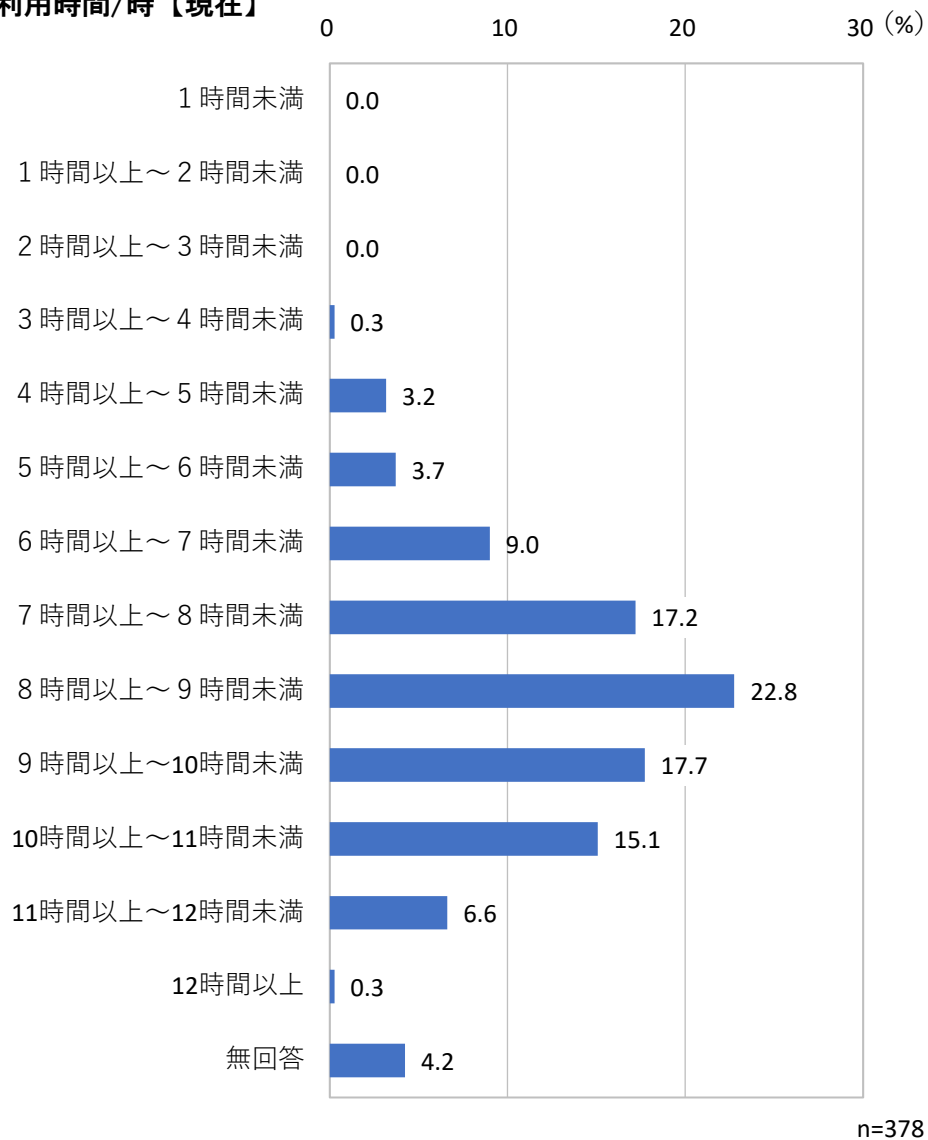
「5日」の割合が最も高く 89.2%となっています。次いで「6日」(6.9%)、「4日」(1.9%)となっています。

(2) 1週当たり利用日数/日【希望】



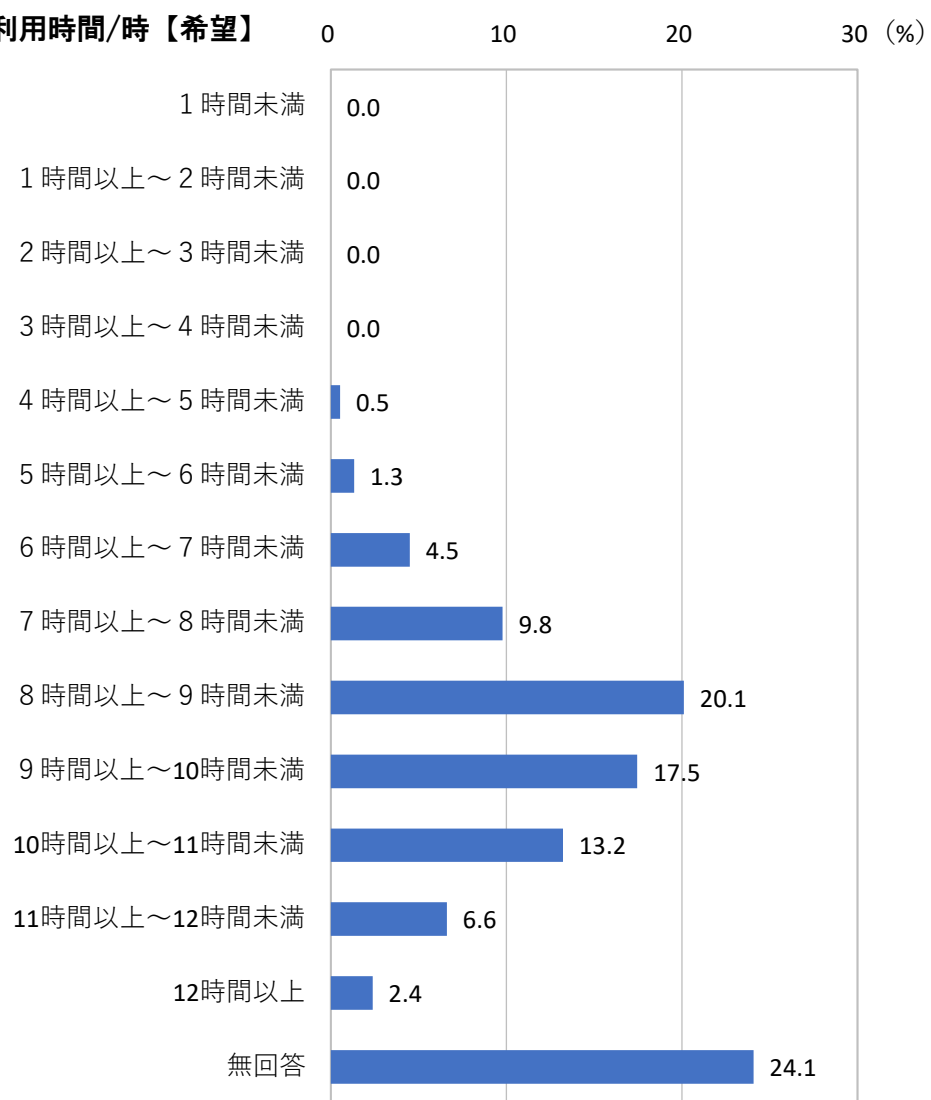
「5日」の割合が最も高く 65.9%となっています。次いで「6日」(11.4%)、「4日」(2.1%)となっています。

(1) 1日当たり利用時間/時【現在】



「8時間以上～9時間未満」の割合が最も高く 22.8%となっています。次いで「9時間以上～10 時間未満」(17.7%)、「7時間以上～8時間未満」(17.2%)となっています。

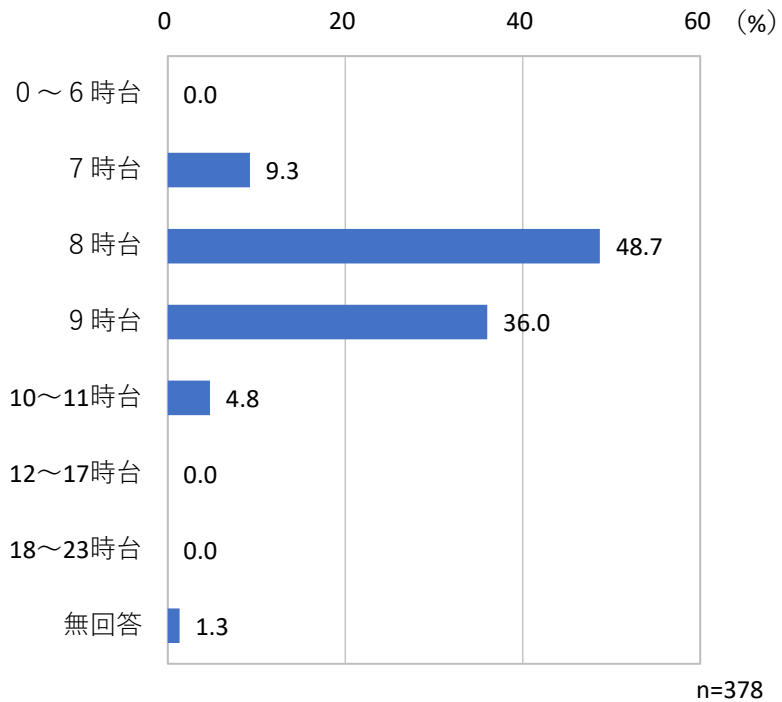
(2) 1日当たり利用時間/時【希望】



n=378

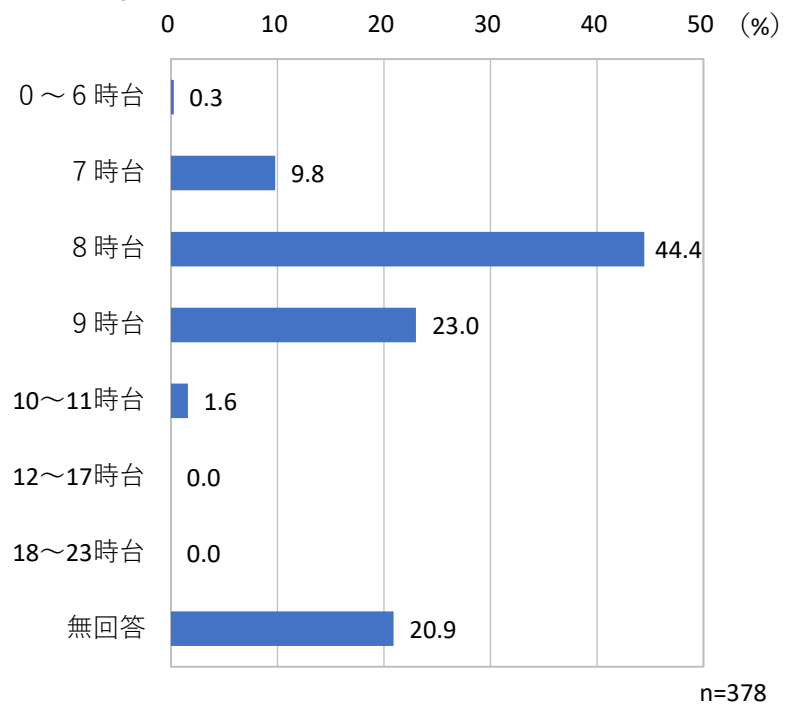
「8時間以上～9時間未満」の割合が最も高く 20.1%となっています。次いで「9時間以上～10 時間未満」(17.5%)、「10 時間以上～11 時間未満」(13.2%)となっています。

(1) 1日当たり利用時刻/〇時から【現在】



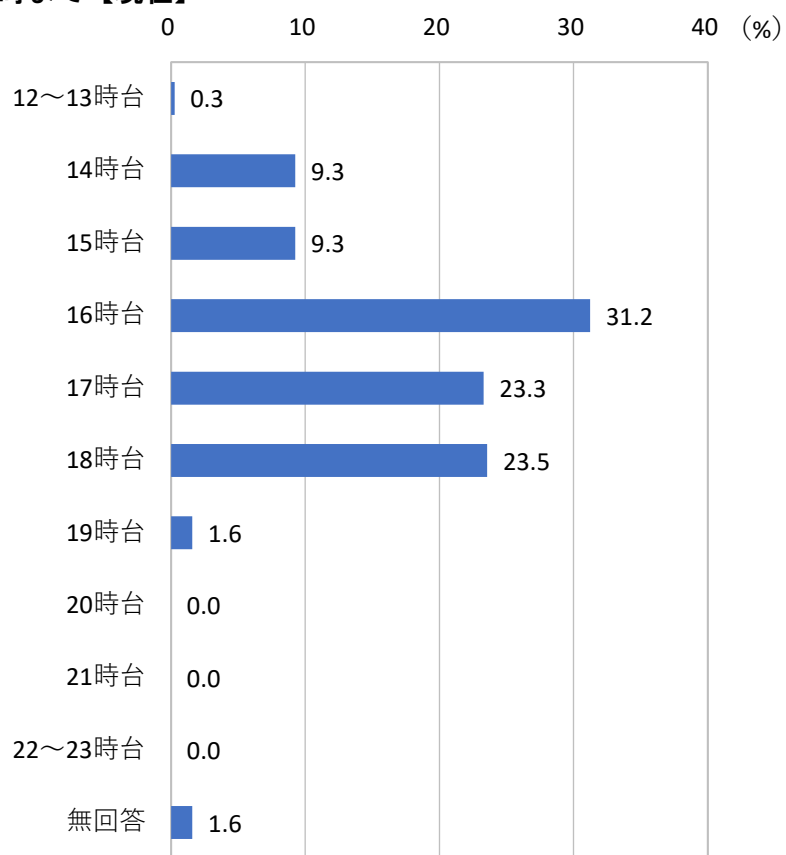
「8時台」の割合が最も高く 48.7%となっています。次いで「9時台」(36.0%)、「7時台」(9.3%)となっています。

(2) 1日当たり利用時刻/〇時から【希望】



「8時台」の割合が最も高く 44.4%となっています。次いで「9時台」(23.0%)、「7時台」(9.8%)となっています。

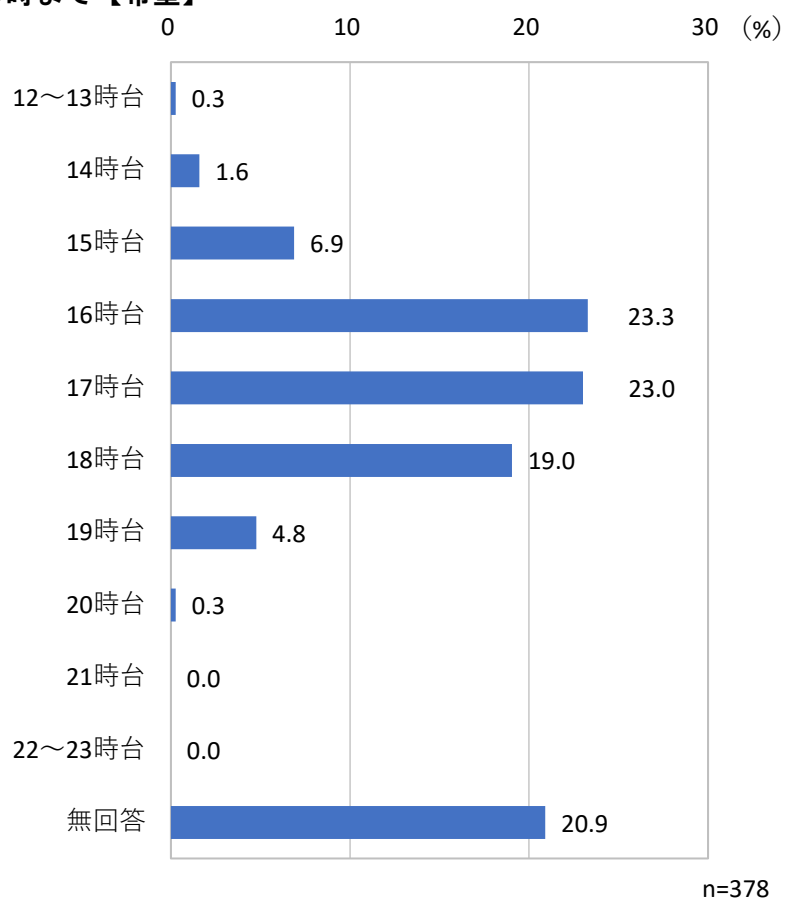
(1) 1日当たり利用時刻/〇時まで【現在】



n=378

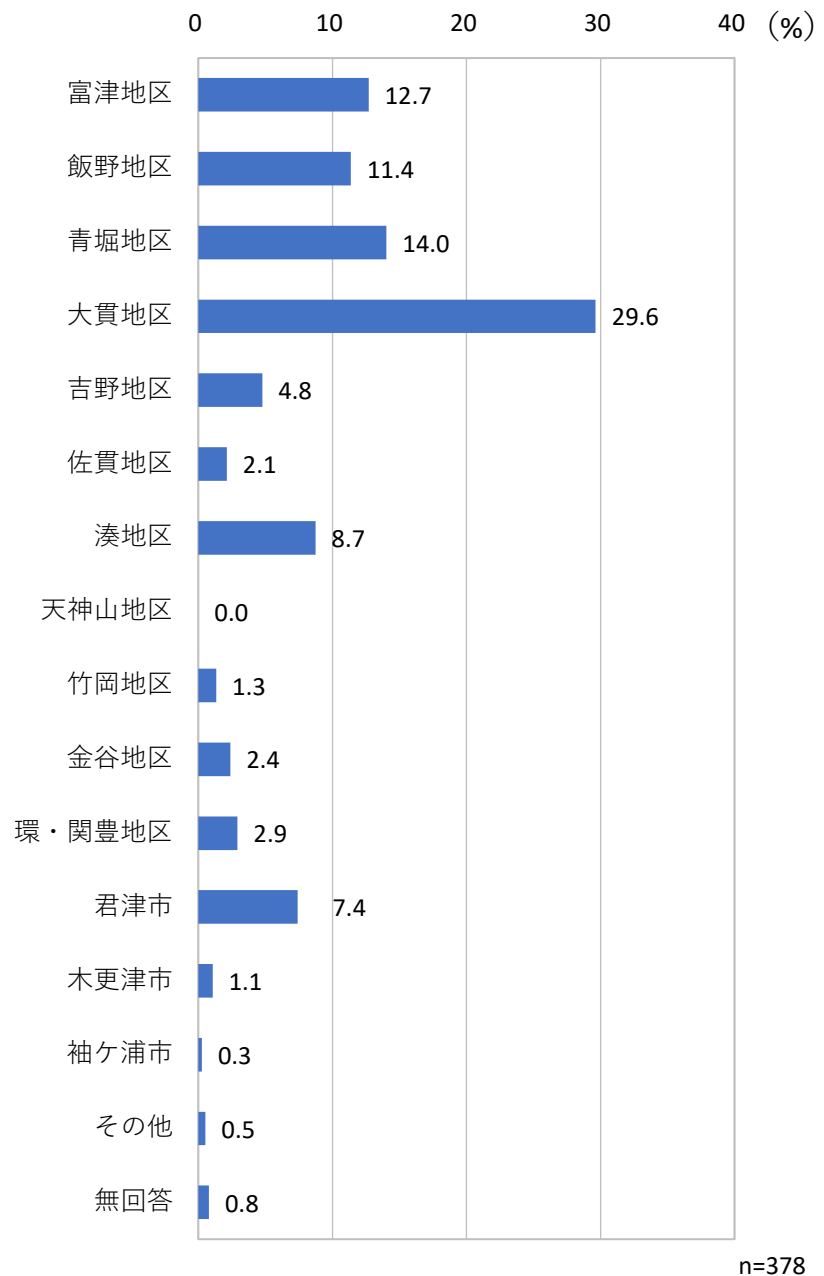
「16 時台」の割合が最も高く 31.2%となっています。次いで「18 時台」(23.5%)、「17 時台」(23.3%) となっています。

(2) 1日当たり利用時刻/〇時まで【希望】



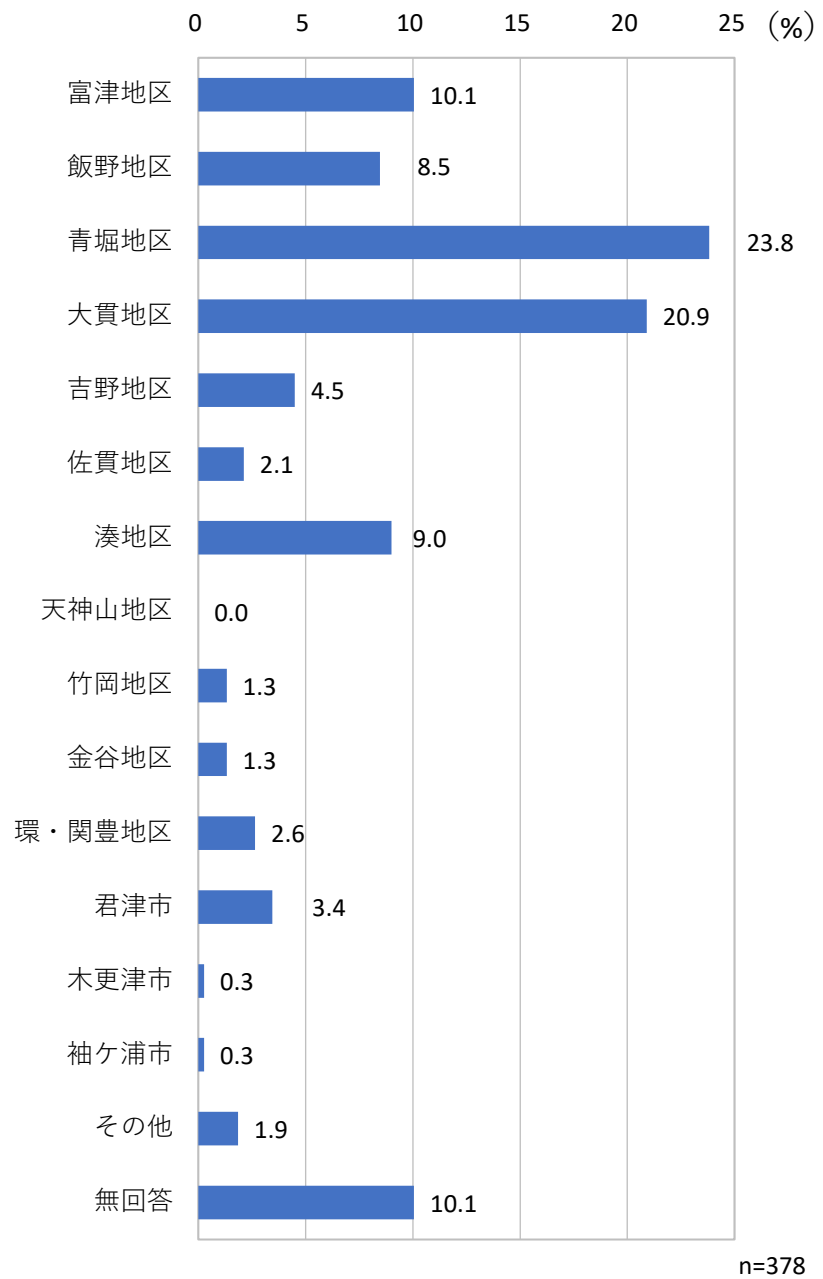
「16 時台」の割合が最も高く 23.3%となっています。次いで「17 時台」(23.0%)、「18 時台」(19.0%) となっています。

問 15-3 利用している教育・保育事業の現在の実施場所（市）（S A）



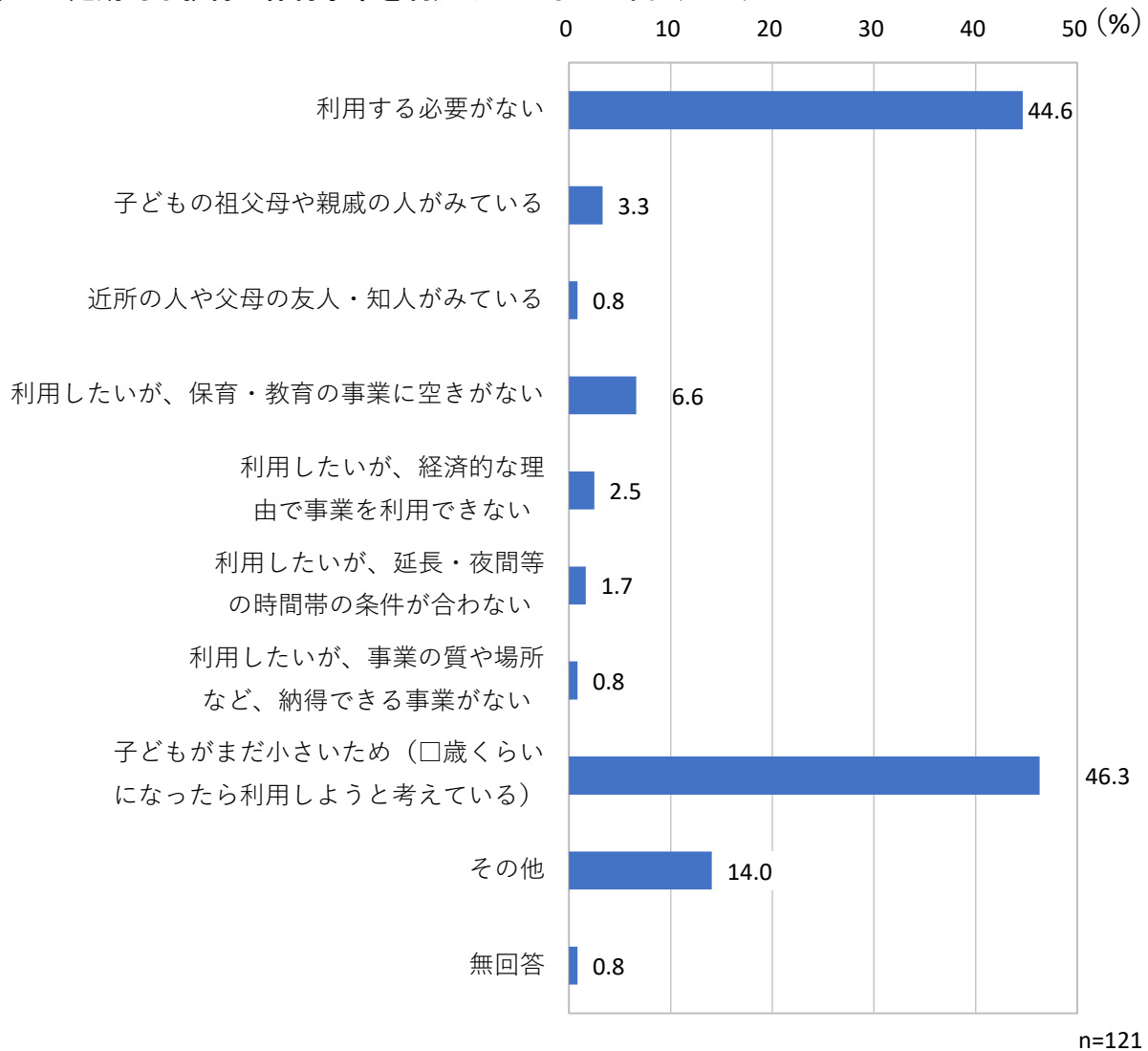
「大貫地区」の割合が最も高く 29.6%となっています。次いで「青堀地区」（14.0%）、「富津地区」（12.7%）となっています。

問 15-4 利用したい教育・保育事業の希望の実施場所（市）（SA）



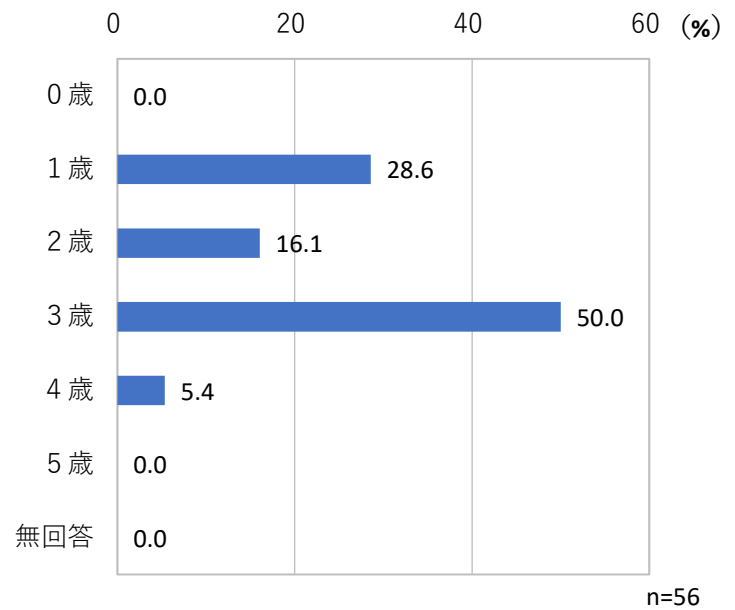
「青堀地区」の割合が最も高く 23.8%となっています。次いで「大貫地区」（20.9%）、「富津地区」（10.1%）となっています。

問 16 定期的な教育・保育事業を利用していない理由（SA）



「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が最も高く 46.3%となっています。次いで「利用する必要がある」（44.6%）、「その他」（14.0%）となっています。

問 16 教育・保育事業の今後の利用検討年齢（SA）

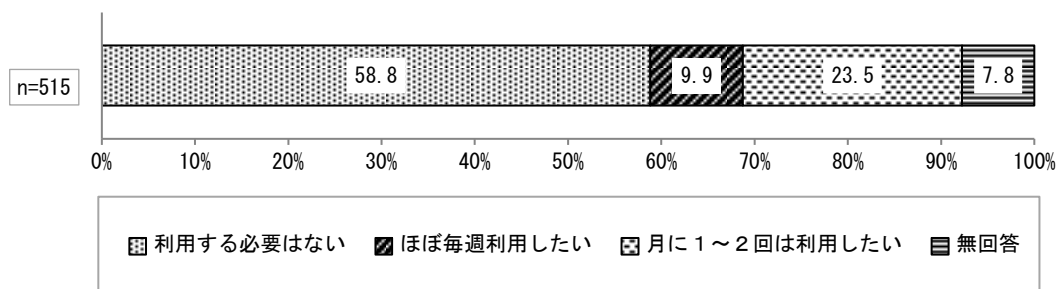


「3歳」の割合が最も高く 50.0%となっています。次いで「1歳」（28.6%）、「2歳」（16.1%）となっています。

（２）土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

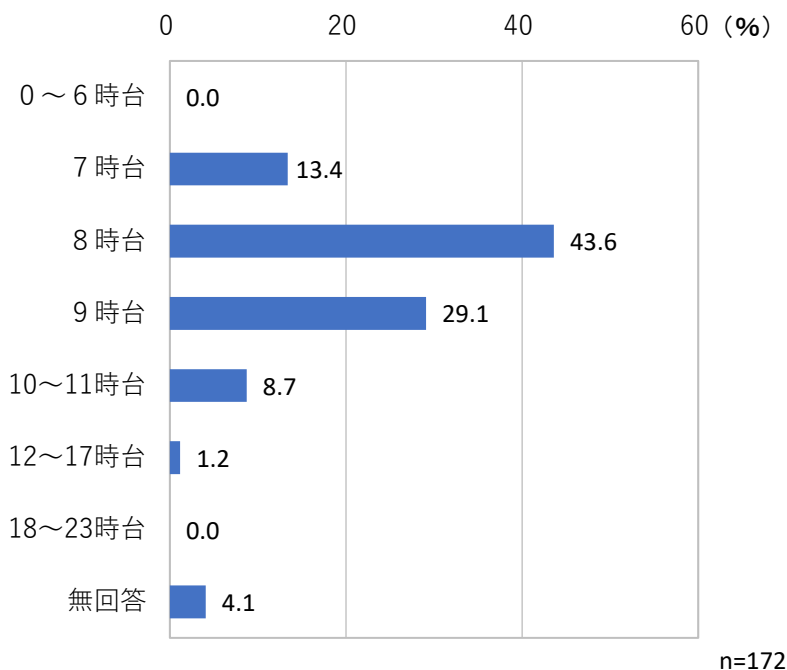
問 25 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（ＳＡ）

（１）土曜日



「利用する必要はない」の割合が最も高く 58.8%となっています。次いで「月に１～２回は利用したい」（23.5%）、「ほぼ毎週利用したい」（9.9%）となっています。

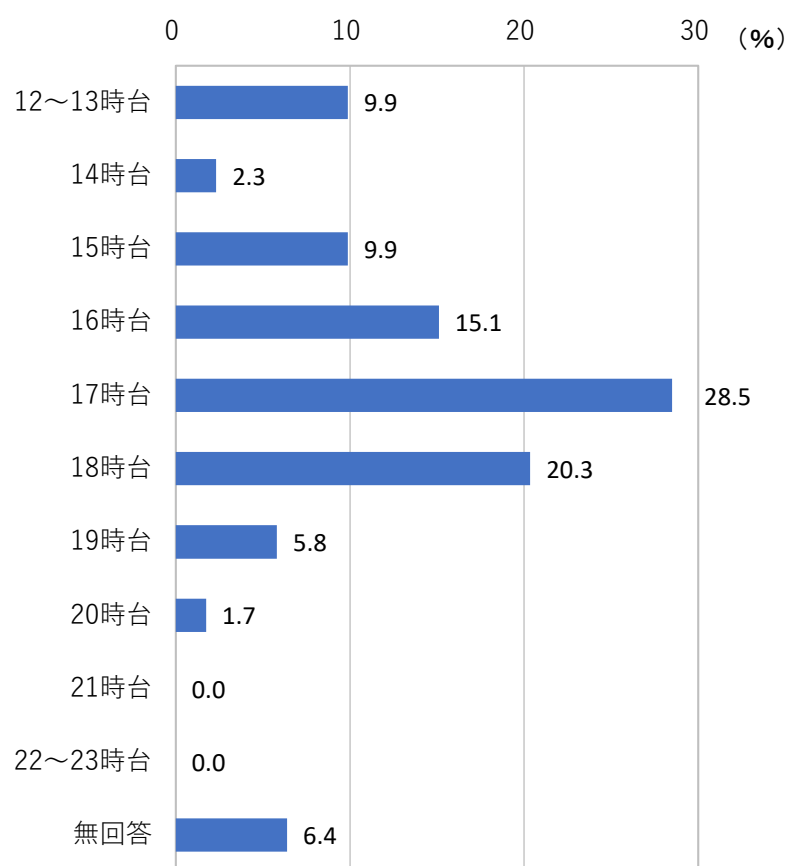
定期的な教育・保育事業の利用希望/時刻〇時から【土曜日】



n=172

「8時台」の割合が最も高く 43.6%となっています。次いで「9時台」（29.1%）、「7時台」（13.4%）となっています。

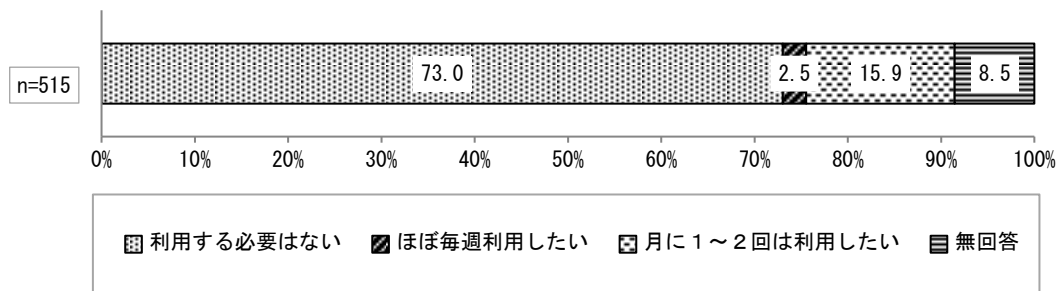
定期的な教育・保育事業の利用希望/時刻〇時まで【土曜日】



n=172

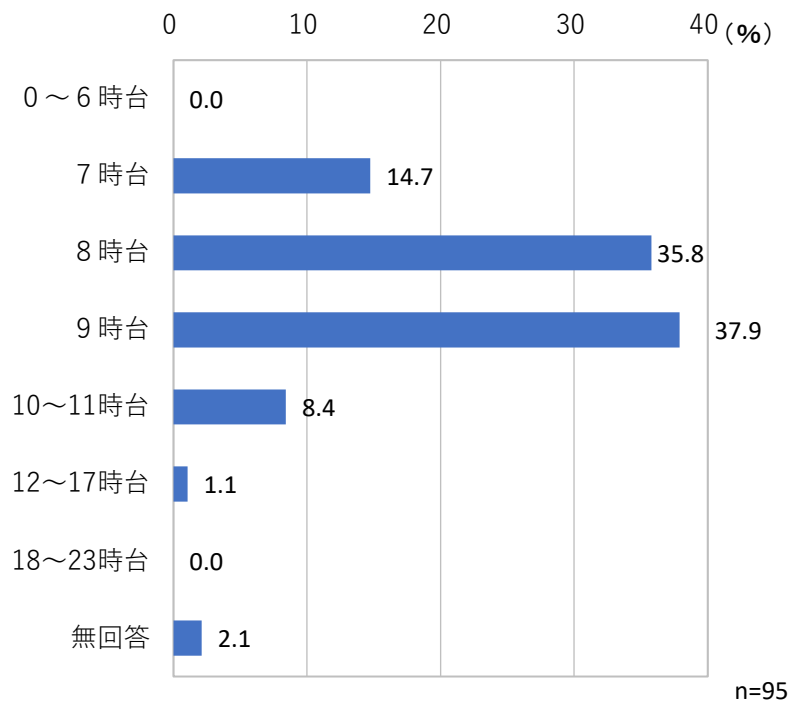
「17 時台」の割合が最も高く 28.5%となっています。次いで「18 時台」(20.3%)、「16 時台」(15.1%) となっています。

(2) 日曜日・祝日



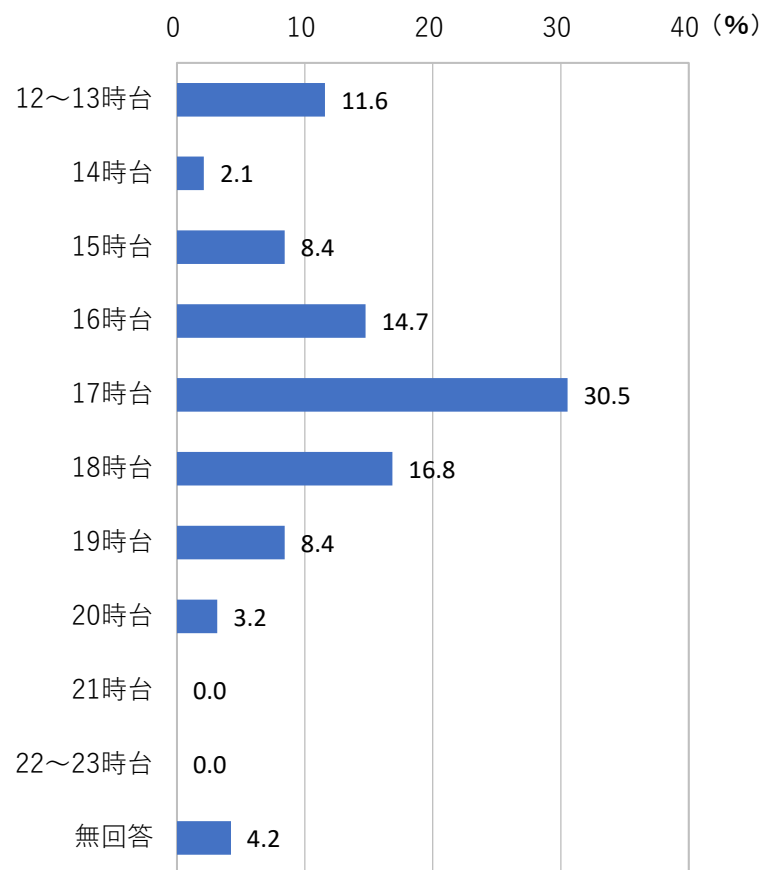
「利用する必要はない」の割合が最も高く73.0%となっています。次いで「月に1～2回は利用したい」(15.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.5%)となっています。

定期的な教育・保育事業の利用希望/時刻〇時から【日曜日・祝日】



「9時台」の割合が最も高く37.9%となっています。次いで「8時台」(35.8%)、「7時台」(14.7%)となっています。

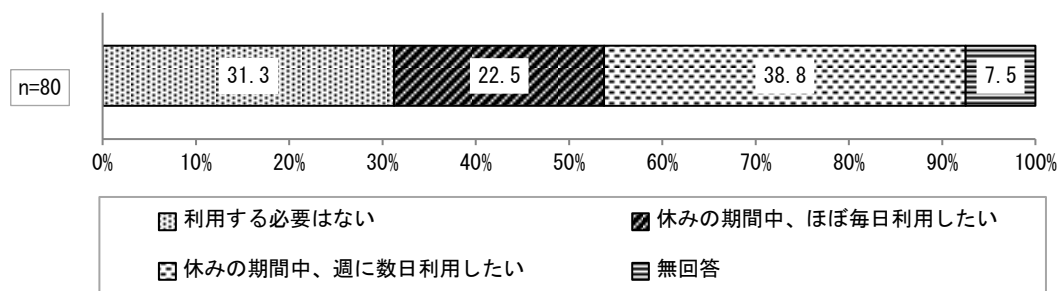
定期的な教育・保育事業の利用希望/時刻〇時まで【日曜日・祝日】



n=95

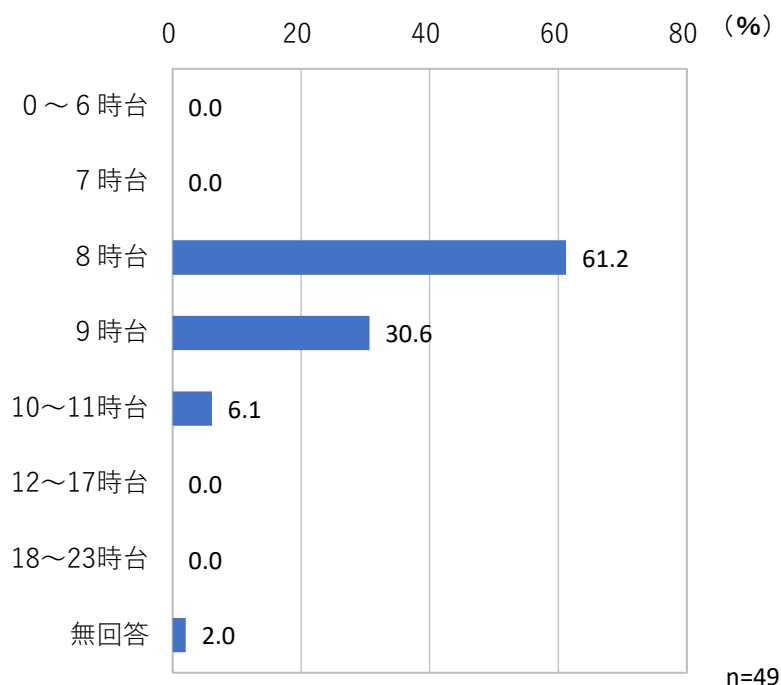
「17 時台」の割合が最も高く 30.5%となっています。次いで「18 時台」(16.8%)、「16 時台」(14.7%) となっています。

問 26 夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望【幼稚園】（SA）



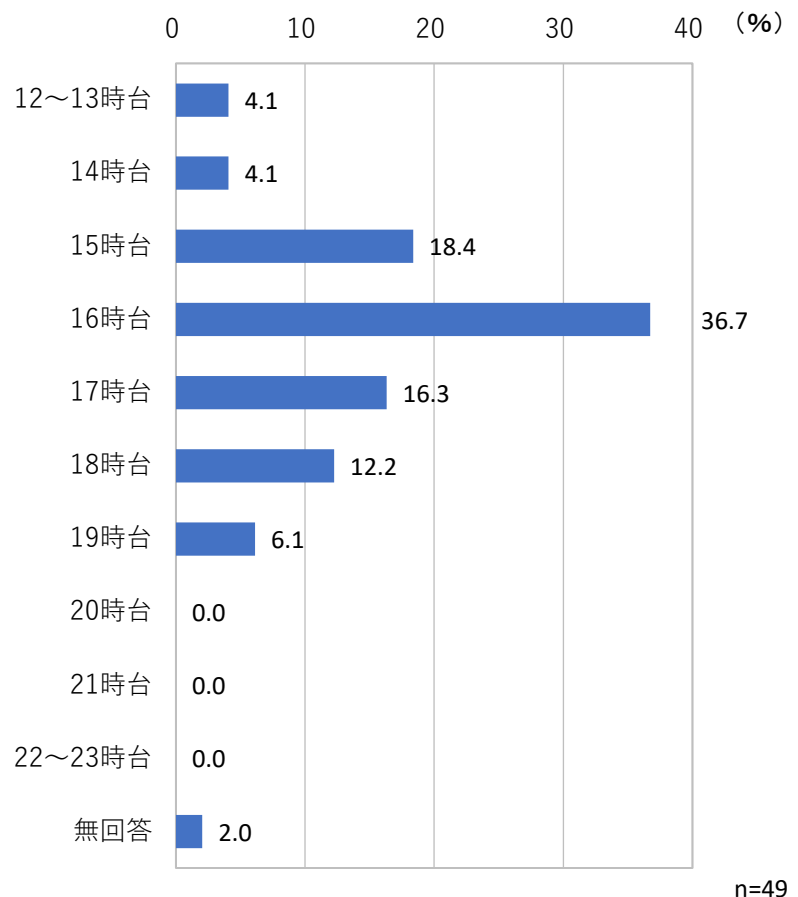
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が最も高く 38.8%となっています。次いで「利用する必要はない」（31.3%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（22.5%）となっています。

（１）夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用希望/時刻〇時から



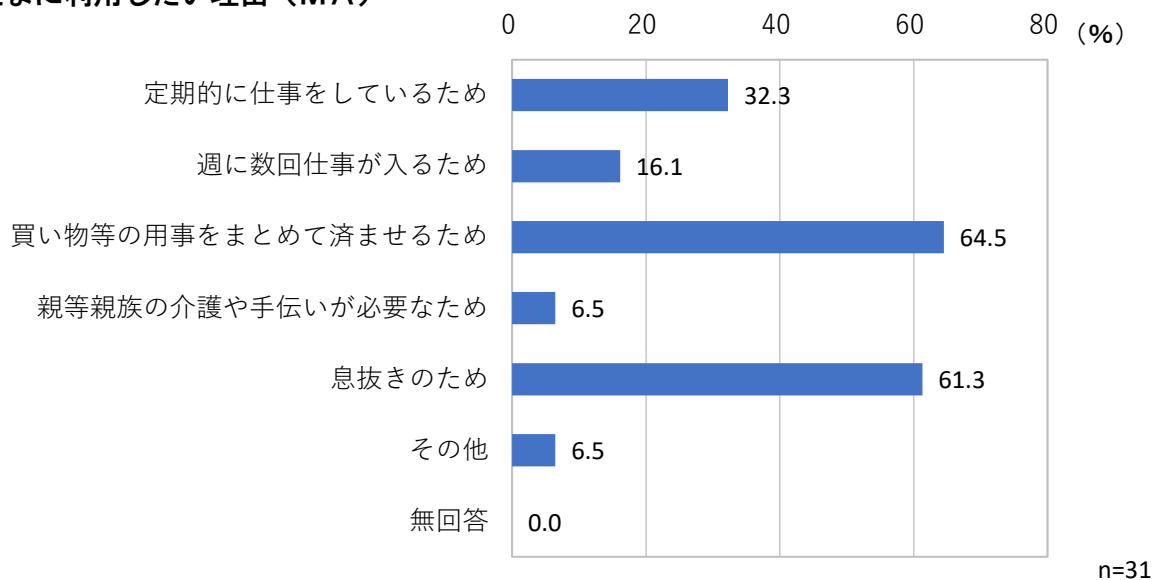
「8時台」の割合が最も高く 61.2%となっています。次いで「9時台」（30.6%）、「10～11時台」（6.1%）となっています。

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用希望/時刻〇時まで



「16 時台」の割合が最も高く 36.7%となっています。次いで「15 時台」(18.4%)、「17 時台」(16.3%)となっています。

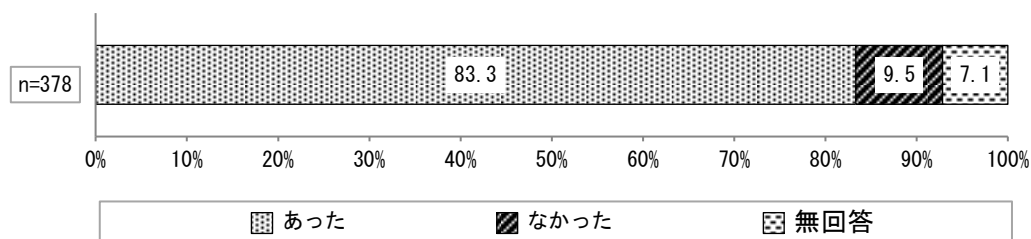
問 26-1 たまに利用したい理由 (MA)



「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が最も高く 64.5%となっています。次いで「息抜きのため」(61.3%)、「定期的に仕事をしているため」(32.3%)となっています。

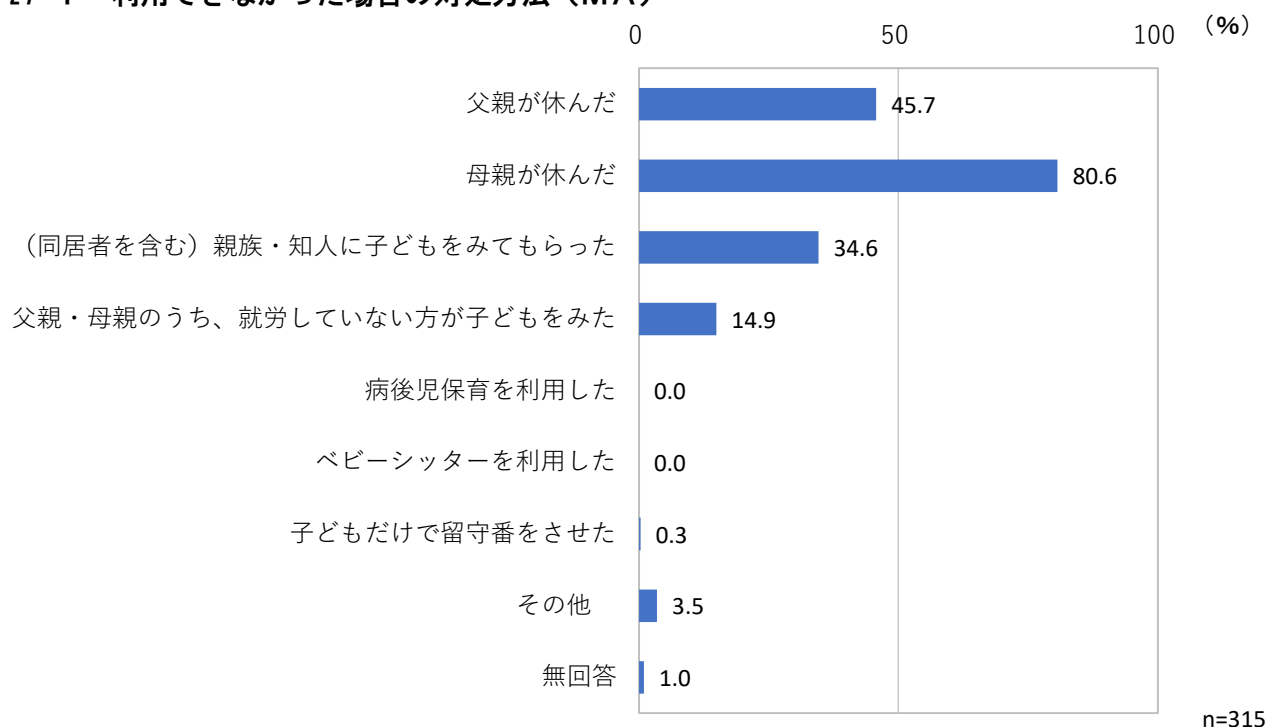
（３）病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

問 27 病気やケガでの欠席について（ＳＡ）

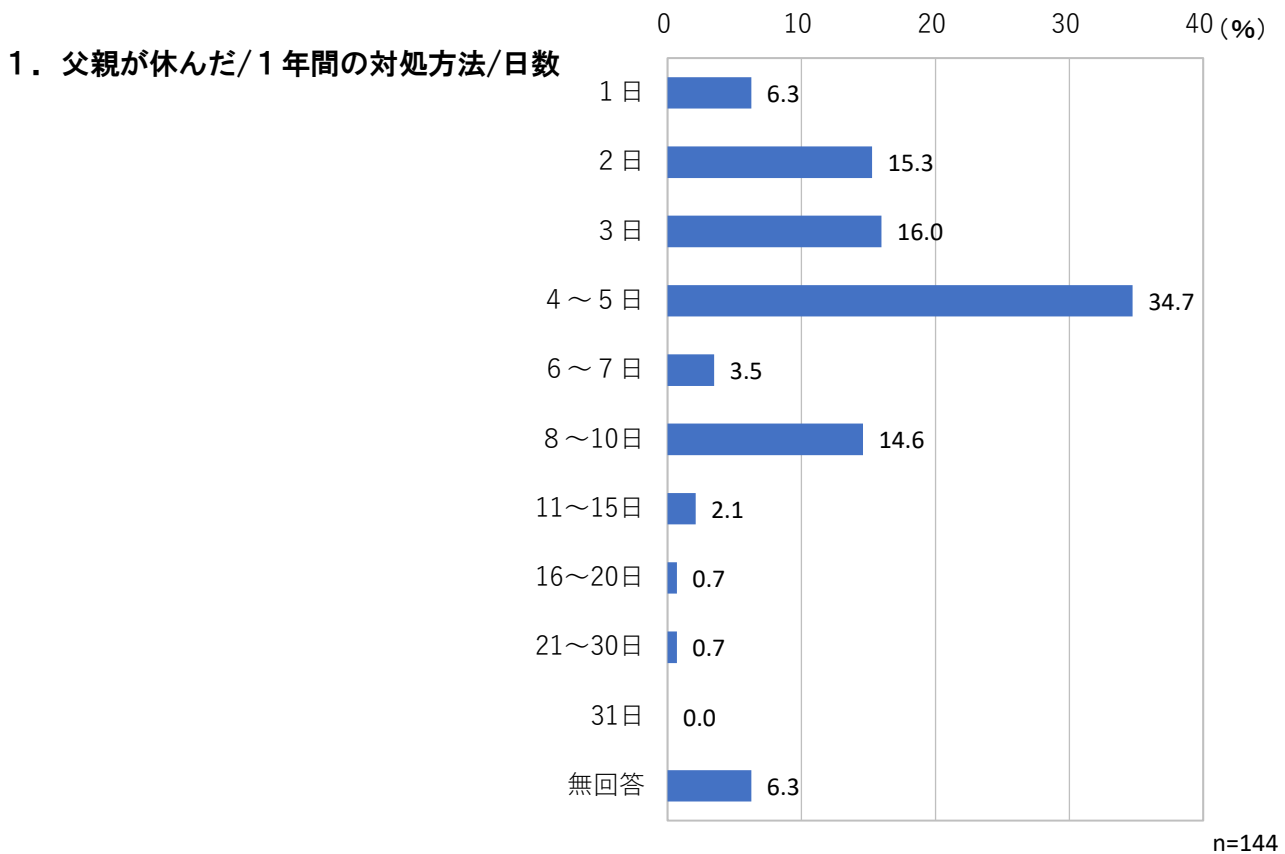


「あった」の割合の方が高く 83.3%となっており、「なかった」が9.5%となっています。

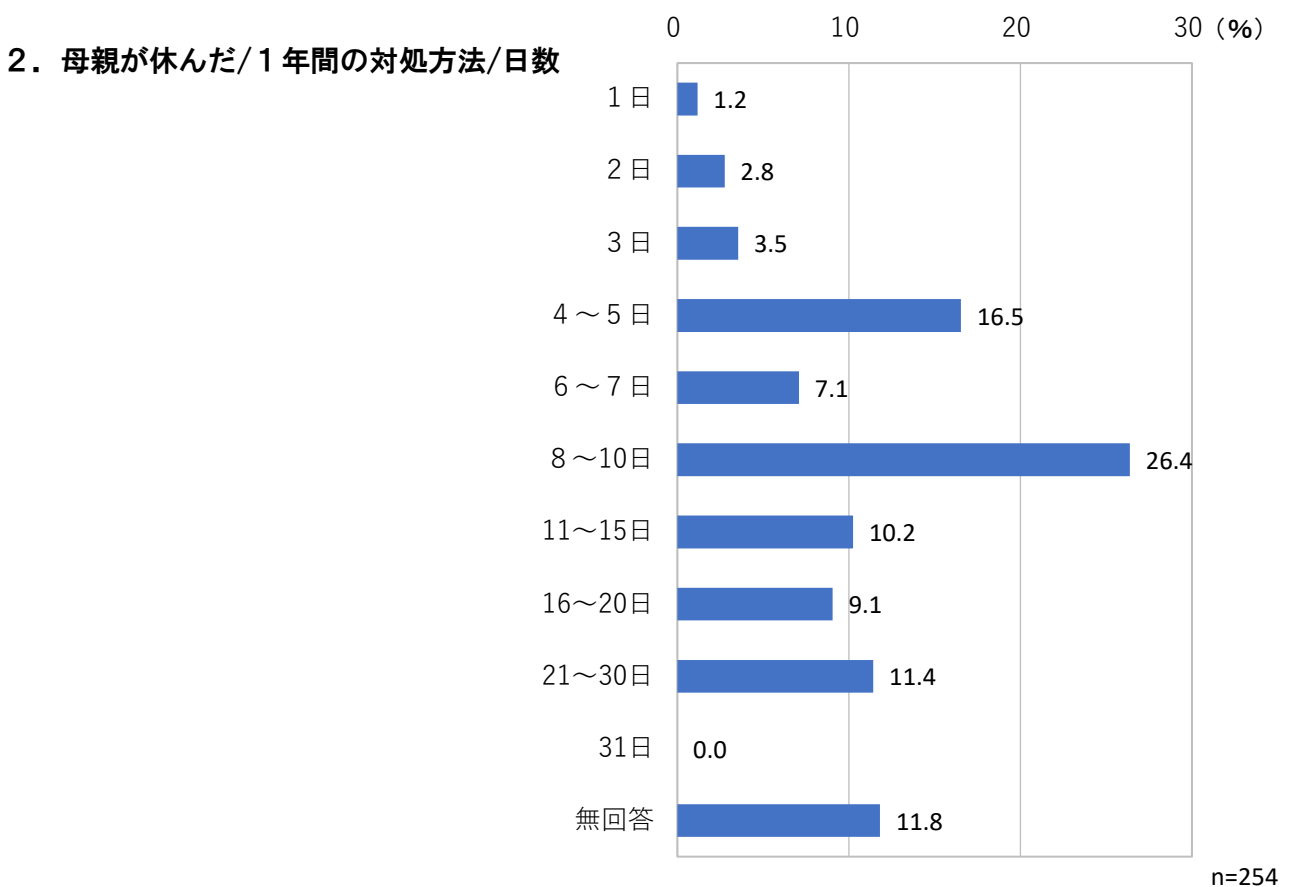
問 27-1 利用できなかった場合の対処方法（MA）



「母親が休んだ」の割合が最も高く 80.6%となっています。次いで「父親が休んだ」（45.7%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（34.6%）となっています。

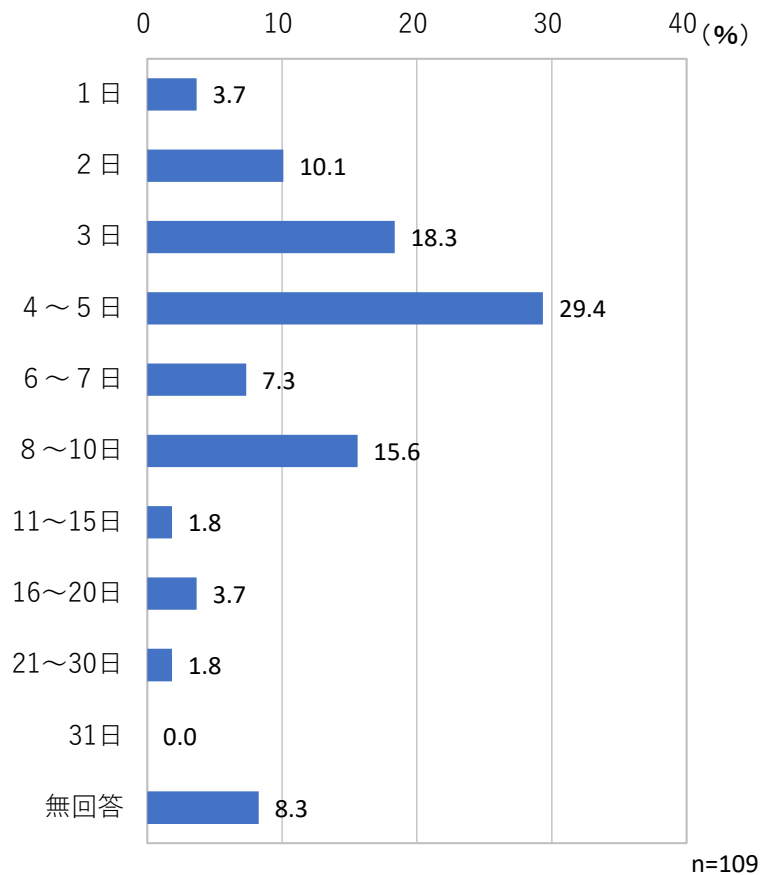


「4～5日」の割合が最も高く 34.7%となっています。次いで「3日」(16.0%)、「2日」(15.3%)となっています。



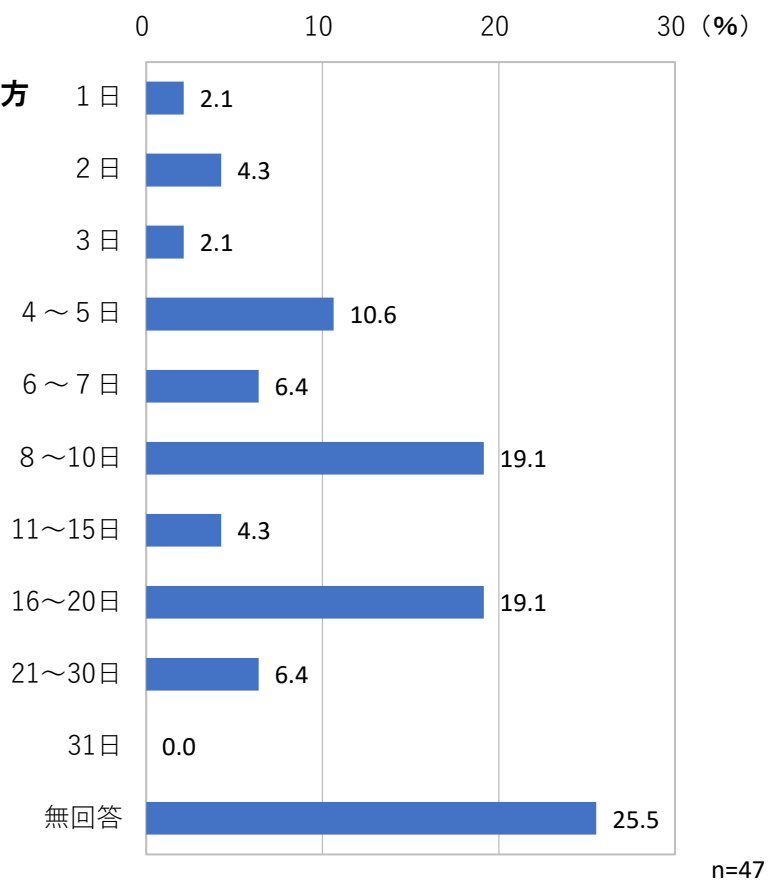
「8～10日」の割合が最も高く 26.4%となっています。次いで「4～5日」(16.5%)、「21～30日」(11.4%)となっています。

3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった/1年間の対処



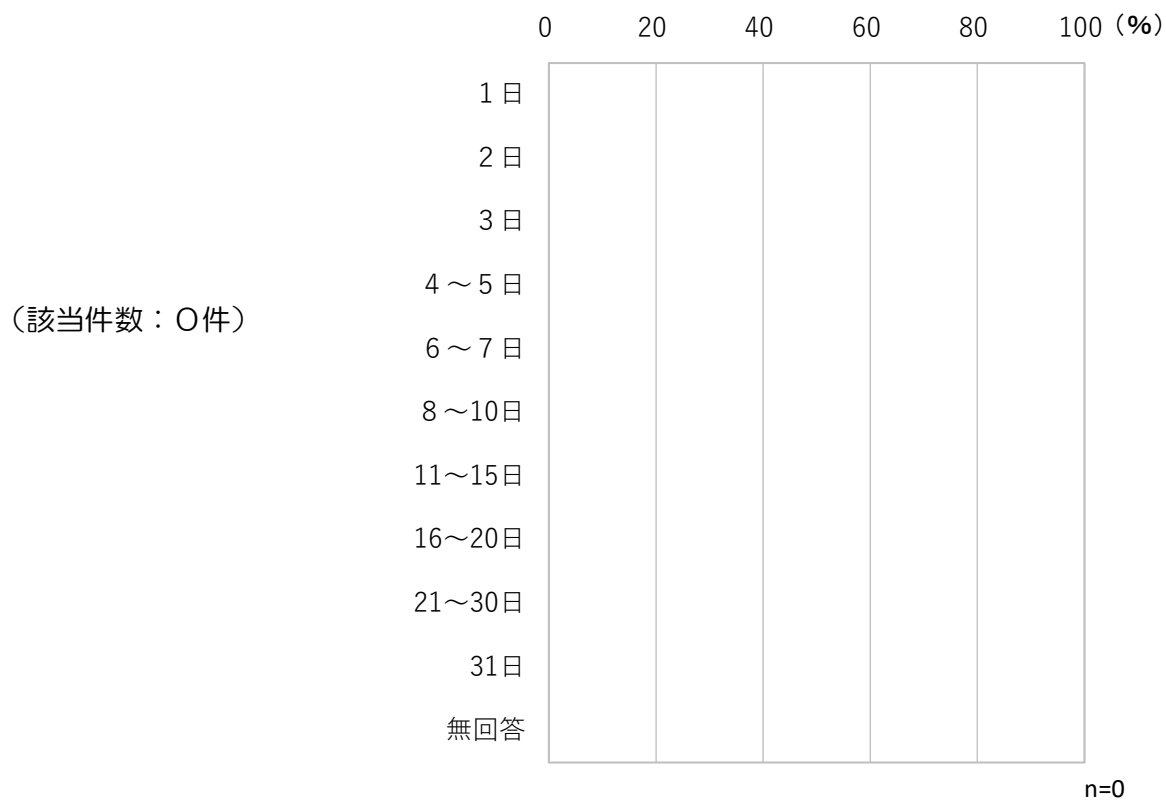
「4～5日」の割合が最も高く 29.4%となっています。次いで「3日」(18.3%)、「8～10日」(15.6%)となっています。

4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた/1年間の対処

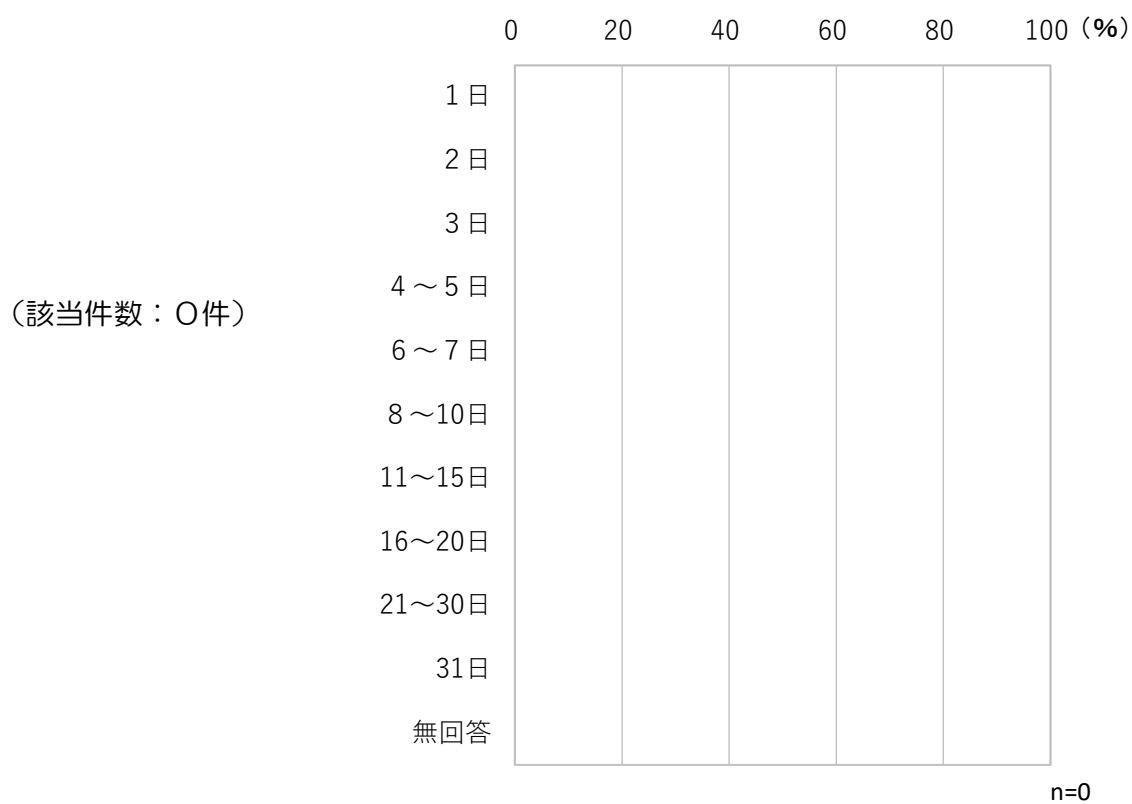


「8～10日」、「16～20日」の割合が最も高く、ともに 19.1%となっています。次いで「4～5日」(10.6%)、「6～7日」、「21～30日」(各 6.4%)となっています。

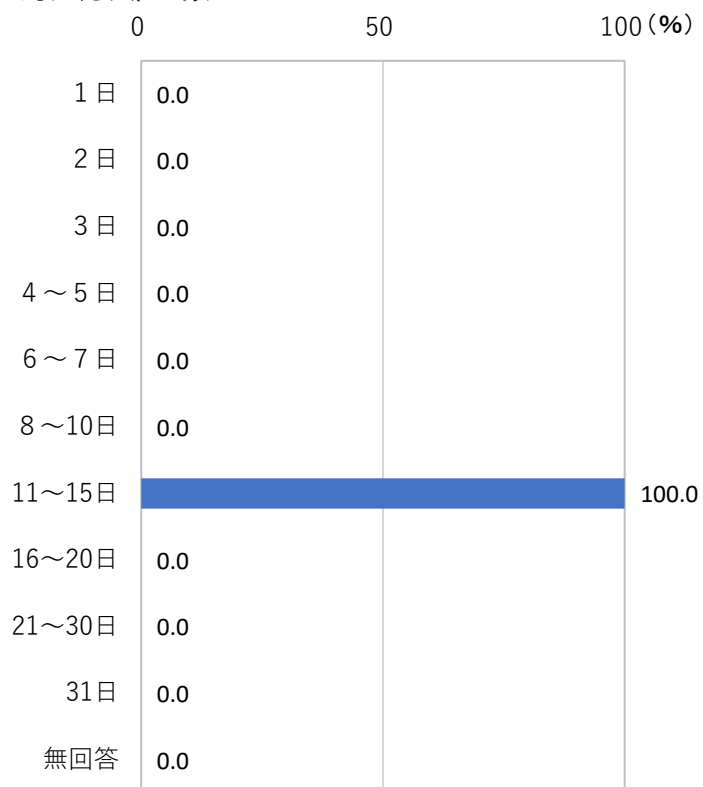
5. 病後児保育を利用した/1年間の対処方法/日数



6. ベビーシッターを利用した/1年間の対処方法/日数



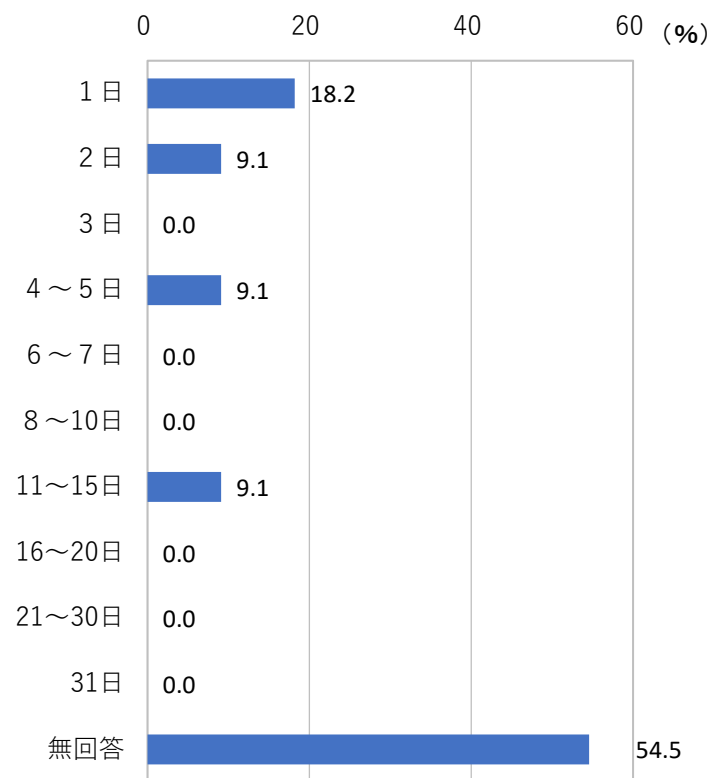
7. 子どもだけで留守番をさせた/1年間の対処方法/日数



n=1

「11~15 日」の割合が 100%となっています。

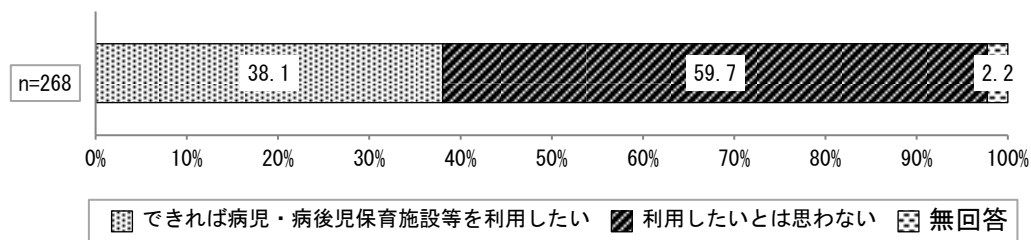
8. その他/1年間の対処方法/日数



n=11

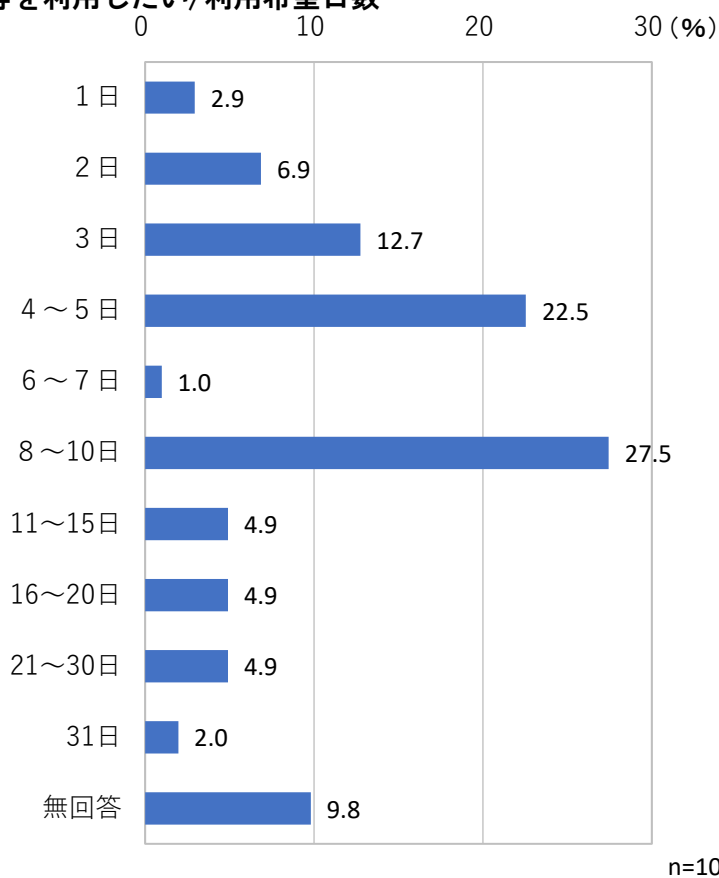
「1 日」の割合が最も高く 18.2%となっています。次いで「2 日」、「4 ~ 5 日」、「11 ~ 15 日」(各 9.1 %) となっています。

問 27-2 病児・病後児のための保育施設等の利用意向（S A）



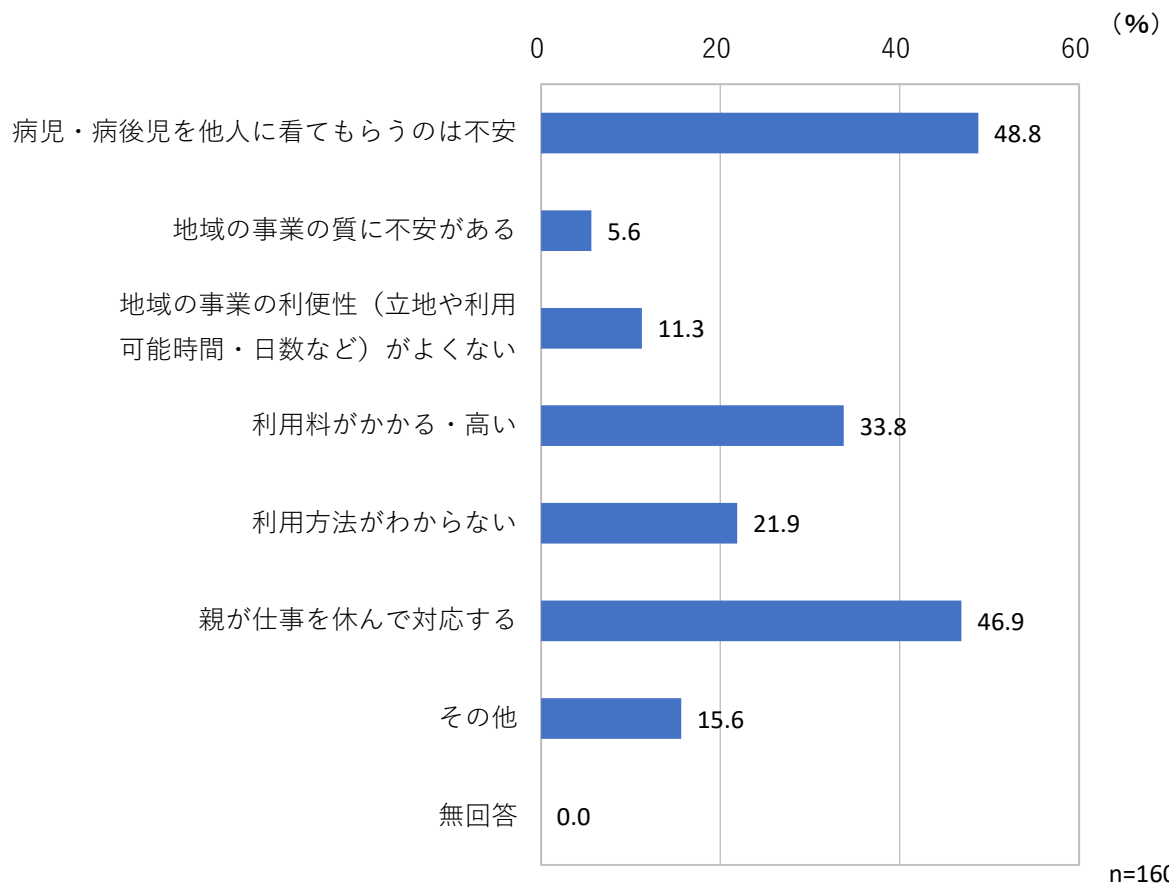
「利用したいとは思わない」の割合の方が高く 59.7%となっており、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 38.1%となっています。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい/利用希望日数



「8～10 日」の割合が最も高く 27.5%となっています。次いで「4～5 日」（22.5%）、「3 日」（12.7%）となっています。

問 27-3 利用したいと思わない理由（MA）

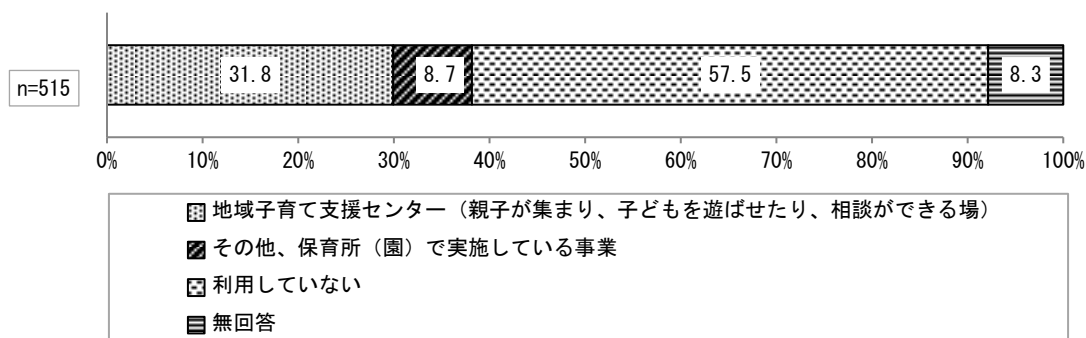


「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が最も高く 48.8%となっています。次いで「親が仕事を休んで対応する」（46.9%）、「利用料がかかる・高い」（33.8%）となっています。

2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

(1) 地域の子育て支援の利用について

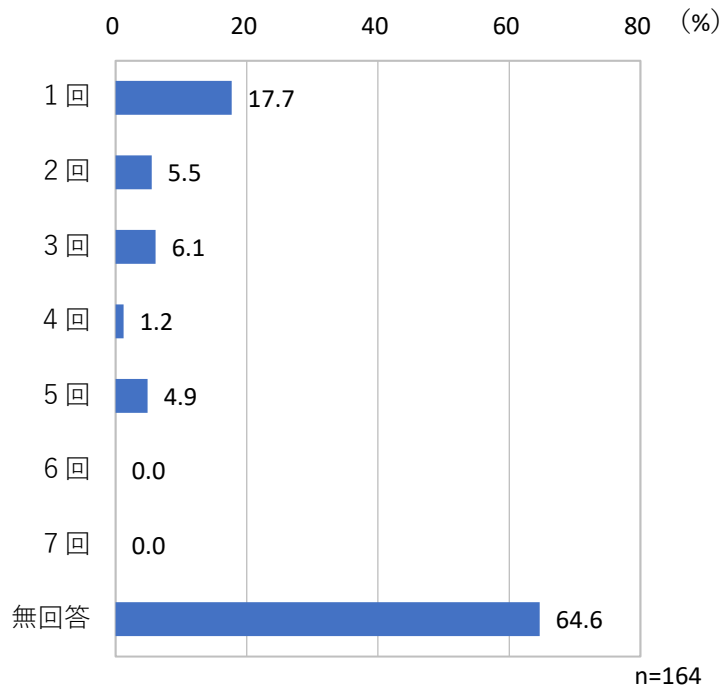
問 18 地域子育て支援事業の利用状況（子育て支援センター等）（SA）



「利用していない」の割合が最も高く 57.5%となっています。次いで「地域子育て支援センター（親子が集まり、子どもを遊ばせたり、相談ができる場）」（31.8%）、「その他、保育所（園）で実施している事業（園庭開放など）」（8.7%）となっています。

問 18<1> 子育て支援センターの利用状況

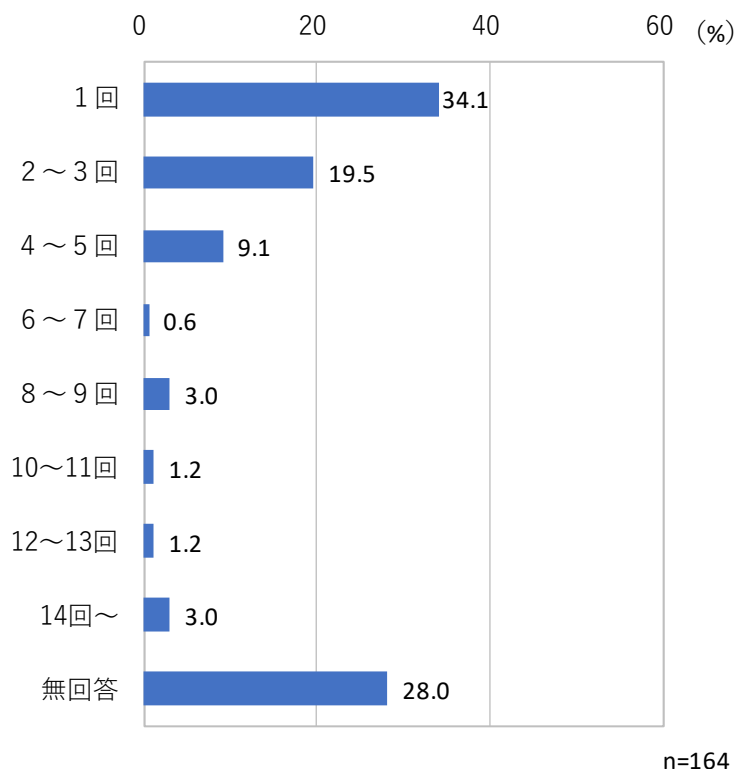
地域子育て支援センター利用回数/1 週当たり回数



n=164

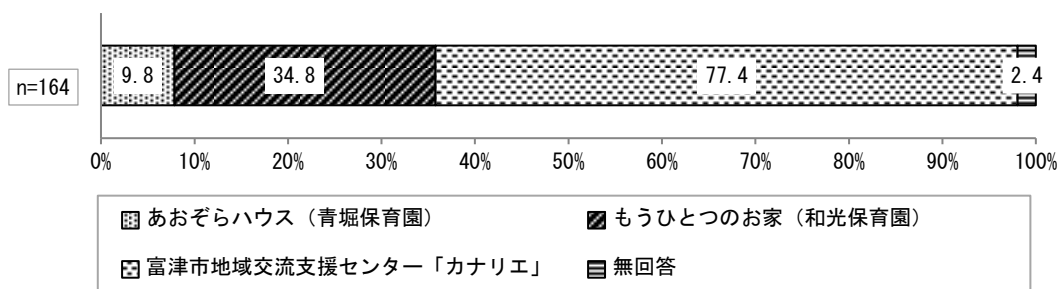
「1 回」の割合が最も高く 17.7%となっています。次いで「3 回」（6.1%）、「2 回」（5.5%）となっています。

問 18<1> 地域子育て支援センター利用回数/1 ヶ月当たり回数



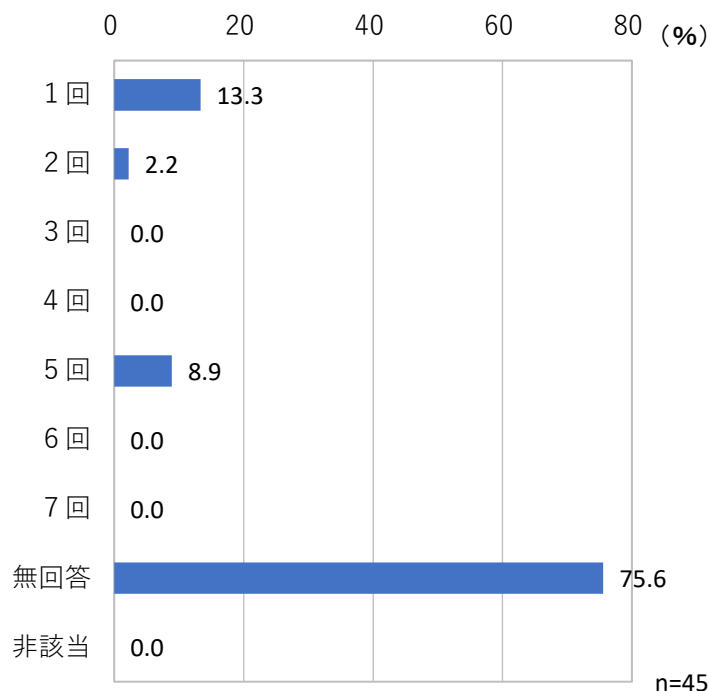
「1 回」の割合が最も高く 34.1%となっています。次いで「2～3回」(19.5%)、「4～5 回」(9.1%)となっています。

問 18<1> 利用した子育て支援センター



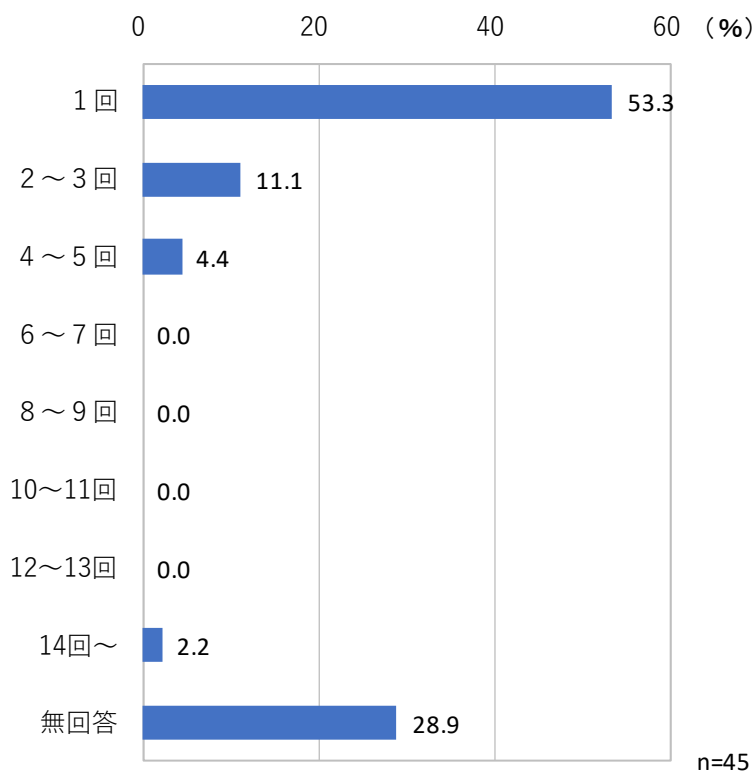
「富津市地域交流支援センター「カナリエ」」の割合が最も高く 77.4%となっています。次いで「もうひとつのお家（和光保育園）」(34.8%)、「あおぞらハウス（青堀保育園）」(9.8%)となっています。

問 18<2> その他、保育所（園）で実施している事業利用回数/1 週当たり回数



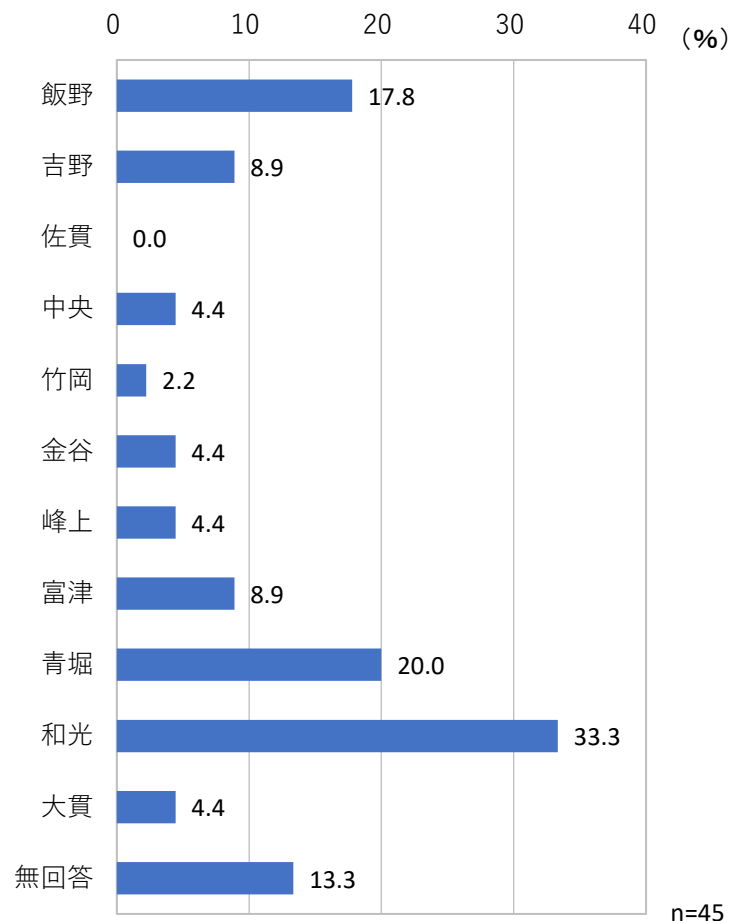
「1 回」の割合が最も高く 13.3%となっています。次いで「5回」（8.9%）、「2回」（2.2%）となっています。

問 18<2> その他、保育所（園）で実施している事業利用回数/1 ヶ月当たり回数



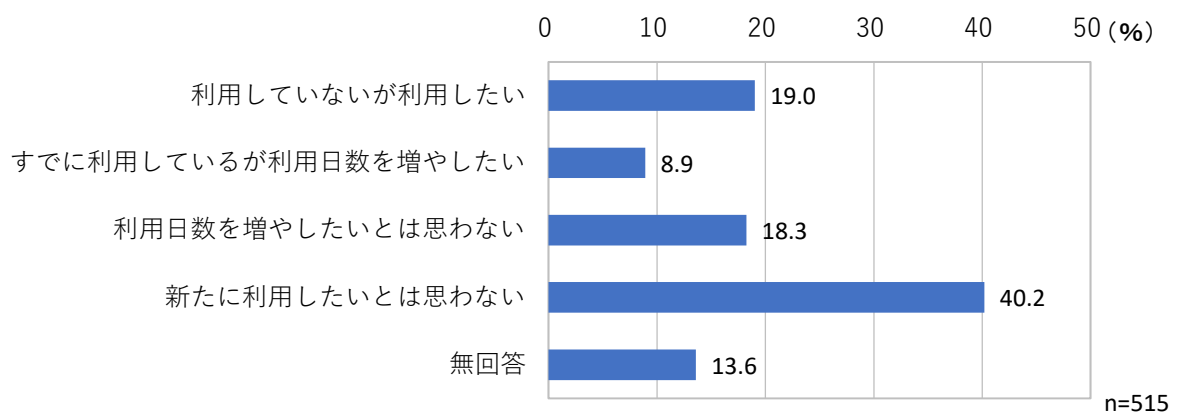
「1 回」の割合が最も高く 53.3%となっています。次いで「2～3回」（11.1%）、「4～5 回」（4.4%）となっています。

問 18<2> 利用した保育所（園）



「和光」の割合が最も高く 33.3%となっています。次いで「青堀」（20.0%）、「飯野」（17.8%）となっています。

問 19 子育て支援センター利用意向（SA）

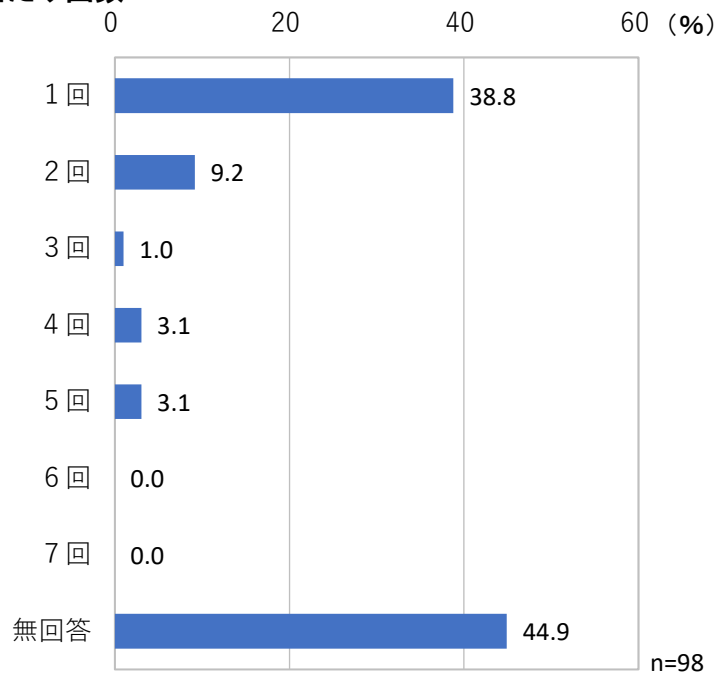


「新たに利用したいとは思わない」の割合が最も高く 40.2%となっています。次いで「利用していないが利用したい」（19.0%）、「利用日数を増やしたいとは思わない」（18.3%）となっています。

〔その他〕 遠い／行っていいのかわからない／行ったことないので行きづらい／仕事をしていて連れて行く時間が確保できない／どういう施設か、どこにあるのか知らない／親同伴だと仕事があり、付き添えないから／人見知りなので他の保護者との交流が不安 等

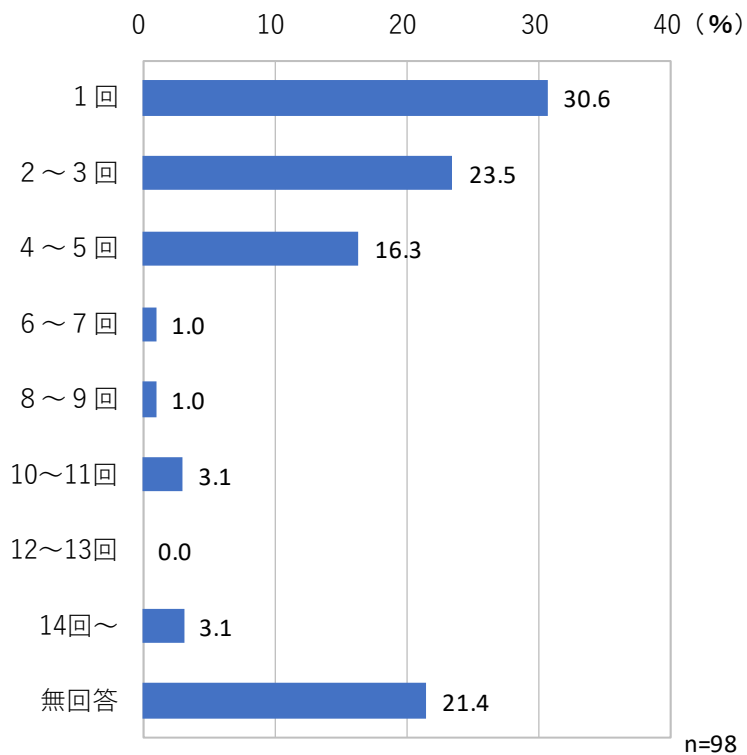
問 19<1> 【利用していないが利用したい人】子育て支援センター利用希望

利用していないが利用したい_1 週当たり回数



「1 回」の割合が最も高く 38.8%となっています。次いで「2 回」(9.2%)、「4 回」、「5 回」(各 3.1%)となっています。

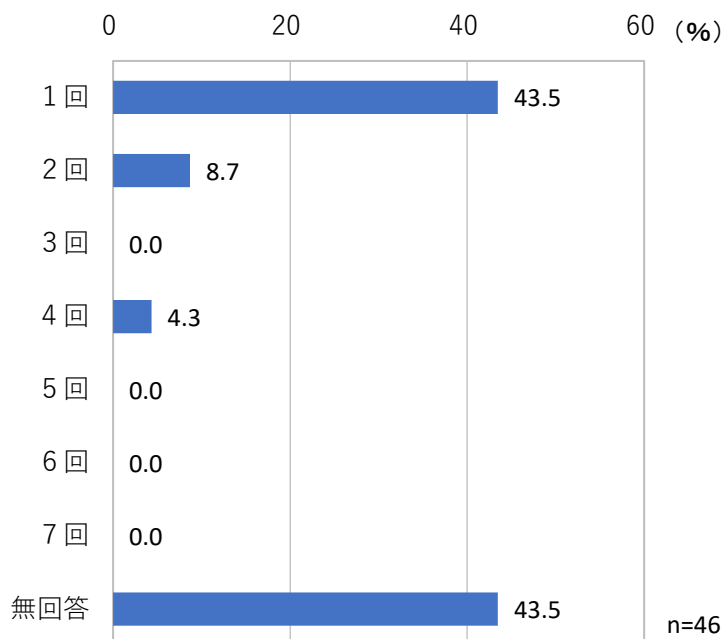
利用していないが利用したい_1 ヶ月当たり回数



「1 回」の割合が最も高く 30.6%となっています。次いで「2～3 回」(23.5%)、「4～5 回」(16.3%)となっています。

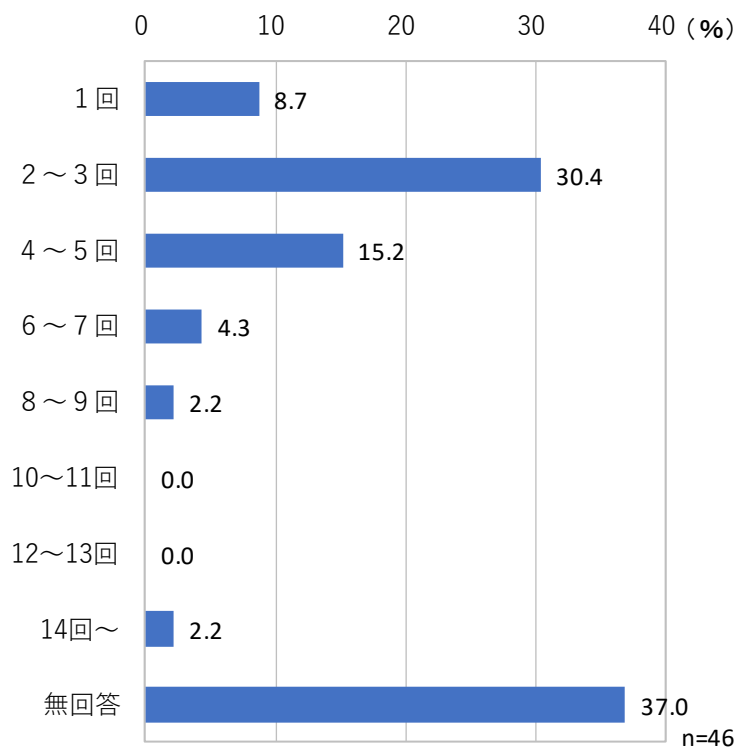
問 19<2> 【利用しているが日数を増やしたい人】子育て支援センター利用希望

すでに利用しているが利用日数を増やしたい_更に1週当たり回数



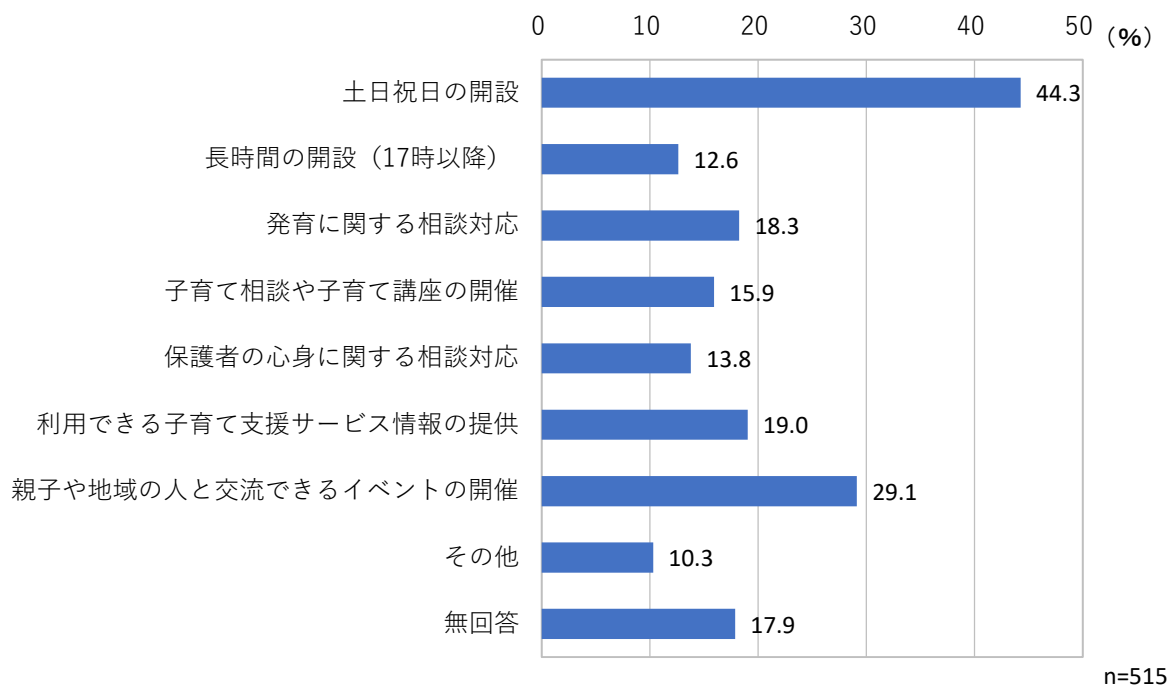
「1回」の割合が最も高く 43.5%となっています。次いで「2回」(8.7%)、「4回」(4.3%)となっています。

すでに利用しているが利用日数を増やしたい_更に1ヶ月当たり回数



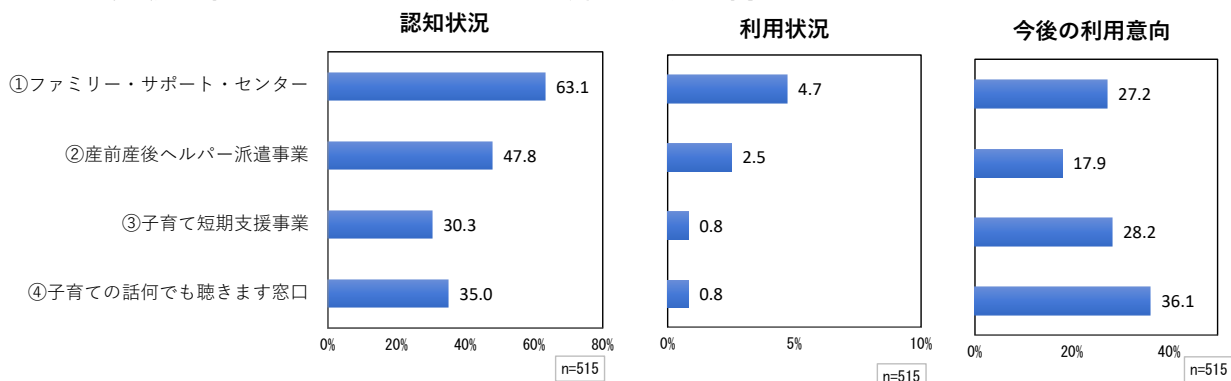
「2～3回」の割合が最も高く 30.4%となっています。次いで「4～5回」(15.2%)、「1回」(8.7%)となっています。

問 20 子育て支援センターに求めるもの（MA）※主に当てはまる3つ



「土日祝日の開設」の割合が最も高く 44.3%となっています。次いで「親子や地域の人と交流できるイベントの開催」（29.1%）、「利用できる子育て支援サービス情報の提供」（19.0%）となっています。

問 21 子育て支援事業の認知状況、利用状況、今後の利用意向



①ファミリー・サポート・センター

A. 知っている

「はい」の割合の方が高く 63.1%となっており、「いいえ」が 30.1%となっています。

B. これまでに利用したことがある

「いいえ」の割合の方が高く 69.1%となっており、「はい」が 4.7%となっています。

C. 今後利用したい

「いいえ」の割合の方が高く 59.8%となっており、「はい」が 27.2%となっています。

②産前産後ヘルパー派遣事業

A. 知っている

「はい」の割合の方が高く 47.8%となっており、「いいえ」が 45.2%となっています。

B. これまでに利用したことがある

「いいえ」の割合の方が高く 64.7%となっており、「はい」が 2.5%となっています。

C. 今後利用したい

「いいえ」の割合の方が高く 69.5%となっており、「はい」が 17.9%となっています。

③子育て短期支援事業

A. 知っている

「いいえ」の割合の方が高く 62.5%となっており、「はい」が 30.3%となっています。

B. これまでに利用したことがある

「いいえ」の割合の方が高く 57.9%となっており、「はい」が 0.8%となっています。

C. 今後利用したい

「いいえ」の割合の方が高く 59.2%となっており、「はい」が 28.2%となっています。

④子育ての話何でも聴きます窓口

A. 知っている

「いいえ」の割合の方が高く 57.9%となっており、「はい」が 35.0%となっています。

B. これまでに利用したことがある

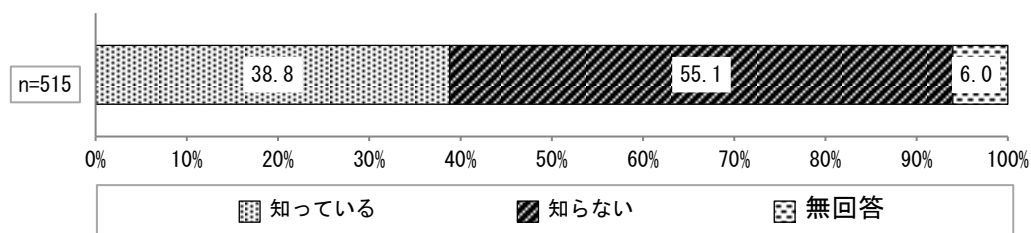
「いいえ」の割合の方が高く 58.1%となっており、「はい」が 0.8%となっています。

C. 今後利用したい

「いいえ」の割合の方が高く 51.8%となっており、「はい」が 36.1%となっています。

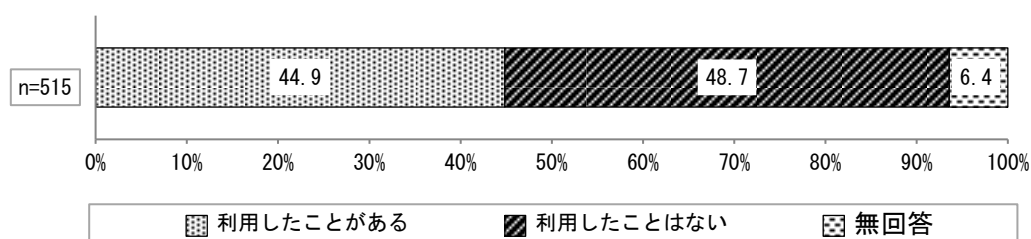
(2) 子どもの遊び場の利用について

問 22-1 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）の認知状況（SA）



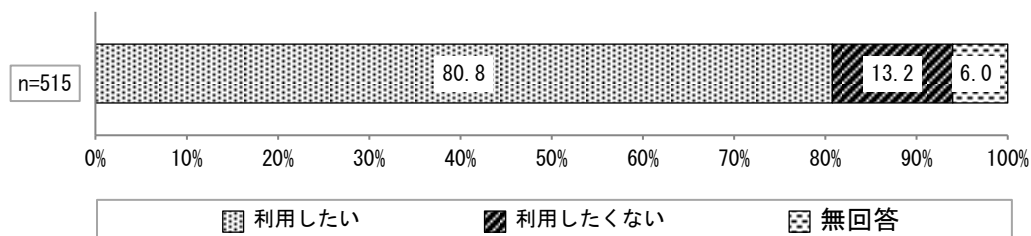
「知らない」の割合の方が高く 55.1 %となっており、「知っている」が 38.8 %となっています。

問 22-2 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）の利用状況（SA）



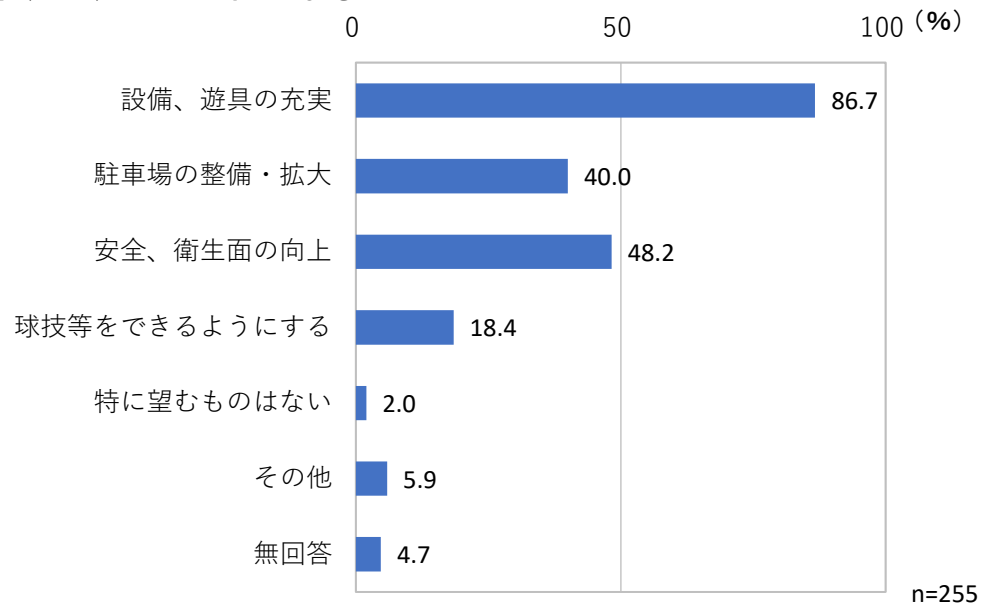
「利用したことはない」の割合の方が高く 48.7 %となっており、「利用したことがある」が 44.9 %となっています。

問 22-3 児童遊園地（5 か所）や子どもの遊び場（20 か所）の利用希望（SA）



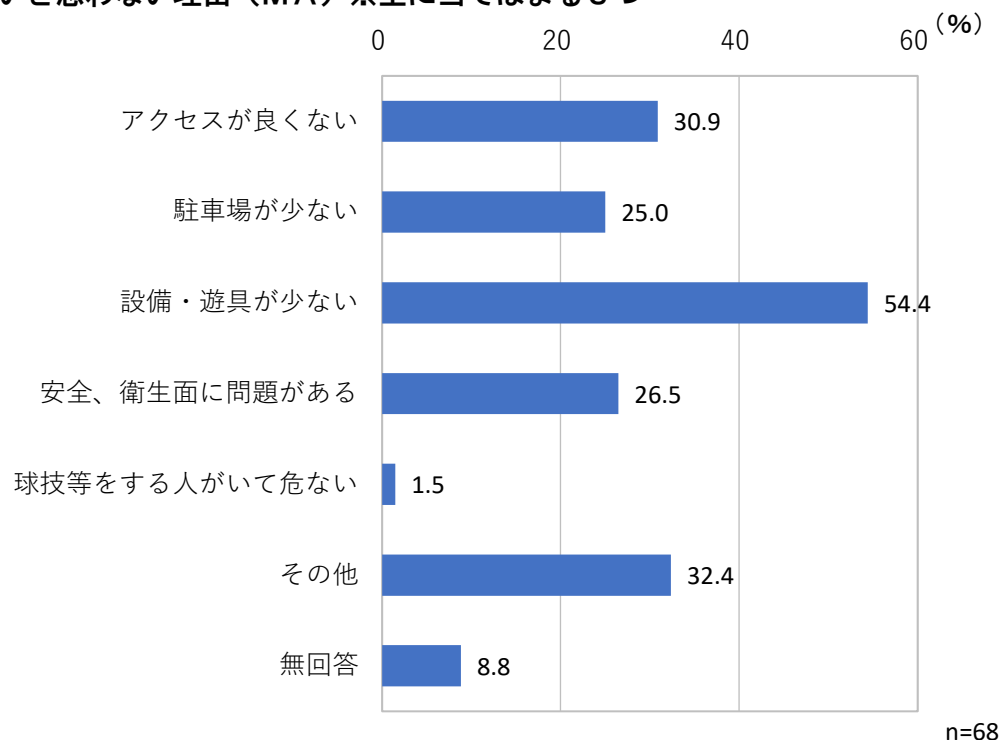
「利用したい」の割合の方が高く 80.8 %となっており、「利用したくない」が 13.2 %となっています。

問 23-1 今後の希望（MA）※主に当てはまる3つ



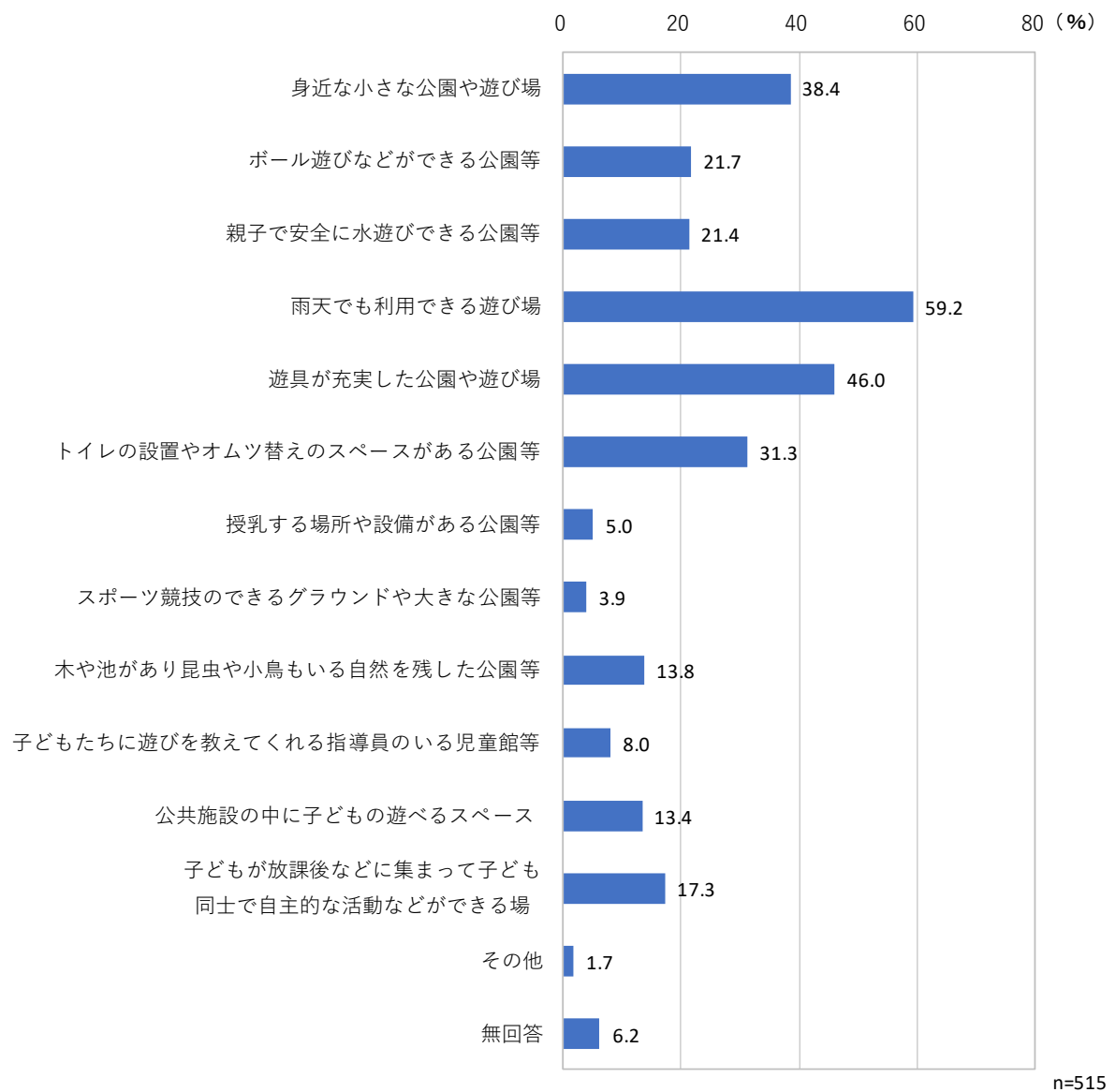
「設備、遊具の充実」の割合が最も高く 86.7%となっています。次いで「安全、衛生面の向上」（48.2%）、「駐車場の整備・拡大」（40.0%）となっています。

問 23-2 利用したいと思わない理由（MA）※主に当てはまる3つ



「設備・遊具が少ない」の割合が最も高く 54.4%となっています。次いで「その他」（32.4%）、「アクセスが良くない」（30.9%）となっています。

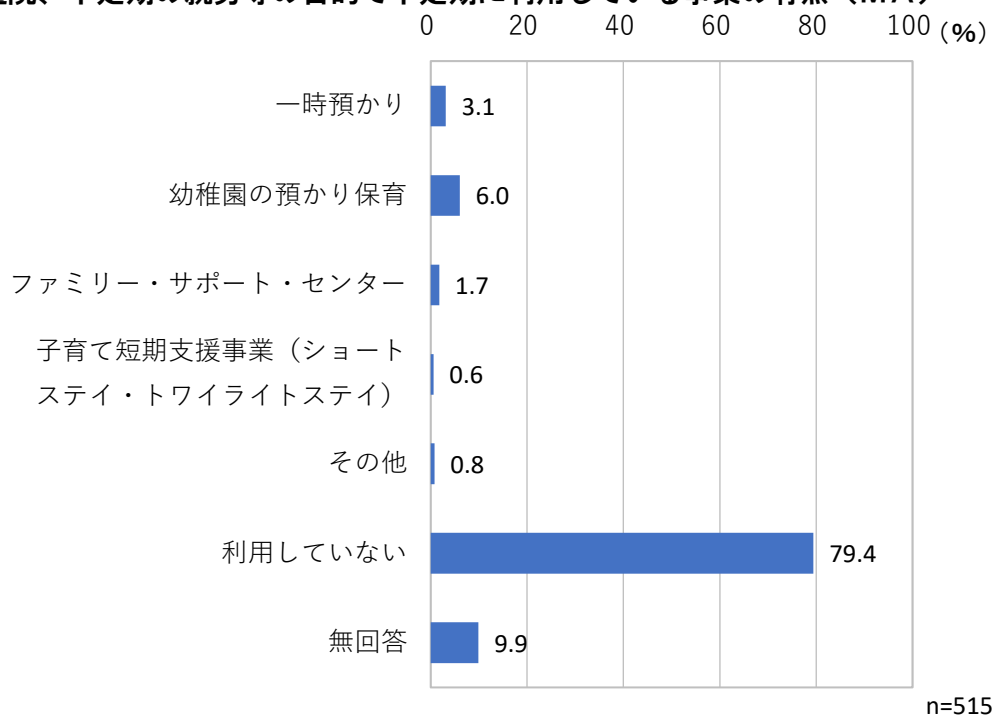
問 24 身近な地域の過ごせる場所としての希望（MA）※主に当てはまる3つ



「雨天でも利用できる遊び場」の割合が最も高く 59.2%となっています。次いで「遊具が充実した公園や遊び場」（46.0%）、「身近な小さな公園や遊び場」（38.4%）となっています。

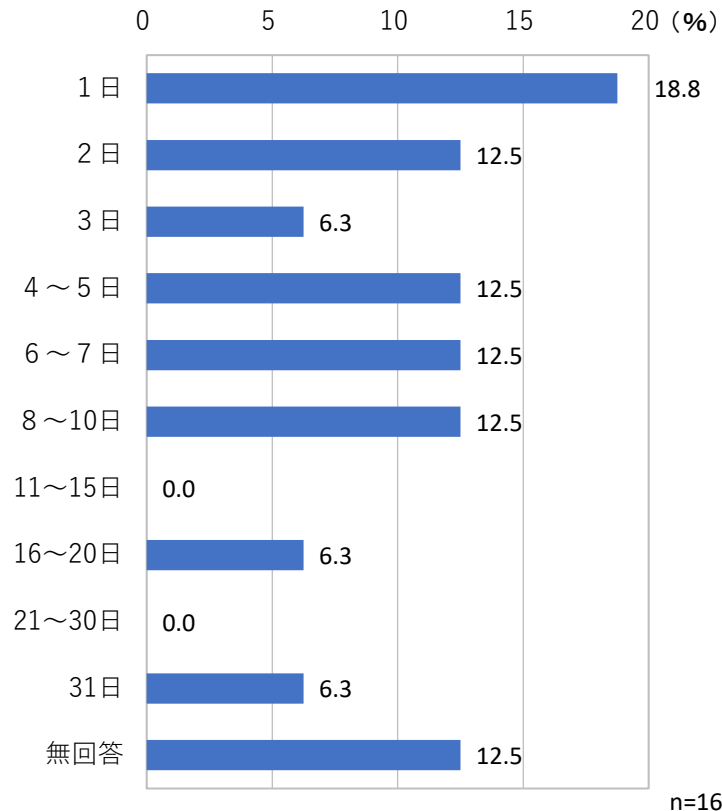
（３）不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

問 28 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無（MA）



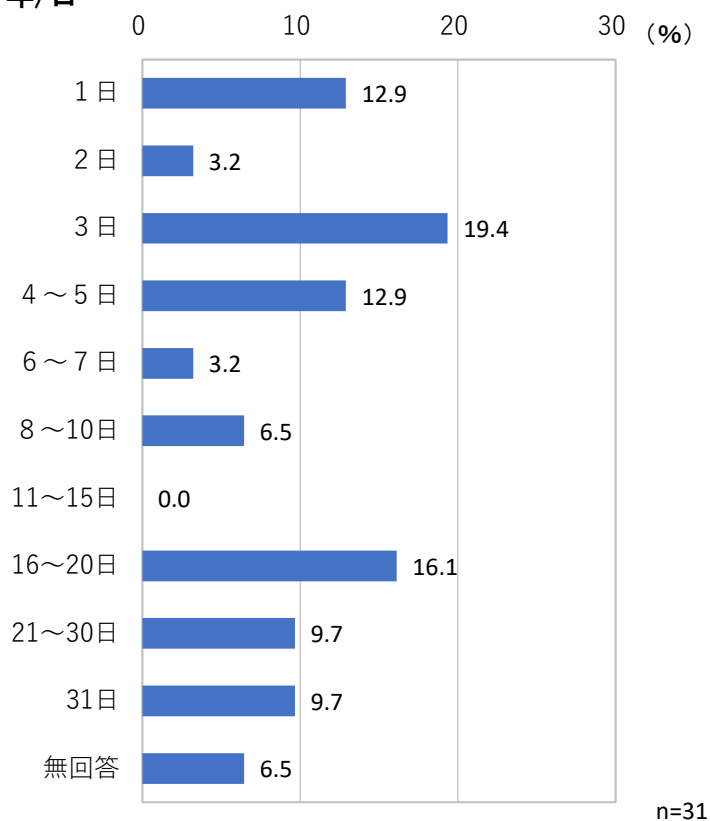
「利用していない」の割合が最も高く 79.4%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」（6.0%）、「一時預かり」（3.1%）となっています。

1. 一時預かり/利用している日数/年/日



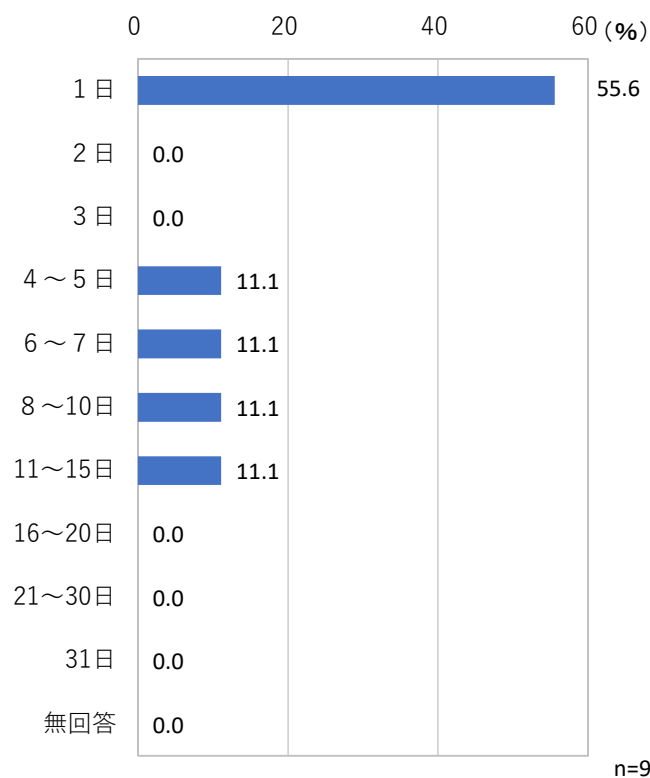
「1日」の割合が最も高く 18.8%となっています。次いで「2日」、「4～5日」、「6～7日」、「8～10日」（各 12.5%）、「3日」、「16～20日」、「31日」（各 6.3%）となっています。

2. 幼稚園の預かり保育/利用している日数/年/日



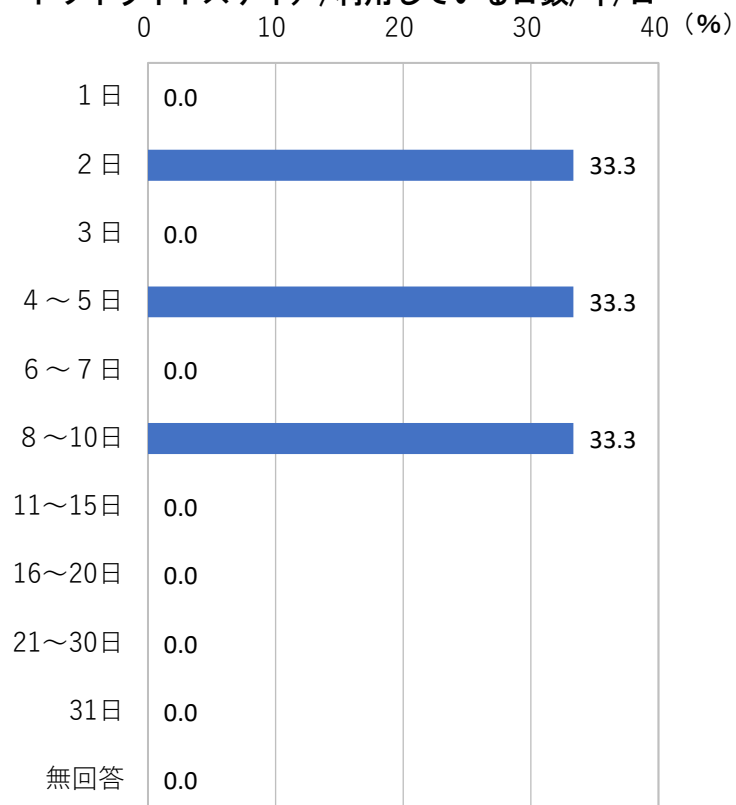
「3日」の割合が最も高く 19.4%となっています。次いで「16～20日」(16.1%)、「1日」、「4～5日」(各 12.9%) となっています。

3. ファミリー・サポート・センター/利用している日数/年/日



「1日」の割合が最も高く 55.6%となっています。次いで「4～5日」、「6～7日」、「8～10日」、「11～15日」(各 11.1%) となっています。

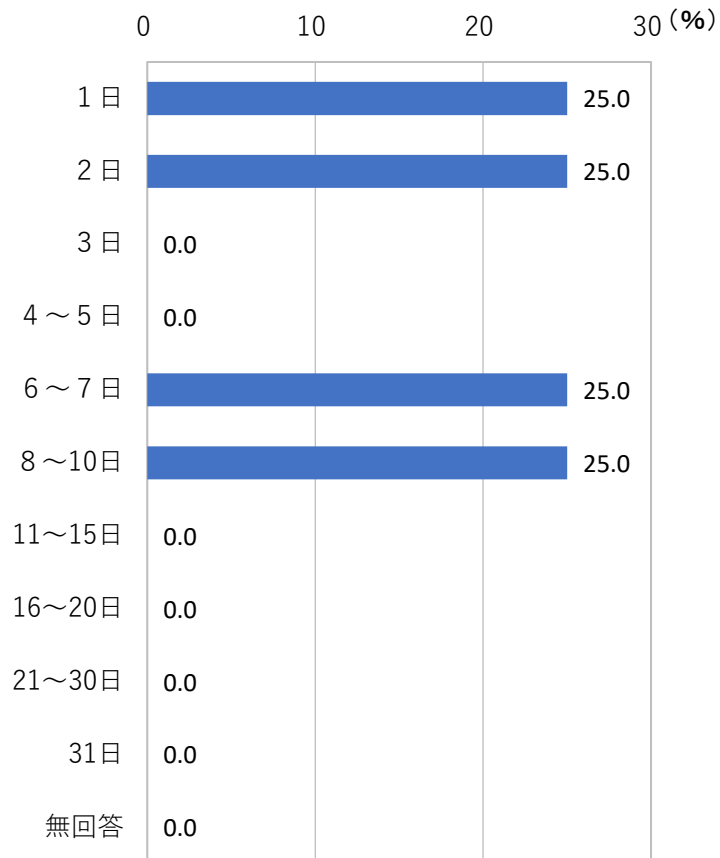
4. 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）/利用している日数/年/日



n=3

「2日」、「4～5日」、「8～10日」の割合が最も高く、ともに 33.3%となっています。

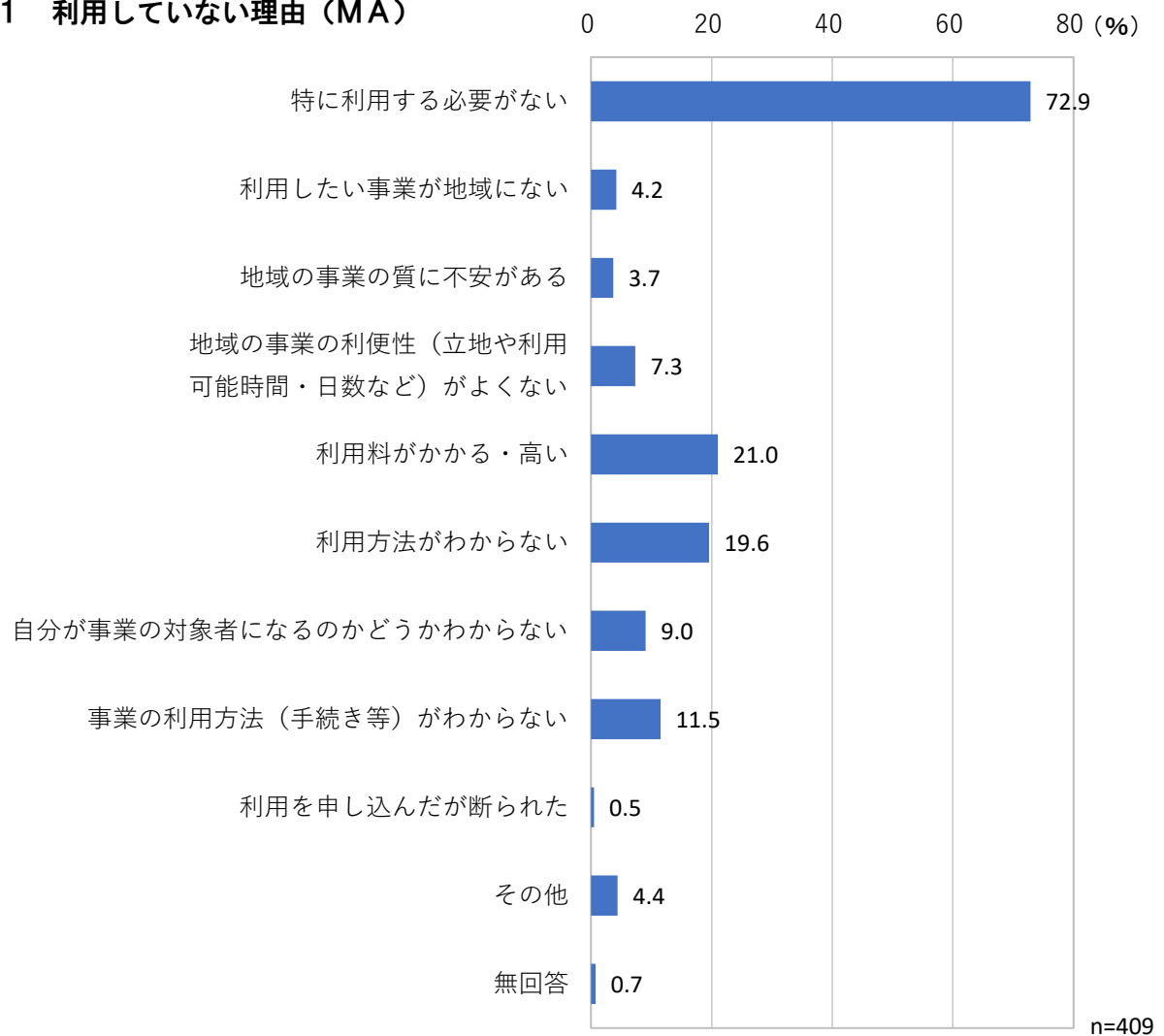
5. その他/利用している日数/年/日



n=4

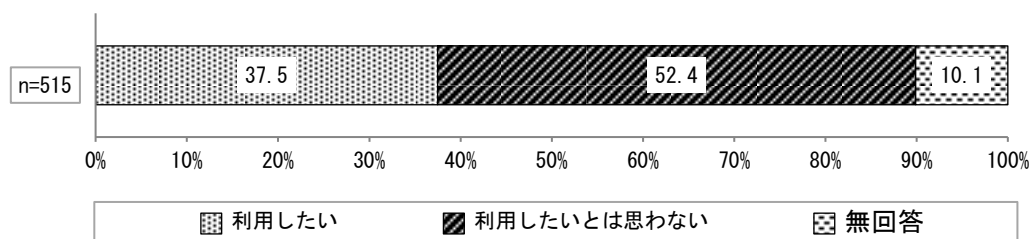
「1日」、「2日」、「6～7日」、「8～10日」の割合が最も高く、ともに 25.0%となっています。

問 28-1 利用していない理由（MA）



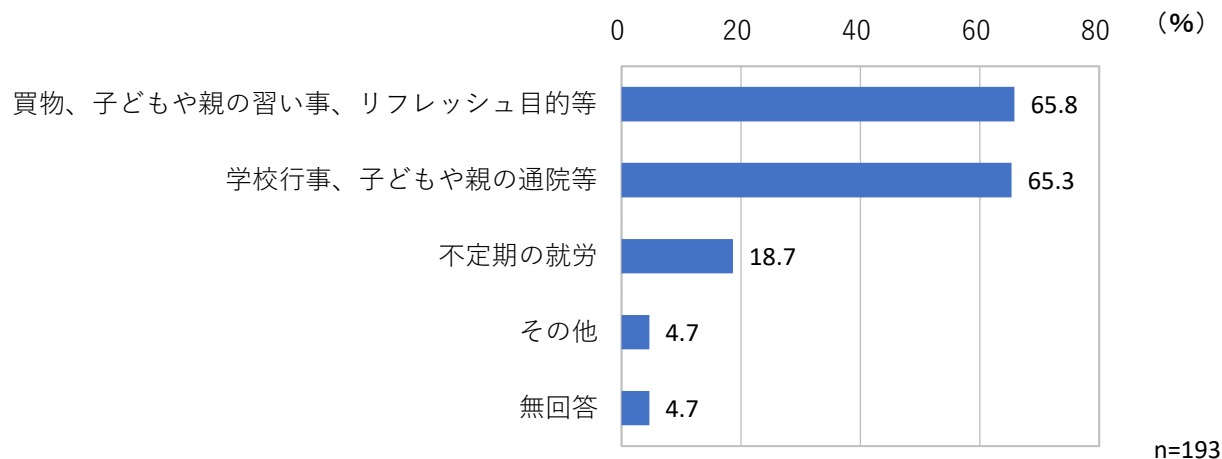
「特に利用する必要がない」の割合が最も高く 72.9%となっています。次いで「利用料がかかる・高い」（21.0%）、「利用方法がわからない」（19.6%）となっています。

問 29 私用、親の通院、不定期の就労等での利用希望【年間/日】（SA）



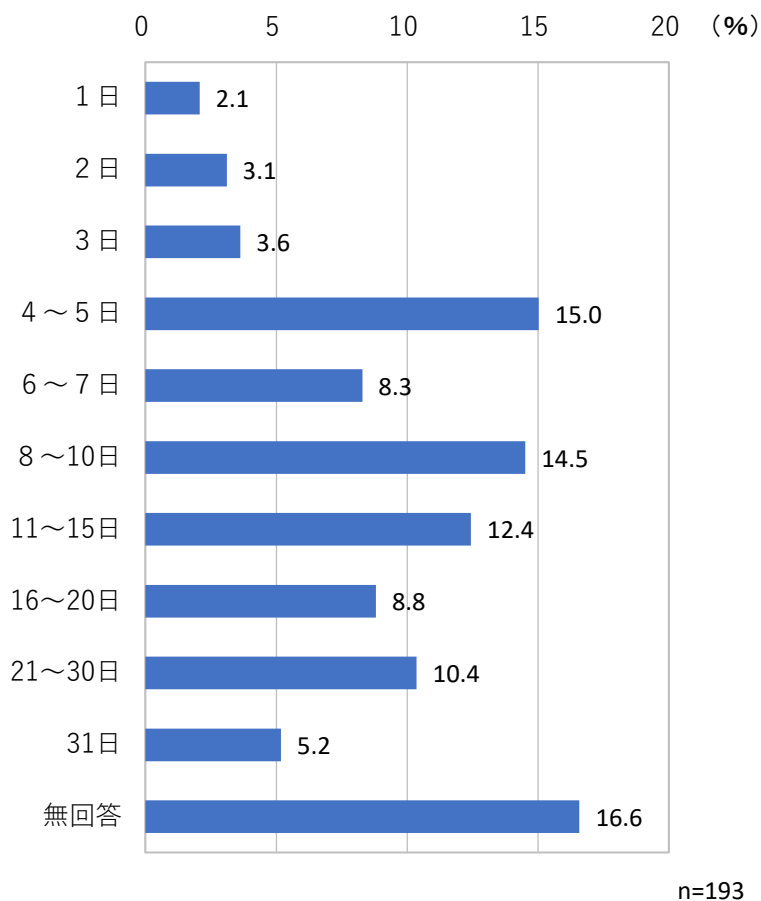
「利用したいとは思わない」の割合の方が高く 52.4%となっており、「利用したい」が 37.5%となっています。

問 29<1> 不定期の教育・保育事業へ利用希望時の目的



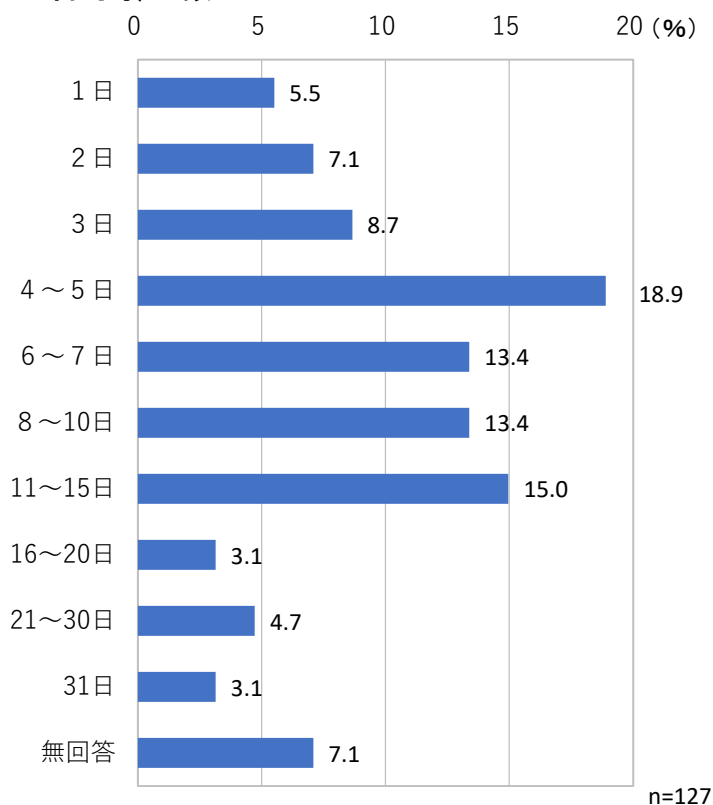
「買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等」の割合が最も高く 65.8%となっています。次いで「学校行事、子どもや親の通院等」(65.3%)、「不定期の就労」(18.7%)となっています。

問 29<1> 不定期の教育・保育事業へ利用希望の日数合計/日



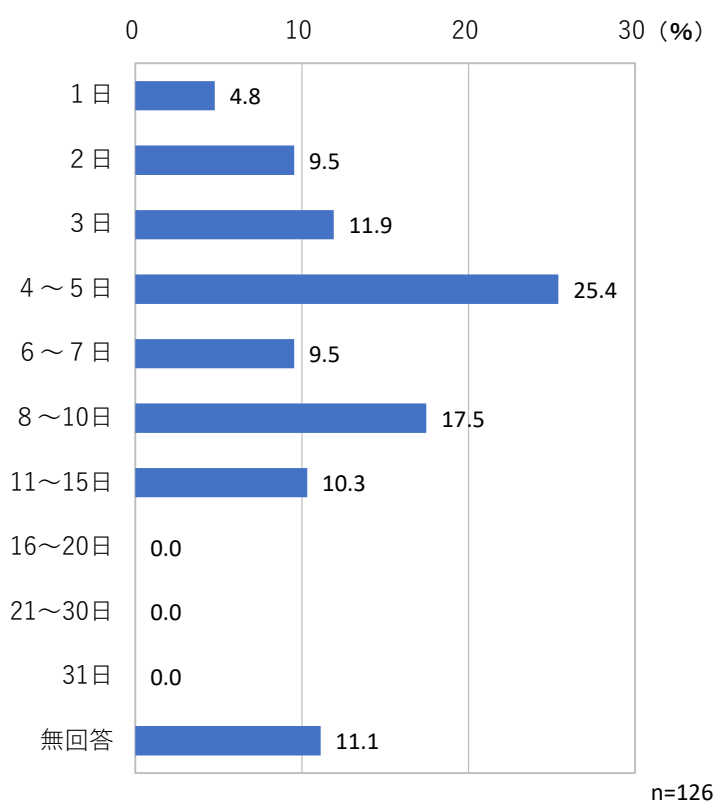
「4～5日」の割合が最も高く 15.0%となっています。次いで「8～10日」(14.5%)、「11～15日」(12.4%)となっています。

ア. 買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等/日数



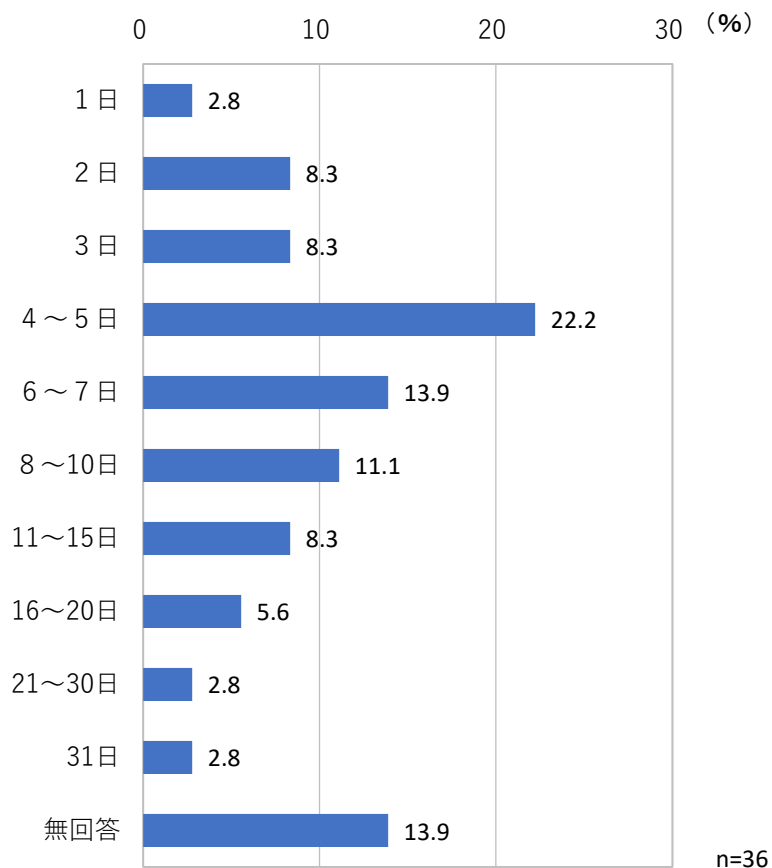
「4～5日」の割合が最も高く 18.9%となっています。次いで「11～15日」(15.0%)、「6～7日」、「8～10日」(各 13.4%) となっています。

イ. 学校行事、子どもや親の通院等/日数



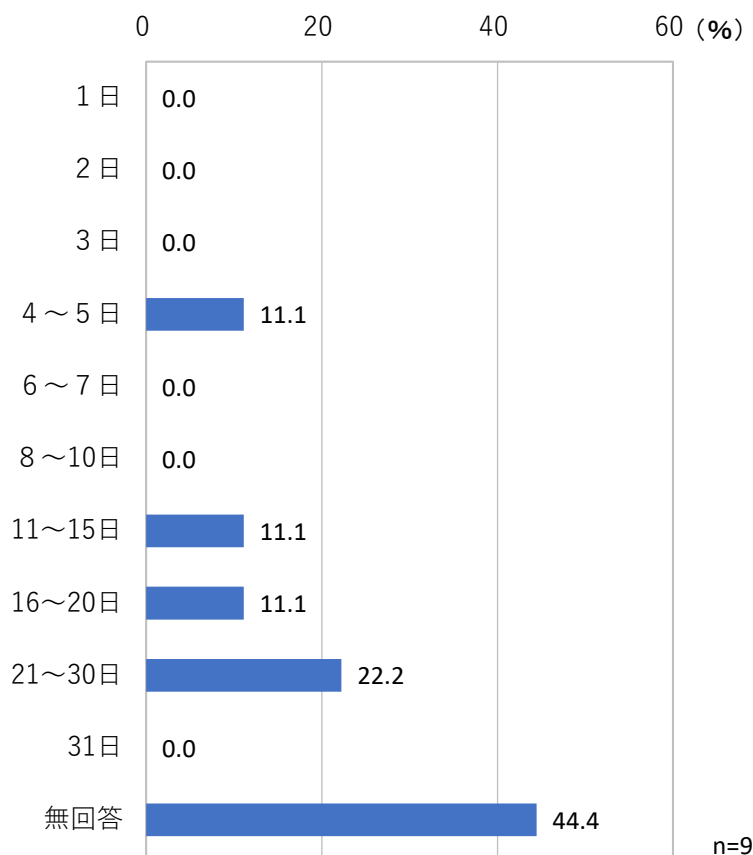
「4～5日」の割合が最も高く 25.4%となっています。次いで「8～10日」(17.5%)、「3日」(11.9%) となっています。

ウ. 不定期の就労/日数



「4~5日」の割合が最も高く 22.2%となっています。次いで「6~7日」(13.9%)、「8~10日」(11.1%)となっています。

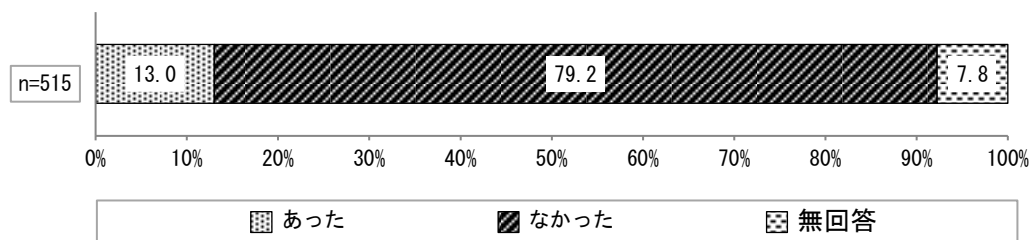
エ. その他/日数



「21~30日」の割合が最も高く 22.2%となっています。次いで「4~5日」、「11~15日」、「16~20日」(各 11.1%)となっています。

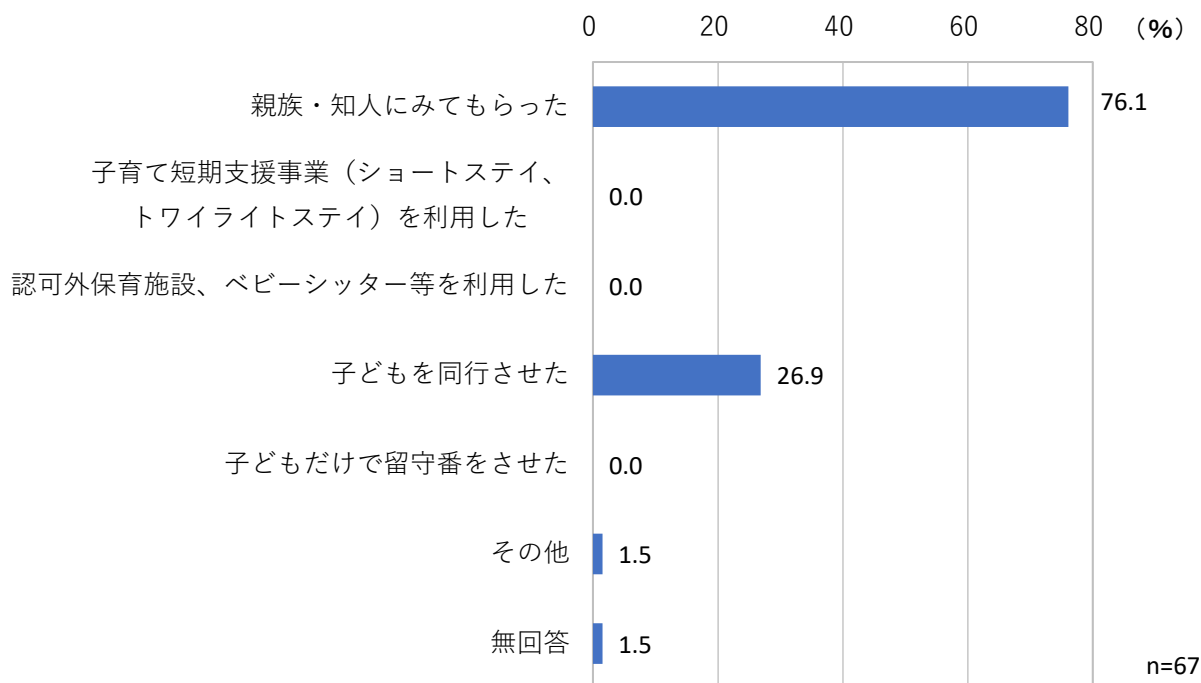
（４）宿泊を伴う一時保育の利用について

問 30 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで家族以外に見てもらわなければならなかった（SA）



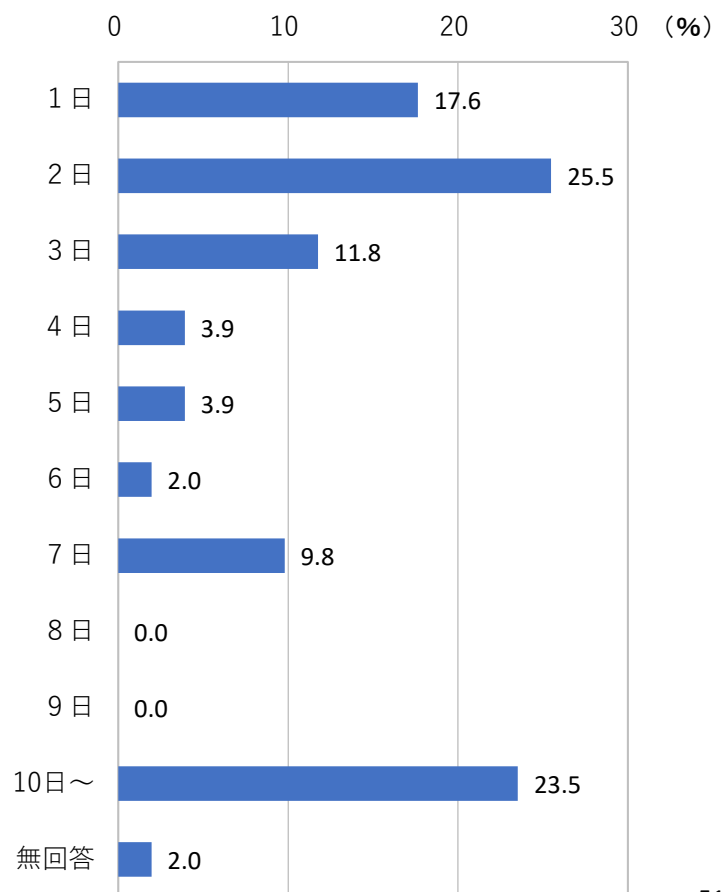
「なかった」の割合の方が高く 79.2%となっており、「あった」が 13.0%となっています。

泊りがけ保育必要時：1年間の対処方法（MA）



「親族・知人にみてもらった」の割合が最も高く 76.1%となっています。次いで「子どもを同行させた」（26.9%）となっています。

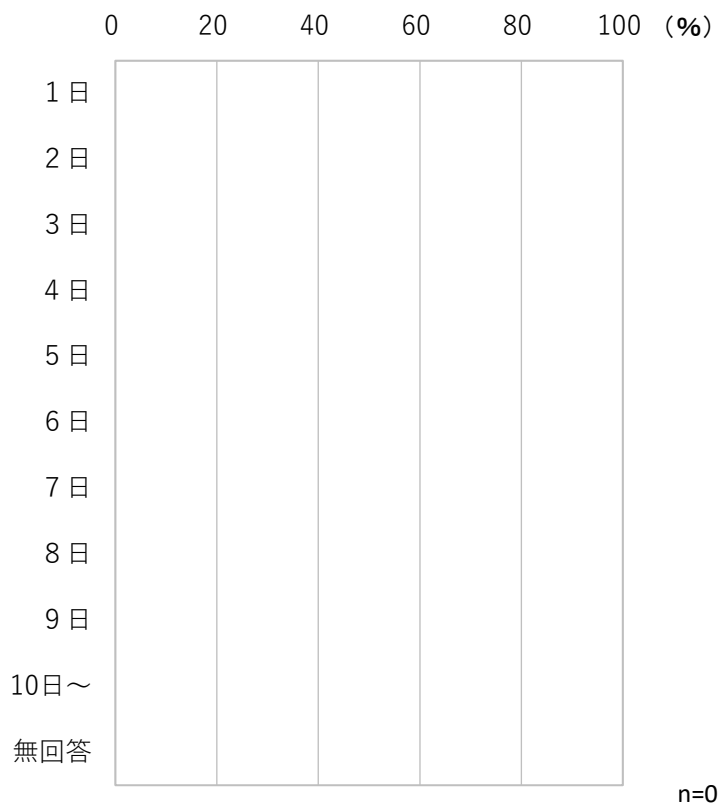
ア. 親族・知人にみてもらった/泊りがけ保育実際/年間日数



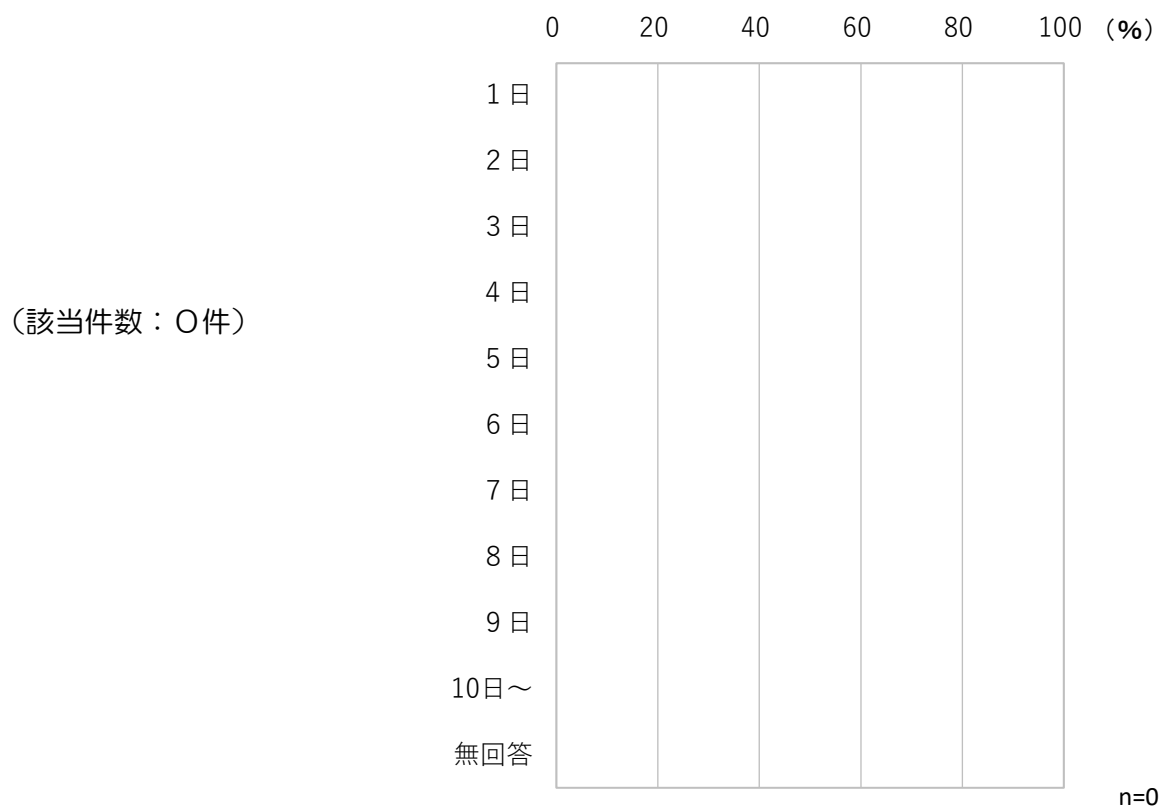
「2日」の割合が最も高く 25.5%となっています。次いで「10 日～」(23.5%)、「1 日」(17.6%)となっています。

イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）を利用した/泊りがけ保育実際/年間日数

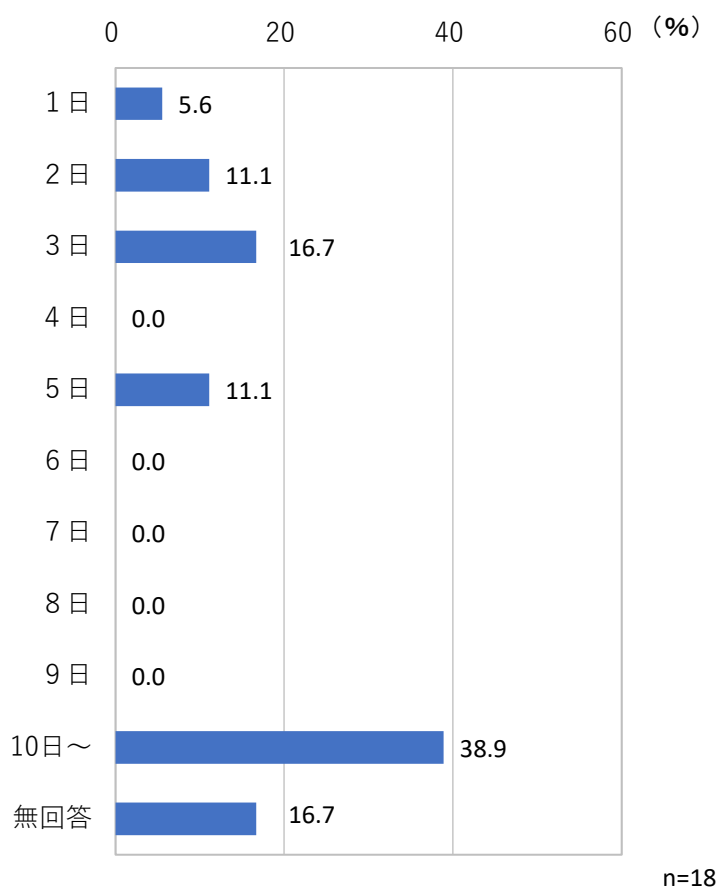
(該当件数：0件)



ウ. 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した/泊りがけ保育実際/年間日数

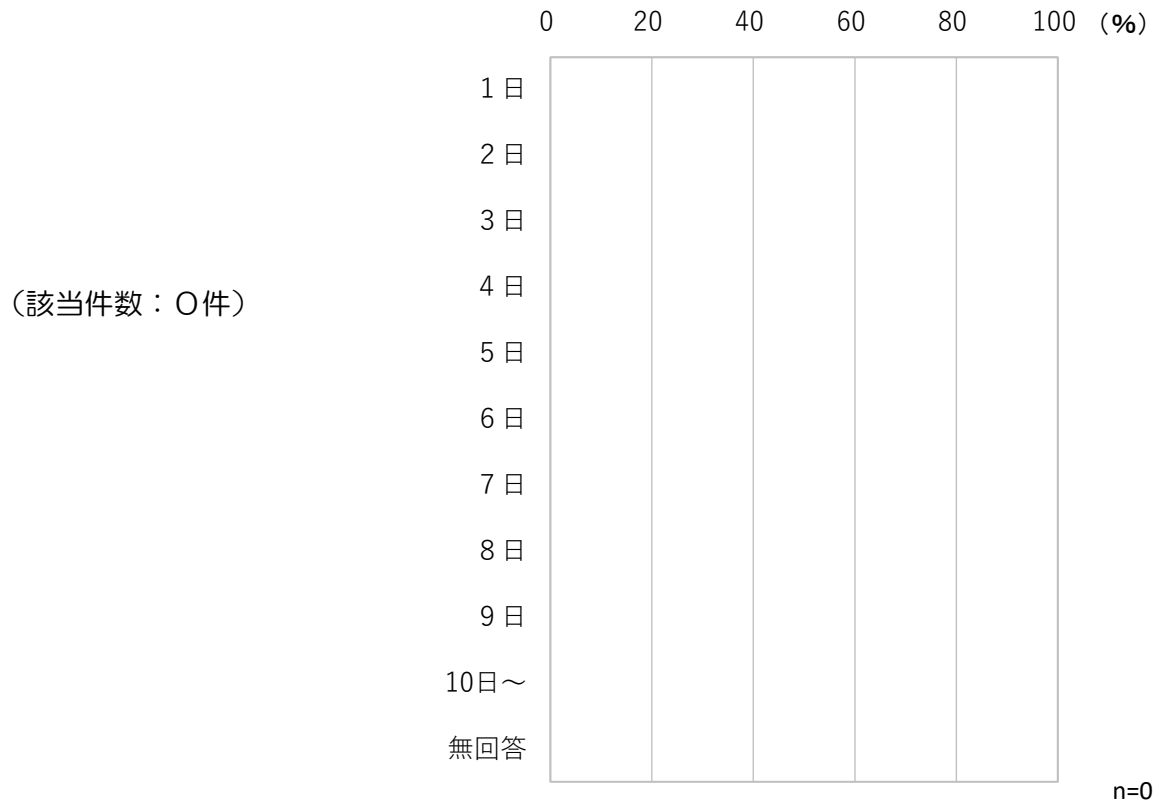


エ. 子どもを同行させた/泊りがけ保育実際/年間日数

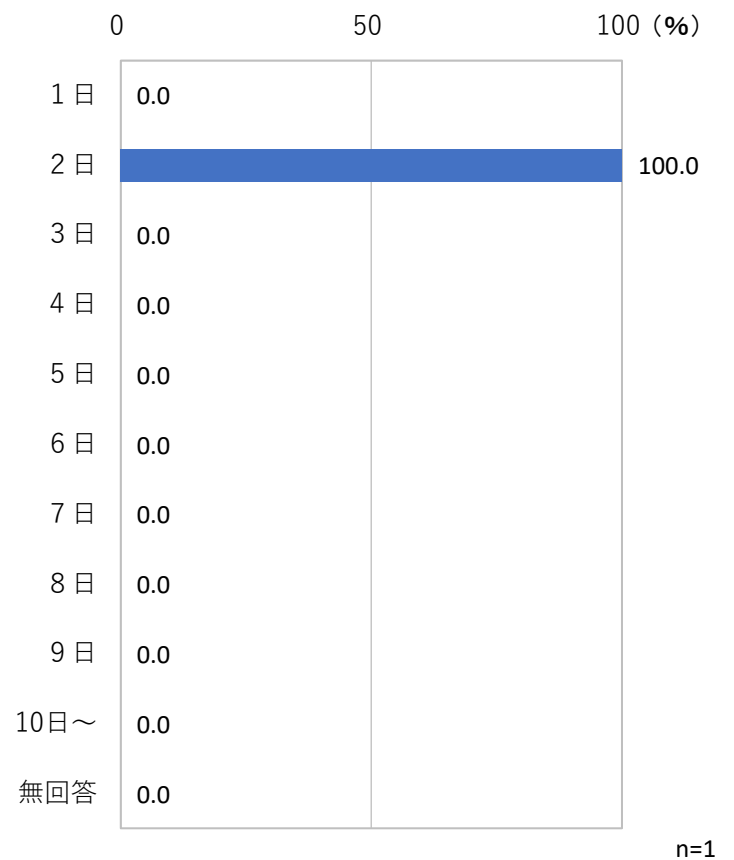


「10 日～」の割合が最も高く 38.9%となっています。次いで「3 日」(16.7%)、「2 日」、「5 日」(各 11.1%) となっています。

オ. 子どもだけで留守番をさせた/泊りがけ保育実際/年間日数

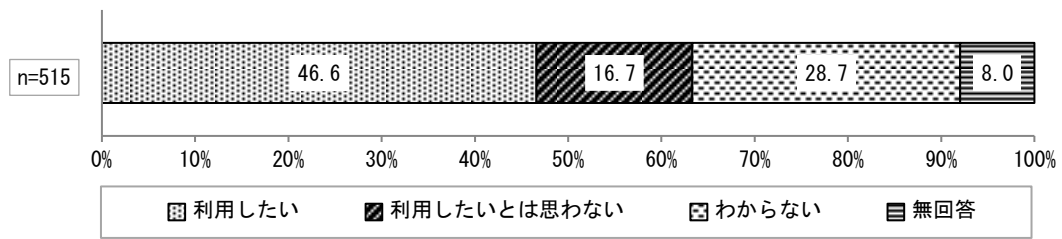


カ. その他/泊りがけ保育実際/年間日数



「2日」の割合が 100.0%となっています。

問 31 月 10 時間程度の利用枠の中で、保育所（園）や幼稚園に時間単位で通園が可能な場合の利用の有無（SA）



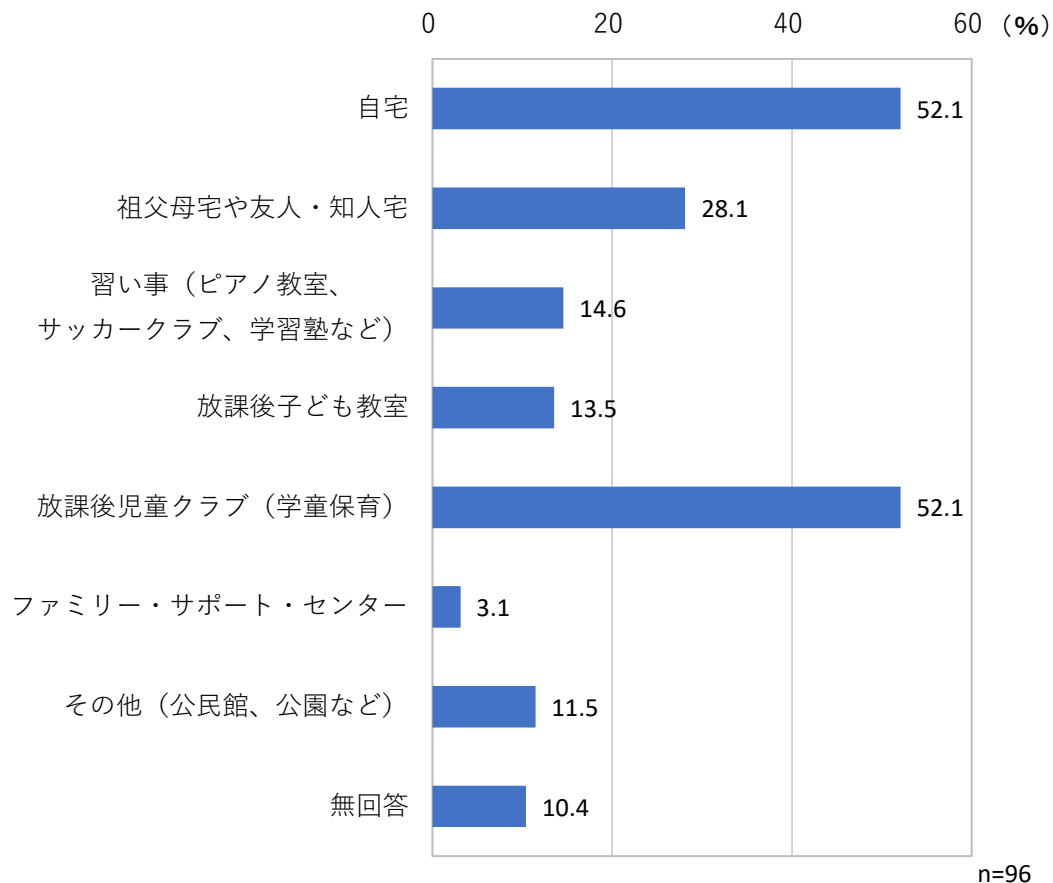
「利用したい」の割合が最も高く 46.6%となっています。次いで「わからない」（28.7%）、「利用したいとは思わない」（16.7%）となっています。

3 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後や夏休みなどの長期の休暇中の過ごし方について

問 32 放課後過ごさせたい場所（小学校低学年）

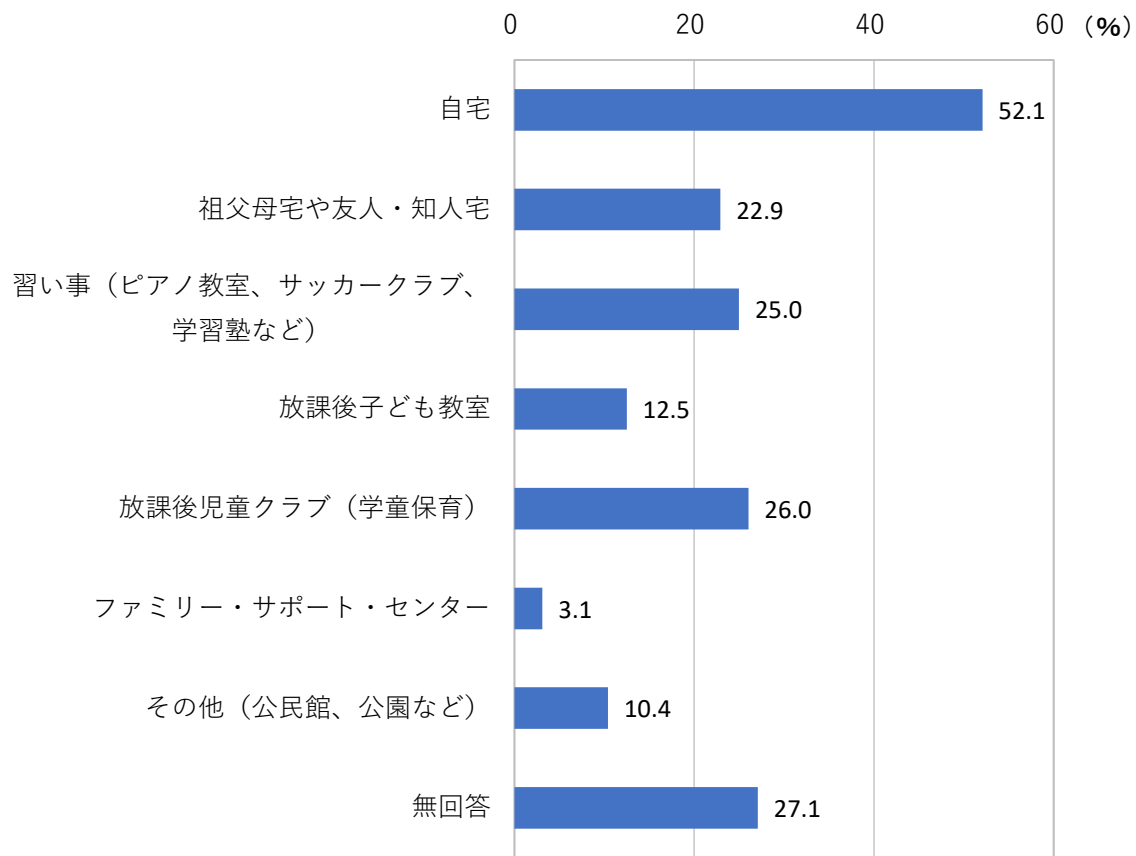
1～3年生



「自宅」、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が最も高く、ともに 52.1%となっています。次いで「祖父母宅や友人・知人宅」（28.1%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（14.6%）となっています。

問 32 放課後過ごさせたい場所（小学校高学年）

4～6年生



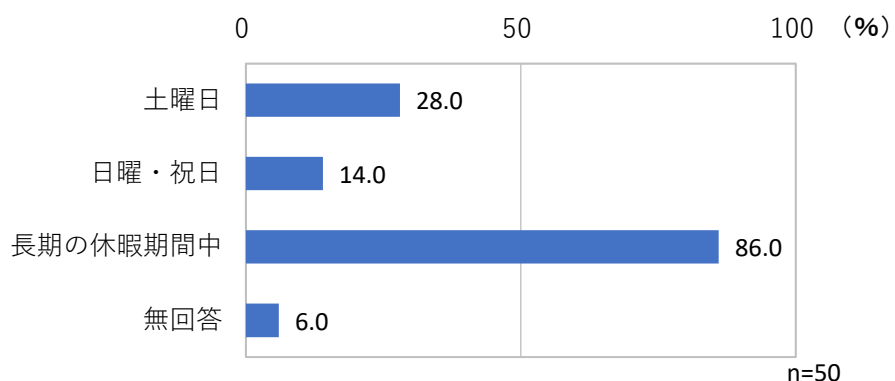
n=96

「自宅」の割合が最も高く 52.1 %となっています。次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（26.0 %）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（25.0 %）となっています。

（２）土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用について

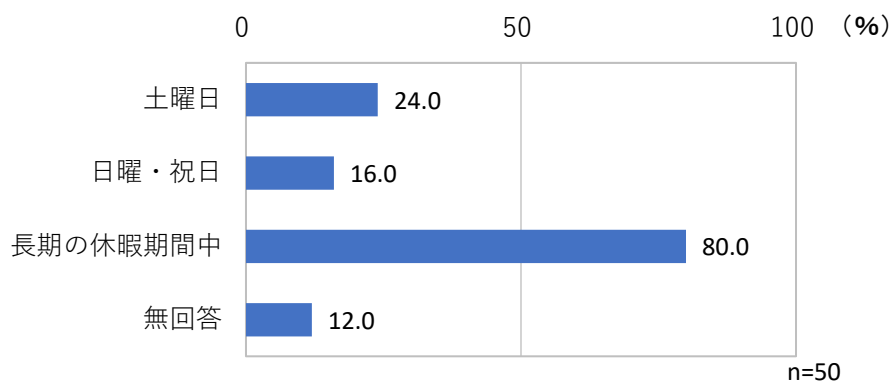
問 32-1 放課後児童クラブの利用希望（MA）

1～3年生



「長期の休暇期間中」の割合が最も高く 86.0%となっています。次いで「土曜日」（28.0%）、「日曜・祝日」（14.0%）となっています。

4～6年生



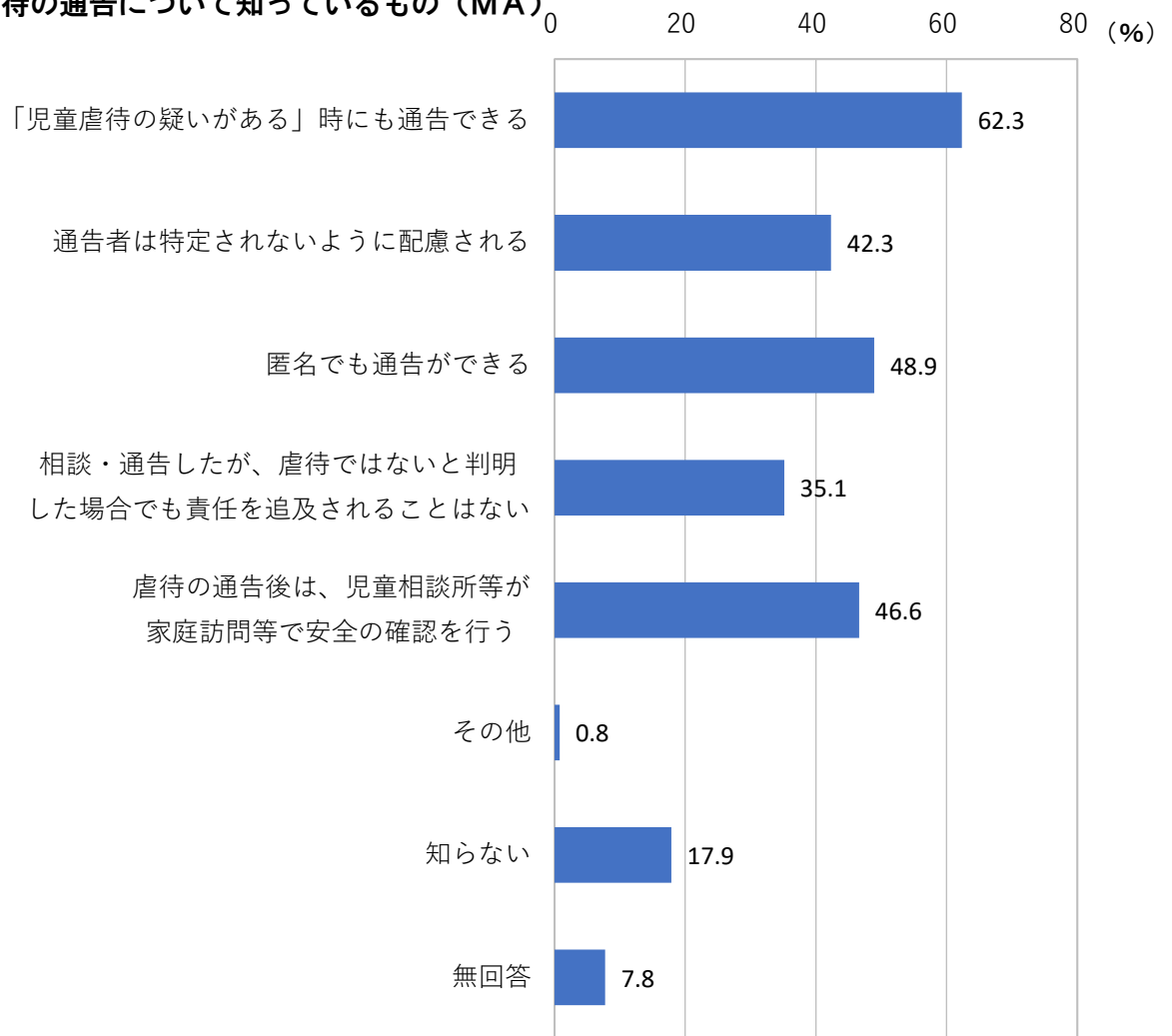
「長期の休暇期間中」の割合が最も高く 80.0%となっています。次いで「土曜日」（24.0%）、「日曜・祝日」（16.0%）となっています。

第5章 児童虐待に対する意識

1 児童虐待に対する意識について

(1) 児童虐待に対する理解・認識について

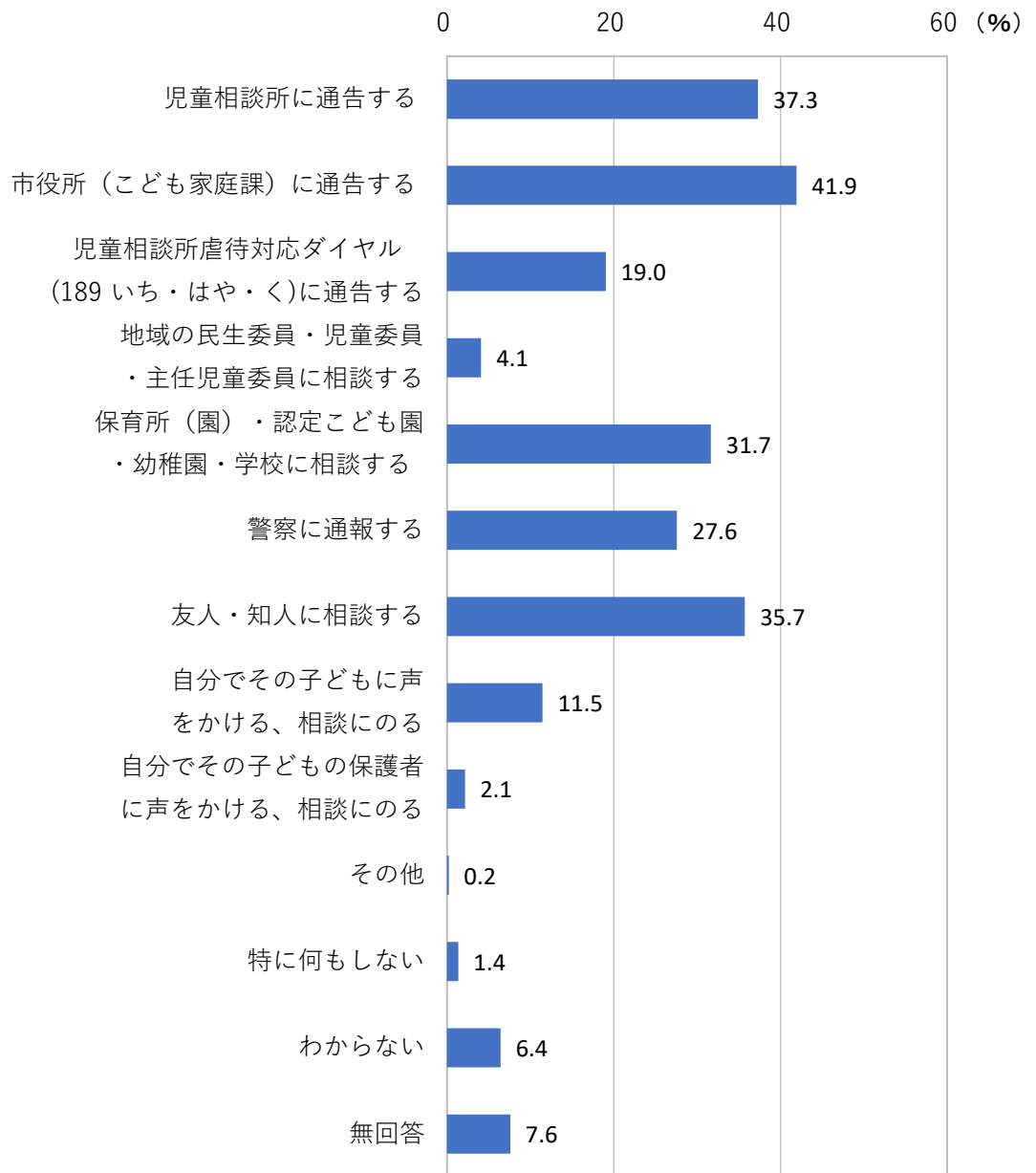
問 33 児童虐待の通告について知っているもの (MA)



n=515

「児童虐待の疑いがある」時にも通告できる」の割合が最も高く 62.3%となっています。次いで「匿名でも通告ができる」(48.9%)、「虐待の通告後は、児童相談所等が家庭訪問等で安全の確認を行う」(46.6%)となっています。

問 34 児童虐待を受けた（その疑いを含む）と思われる場合にとる対応（MA）

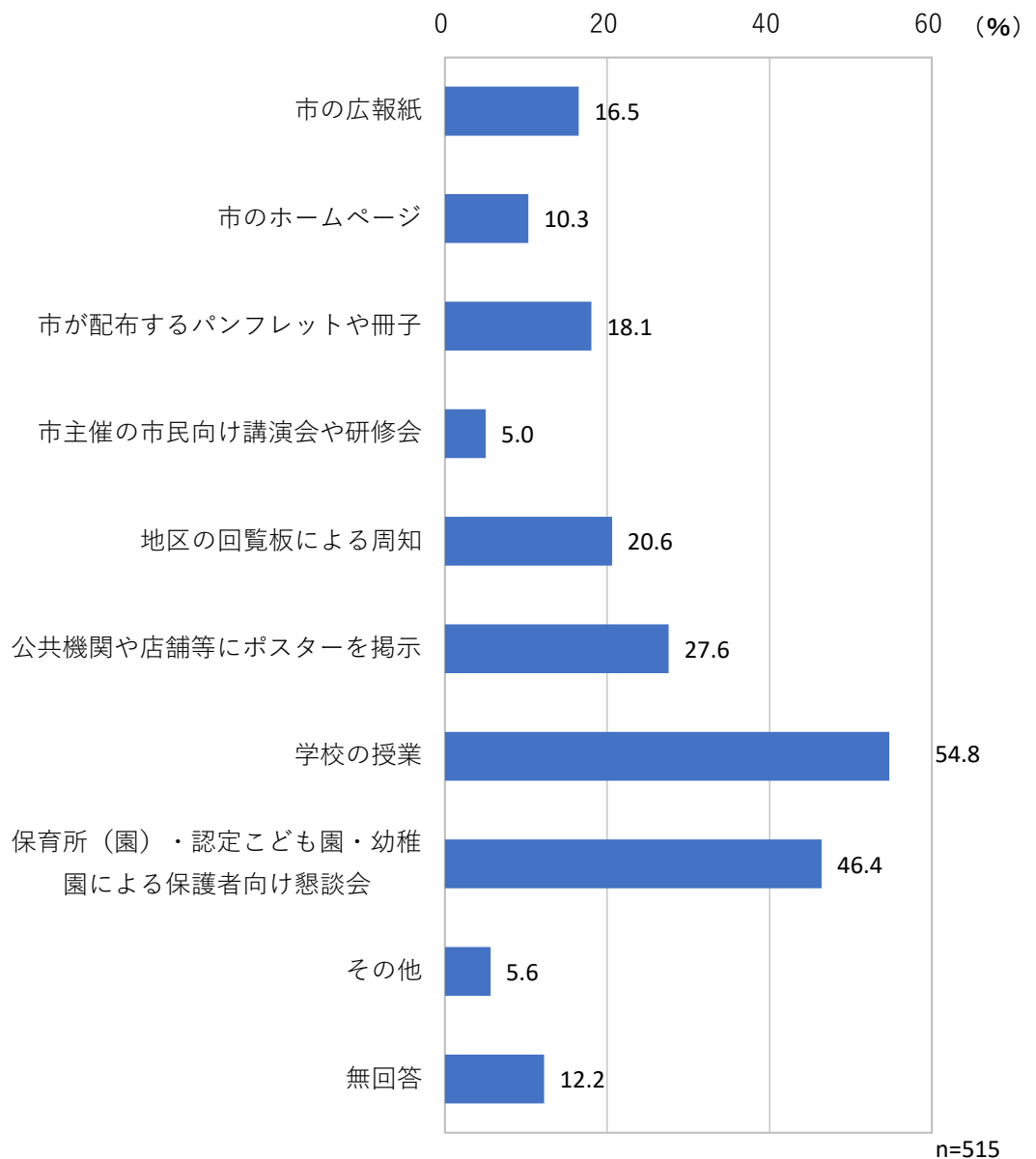


n=515

「市役所（こども家庭課）に通告する」の割合が最も高く 41.9%となっています。次いで「児童相談所に通告する」（37.3%）、「友人・知人に相談する」（35.7%）となっています。

問 35 児童虐待防止の啓発活動のうち、効果的であると思う取り組み（MA）

※主に当てはまる3つ



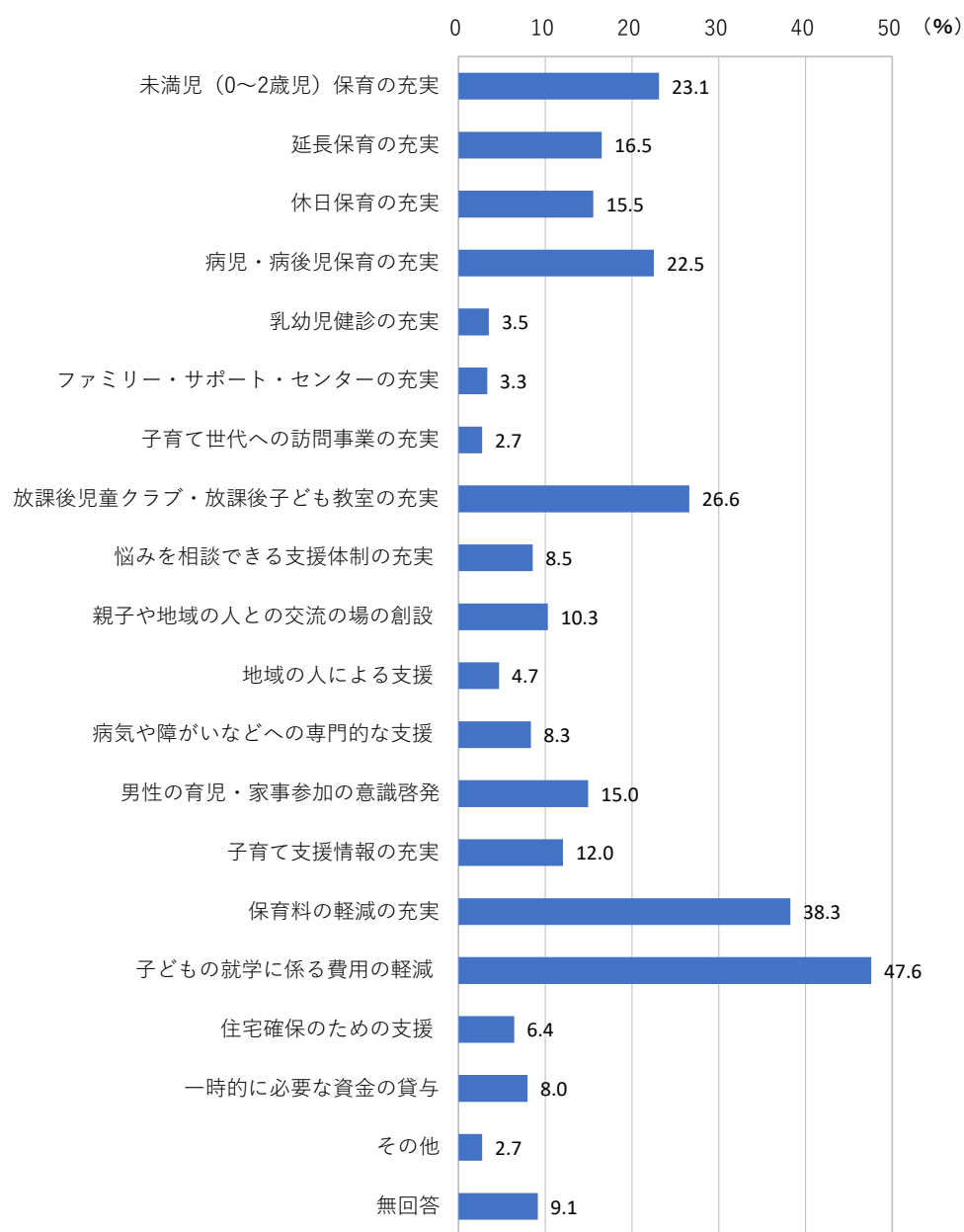
「学校の授業」の割合が最も高く 54.8%となっています。次いで「保育所（園）・認定こども園・幼稚園による保護者向け懇談会」（46.4%）、「公共機関や店舗等にポスターを掲示」（27.6%）となっています。

第6章 望まれる子育て支援サービス

1 今後希望する子育て支援サービスについて

(1) 今後希望する子育て支援サービス

問 36 今後、充実を希望する子育て支援サービス（MA）※主に当てはまる3つ



n=515

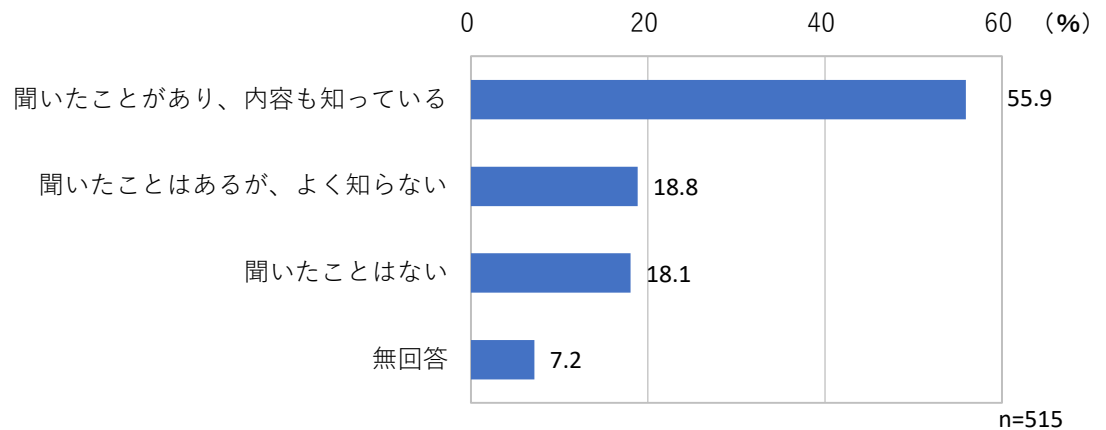
「子どもの就学に係る費用の軽減」の割合が最も高く 47.6%となっています。次いで「保育料の軽減の充実」（38.3%）、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実」（26.6%）となっています。

第7章 ヤングケアラーに対する意識

1 ヤングケアラーについて

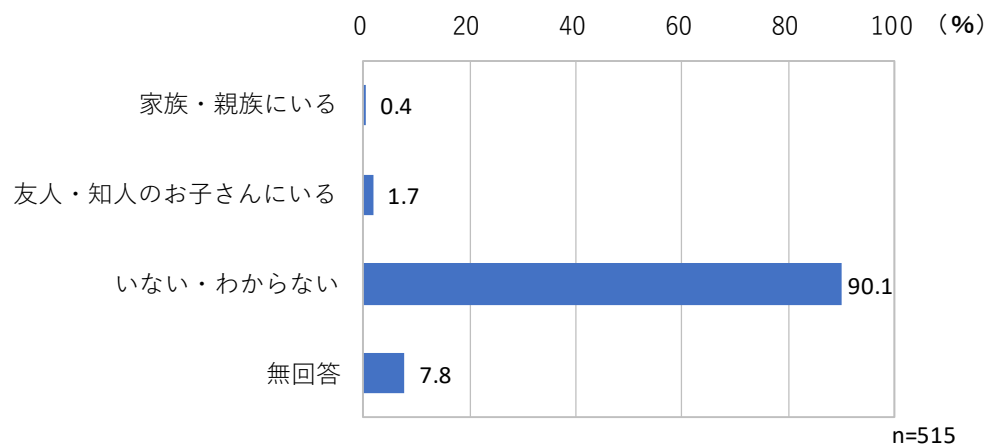
(1) ヤングケアラー

問 37 「ヤングケアラー」という言葉の周知（SA）



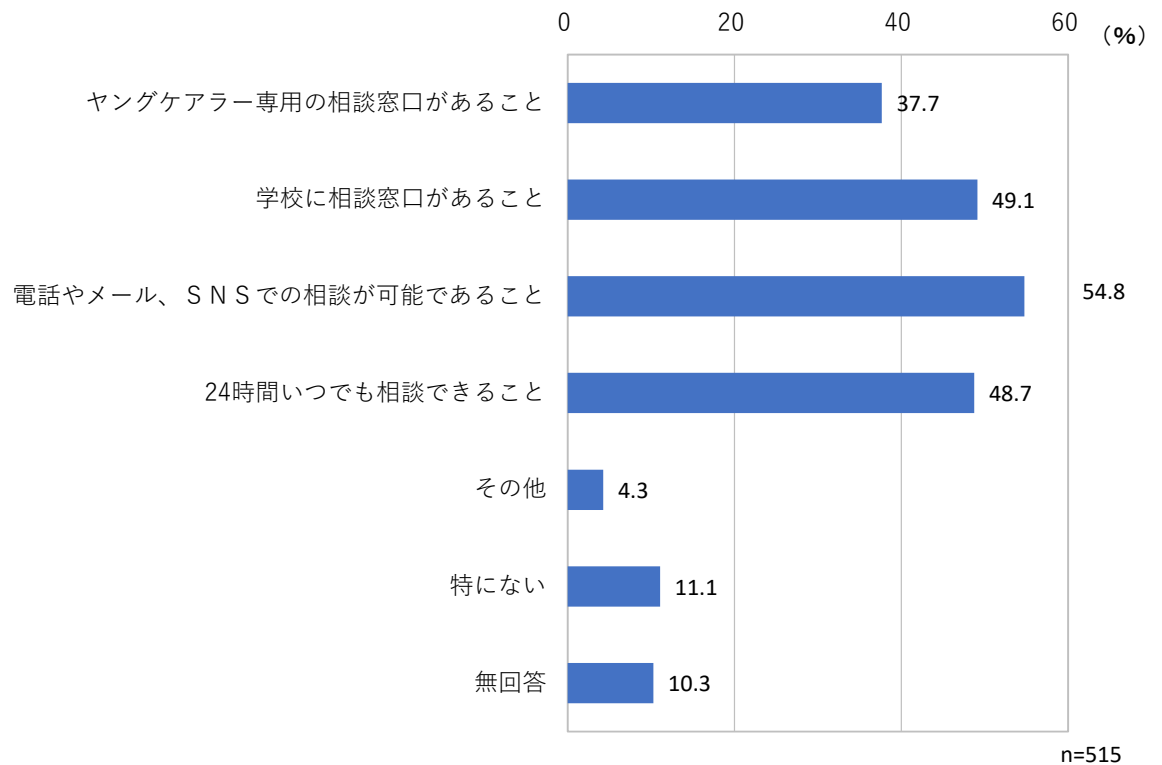
「聞いたことがあります、内容も知っている」の割合が最も高く 55.9%となっています。次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」（18.8%）、「聞いたことはない」（18.1%）となっています。

問 38 ヤングケアラーの有無【家族や親族、または友人・知人】（SA）



「いない・わからない」の割合が最も高く 90.1%となっています。次いで「友人・知人のお子さんにいる」（1.7%）、「家族・親族にいる」（0.4%）となっています。

問 39 相談しやすい環境づくりに必要なこと（SA）



「電話やメール、SNSでの相談が可能であること」の割合が最も高く 54.8%となっています。次いで「学校に相談窓口があること」（49.1%）、「24 時間いつでも相談できること」（48.7%）となっています。

第8章 自由意見

自由意見【就学前】

※掲載にあたっては、意図を踏まえ調査票記述内容に対し一部編集を行っています。また、特定の個人や団体を指しているご意見につきましては、特定できる箇所のみ編集を行っています。

1. 育児支援等について

- 育児にお金はずっとかかるので、すすくギフトのような支援はもう少し長いと助かります。もしくは金銭的な支援がもう少し手厚いとうれしいです。お金がかかるため働かざるを得ないので、0歳児～預けやすい環境がもっとあるといいと思います。
- 私が出産した時にはなかったヘルパー派遣ができて良かったと思います。子育て支援センターなど利用できる情報があまり得られなかったので、子どもが小さい時には日中家に2人きりの生活でした。利用できる施設の情報をもっと発信してほしいと思います。また公園などの遊び場も、車が停められないや遊具がない、雑草がすごいなど遊びに行きたいと思える所が少なく、そこも遊具が使えないまま何年も放置されていたりします。もっと遊びたいと思える公園にしてほしいです。
- いろいろな支援の場があっても、あまり情報がなかったり身近に感じられなかったりで利用できず、家族の中で抱えることが多かった。支援の場はあっても事前の手続き等が必要で、いざお願いしたいという時にお願いすることができず、利用の機会がなかった。もう少し身近で簡単に利用できるものだと思う。
- 市の子育て支援事業について、私はあまり詳しく説明を受けたことはありません。理由は、妊娠した際に市役所から受けた説明は、妊娠届を出した日に母子手帳をもらって妊娠中に気をつけることがほとんど。次は出産した後に出産届を出しに行った夫から聞いた話だけだったからです。そのせいか、出産後なかなか体調が回復せず初めての育児に不安と絶望を抱えたまま退院日が迫る中、産後ケアの存在を知らないまま入院中泣きながら過ごしました。産後の事業についてもっと詳しく説明してくれる機会がもっとあれば、あんなに悩まなくて辛い思いをしなくて済んだと思います。市役所の事業は全て受け身体制で、産後に保健師さんが訪問するだけでなく、産前のケアをもっと充実させてほしいと思いました。
- 色々サポートがあり助かっています。これから手厚いサポートをお願いします。
- 色々なサポートをしてもらえていて良いと思っています。これから子供が幼稚園などに行くとどうなるかわかりませんが、これからもサポートお願いしたいです。
- 富津市には多くの設備が整った公園や施設がありません。この市には大きな可能性があります。未来に前向きな可能性を持つ新しい世代に目を向け始める必要があります。まず最初に充実した施設を整えることです。新しくこの地域に移住したい人やした人達には不安しかありません。将来を良くしていくのは今から大きくなっていく子供達です。市役所に1台しか授乳室がないのは大問題だと思います。もし大きなイベントで授乳したい人の行列になった場合はどうするのでしょうか？そしてこの環境で育った子供達は古びた施設や街並みを見て永住したいと思いますでしょうか？せっかく多くの自然が残る市なのに、少子化が進むきっかけを作ってるのは老人達です。家の庭で毎日のようにたき火をする人達もそうです。森林でのゴミ捨てなど

の非社会的な行為。

- 多胎児の家族に対しての子育て支援を充実させてほしい。各家族化が進み、母親が担う家事育児の負担軽減の対策と、孤立しがちな母親のケアを具体的に提案してほしい。子育てにおいて必要な作業はたしかに慣れない中で大変と思ってきたが、それより辛かったのは「孤独」な時間が多かったこと。配偶者がいても協力してもらえない場合の支援があったら救われる人もいると思います。
- 子供服やおもちゃのリサイクルの場があると嬉しいです。職員の方は大変かと思いますが、支援センターの休館日をずらす、土日祝日の開館をしていただけると助かります。
- 育休中はよくカナリエに行き遊ばせて、スタッフの人に沢山話を聞いてもらいすごい助かりました！仕事をしていると確かに家事や自分の時間も大切ですが「子供との時間をもっと増やしたい」とも思います。私の実家の市では保育2人目無料です。富津でもそうになると嬉しいです。自然沢山でいいですが、小さい子も安心して遊べる公園が近くにあると嬉しいです。
- 働いていて小さい子どもがいて、子育て支援等の情報は知りたいと思っていても、家事育児に追われなかなか調べたりすることができないので、自分は知らないことが多いかもしれないと感じました。（今回のアンケートで。）特に市のホームページはあまり見なかったので、できれば①保育所等を通して②何か市などで行う子どもが集まるイベントなどで紙ベースの子育て情報がいただけたらうれしいなと思いました。
- 出生届を提出した際、可燃ごみの袋を大量にいただけてありがたかったのですが、枚数が減っても良いので20lではなく30lのごみ袋をいただけたらもっと助かります。
- 子供の成長についてアドバイスしてるつもりのようなのだが、親にとって不安になるような発言しづらいので、相談しなければよかったと思うことが多いイメージしかない。他のママ達も同じ話をしていたので、自分だけではないと思った。正直関わりたくない。
- 子育て、仕事、両立はしんどい。
- 当時は情報がなくわからなかった。もっと手紙や回覧板などでたくさん情報を発信してほしい。病院からとかでも…。
- 今後も子育ての環境や支援を積極的に行ってもらいたい。
- 子育て支援などもう少し力を入れていただきたいです。子供の物など少し買っただけでもすごく高く…。仕事場も人件費削減といって働く時間が短くなっているので、子育て支援などでも一時的な必要な資金をお願いします。
- ワンオペ時にサポートがほしい。
- 南房総市を良い例に、広い地域での少子化において対応しているものを参考にしても良いのでは。他にもあると思う。〈金谷保育所です。〉異年齢の子供たちでの良いところ（保育において）あるのは、兄弟をみても理解できるが、限界があると思う。既にここ数年出生もしていない、1才児、0才児も各1人。来年度は6名です。保護者が動くのを待つのですか？
- 産休・育休をとり1歳で仕事復帰しましたが、未就学児の保育料が高かったです。現在は年少から保育料無償化になりましたが、兄弟の保育料も支払っていた時期があり、家計を圧迫していました。
- 第1子の時に「分からない事だらけ」と「分からない場所」で右も左も何も分からない中で出産で育てていくことに不明だらけでしたが、市役所の子育て支援の〇〇さんに出会い色々な面で支えてもらいました。今では子供たちを連れて市役所に行くことが楽しみです。子供のこ

ともそうですが母の私のメンタルケアまでしてもらえています。ありがとうございます。

- 兄弟がいれば小学生でもカナリエに入れるようになるとうれしいです。雨の日でも小学生が利用できる遊び場があったらいいと思います
- 下の子の時にはしまったオムツのプレゼント（必要な物えらぶ）はすごく助かりました。富津市は生まれてきた子に健診が近い市より細かく、多くあるとも聞いた事があります。産後、ナースになりやすいので、お母さんが、話をしやすいきかいをこのまま継続して欲しいと思っています。ランドセルを背負って30分以上を歩く子もいると思うので、巡回バス等あれば、助かる。子供が安心してあそんで、育っていける街は親からしたら切に望む事なので、少しでも必要な事が必要な方に届く市を期待しています。いつもお世話様です。
- 友人に流山市民がいますが、各方面で進んでおり羨ましいです。富津市は進んでいるとは言えないので、今後に期待しています。
- 子供を作りやすい環境、育てやすい環境 費用面や制度の見直し 大規模な改革を求む
- 子育て支援センターをもっとアクセスしやすいところに作ってほしい
- 子どもが生まれてからの1年間、毎月3500円分の乳幼児用品の支給が大変ありがたかったです。1人目の子どもの時はなかったので、この短い期間に子育て支援政策を進めてくださっていることに驚きを感じました。目に見える変化であり、実感できるものだったので富津市が変わってきていることを感じられて、嬉しく思いました。他県には、公営もしくは無料の大型遊具のある公園、施設がさまざまある中で、千葉県にはそういった施設が少ないと感じています。小さな公園ではなく、多少入園料を払っても幅広い年齢が楽しめる大型遊具が充実している公園があるともっと活気付くのではないかと強く感じています。
- 親族が遠方、さらにコロナもあり、産後非常に心細く感じました。産後ケア施設や、ドゥーラのような制度が充実していたら嬉しいです。
- カナリエを一時期利用していましたが、上の子が小学生になるタイミングでいけなくなってしまうました。兄弟で連れていきたかったので、残念でした。小学生もマナーを守って利用できるように工夫してほしいです。
- もう少し分かりやすく簡潔に情報が仕入れられたらいいと思います。現状は知ろうとしないとかダメだったり市役所に行かないと分からないこともあるので。
- 主人が育休制度を受けられていたら 可愛い時期と一緒に子育てできたんだろうなと思うと残念です
- 子育て支援、補助金など満足している。育てやすい環境だと思う。
- 一歳までのオムツ等の支援とても助かりました。このような事業ももっと充実したら素敵だなと思いました。
- 子育てで不安が多いです。小さな事で言葉にすることでもない事も多いですし、数日経てば状況が変わりなんとか過ぎてしまうのですが、悩んでいると言うのもなんだか勇気がいる事が多いです。もちろん子育てでとても幸せな気持ちにも沢山なります。ただ、子育てをしている今は、とってもパワーを使います。子育てしている自分を誇らしく思えるような社会、いつでも街の雰囲気やサービスで 私たち子育て中の者や未来の子ども達を応援しているよ！とあたたくそして地域の人たちとみんなで楽しく見守って頂けると 嬉しいです。今現在、色んな方のおかげ様ではありますが、感謝と共にお願いさせていただきます。
- 富津市は子育て支援に力を入れて下さっている市だと思います。 すすくギフトも有難い

し、子育てのことで相談できる窓口もあり、心強いです。

■令和元年～2 年にかけて産休明けで保活した時ですが、市内外 30 力所以上保育園の申込をしましたがどこにも入れず木更津の認可外保育を利用しました。一月後市内認可保育園に入園可能と連絡いただきましたが、一月分の認可外入園料・保育料は多額でした。3 人兄弟で市内保育園を利用しておりましたが上 2 人は近隣の保育園に通っており一番下の子だけ違う園でした。兄弟同一の園に通えるよう転園の申込をしておりましたが 4 月入園も落ちてしまい、理由を市に問い言わせると既に認可園を利用できているので産休・育休明けの方が点数が高くなってしまったと言われました。私は会社都合で育休をとれず産後寝不足の中高額な保育料を払って遠くの保育園まで送迎しているのに、4 月入園まで待てる方が優先なんだと悲しくなりました。4 月になり一番上の子が小学校に入学しコロナ禍で入学後臨時休校だったので学童保育・近隣保育園・下の子の保育園の 3 か所へ送迎した頃はとても大変でした。3 か月後には近隣保育園に入園できたので時間に余裕ができました。今では産後の保活は修行だったなと思います。同じような方が今後いないことを望みます。

■子育てに関し、充実したサポートの多い市だと思います。ありがとうございます。

■富津市は子育ての環境や支援する場所が圧倒的に少ないです。産科に行くにしても車が必要だし、子どもが生まれてから通える病院も少なく、遠いところまで通わなくてはいけない時があります。車が必要となるとそれだけで夫の分と、妻の分と 2 台必要でそれだけでお金がかかります。それなのに子育てもプラスされるのに、そこまでして子育てするのは負担が大きいです。もっと子育ての施設が近くに多くあると便利です。買い物するにしても子ども達の方が何かとお金がかかるのに富津市はシニアの待遇の方がいい気がします。もっと子育て世代向けの特売や優遇があってもいいと思います。

■子育ての環境や支援について考えて下さるのは、とてもありがたいです。ありがとうございます。しかし、富津市の人口がみるみる減っている原因は子育ての環境や支援もその 1 つだとは思いますが、1 番は交通、産業だと思います。東京湾口道路、第二のアクアライン、期待しています。

■父親側の育児休暇取得について田舎のこの地域では、まだまだ浸透していない職種がある。事業者や事業所(特に小規模な事業者)には休暇取得に関する理解を深めてもらう必要もあると考える。

■未就学児以上も遊べる支援センターがほしい。親子で体験できる行事 子供と離れて母だけで交流し話せる機会がほしい。(保育あり) 大学費用の無償化や補助金。

■子育て支援を行っていると言っているが、余り役に立っていない。もっと本気で考えて取り組んで欲しい。先日も子育て世代と高齢者世代に 3000 円のふつつんペイ?をいただきましたが、正直 3000 円で何ができると思っの配布なのか理解出来ませんでした。そもそも子育て世代と高齢者を同列で扱っている事が論外だと思います。富津市出身でも富津市に住み続けるメリットが全くなく、近隣で富津市より子育て支援が充実している君津市や木更津市に住んで子育てをする人が増えていると感じている。このままでは、富津市から子供がいなくなってしまう。もっと本気で考え、取り組んでいただきたいです。

■子育て支援センターが出来たり充実してきていると思います。ただどうしても家族に頼らねばならない時があり、核家族だったらもっと大変なのかなと思います。子どもが熱を出したりすると自分が仕事を休まざるを得ない。出席停止期間など体調が回復してからも家で見える人が必

要な時に、ちょうど祖母のパートがお休みの日であれば見てもらいますが、そうでないとしばらくお休みをしないとしない。そういう時に困ったなと感じます。

- 会社で父親の育休が取れても育休時の収入が減り、未満児の保育料が高いので、現実的に父親は育休を取得できない。 まだまだ育休取得できる会社はほとんど無いと思いますが。
- 子育て支援でオムツ等が1年間いただけるのはとても助かりました。2歳くらいまでは大体の人が必要なのでもう少し延長していただけるとよかったなと思いました。0~2歳の保育料が高いため働きたいけど保育料で消えてしまうと悩んでる人がまわりに多かったです。(キャリアのために働いてましたが無償化まではきつかったとの意見) 少子化対策のために子育て支援に力を入れて、市民を増やすと活気づいて結果市が潤うんじゃないかなと思ってます。
- 育児休業中に母子家庭となりましたが、保育料や児童扶養手当が過去の収入から算定されるため、保育料は高く児童扶養手当は貰えずとても生活が苦しいです。
- ・出産後の1年間オムツなどが頂ける制度は助かったので継続してやってほしい。 ・1、2歳児の保育料を安くして欲しい ・子供の眼科検診の充実(デジタル化が進み心配)
- はじめての子育てなので、乳幼児検診が頻回にあるのはとても助かっています。離乳食について、月齢に合わせた作り方や味付けのレシピなどがあるとより参考になると感じました。またカナリエについて、いつも職員さんが暖かく迎えてくださり、親族や知人がいない中でも孤独感を感じず子育てが出来ています。青堀地区あたりにもう1つ同じような施設があるとより利用しやすいと感じました。
- 初めての出産と子育てで、悩む事もたくさんあったのですが市役所の方はいつも親身になり話を聞いて下さるのでありがたく思います。また、0歳の時からの健診も色々質問してしまいましたが、みなさんが嫌な顔せず相談に乗ってくださり本当に感謝しています。以前、健診ではなく悩みがあった時に電話をした際、市役所で話を聞く時間を設けて下さりありがたかったです。今後もよろしくお願いいたします。

2. 医療や発達、障害、出産等について

- 産院がない。(妊娠後期の運転は不安。)歩いて生活できない。(電車が少なすぎる。)子どもの遊び場が少ない。(特に屋内。)通学が心配。(街灯、歩道がない。)
- 妊娠期を含めるなら他の市より支援が少ない気がしました。コロナまっただなかでもあったので、なかなか交流は難しい時期でしたが、市でのパパママ教室も行ってもよかったかなと思いました。
- つわりで仕事を長期間休まざるを得ないことがあり、その際の手当などのことが何も知らずわからずだった。調べればわかることでも、体調が安定してない状況では何もできなかった。会社にも確認してもわからなかったり、自分から聞かなければ教えてくれないことがたくさんあった。お金に関することを母子手帳の受け取りと共に詳しく教えて(資料などでも)ほしいと思いました。
- 陣痛タクシーの利用したい。富津市は産婦人科がないので、陣痛が始まった時タクシーで行こうとしたらタクシーの人にしぶられました…。ですがかかりつけにTELしたら「救急車ダメ」と言われて、夫は仕事ですぐ帰れずでパニックになりました。陣痛タクシーじゃなくても良いので、病院が近くに(産婦人科)ない分いざという時のこと考えてほしいです。
- 富津市に産院がないことに始まり、子育てしづらい環境。御年配を大切にすることは大切だが、

子供が育てづらいため隣市に引っ越す友人も少なくなかった。ひとり親世帯や生活保護世帯への支援は手厚いが、一般世帯への圧迫は楽にならず生活も厳しい現状を知ってほしい。普通の一般家庭が普通に暮らしていくために、様々な面で支援・改革を検討してほしい。

- 私は妊娠中つわりがひどく入院することもありました。家にいる時は家族のご飯を作るのが大変な時もあり、お義父さんもいたので気も遣うし…。そんな時に安く配達してくれるお弁当などがあれば助かると思います。
- 妊娠中、陣痛タクシーがなくて不安だった。
- 産婦人科が市内にないし、小児科はあっても古いのでネット予約などできないのは不便だし、みんな市外へ出て行くのは当然だと思う。都会の良い部分を取り入れてほしい。妊婦健診は費用の負担も大きいため、もっと市の協力が必要！園の預かり保育を利用したいが、1回400円（1人）と高いので利用したことがない。（他県はもっと安い。）耳鼻科がないので困る。佐貫くらいに開院してほしい！切実に！
- 就労している妊婦さんの産前休暇はもっと早く取らせるべき！私も切迫と高血圧症候群になり、大きいお腹をかえて働けるわけがない！育休手当の充実も！せめて子が2歳まではミルク代オムツ代の支援をしてほしい。赤ちゃんでも安全に遊べる場所や施設がない！公園も安全に整備されておらず、少ないし古い！
- 学習障害のある子供のためのスペースやサポート。子供が遊べる公園のあるスペースがある。
- 小児科が少なすぎるのが不便です。産院がないことは問題だと思います。
- 妊婦出産の際、病院では使えるが、助産院では使えません。ということがあったので、病院も助産院も同様の支援であってほしい。
- 妊娠してから出産までの間、かかる費用をすべて市で負担という市がありました。これは助かります。医療費で大人は高いので病院に行くことを控えたりすることがあります。いろいろな費用を市で負担してくれていると生活は全く違うので子育て支援に充実した市へ引っ越していきたいくなります。住みやすいように人が集まる市になると嬉しく思います
- 妊娠期にだんなさんもおなかの大きさ体験できるなど、パパとしてママがどれだけの思いで命を守っているかの教室など開いてほしいと思う。市に人口ふやすには、子供を大切にしていくなち作りが必要だと考えるので未来へのとうしは増やしてほしいと願います。他市で行われた策で成功しているものはどんどんとりいれてほしいと思うので、このような意見を言えるアンケートは定期的にしてもらって意見に耳を傾けて欲しいとおもいます。いつもありがとうございます。
- 産後ケアを3ヶ月ぐらいまでは手厚くして欲しい 2人目、3人目を考えた時に、上の子と家事と赤ちゃんの面倒をこなせる自信が無い 昼間に家事を手伝ってくれるサービスの使い勝手や時間を見直して欲しい 産後、産院に赤ちゃんを預けたり、親子で宿泊できる施設が近場に欲しい
- 産後ケアとか、情報が少なくて困ります。周知が足りないと思います。天羽地区なので、とにかく子供がいなくて孤独な子育てでした。カナリエは近くでいいのですが、天羽地区にもっと魅力的な公園がほしいです！
- 産後半年でも構わないので、週に数日気軽に預けられる場所や室内の遊ぶ場所が充実していれば嬉しかった。第三子の費用軽減と、保育料などの待遇は年々良くなり嬉しい傾向だが、もっとも多いであろう子供が二人の家庭の負担は多いままである。世帯や環境は昔と違い、学童はとても重要な中、費用は高く昼食支援もない学童しか選択できない現状。長期休みの毎日のお

弁当、二人分の利用料の為、就労していても年収ほど豊かな消費選択はできない。

- 定期の検診について、時間帯をなるべく午前中に行なっていただけると親としては助かります。
- インフルエンザワクチンの補助が欲しい。相談窓口より物理的な援助（預かり施設、保育園のスポット利用等）を拡充して欲しい。また、それに伴う保育士さんの給与を見直し、保育士の生活が保証されるようにして欲しい。
- 産後、上の子の気分転換や運動を兼ねてバスや電車で行けたかったが、下の子のベビーカーを持って大貫駅の階段を登り降りしなければならないことや、バスをのり逃がすと1時間以上待たなければならないことから諦めたことが多々あった。子どもたちは電車やバスが好きなので、もっと小さい子が行き来しやすい駅になるとありがたい。
- 妊娠中に話を聞いてもらう場所があったら、よかったかなと思いました。
- 生後3ヶ月頃、私自身が急に高熱を出してしまったが、誰にも預ける事ができず、夫の会社に連絡して無理を言って夫に帰ってきてもらった事があります。夫の会社は夫が休む場合代わりに誰かが出勤しなければならず、代わりに出勤される方にかなり負担をかけてしまい、申し訳ない気持ちになってしまいました。また、私自身が病院に行きたくても娘を預けられなかったもので、我慢したり、娘を連れて病院に行ったりととても大変でした。もし生後半年以内でも申請すればすぐに預けられる、もしくは家に誰か来てくれるサービスがあったら良かったなと思いました。
- 妊娠期や産後、親の運動と上の子の気分転換も兼ねて公共交通で外出したかったが、駅の階段の多さやバスの本数の少なさに結局自家用車移動をした。車は楽だが、子どもはバスや電車が好きなのもう少し使いやすくなると嬉しい。また、公園で暑さを凌げる場所が少なく、妊娠中はしんどかった。遊具も熱すぎて遊べなかったことも多々あった。
- 子どもの医療費の自己負担は0円がいい。
- 1歳までの3500円のサポートには助かりました。おむつ等も対象になるので良かったが、せめて2歳までが良かった。
- 子供の医療費を無料にしてもらいたい。
- ・コロナ禍での妊娠～子育てだったので子育て講座やイベントは軒並み中止、大人と喋る機会もほとんど無いので孤独を感じる事が多々ありました。今後同じような時勢になった時のために、パパママを孤立させないような取り組みを今から考えて欲しいです。（様々な理由で支援センター等を利用できない世帯の孤立防止にもつながるのではないのでしょうか） ・子どもの通学（電車やバスが少ない、統廃合で学校が遠い）や教育環境（同級生が少ない、部活動や習い事の選択肢が少ない）を考えるとこのまま富津市に居て良いのか、君津や木更津に引っ越すべきかと悩んでいます。電車やコミュニティバスの充実か、交通が不便なのを差し引いても住みたいと思える魅力があればなぁと思います。
- 近くに産婦人科がほしい。
- 病気になって通院と治療が必要になり 子どもを病院に連れて行くことに抵抗があり（通院、治療時間含めてほぼ1日かかり）とてもじゃないけど連れて行けない！ そんな時、預けられるところに頼りたかった。けど病気はトップシークレットだったから 役所の方にどこまで伝えなくてはいけないのかも分からず。預け先（例えば保育園）にも病気の内容が通達されちゃうのかとか。 病気のことで精一杯で調べたりする労力を使えず。 結局、どこまで秘密裏に進

めてもらえるのかわからないので 役所に頼ることを断念しました。

- そもそも産院等が地域的には少なく、出産前後の不安が多くある事から産院を誘致し、補助金等しっかりと出すべきである。そうすることにより地域的にも雇用も生まれるし、近くに産院があることで安心出来る。それが結果的に人口増を見出せると思います。

3. 遊び場や公園等について

- 家の近くに遊具がある公園がないため、あるといいな、とは思う。
- 金谷に公園がほしい。
- 富津は外、室内共に小さい子が遊ぶところがないと思います。遊具が沢山ある公園、雨でも遊べる場所、小学生ぐらいが集えるところがないと思います。
- 公園などの遊具の修繕や改善を一早くやっていただきたい。公園に行っても使用できる遊具が少なく遊べません。(コロナ以降ずっと使用できないものを放置されている。)
- 近くに小さい子でも遊んでいて安全な公園があると助かります。天気の良い日に思いっきり庭で遊ばせたくても、車が多いので危なくボール遊びもできません。少し遠出をして公園に行ったとしても、お金がかかってしまいなかなか連れて行ってあげられません。
- 自宅から徒歩で行ける公園がなく遊ぶところが少ない。市内で遊具がある公園が少ないように思う。駐車場の設置なども含め充実していただけると、もっと子供や親の交流ができるのではないかとと思う。
- 先に答えたが、公園の遊具の修理。子供イベントの市による支援及び活動援助がもっと見えても良いのではないかと確認に動いているように見えない。
- 近くに公園を作ってほしい！市役所に公園ができれば良い！吉野地区からふれあい公園まで少し時間がかかるので…。産前産後とパパも参加できるような(子どもとふれあう時間を増やしたい)イベントを開催してほしい。子どもとゆっくりくつろげるカフェがあると嬉しい！母親学級は産院でもあるが「産後ケア教室」を行ってほしい！
- キレイな公園が少ない。遊べない遊具が多い。整備された公園が少ない。
- 富津市に大型子供遊具のある公園がない。小さい頃は近所の公園で満足できるが、年中くらいから物足りなくなる。富津のみなと公園も遊具が使用禁止になり、修理される気配がない。袖ヶ浦公園や百目鬼公園のように大型遊具があり、夏は水遊びなどできる公園がほしい。他市から人が集まるような魅力的な公園があれば良いと思う。
- これからも子どもが楽しく遊べ、成長し、親が安心して子育てができる環境であってほしいです。
- 水遊びできる公園がほしい。夏、子供達と近所の公園に行っても、遊具が熱くて遊べない。ふれあい公園の近くに住んでいるが、緑も多く広くて散歩にとっても良いと思う。しかし整備されていない場所も多くもったいないと思う。きちんと整備し、子供が遊べる場所を増やしてほしい。
- 公園は何ヶ所かあるのかもしれないが、遊具が少なく子供が身体をたくさん動かせる環境になってない。富津のみなと公園の遊具は魅力的なのに、いつまでも立入禁止のまま。早く使えるようにしてほしい。
- 子供達が安心安全に遊べる公園を充実させてほしいです。市が子供の遊び場として指定している場所も整備されておらず、遊具も全くない場所もあるので、遊べる環境の充実が図れたらあ

りがたいです。また水道を設置し、手洗いのできる公園を増やしてほしいです。

- 子供を遊ばせる公園、グラウンドは充実していると思うが、遊具やアスレチック広場などの大型施設がほしい。雨天でも遊べる室内の施設もほしいです。民間もあるが料金がかかなり高い。富津公園だけでなく、他の場所にも魅力的な遊具・公園を作してほしい。
- 未就園児が遊べる遊具がある公園がなくて困りました。カナリエも近くにあったらもっと利用したかったです。雨の日に体を使って遊べるところを作ってもらいたいです。小学校入学時もそうですが、中学校入学時も制服や通学用自転車、教材など、すごくお金がかかるのでその辺を少しでも助けていただきたいです。
- 大貫付近に体を思いっきり動かせるような公園や遊具が欲しいです。富津湊公園にある海賊船の遊具は何年前から安全が確保できない理由で利用禁止となっています。とても魅力的な遊具なので修理して利用できるようにして欲しい。料金がかからない場所で子供を思いっきり遊ばせてあげたい。
- 子どもが走り回ったり、ボール遊びができる、公園がほしい。子ども達だけでも遊びに行ける安全性も兼ね備えてほしい。
- 公園に時計がないので、時間が分からず遅くまで遊んでしまう子がいるので、時計を設置して欲しいです。
- 富津市に引っ越してきて公園が沢山あって良いなと思いました。もう少し遊具が充実していると良いなと思いました。あと、自然がいかされていないのが残念な場所があります。市役所の前に桜の綺麗な広い場所がありますが、その池みたいな所が凄く残念なんです。もう少し綺麗な環境になったら子供達もそこで遊べたり出来るかなと思いました。(川遊びは危ないかもですが) 意図が違う意見になってしまい申し訳ないです。
- 地域の公園の遊具をもっと増やして欲しい。(みなと公園の遊具の復活等)

4. 経済的支援、無償化等について

- ひとり親への手当をもう少し増やしていただけると助かります。1人で2人分(子供)の食費・生活・学校・保育園等色々とお費もありしんどい時があります。保育園で毎年ある、ディズニー遠足も行く余裕がなく困っています。
- 子どもが1才まで4,000円分のギフトを月に1回支援してくれたこと、とても助かりました。おむつは3才位まで使用するので、延長してほしいです…。
- 保育料が高い。袖ヶ浦市くらいの金額がいい。保育士で仕事復帰をしたら保育料が安くなる等をするとう保育士の人数も増えると思う。
- すすくギフトの支給期間を1歳半ぐらいまで延長してもらいたい。
- 色々とお手当がいただけるのはうれしいですが、支給されたらそれがされる前に〇〇年〇〇月〇〇日に〇〇円支給されます、というような手紙(ハガキ)などほしい。
- 金銭的に一般家庭と呼ばれる世帯の方が、シングルマザー・ファザーや生活保護世帯より貧困化している現状が理解できない。特に富津市は産院や子ども専門の医療機関がなく、他市へ行かねばならずお金が更にかかる。子育て・妊娠しづらい市だと強く感じる。安心して暮らしていける支援もなく、現状を甘んじて受け入れるしかないことがとにかく辛い。
- 共働きの時代なので、未満児の保育料無償化を希望します。
- 第3子以降に限らず、全ての児童の小・中学校の給食費を無料にしてほしい。算数セットやピ

アニカなど、最初から使うことがわかっているものは無償提供してほしい。（もしくは学用品を準備するのにかかる入学お祝金の支給 2 万円程度。）市から学童への支援（補助金など）を拡充して、利用料の負担を減らしてほしい。多胎家族支援。（特に妊娠期の多胎家族のためのプレ教室。）

- 子供が減っていて産める世代も減ってて、いろいろな家族計画があったり、欲しくてもなかなか授からなかったりがあるなかで、第一子が小学生に上がったらず学童や給食費その他のお金がかかるうえで第二子なのに第一子としてカウントされる、歳の差をあけたために多子軽減を受けられないのは不公平だと思います。近隣の市原市が保育料第二子無料を始めたり、給食費が無料の市も増えてきているので、富津市も続いて少しでも負担が軽くなって、子どもが増えて活気がでて子育てに優しい市日本一を目指して貰えたら嬉しいなと思います。出生～1 歳になるまでのすくすくギフトすごくありがたかったのでこれからも続けてほしいです！
- 出産にかかる費用が無償になるなど、子供にかかる費用を減らす制度を作してほしい
- 子育てギフトとても助かりました。ありがとうございました。
- 子育て費用の支援(出産、保育園、幼稚園、学校)
- 妊娠出産子育てにはお金がかかります。育休手当、時短勤務、お金のことを考えると転職もしにくい。もっと子育てしやすい国なら子供はたくさん欲しいと思います。
- 18 歳までの高校卒業までの医療費無償化をしてほしい(他県ではすでに実施されている)
- 子供手当等の給付金 遊具などが豊富な公園がないので作って欲しい 歩道が無かったり細いので危ない
- 1 歳までのサポート 3500 円は助かりました。 おむつ等が対象になるので良かったが、せめて 2 歳までが良かった。
- 未満児の保育料 もう少し見直して欲しいです。
- 低所得世帯にばかり給付金があり、ずるいと思ってしまいます。非課税でなくても、物価の高騰などで生活は圧迫されています。 子どもを 2 人育てていますが、本当はもう 1 人欲しいです。でも保育園でかかる保育料以外の費用(制服代、保育運営協力費、副食費)も高く、3 人目を踏み出せません。 また妊婦健診での費用も高く、今の控除では厳しいです。 子育て支援をしていくのであれば、低所得世帯に限らず全ての世帯へ給付金を配ってください。児童手当も少ないです。1 ヶ月の保育料にも満たない金額では、足しになりません。
- 1.第三子以外でも、保育料、給食費、放課後児童クラブ利用料などの補助が受けられるようになると良いと思います。 2.ふれあい公園や富津みなと公園の遊具の充実、子どもを遊ばせられる屋内施設の設置を望みます。 3.自然環境を活かした、特色のある保育や学校教育を市全体として取り組んで欲しいです。
- 住民税非課税世帯や低所得層への支援はよく行われているが、中間層でもギリギリ低所得に入らない層への支援が薄すぎる。中間層でも各種サービスの利用料金を払うのも毎月の保育料を払うのもギリギリなのに低所得層ばかりに支援や現金給付が行われているのを見ると、苦しい思いをして払っている税金も何のために納めている意味が分からない。まるで低所得へ寄付するために払わされている様な気になってバカにされているように思う。

5. 教育と学校等について

- 小学生になれば夏休みなど留守番に不安がある。学童は高く支払いも大変なので（本人も行き

たくない）と言ってるので学校で放課後無料で勉強できる（延長保育）みたいなことをしてほしい。給食費も無料の市と費用がかかる市とあるので統一してほしい。保育園の給食費が小学校よりも高いのは少しおかしいと思う。小学校より食べる量が少ないので、保育園の給食費も市が少し負担してほしい。小学生は月 4,600 円、保育園 6,500 円、この差をなんとかしてほしい。働いても学童の支払いをしてたら働いてる意味がないくらい高いと思う。

■子どもの学力、メンタル面、体力作りを目的とした無料の市営塾があったらいい。幼児から中学生を対象とした公設民営塾があったらいい。

■天羽小学校の建て替えをしてほしい。（できれば我が子が通うまでに。）他の市のように、子育てでかかる費用（園・学校・医療関係）の支援を充実してほしい。富津地区だけでなく、佐貫から下り方面も子育てしやすい環境作りが必要である。病院・公園・子供用品の店などがないので不便です。乳幼児健診を市役所だけでなく、市民会館やカナリエでやってくれたら近くて行きやすくなる。往復 1 時間+健診の時間は長くて大変。

■学校があまりない時点で子育てに適している市ではないと思います。保健師さんたちは声をかけてくださったり、色々話を聞いてくれてとても頼りになりありがたいです。親切な人もたくさんいるので、子育ての環境が良ければ（学校、公園など）とても住みやすいと思うのですが、現在子供にとってとてもかわいそうな市だと思います。

■天羽地区は、休日に小学校の遊具で遊ぶことができなくなったため、公園の遊具の拡充をお願いします。（金谷小使用禁止、竹岡小進入禁止）休日のカナリエを小学校低学年にも開放することができないかご検討ください。下の子は利用対象だが、上の子が利用対象外になると、土曜日、父親のワンオペでは遊びに連れて行けません。親は土日曜日通院時、カナリエや中央保育所に預けたいですが、3 歳の子供は納得しません。土日曜日の運動会ですら「行かない」「父ちゃん休みだから嫌だ」と言う猛者です。

■人数の多い地区だったから仕方がないのかもしれないけど、保健師さんが毎回違って相談しにくかった。公園の遊具が古くなり使用禁止が多くなって、子供達が遊具を使って遊べる所が少なくなった。いつもと違う身体の使い方をしてほしいので、遊具を充実させてほしいです。

■小・中学校の全ての児童の給食費を無償にしてほしいです。市から学童への支援（補助金など）を拡充させて、利用料の負担を減らしてほしいです。多胎妊婦とその家族向けのプレママ・パパ・家族教室があると良い。（多胎は単胎の妊娠・出産・育児の情報が当てはまらないことも多いため、専門の正しい情報が必要。）算数セットや学用品の無償提供をしてほしい。（もしくは入学準備金として収入に関係なく 2 万円程度のお祝い金を支給して、購入の負担を減らす。）

■小・中学生全ての給食費無償化。収入関係なく、入学時の学用品購入のための助成。（2 万円ほど。）学童保育への補助を拡充させ、利用料の負担を減らす。多胎妊婦とその家族への支援。（妊娠期のプレ家族教室など。）

■子供が少なくなるにつれ、学校や保育所が少なくなるのは当然仕方がないこと。でも、それが子育てしながら富津市で生活していく事を困難にしている。正直、子育てしやすい市とは思っていない。富津市が頑張っているとしても、子育て世代は実感できてはいないと思う。富津市のなかでも下りの方の地区は、目を向けられているのか不安の中で生活している。回答してもしなくてもいいようなアンケートを経費をかけてするより、直接意見が交換できる場を学校や保育所、施設で設けた方がよっぽど効果的だと思う。

- 通学路の安全対策をお願いしたい
- 保育所や小学校の給食をオーガニックに変えてほしいです。子どもの安全があれば移住者も増えるし、子育てを謳う富津市の想いにもつながります。
- 公文の塾など民間の施設が少ない感じがします 人口規模で言えば仕方がないと思いますが、富津イオンの空きスペースへの進出の推進など商工部門と連携した取り組みなどあっても良いと思います
- 小学校の給食の無償化、高校の無償化、ぜひお願い致します

6. 保育所、幼稚園、各サービス等について

- 5年前くらい（当時子供1才くらい）飯野保育所に一時預かりの話を聞きに行ったら「毎日先生が全員いるわけではないから対応できない日もある」と説明を受け、急な用等ができてもちろの都合で利用できないなら意味がないなあと感じました。結局諦め幼稚園入園まで親にも預けず、一時預かりも全く利用せず、コロナもあり、パートも行けずフルタイムの人ばかり優先されるなあと感じながらモヤモヤして過ごしました。ファミリーサポートセンターは制度としては良いと思いますが、どんな人かわからないし利用する気になれませんでした。
- 病気やケガで保育所を休むことが多く、病児保育の検討をしていましたが、どの程度の病気で利用していいのか説明を見てもわからない。物価上昇と賃金UPが割に合わず、進級したらお金はかかるし、どうしてもお金が足りない。
- 預かり保育を希望したが、保育園で断られた。できれば入園式や卒業式などの時、小さい子がいる家庭は保育士さんがその時間帯だけ市役所などで預かってほしい。上の子に我慢させたりするのは、かわいそうだし、中には困っている家庭があることも知ってほしい。土曜日、祝日、日曜日も預かってほしいし、行事（イベント学校の）を平日にするなどしてほしい。
- 子供を預けて働くため保育園を希望してはいますが、就労時間や曜日が当てはまらず、働く日数も場所も限られてしまうため、転職を余儀なくされる等、就労の難しさを感じました。子供の具合で休まざるを得ず、気兼ねなく休める職場もほとんどありません。また休んでしまうことで給料も減るため、家計が厳しいです。時折くる「非課税世帯に臨時の支援をー」というメールも、うちも苦しい！と怒りを感じます。均等割りとかいうのも全くわかりませんでした。
- 保育所の許可期間が短かった。先の不安。大貫の海浜遊園地？砂が気になる。
- 富津市は広い、保育所の数が在籍する子供達の数と合っていない。保護者の負担を考慮しているのかもしれないが、適した配置にするべき。過剰な点在と感じます。現状では建物の問題を上げたりする割に動きが遅い。児童数も非常に少ない。児童の人数に対し先生の人数が多く、費やす市の税金を今後見据えた使い方をしてほしい。近い将来統合になるのがみえている。
- 未満児で保育園を探している時にどこもいっぱい困られ、希望する地区の保育園に入れませんでした。また土日休みではない仕事に復帰した際に、土日保育料は別料金で負担が増えた（損をしている）感じがしました。母親は土日休みの仕事をするしかないのかな？と落ち込みました。
- 子供を安心して預けられる環境も大切だが、保護者が、子どもを安心して育てられる環境作りが大切だと思う。預けて終わりになっているような…。特に乳幼児期の大切な時間を、親と子で幸せに過ごせるサポートに重点をおくべきと感じる。育休、産休を安心して取得できること、”孤育”にならないように支援センターや地域で子育てを見守り、相談が気軽にできる環境

作りを。フルタイムで働いていて、家事をこなしている中には、子育てを楽しめる「ゆとり」ができることは難しいだろうと感じる。

- 保育所の連絡帳をアプリ化して欲しい。LINE 等のチャット化すればもっとスムーズな連絡のやり取りが出来ると思う。
- 幼稚園が少ない。認定こども園は 2 ヶ所あるが遠い事と事業内容が嫌で入れていない。保育園はたくさんあるが 3 人目を考えていて仕事出来ない分保育園に預けられず幼稚園も少なく困っている。
- 保育所で危ないからと遊具(滑り台等)を使って自由に遊ばせてもらえないと卒園した方から聞いた。のびのびと遊べる環境作り、遊具設定等が必要なのではないか。
- 祝日とかも子どもを預けられたらかなり助かる。
- 他市では保育園探しが大変な中、0 歳児から保育園利用することができ、大変助かりました。ありがとうございました。

7. 保育、福祉サービスの質等について

- 保育所の質の低さにがっかりしている。隣の君津市との違いに、本当残念に感じる。
- 職員の方は大変かと思いますが、子育て支援センターの休館日をずらしてもらえると助かります。特に土日祝日は開館していただきたいです。祝日は大概休館で、雨の日は子供複数をワンオペするのが大変です。子供服のリサイクルの場があると嬉しいです。
- 市役所の方は丁寧で個々に対応していただけるのでとても安心しています。しかし妊娠期は不安なことが多く、特に富津市には産院がないのが不安でした。また子供用品を揃えるお店も少ないです。また大きくなっても(3~4 才)遊べる場所もなく、雨は出かけられません。歩道が狭く歩くのも自転車も怖いです。小・中学校の通学が不安であったり、進学(高校)しても電車通学が難しいことから、引越しを考えています。
- 子どもの出生届を役所に行った時、色々申請する書類が多すぎる!時間もかかりすぎる。子育て支援課での書類が多く手が疲れる。改善できないものなののでしょうか?
- 保育園に預ける理由の中に「不妊治療に専念するため」という理由を含めてほしいです
- 病後児保育を充実していただきたい
- 保育園は最長 20 時まで預かってもらえ、我が子を通う保育園では夜 18 時半におやつを提供もあるが、最寄りの学童は 18 時半までの開所の場所が多く、俗に言う「小 1 の壁」を感じている。ファミリーサポートは毎日利用するにはお金がかかってしまうので、日常的に利用しにくい。母親がパートではなく正規で働き続けられるような取り組みがあるとたいへんありがたい。また、病後時保育はカナリエだけでなく大貫、青堀地区にもあるとうれしい。(自宅から遠いため)
- 第二子を希望するが、保育料等の負担を顧み諦めざるを得ない状況である。市政としてやれることを最大限やって欲しい。
- 今の時代に 0 歳を保育施設に預けることが可哀想なこと(家庭の都合関係なく)と思っている人がまだいるようです。家庭環境に合わせた支援をしていただきたい。また、病児保育施設がないため片親世帯にはまだまだ厳しい育児環境だと感じます。子育てを世帯が安心出来るような支援環境が必要だと思います。
- 息子 10 ヶ月から保育園利用していました。5 歳差で上の子が 1 年生になる時、1 歳半ごろか

ら フルタイム夫婦なので保育料が 5 万円超えました。なぜ、働いて税金を納めているのに 金額と手のかかる 0~2 歳児が無償化ではないのか。働き損ではないかと思いました。なので幼稚園へ 2 歳 1 ヶ月から通わせています。生活があり、その休みの日の娛樂のために働いているのに その働くために多額な金額の保育には不満があります。高収入でもない、共働き 800 万ほどの稼ぎの夫婦で その保育料金、市が定めている金額なのかは知りません。市によって第何子の定義も変わる。労働し、税金を納め、子を産み、保育料が莫大な金額で休みの娛樂をお金を気にしないと楽しめない。おかしいと思います。せめて、保育料 6 万 7 千円 max ではなく、3 万 5 千円 max ぐらいなら全員まだ納得いくのではないかと、思います。働くものが税金を納めているので、0~2 歳児の保育料の見直しは確実に国で支援するべきではないでしょうか。

- 保育料の補助には大変満足している。学童の費用がとても高く、第三子からの支援ではあまり対象になる家庭が多くないと思う。

8. 地域のコミュニティと交流等について

- 市の子育てへの取り組みには大変満足しています。友達が少なくてかわいそうだし、私も支援センターやプレ保育に通っても、子どもの同級生女の子に全く出会えないまま、入園まで孤独でした。子どもがこれ以上減らないことを願っています。保育園・子ども園を視察されていた際、パパたちも数人いたのに市長さんが「お母さま方には～」とお話されていましたが、今の時代は「お父さま」も付け加えた方がいいのかな？と少しだけ気になりました。細かくてすみません。
- 市の子育てへの取り組みには大変満足しており、カナリエにまた通いたいからもう 1 人ほしいくらいです。コロナで園庭開放やその他様々な活動がなかった頃からずっと、カナリエのおかげで孤独にならずに子育てができてよかったです。
- 近所に同世代の子がいないので、支援センターや図書館に遊びに行ったけど、そんなに人が集まってなくて富津の子供の少なさを実感しました。支援センターの教室（ベビーヨガ等）はとても楽しく、親子でのスキンシップもとれてすごく良かったので、もっとたくさんの人に利用してもらいたいと思った。
- 富津市は子供が少なく、周りにも同年代の子供がほとんどいない。今後小学校に入学しても同級生は少ないと思われ、競争心などが育まれていくか不安である。
- 近隣の市にあるような、地域毎のママの交流やイベント、「しからない子育て」など子育てに関する講座を富津でも開いてもらいたい。上の子の時君津市で開かれていて参加したが、保育ありでとても良かったから。すくすくギフト、とてもありがたいですが、種類が微妙との声がお母さんから聞かれます。哺乳ピンは妊娠中に購入するので必要ないと思います。すくすくギフトではなく、すぐにサイズオーバーする衣料品を購入できる商品券の方がありがたいです。出生届を出す時に外出先での授乳室マップなど配布するのはいかがでしょうか。
- ・ママたちの地域交流の場所がほしい（保育あり） ・親子でのイベントを増やしてほしい ・大学無償化、補助金 ・支援センター等で未就学児以上も一緒に遊べるようにしてほしい
- 子どもが少ない地域に住んでいるので、カナリエなどで同じくらいの月齢のお子さんや保護者の方と交流できてありがたいです。これからもいろいろなイベントを開催してほしいです。

- 保護者同士の交流や情報交換する場が非常に少ないと感じます。アンケートも大事ですが、行政が主体となって子育て環境について語り合う「意見交換会」のような場を設定することで、子育て世代が直接意見を表明できる機会を得ることができるのではないかと考えます。そうすることで、共感することや初めて知ること、なるほど！と思うことがたくさん出てくると思います。「子どもたちの環境を良くするために」と考えているのは子育て中の保護者は皆そうだと思うので、ぜひお願いしたいです。

9. その他

- 買物、交通など不便に感じる事が多く、このまま出生数がどんどん減っていくことが心配である。歩いて行ける公園がほとんどない。富津地区公園が少ない。
- 君津市から富津市に引っ越ししてきたが、医療費が200円毎回かかることで、子供がじっとしていないとお金を出すことが大変なので引き落とし又は無料だとテーマがありません。
- スターレーン周辺の道路は、車を運転してる人に小さな子供や人が見えていないのか、ほとんどの人がものすごいスピードを出して通っているので規制してほしい。街灯が消えていて、全体的に暗すぎる。
- 青堀駅の階段が小さい子がいる人や妊娠の時は辛いのでどうにかしてほしい。公園はいっぱいあるし広いところもあるが遊具がないのでもっと充実させてほしい。室内の遊び場や子どもが学べるようなところを作ってほしい。
- 富津市に限った話ではありませんが、やはり保育料が高いです！子どものために働いている意味がわかりません。結局女性の社会進出に足止めをしているのは国をはじめとする行政だと感じてしまいます。金銭的な支援は、妊娠期でも子育て期でも特に必要だと感じます。
- 商業施設や病院の充実。君津市と比べて子育てするにも不便。

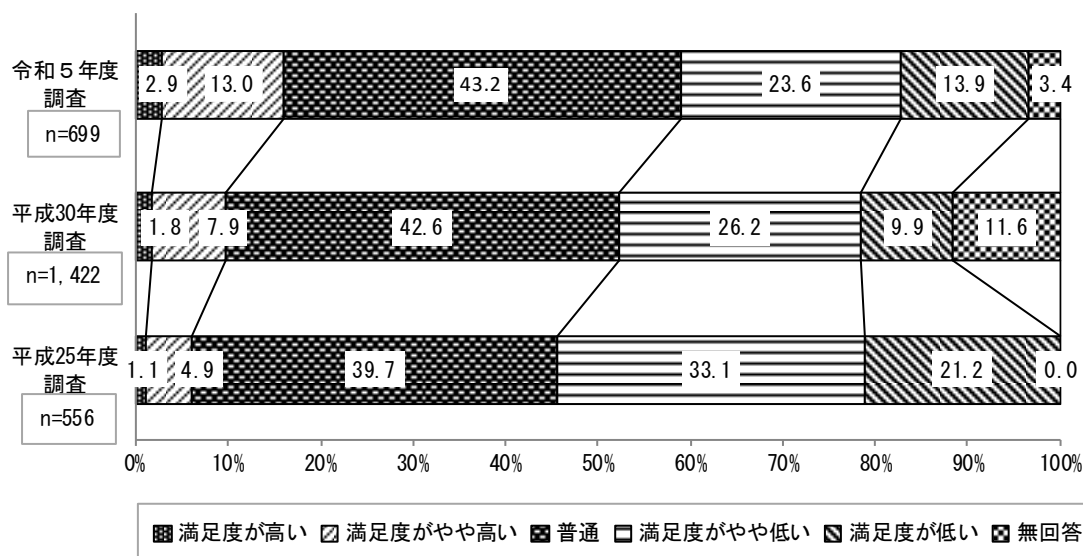
小学生編

第9章 満足度・調査対象者属性等

1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況

(1) 市の取り組みへの満足度

問1 市の取り組みへの満足度（SA）



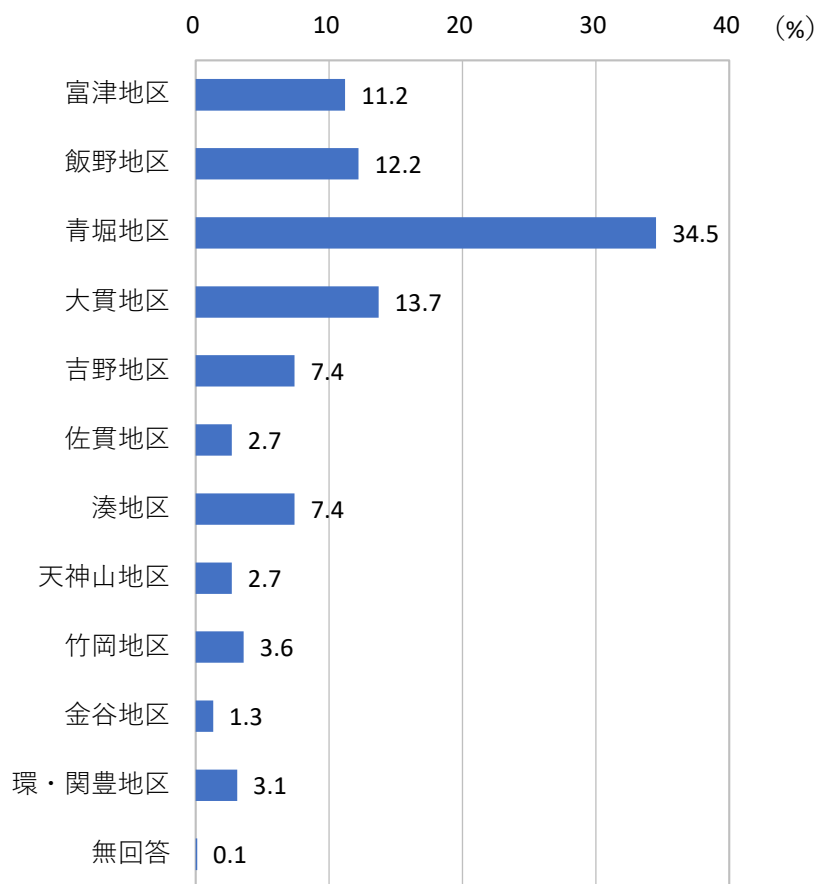
「普通」の割合が最も高く 43.2%となっています。次いで「満足度がやや低い」（23.6%）、「満足度が低い」（13.9%）となっています。

市の取り組みへの満足度（3地区別）

	合計	満足度が高い	満足度がやや高い	普通	満足度がやや低い	満足度が低い	無回答
全体	699	20	91	302	165	97	24
	100.0%	2.9%	13.0%	43.2%	23.6%	13.9%	3.4%
富津地区	404	9	57	180	84	62	12
	100.0%	2.2%	14.1%	44.6%	20.8%	15.3%	3.0%
大佐和地区	167	9	21	66	46	19	6
	100.0%	5.4%	12.6%	39.5%	27.5%	11.4%	3.6%
天羽地区	127	2	13	56	35	16	5
	100.0%	1.6%	10.2%	44.1%	27.6%	12.6%	3.9%

（２）居住地域の状況

問２ お住まいの地区（学区）（ＳＡ）

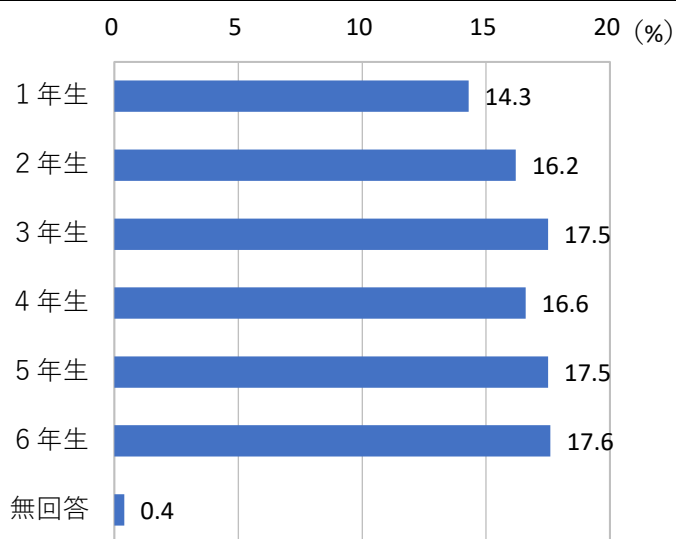


n=699

「青堀地区」の割合が最も高く 34.5%となっています。次いで「大貫地区」（13.7%）、「飯野地区」（12.2%）となっています。

（３）調査対象児童の属性

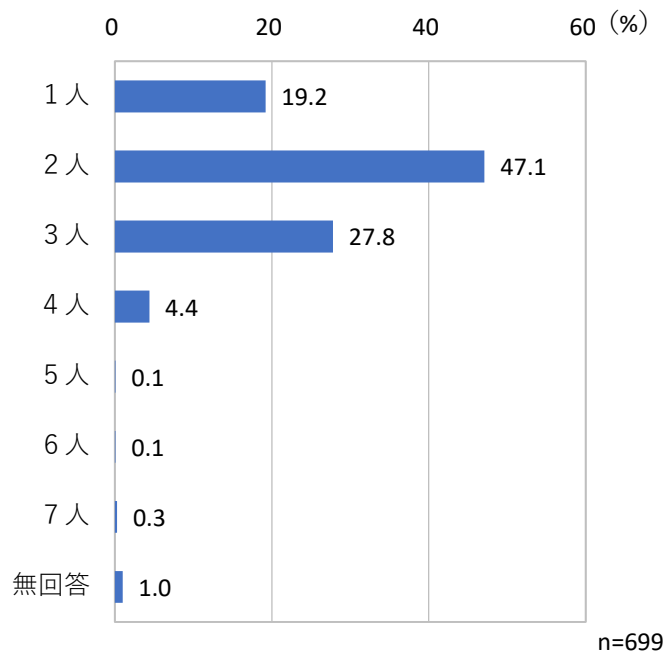
問３ お子さんの学年（ＳＡ）



n=699

「6年生」の割合が最も高く 17.6%となっています。次いで「3年生」、「5年生」（各 17.5%）となっています。

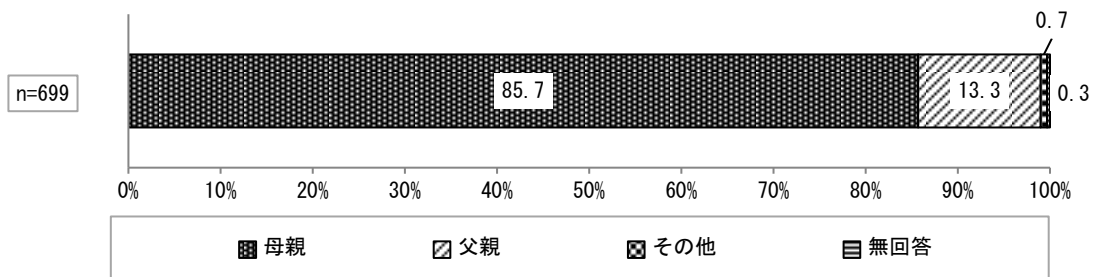
問4 お子さんの数（SA）



「2人」の割合が最も高く 47.1%となっています。次いで「3人」(27.8%)、「1人」(19.2%)となっています。

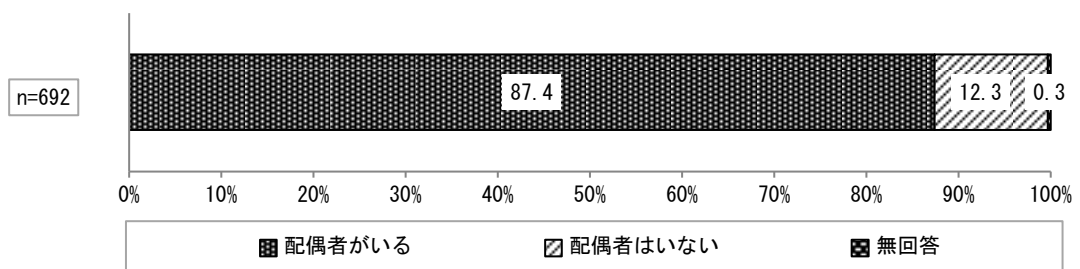
（4）調査回答者の状況と配偶者の有無

問5 調査票回答者（SA）



「母親」の割合が最も高く 85.7%となっています。次いで「父親」(13.3%)、「その他」(0.7%)となっています。

問6 配偶者の有無（SA）



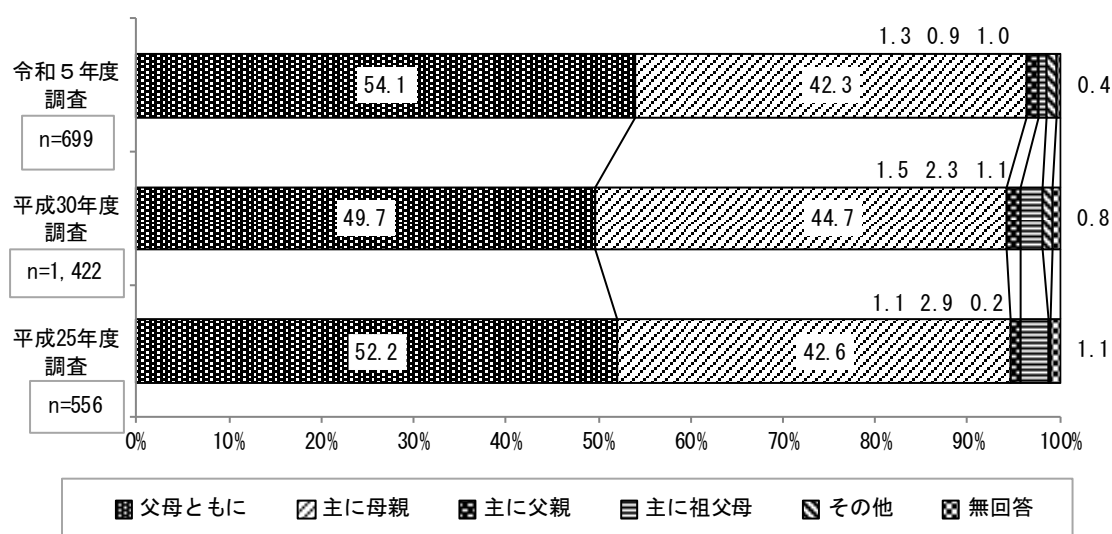
「配偶者がいる」の割合の方が高く 87.4%となっており、「配偶者がいない」が 12.3%となっています。

第 10 章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

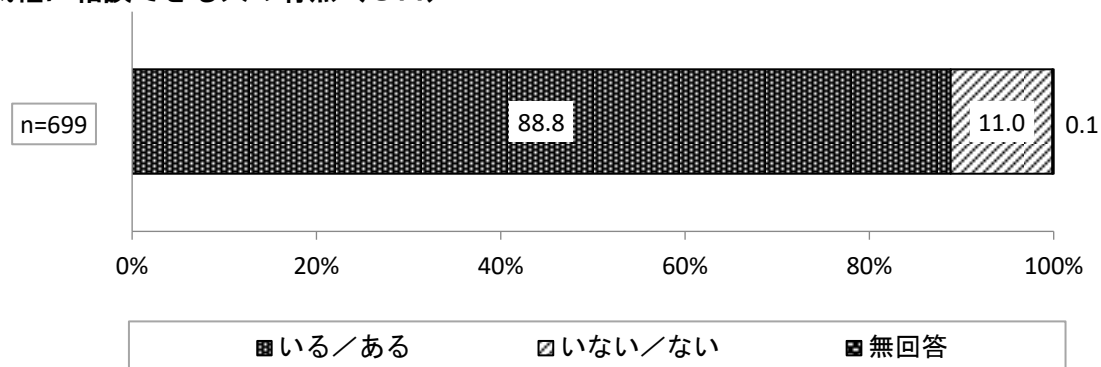
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

問 7 主に子育てを行っている方（SA）



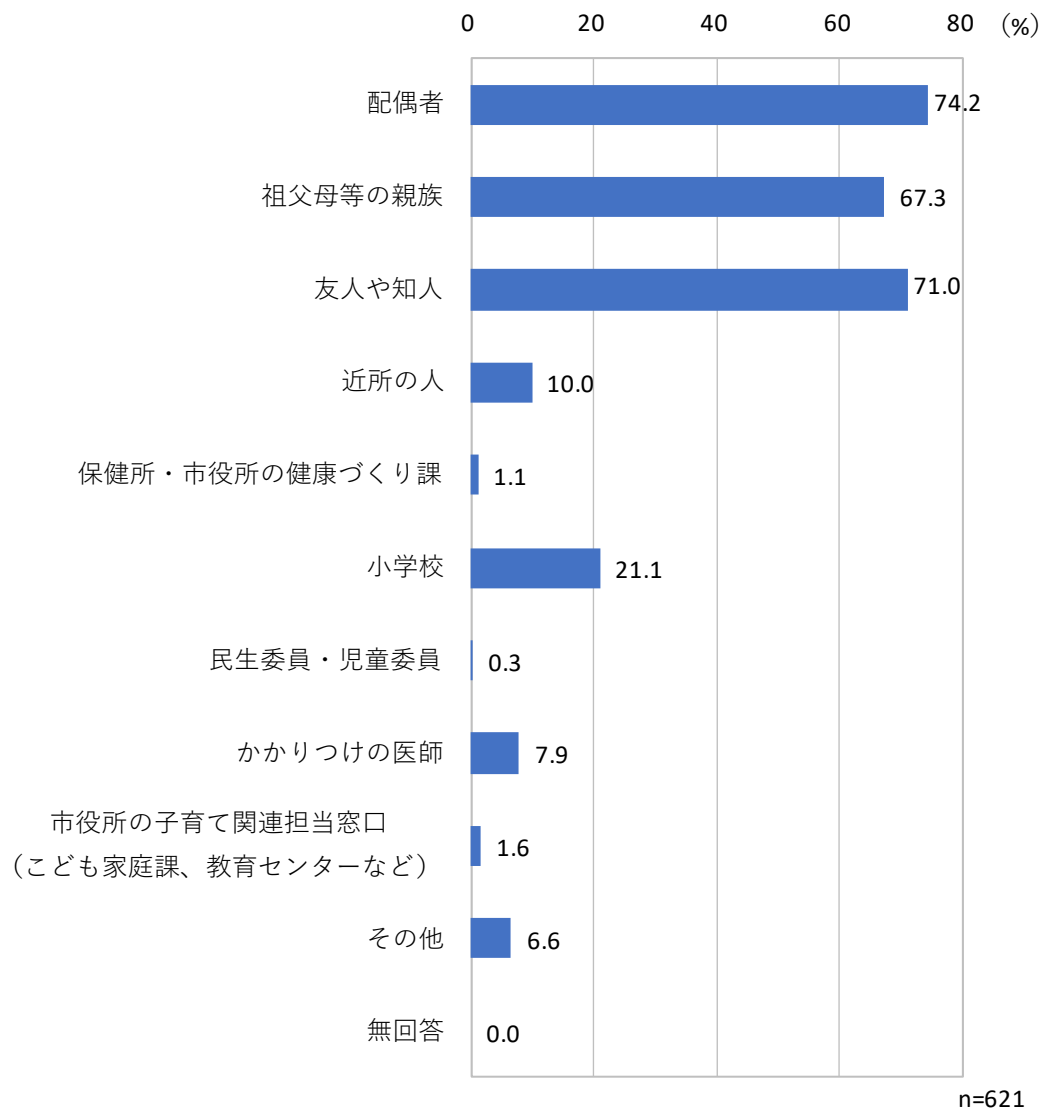
「父母ともに」の割合が最も高く 54.1%となっています。次いで「主に母親」（42.3%）、「主に父親」（1.3%）となっています。

問 8 気軽に相談できる人の有無（SA）



「いる／ある」の割合の方が高く 88.8%となっており、「いない／ない」が 11.0%となっています。

問8-1 気軽にできる相談先（MA）

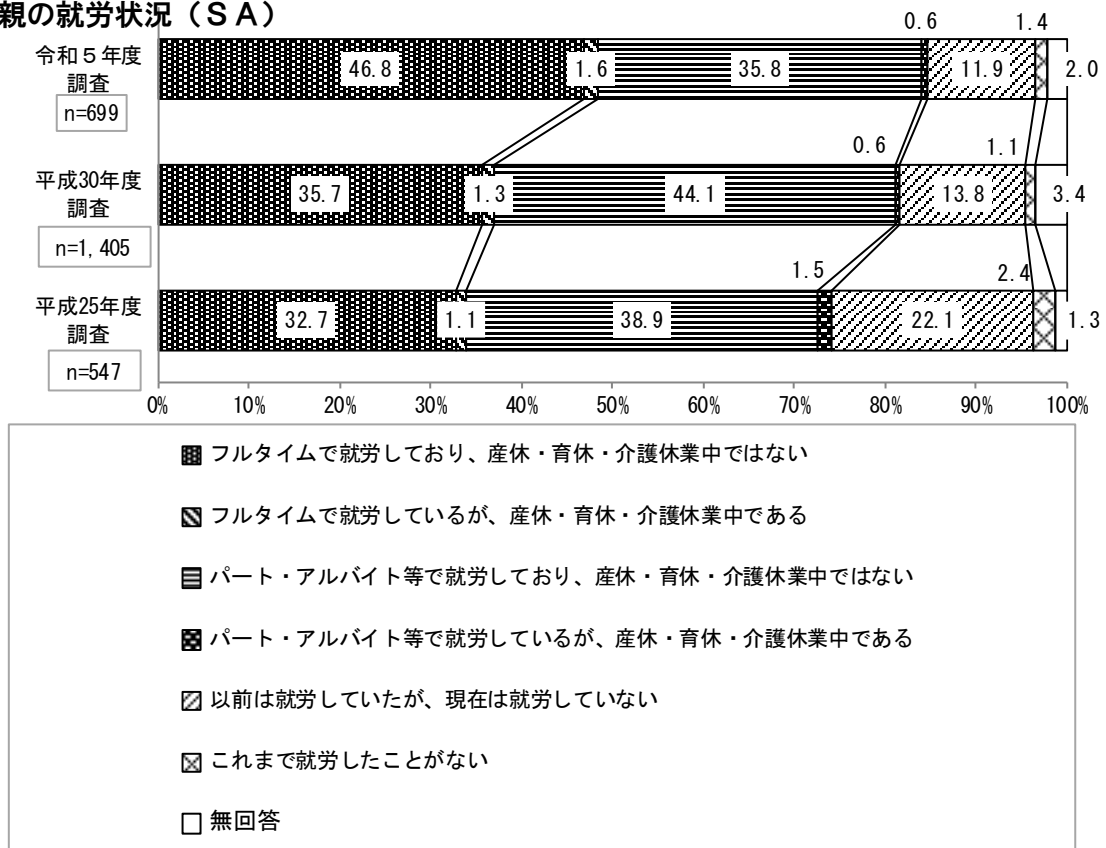


「配偶者」の割合が最も高く 74.2%となっています。次いで「友人や知人」(71.0%)、「祖父母等の親族」(67.3%)となっています。

2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

問9① 母親の就労状況（SA）

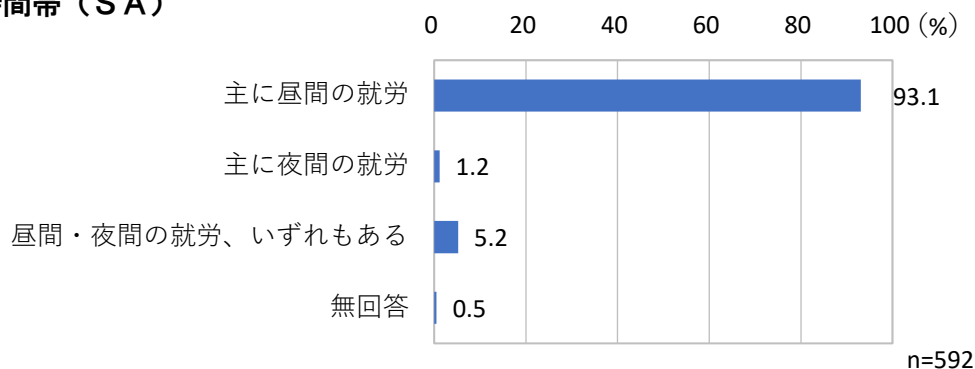


「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く 46.8%となっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（35.8%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（11.9%）となっています。

母親の就労状況（3地区別）

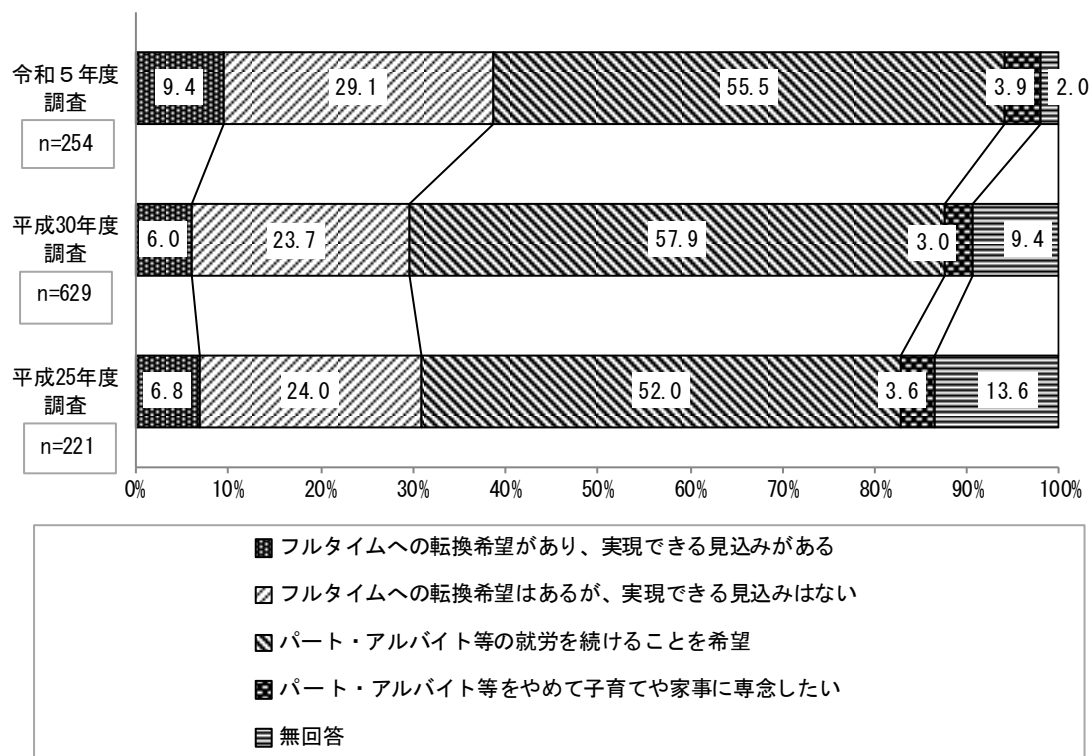
	合計	フルタイムで就労	フルタイムで就労（休業中）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（休業中）	現在は就労していない	就労したことがない	無回答
全体	699	327	11	250	4	83	10	14
	100.0%	46.8%	1.6%	35.8%	0.6%	11.9%	1.4%	2.0%
富津地区	404	184	6	152	2	44	6	10
	100.0%	45.5%	1.5%	37.6%	0.5%	10.9%	1.5%	2.5%
大佐和地区	167	84	3	53	1	21	2	3
	100.0%	50.3%	1.8%	31.7%	0.6%	12.6%	1.2%	1.8%
天羽地区	127	59	2	44	1	18	2	1
	100.0%	46.5%	1.6%	34.6%	0.8%	14.2%	1.6%	0.8%

問9-1① 母親の就労時間帯（SA）



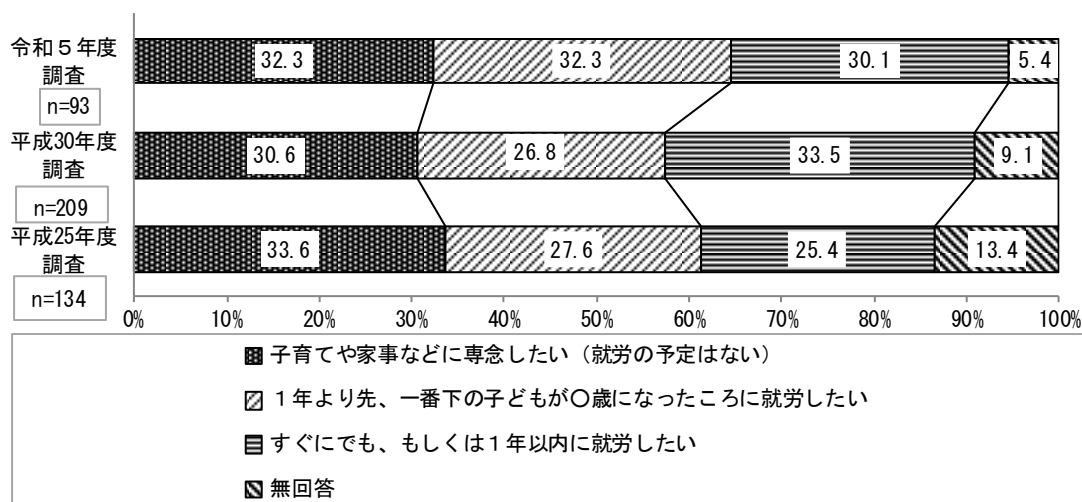
「主に昼間の就労」の割合が最も高く 93.1%となっています。次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」（5.2%）、「主に夜間の就労」（1.2%）となっています。

問10① 母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向（SA）



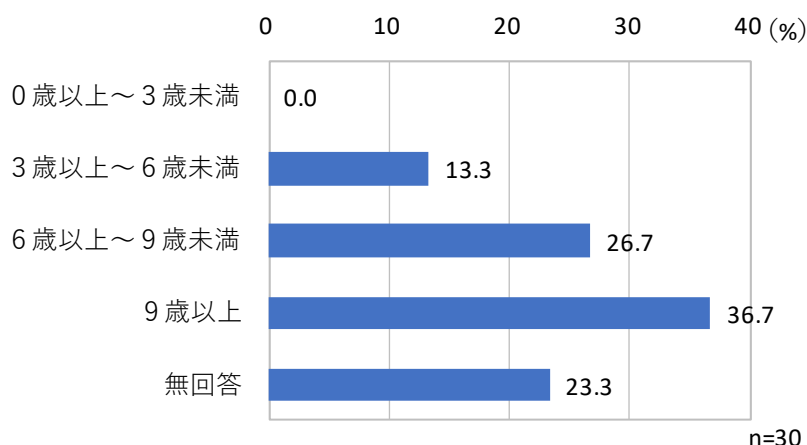
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高く 55.5%となっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（29.1%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（9.4%）となっています。

問 11① 就労していない母親の今後の就労希望（就労時期）（SA）



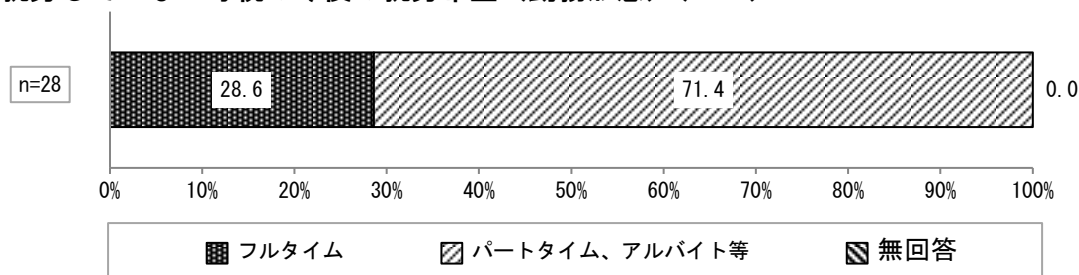
「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が最も高く、ともに32.3%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（30.1%）となっています。

問 11① 将来の就労希望（一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい）



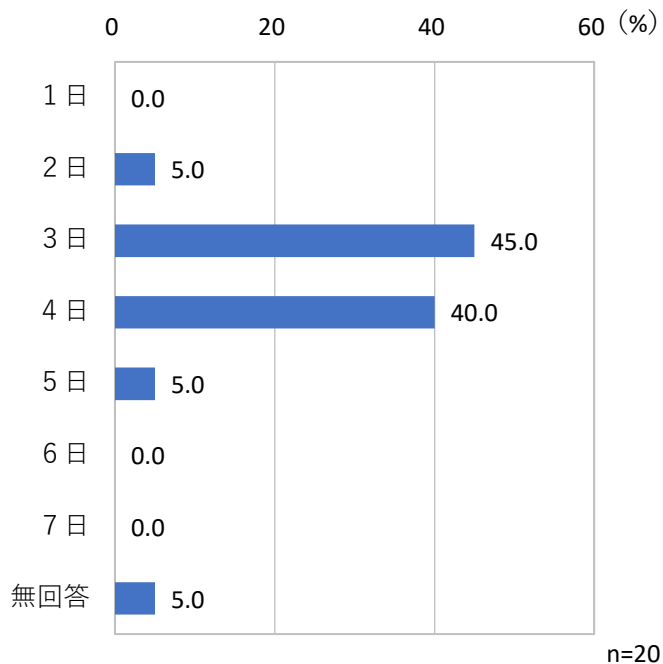
「9歳以上」の割合が最も高く36.7%となっています。次いで「6歳以上～9歳未満」（26.7%）、「3歳以上～6歳未満」（13.3%）となっています。

問 11-1① 就労していない母親の今後の就労希望（勤務形態）（SA）



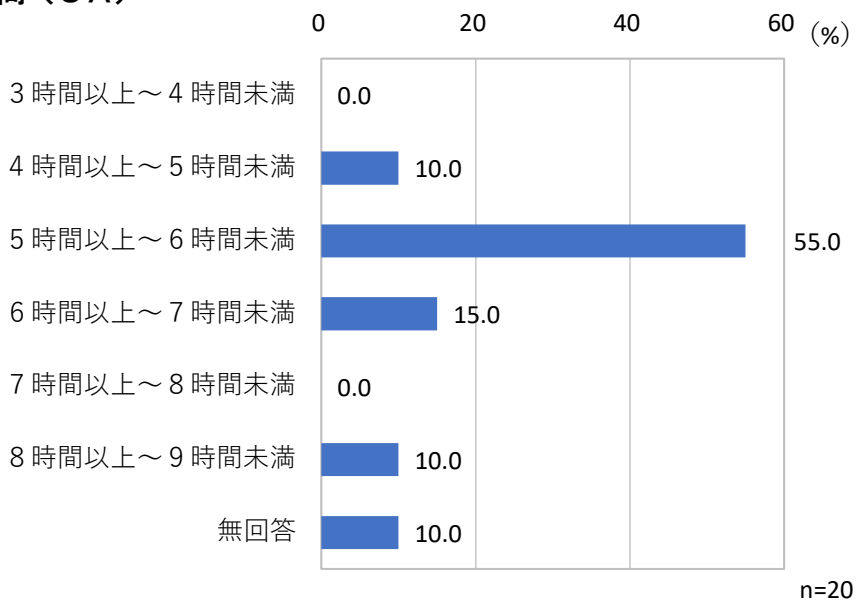
「パートタイム、アルバイト等」の割合の方が高く71.4%となっており、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が28.6%となっています。

問 11-2 ① 母親の希望就労日数（SA）



「3日」の割合が最も高く 45.0%となっています。次いで「4日」（40.0%）、「2日」、「5日」（各 5.0%）となっています。

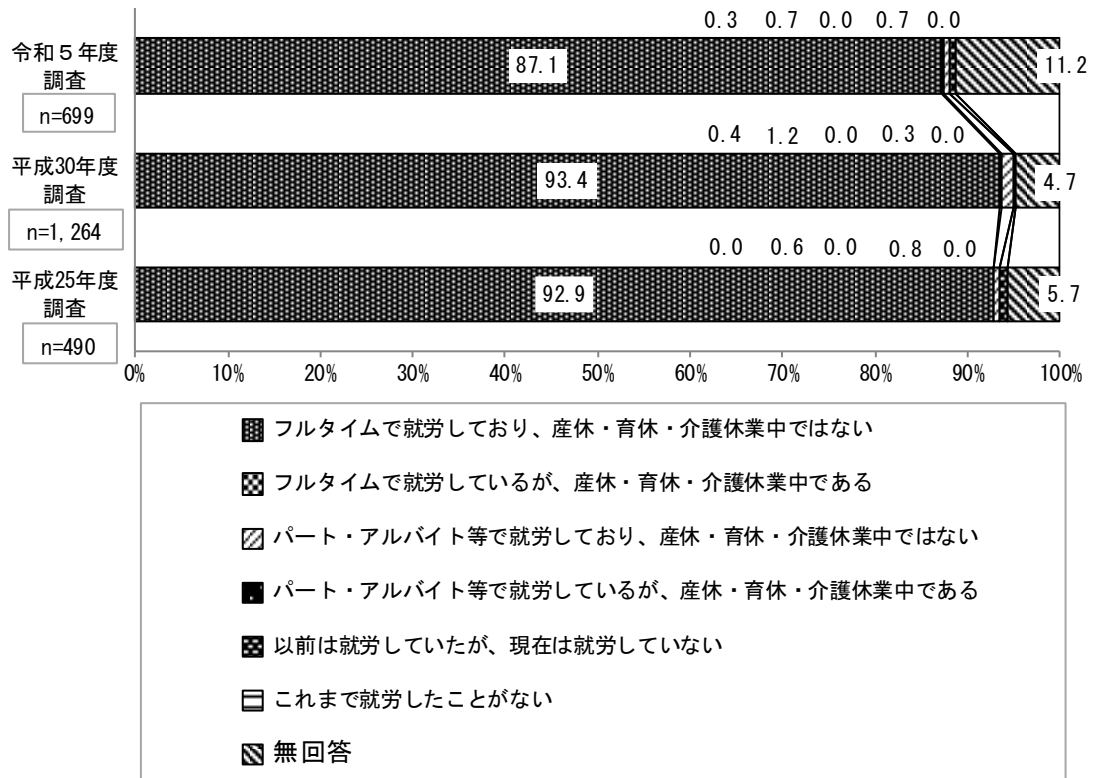
問 11-2 ① 母親の希望就労時間（SA）



「5時間以上～6時間未満」の割合が最も高く 55.0%となっています。次いで「6時間以上～7時間未満」（15.0%）、「4時間以上～5時間未満」、「7時間以上～8時間未満」（各 10.0%）となっています。

（２）父親の就労状況

問 9② 父親の就労状況（ＳＡ）



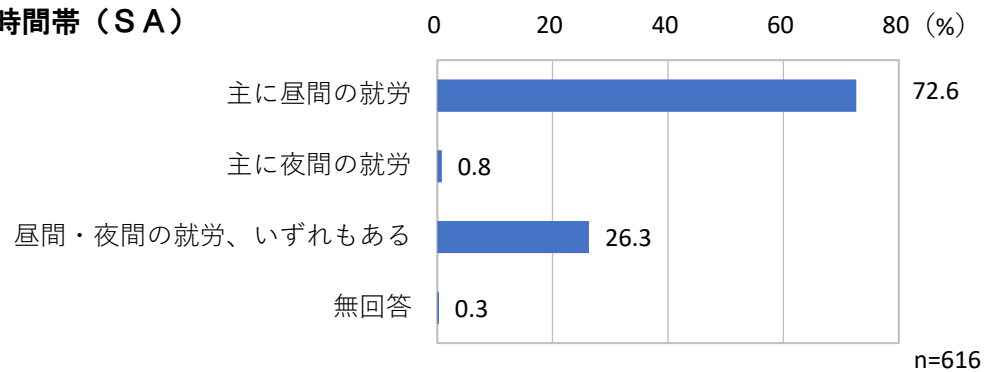
※ここでは「フルタイム」は週に5日程度、1日8時間程度の就労、フルタイム以外の就労を「パート・アルバイト等」とする。

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高く 87.1%となっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（各0.7%）となっています。

父親の就労状況（3地区別）

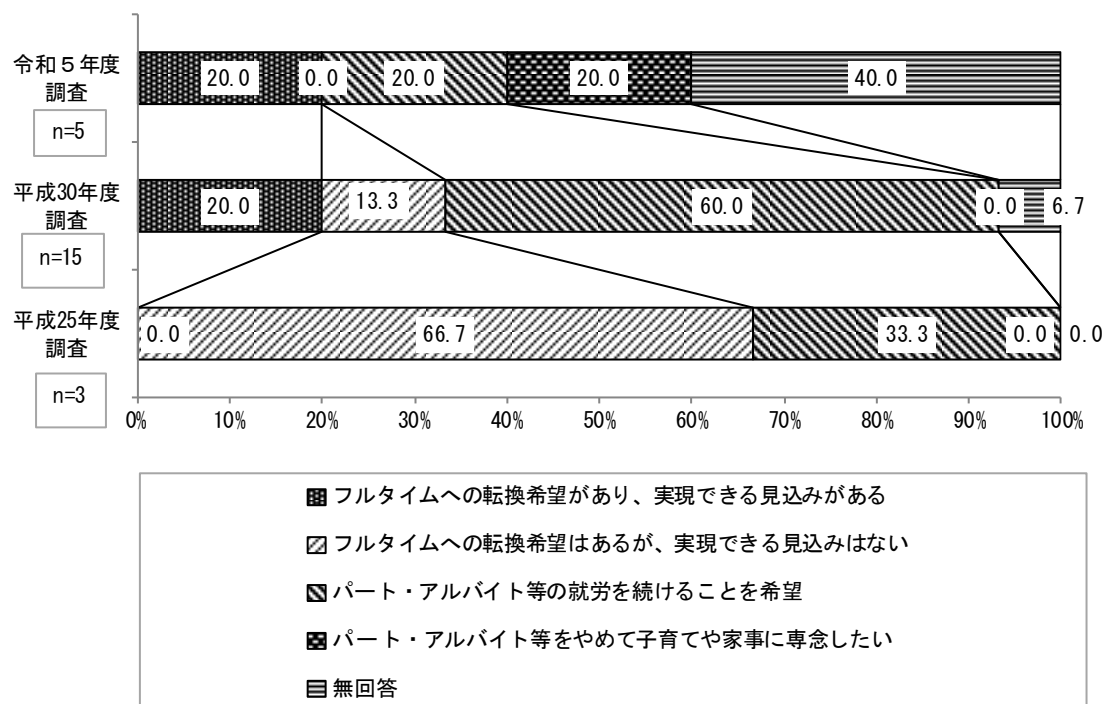
	合計	フルタイムで就労	フルタイムで就労（休業中）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（休業中）	現在は就労していない	就労したことがない	無回答
全体	699	609	2	5	0	5	0	78
	100.0%	87.1%	0.3%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	11.2%
富津地区	404	350	1	3	0	4	0	46
	100.0%	86.6%	0.2%	0.7%	0.0%	1.0%	0.0%	11.4%
大佐和地区	167	150	1	0	0	0	0	16
	100.0%	89.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.6%
天羽地区	127	108	0	2	0	1	0	16
	100.0%	85.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%	0.0%	12.6%

問9-1② 父親の就労時間帯（SA）



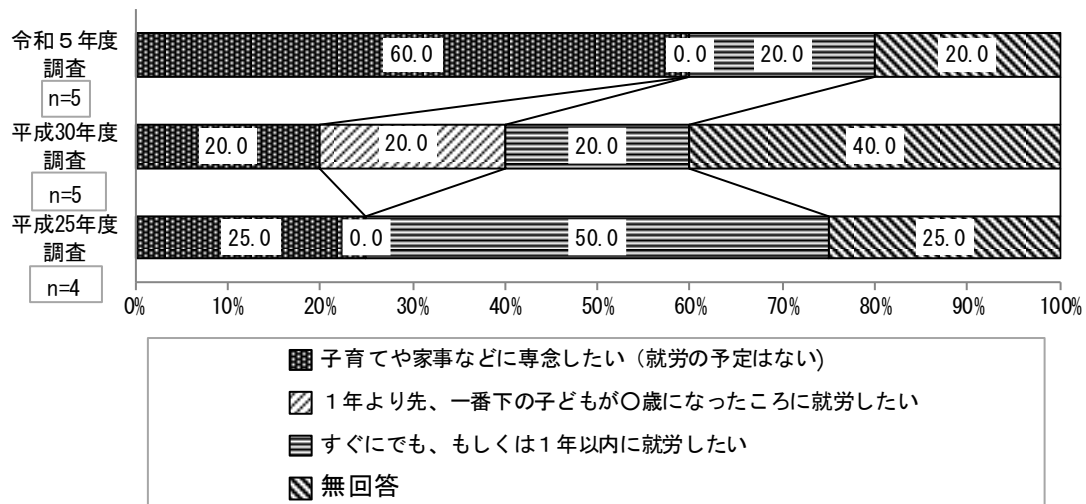
「主に昼間の就労」の割合が最も高く 72.6%となっています。次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」（26.3%）となっています。

問10② 父親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向（SA）



「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい」の割合がともに 20.0%となっています。

問 11② 就労していない父親の今後の就労希望（就労時期）（S A）

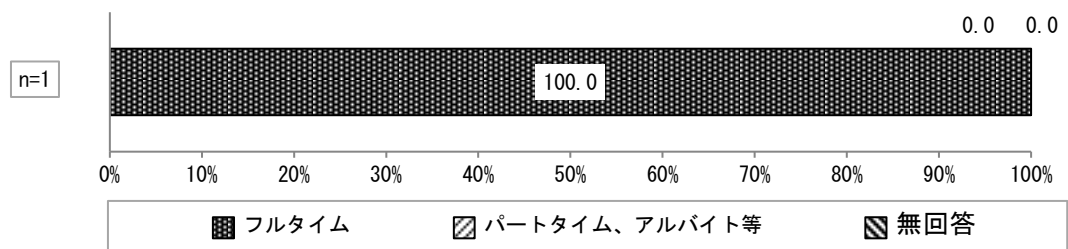


「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が高く 60.0%となっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（20.0%）となっています。

問 11② 将来の就労希望（一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい）

（該当件数：0件）

問 11-1② 就労していない父親の今後の就労希望（勤務形態）（S A）



「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が 100%となっています。

問 11-2② 父親の希望就労日数（S A）

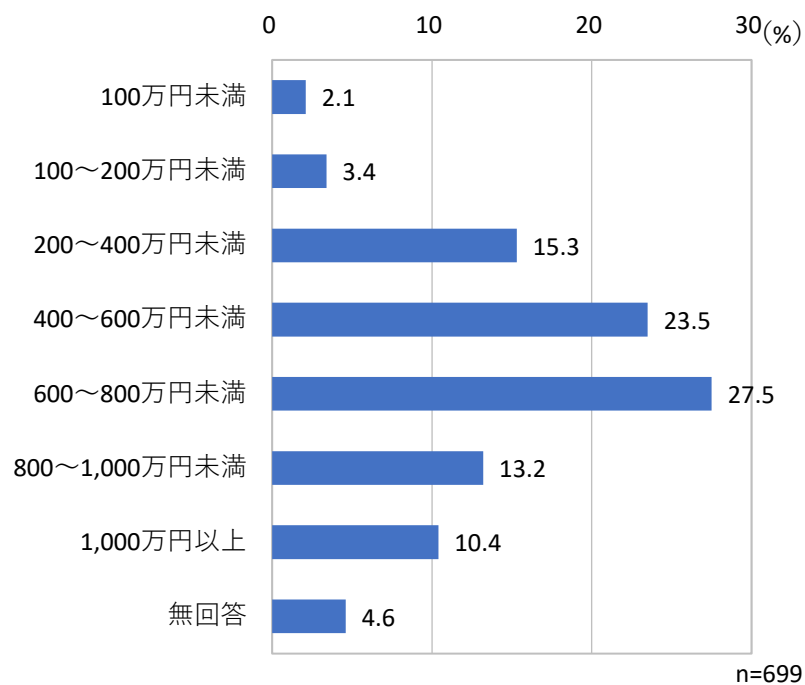
問 11-2② 父親の希望就労時間（S A）

（該当件数：0件）

3 家庭の経済状況

(1) 世帯の収入状況

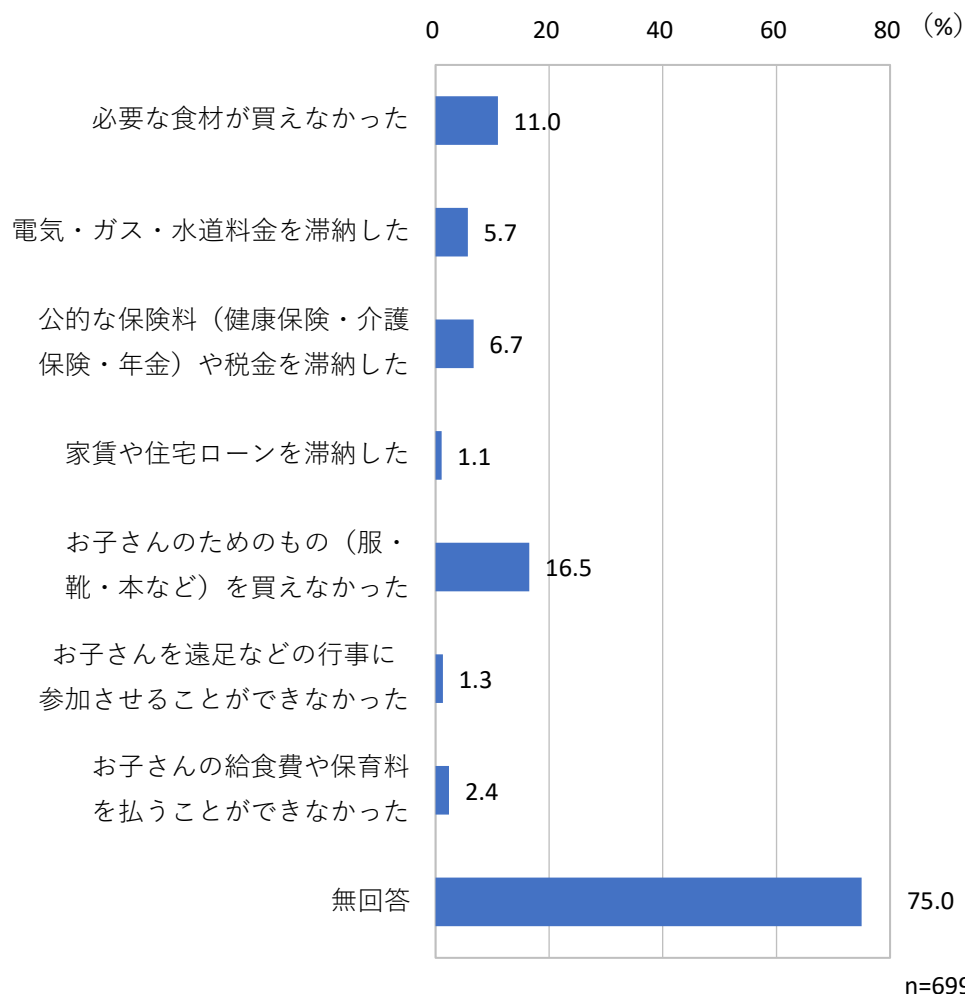
問 12 世帯収入（SA）



「600～800 万円未満」の割合が最も高く 27.5%となっています。次いで「400～600 万円未満」（23.5%）、「200～400 万円未満」（15.3%）となっています。

（２）家庭における費用負担の状況

問 13 家庭の経済的な理由での経験の有無（ＳＡ）



「お子さんのためのもの（服・靴・本など）を買えなかった」の割合が最も高く 16.5%となっています。次いで「必要な食材が買えなかった」（11.0%）、「公的な保険料（健康保険・介護保険・年金）や税金を滞納した」（6.7%）となっています。

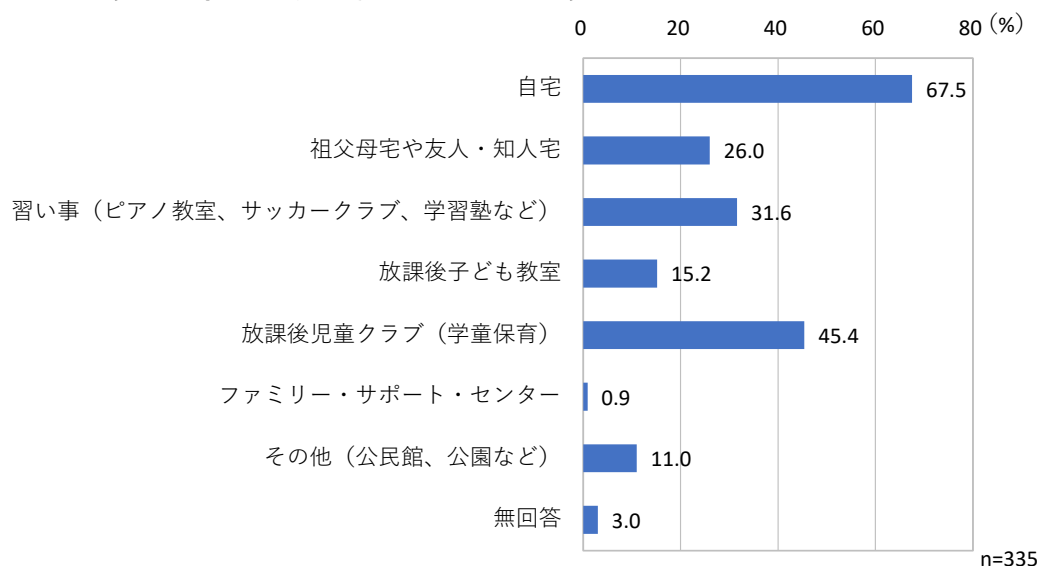
第 11 章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方

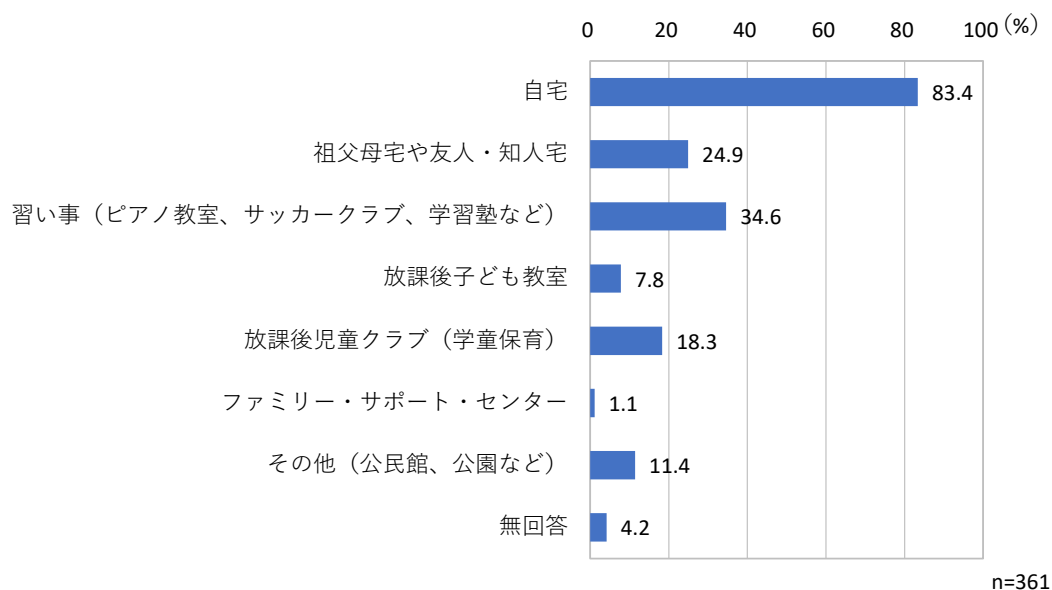
問 14 放課後過ごさせたい場所【希望】・放課後過ごしていた場所【過去】(MA)

1～3年生



「自宅」の割合が最も高く 67.5%となっています。次いで「放課後児童クラブ (学童保育)」(45.4%)、「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(31.6%)となっています。

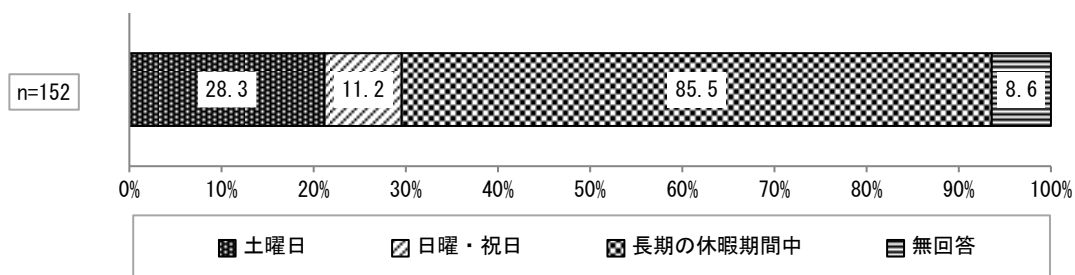
4～6年生



「自宅」の割合が最も高く 83.4%となっています。次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(34.6%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(24.9%)となっています。

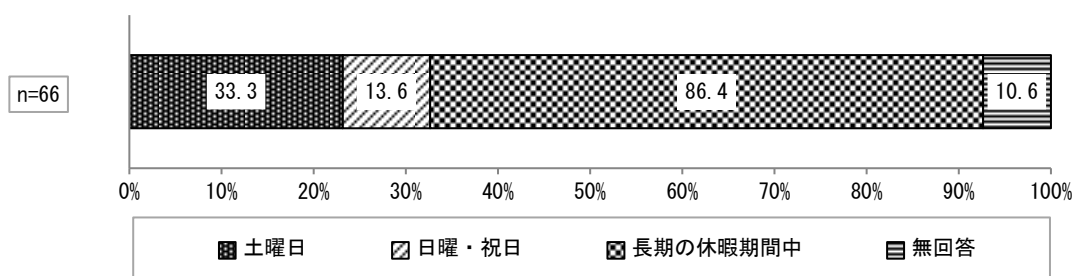
（２）土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向

問 14-1 土曜日、日曜日・祝日 利用【希望】・土曜日、日曜日・祝日 利用【過去】（ＳＡ）
1～3年生



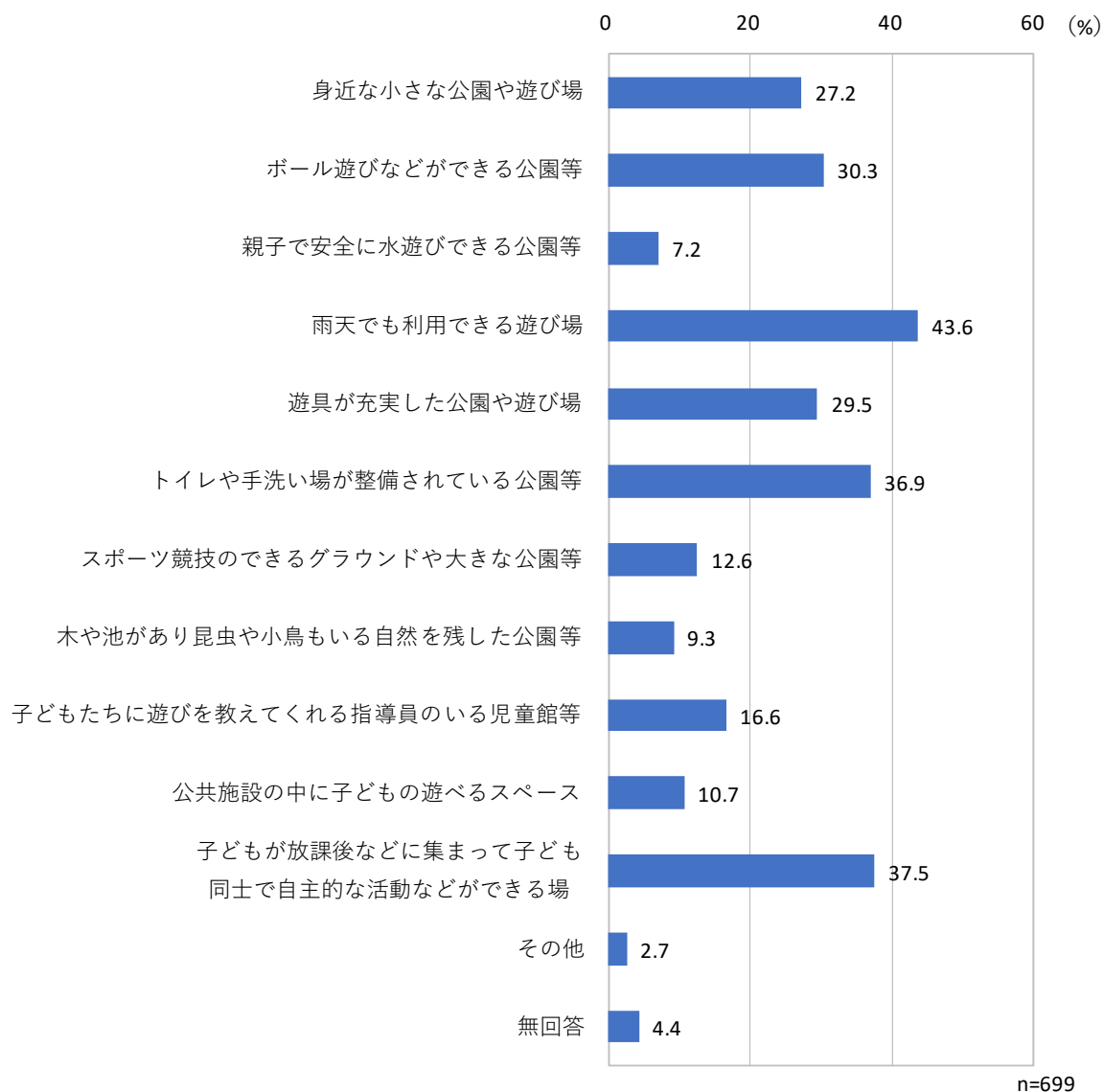
「長期の休暇期間中」の割合が最も高く 85.5%となっています。次いで「土曜日」（28.3%）、
「日曜日・祝日」（11.2%）となっています。

4～6年生



「長期の休暇期間中」の割合が最も高く 86.4%となっています。次いで「土曜日」（33.3%）、
「日曜日・祝日」（13.6%）となっています。

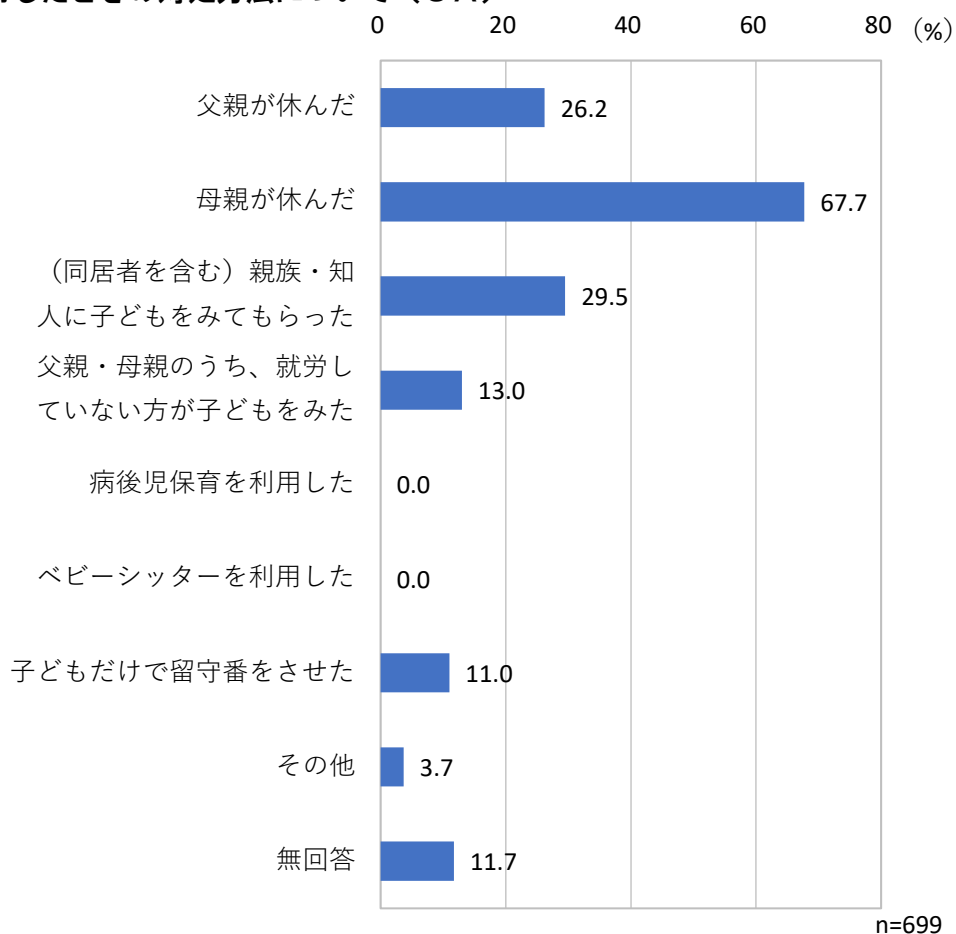
問 15 過ごせる場所の希望（MA）※主に当てはまる3つ



「雨天でも利用できる遊び場」の割合が最も高く 43.6%となっています。次いで「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主的な活動などができる場」（37.5%）、「トイレや手洗い場が整備されている公園等」（36.9%）となっています。

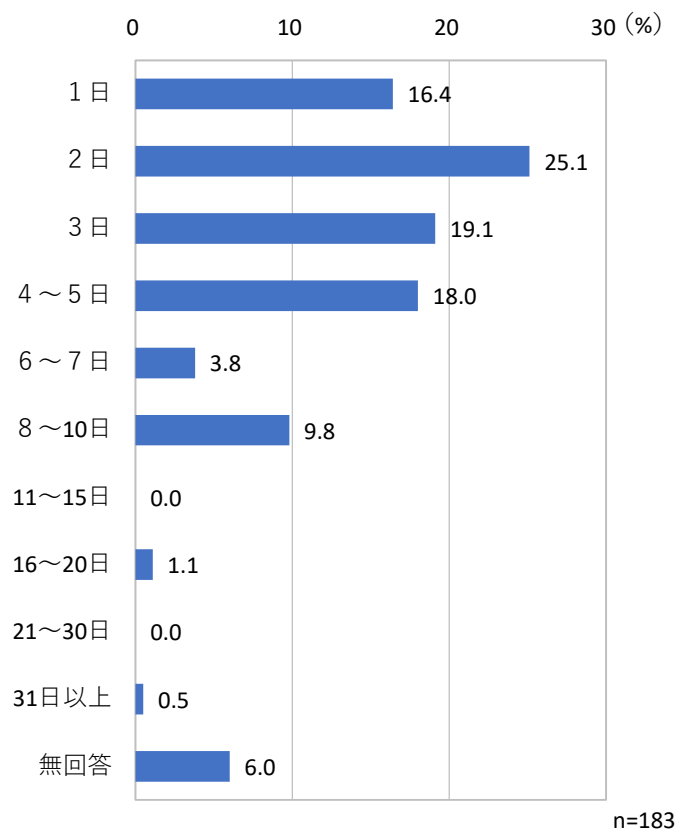
（３）病児・病後児教育事業の利用意向

問 20 病気やケガで欠席したときの対処方法について（ＳＡ）



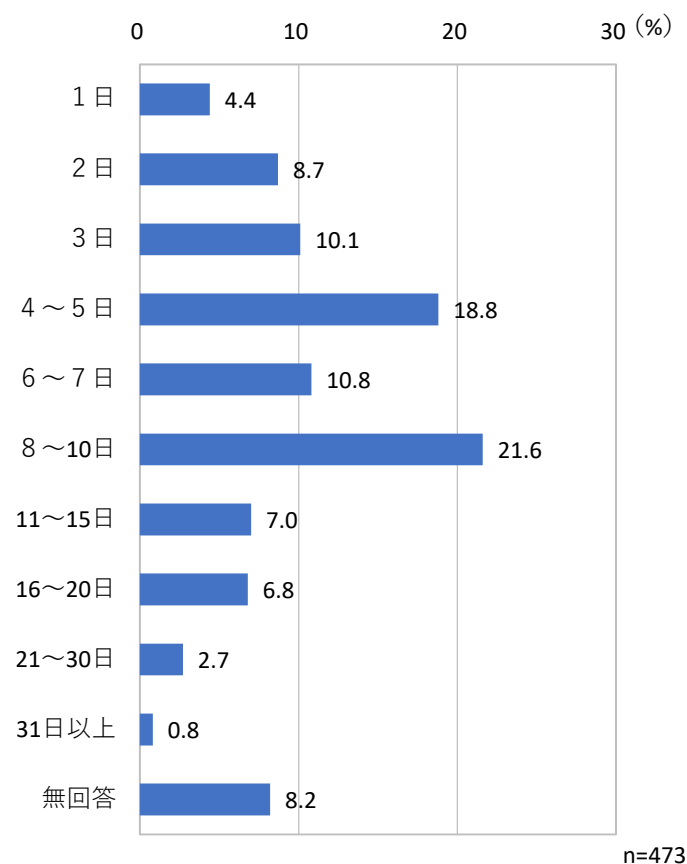
「母親が休んだ」の割合が最も高く 67.7%となっています。次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(29.5%)、「父親が休んだ」(26.2%) となっています。

1. 父親が休んだ/1年間の対処方法/日数



「2日」の割合が最も高く 25.1%となっています。次いで「3日」(19.1%)、「4～5日」(18.0%)となっています。

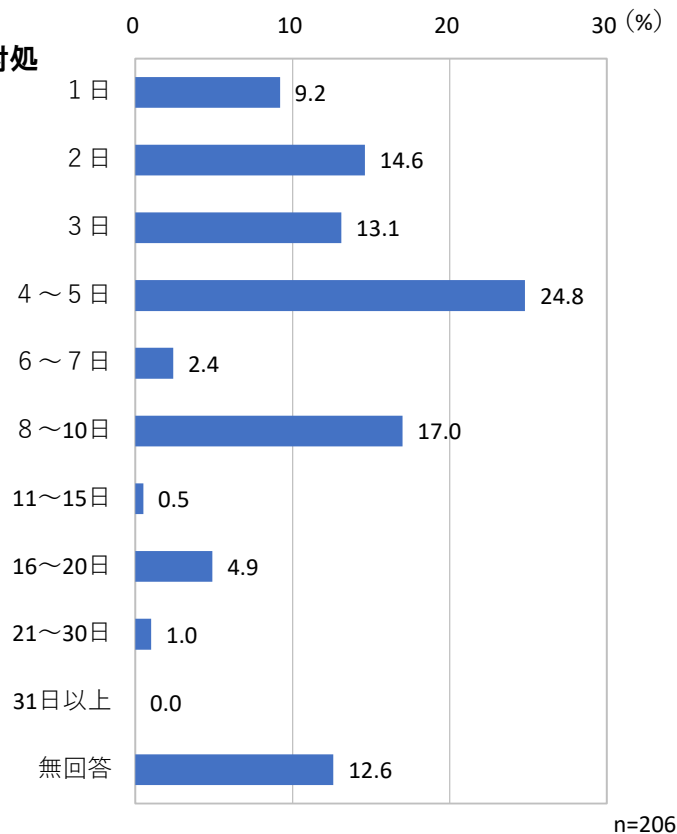
2. 母親が休んだ/1年間の対処方法/日数



「8～10日」の割合が最も高く 21.6%となっています。次いで「4～5日」(18.8%)、「6～7日」(10.8%)となっています。

3. (同居者を含む)

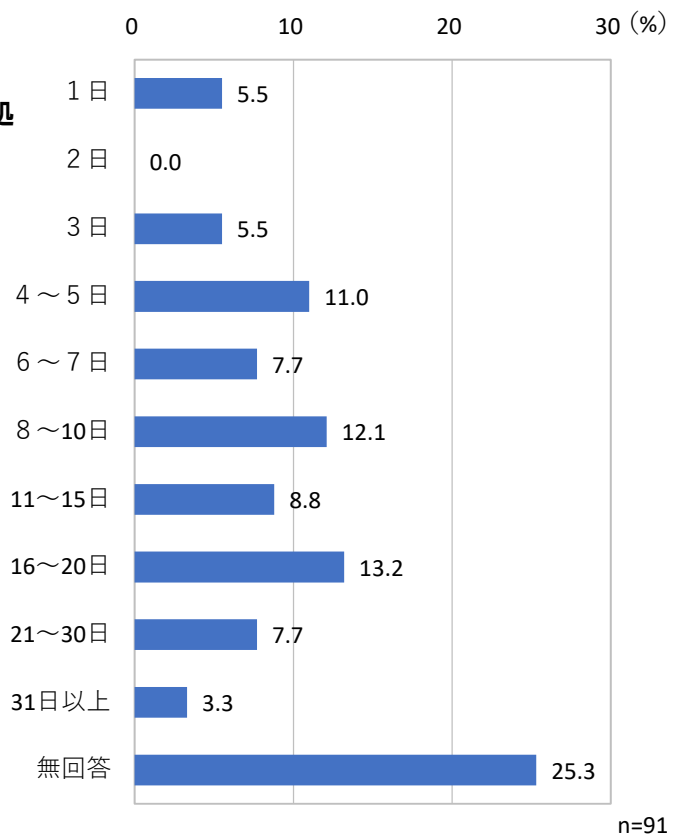
親族・知人に子どもをみてもらった/1年間の対処



「4～5日」の割合が最も高く 24.8%となっています。次いで「8～10日」(17.0%)、「2日」(14.6%)となっています。

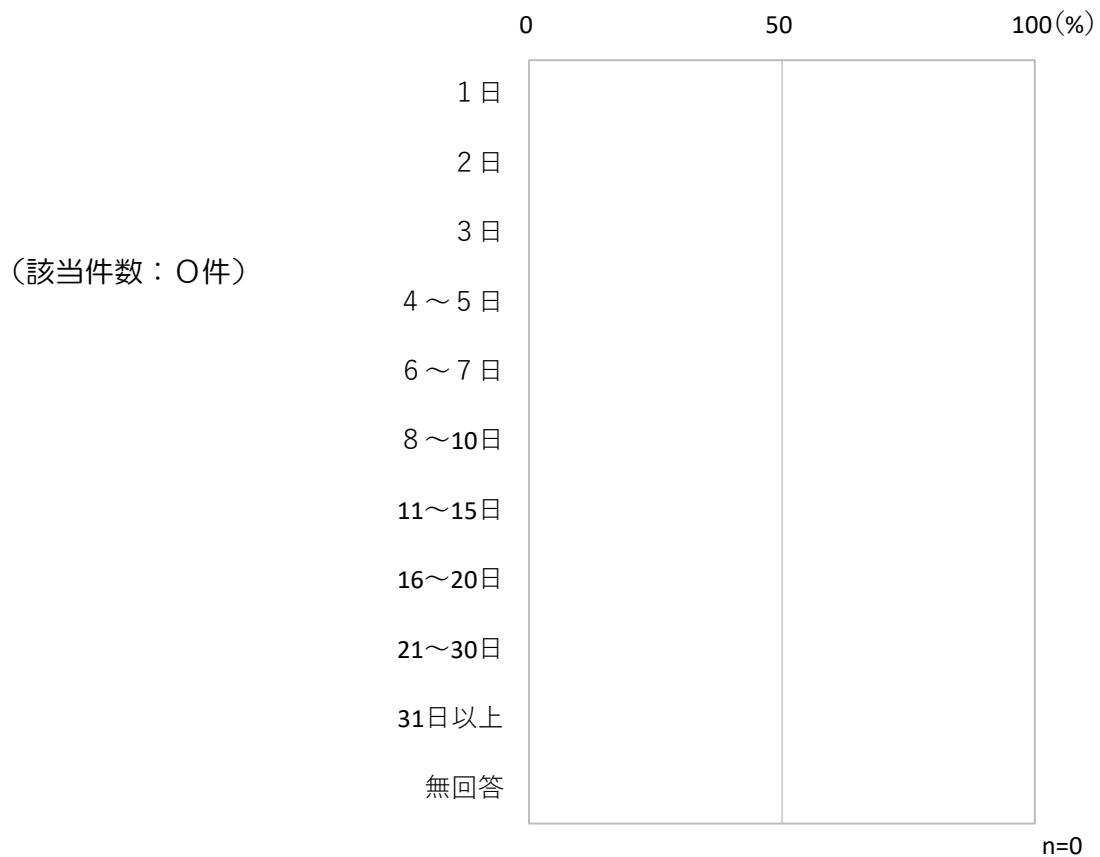
4. 父親・母親のうち、

就労していない方が子どもをみた/1年間の対処

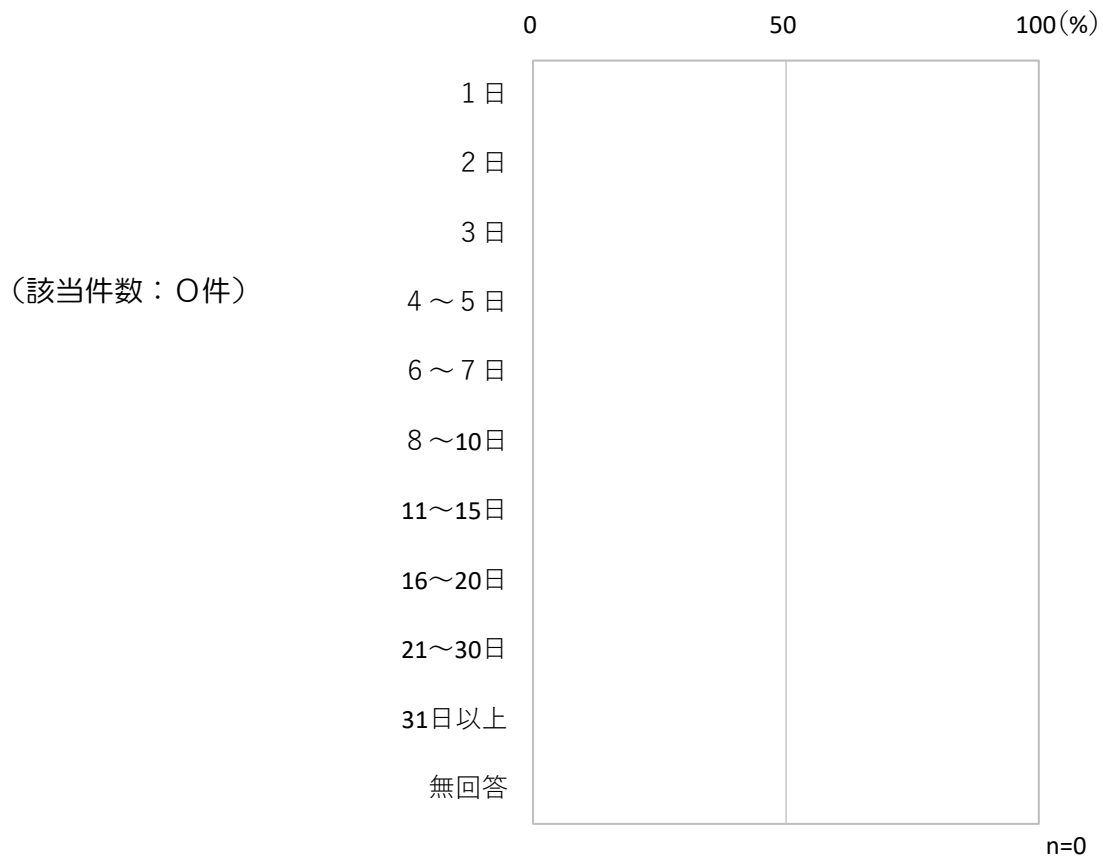


「16～20日」の割合が最も高く 13.2%となっています。次いで「8～10日」(12.1%)、「4～5日」(11.0%)となっています。

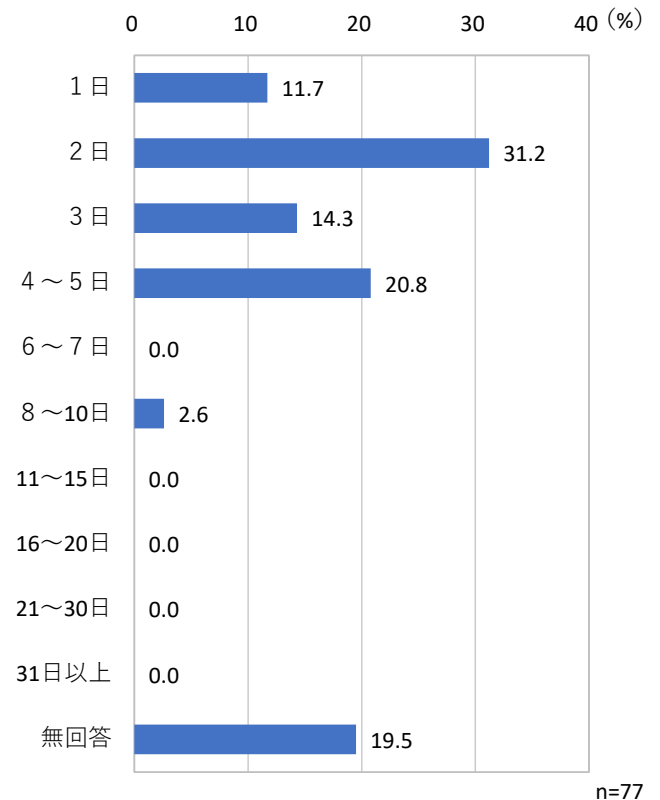
5. 病後児保育を利用した/1年間の対処方法/日数



6. ベビーシッターを利用した/1年間の対処方法/日数

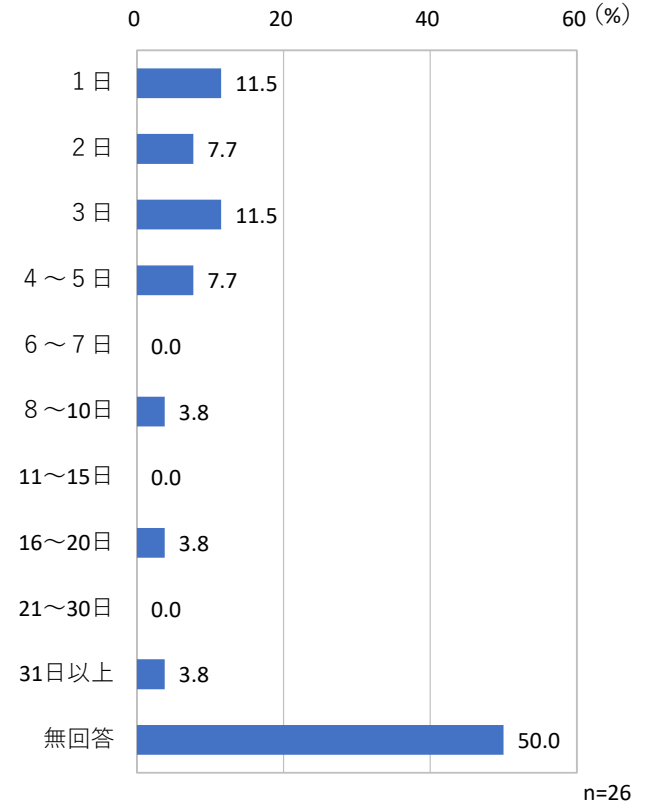


7. 子どもだけで留守番をさせた/1年間の対処方法/日数



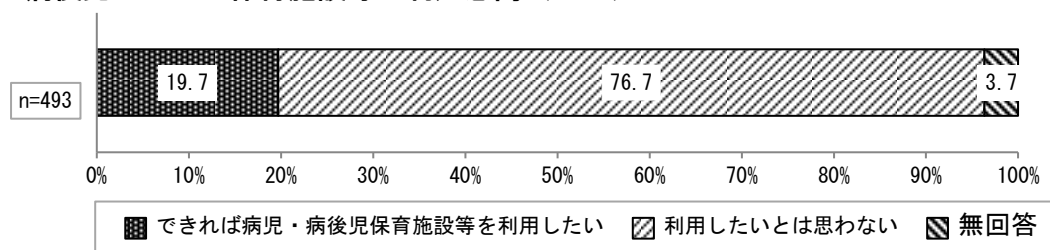
「2日」の割合が最も高く 31.2%となっています。次いで「4～5日」(20.8%)、「3日」(14.3%) となっています。

8. その他/1年間の対処方法/日数



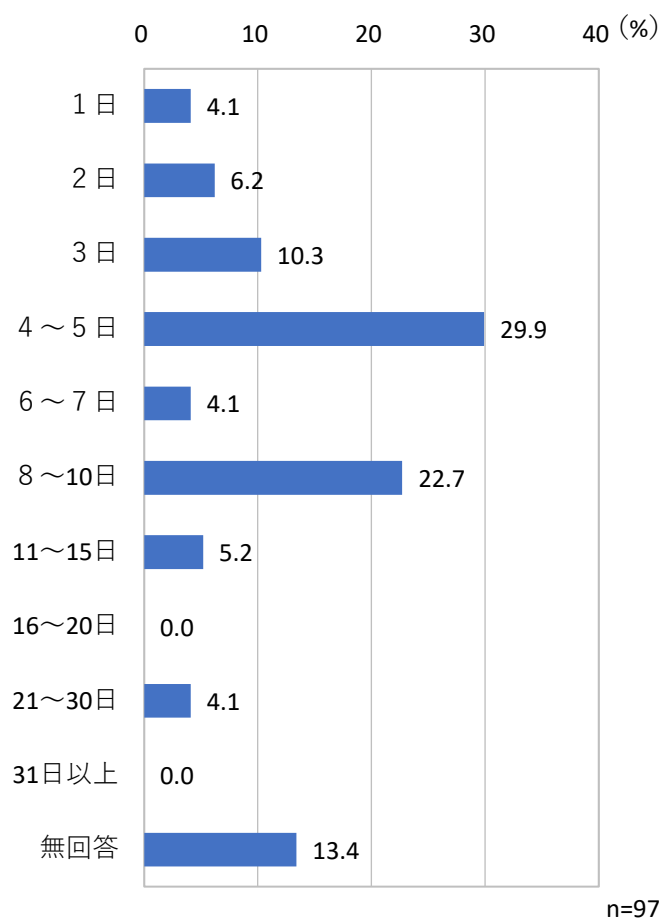
「1日」、「3日」の割合が最も高く、ともに 11.5%となっています。次いで「2日」、「4～5日」(各 7.7%) となっています。

問 20-1 病児・病後児のための保育施設等の利用意向（S A）



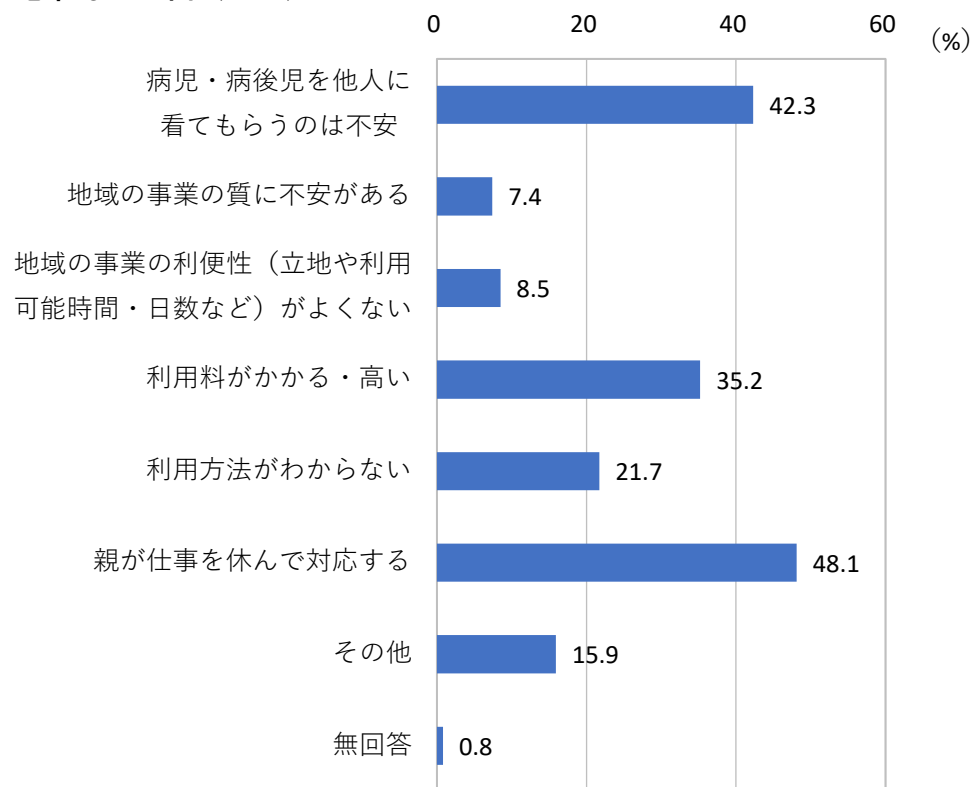
「利用したいとは思わない」の割合の方が高く 76.7%となっており、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 19.7%となっています。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい/利用希望日数



「4～5日」の割合が最も高く 29.9%となっています。次いで「8～10 日」(22.7%)、「3 日」(10.3%) となっています。

問 20-2 利用したいと思わない理由（MA）



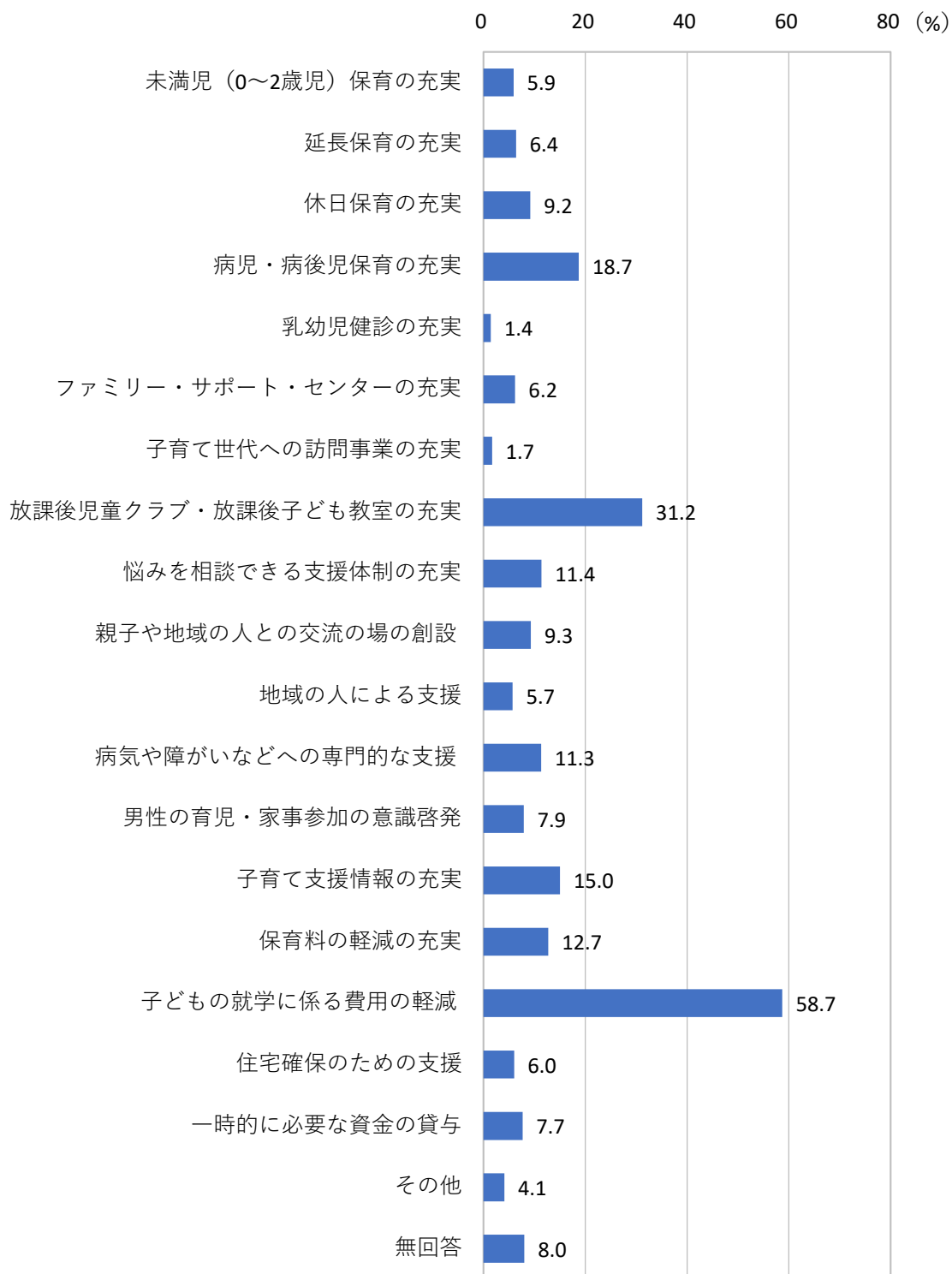
n=378

「親が仕事を休んで対応する」の割合が最も高く 48.1%となっています。次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（42.3%）、「利用料がかかる・高い」（35.2%）となっています。

〔その他〕熱があるとみてくれる病院も少なく、そこまで考えられない／どうせ病院に連れて行くために休むから／他の病気になる不安／子どもが人見知りが激しいので／具合の悪い時は子供の側にいたい。それを理解してくれる職場が大事だと思う／信用できない／祖父母に依頼する／職場の理解を進めてほしい 等

（４）今後希望する子育て支援サービスについて

問 19 今後、充実を希望する子育て支援サービス（MA）※主に当てはまる３つ



n=699

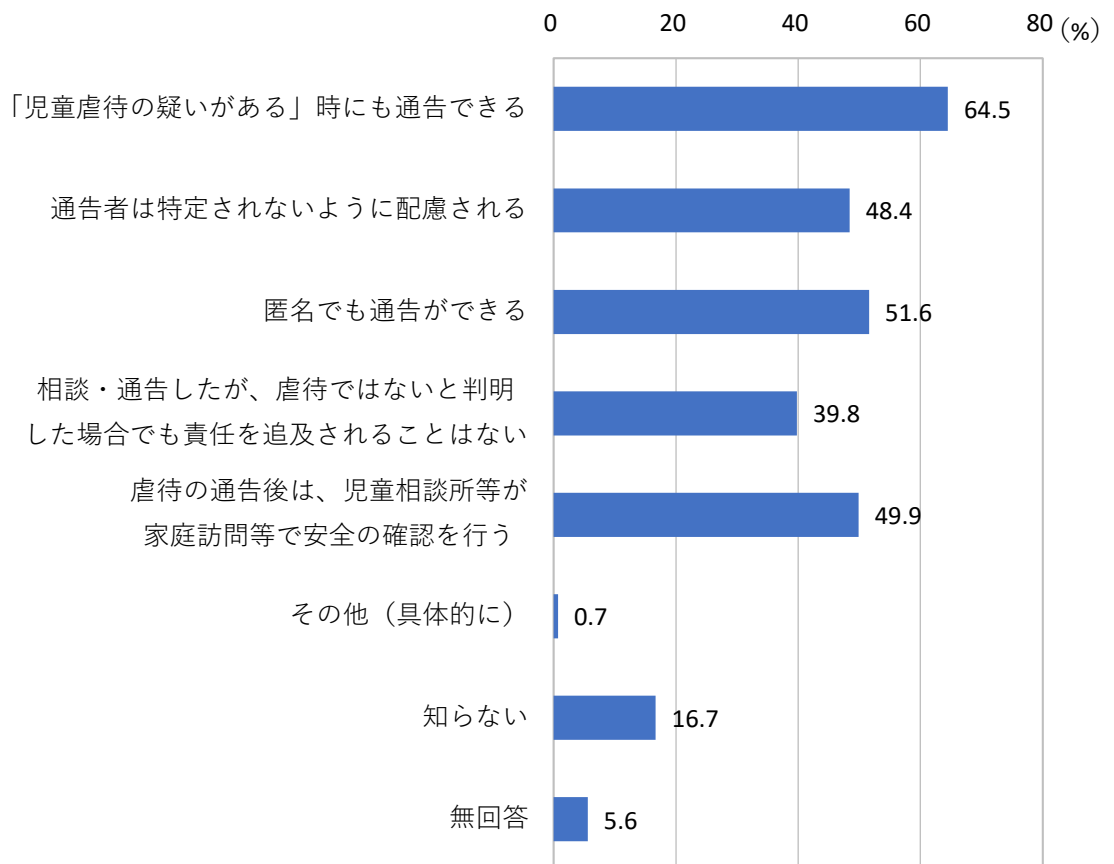
「子どもの就学に係る費用の軽減」の割合が最も高く 58.7%となっています。次いで「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実」（31.2%）、「病児・病後児保育の充実」（18.7%）となっています。

第 12 章 児童虐待に対する意識

1 児童虐待に対する意識について

(1) 児童虐待に対する理解・認識について

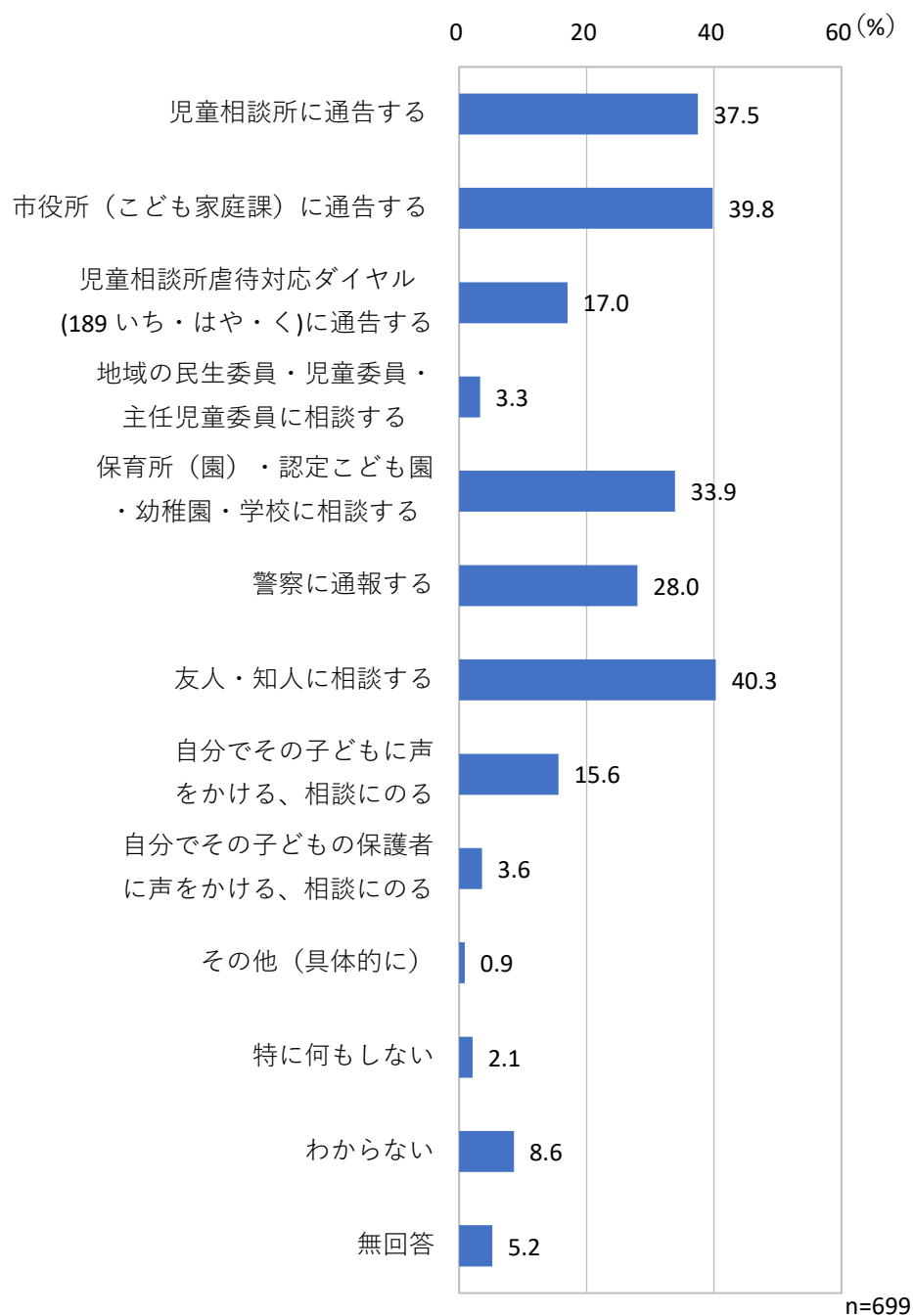
問 16 児童虐待の通告について知っているもの (MA)



n=699

「児童虐待の疑いがある」時にも通告できる」の割合が最も高く 64.5%となっています。次いで「匿名でも通告ができる」(51.6%)、「虐待の通告後は、児童相談所等が家庭訪問等で安全の確認を行う」(49.9%)となっています。

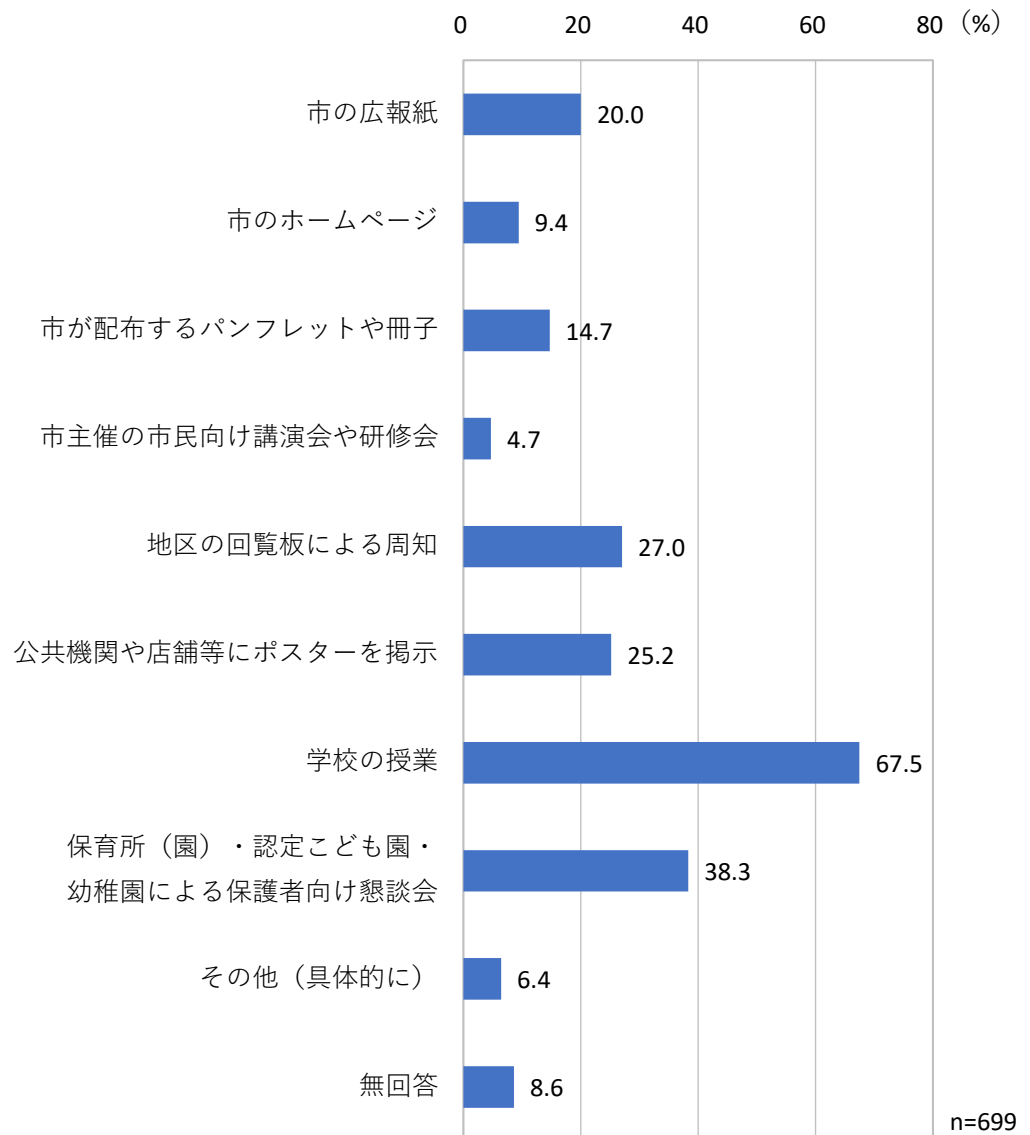
問 17 児童虐待を受けた（その疑いを含む）と思われる場合にとる対応（MA）



「友人・知人に相談する」の割合が最も高く 40.3%となっています。次いで「市役所（こども家庭課）に通告する」（39.8%）、「児童相談所に通告する」（37.5%）となっています。

問 18 児童虐待防止の啓発活動のうち、効果的であると思う取り組み（MA）

※主に当てはまる3つ



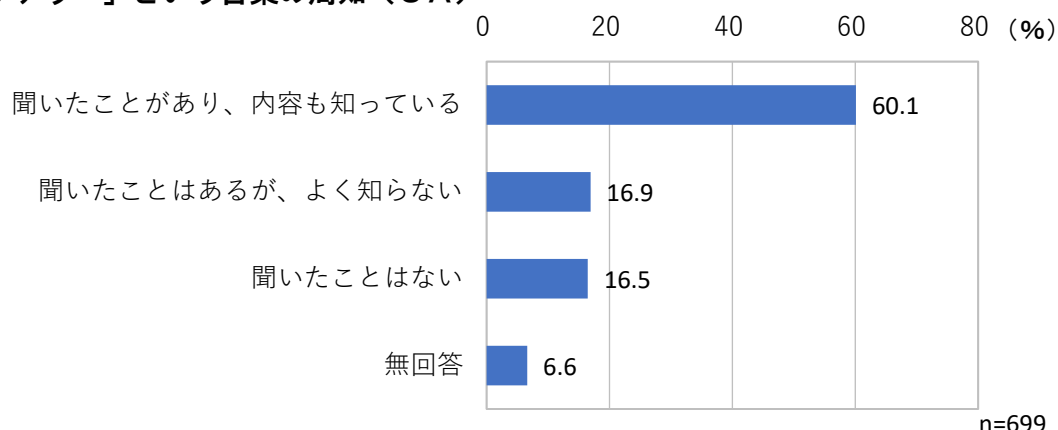
「学校の授業」の割合が最も高く 67.5%となっています。次いで「保育所（園）・認定こども園・幼稚園による保護者向け懇談会」（38.3%）、「地区の回覧板による周知」（27.0%）となっています。

第 13 章 ヤングケアラーに対する意識

1 ヤングケアラーについて

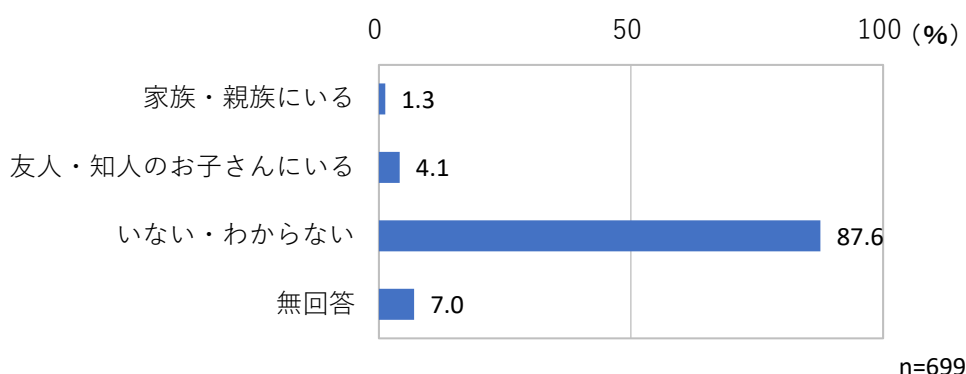
(1) ヤングケアラー

問 21 「ヤングケアラー」という言葉の周知（SA）



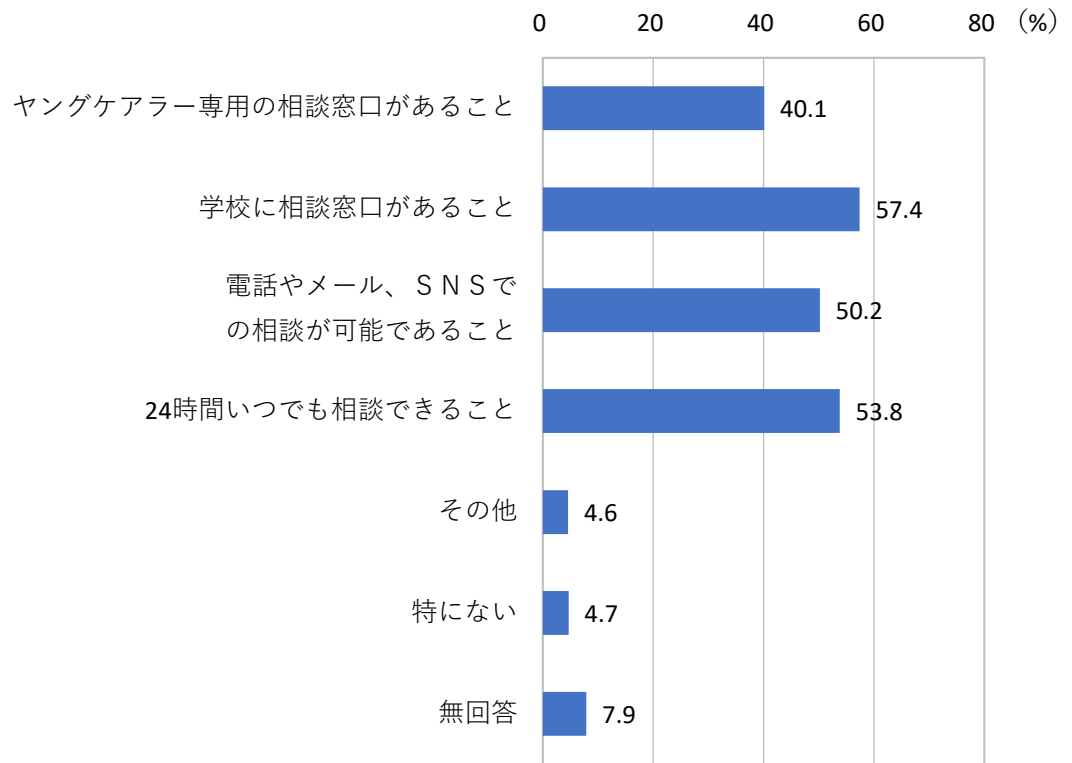
「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が最も高く 60.1%となっています。次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」（16.9%）、「聞いたことはない」（16.5%）となっています。

問 22 ヤングケアラーの有無【家族や親族、または友人・知人】（SA）



「いない・わからない」の割合が最も高く 87.6%となっています。次いで「友人・知人のお子さんにいる」（4.1%）、「家族・親族にいる」（1.3%）となっています。

問 23 相談しやすい環境づくりに必要なこと（MA）



n=699

「学校に相談窓口があること」の割合が最も高く 57.4%となっています。次いで「24 時間いつでも相談できること」（53.8%）、「電話やメール、SNSでの相談が可能であること」（50.2%）となっています。

第 14 章 自由意見

自由意見【小学生】

※掲載にあたっては、意図を踏まえ調査票記述内容に対し一部編集を行っています。また、特定の個人や団体を指しているご意見につきましては、特定できる箇所のみ編集を行っています。

1. 補助金、経済的支援、無償化等について

- 富津市がお金ないのはわかっていますが、もう少し無駄遣いをなくしてもらって、これからの日本の宝になる子ども達のために、支援等検討していただきたいです！
- 低所得世帯だけでなく、全ての子育てしている家庭にも給付金を支給してほしい。子供が体調不良の時に、病院が混んで診察してもらえない時が多い。子供を優先的に診察してくれるような体制があっても良いと思う。
- 子供 3 人おり、インフルエンザなど 5 日間仕事を休まなきゃいけず、順番に移っていき 2 週間ぐらい行けず困りました。祖母にもインフルを移せないで仕事を休みましたが、その時の資金などほしいです！母親が仕事を休まないといけな。でもその分収入が減り、病気になったり長い休みになった時はすごく困っています。よろしくお願いします。
- 高校や大学向けの補助金が不足している気がする。教育費用があとから戻ってきたり補助してもらえるのは助かりますが、先に支払いのお金を用意するのが大変です。小学校の担任の先生がよく休むらしく、教室も散らかっていたりしてよく忘れ物をするらしいので心配です。第 3 子という扱い…上の子が卒業したら第 2 子扱いとか（児童手当等含）年齢が近い兄弟なら色々な恩恵を受けられるが、離れていると色々と損。不公平な感じがします。
- 高校と大学の学費を支援してほしい。
- 自治体にバラつきがあるようだが、給食費と中学校制服の無償化は早急に行ってほしい。特に制服のことに限っては家計の負担も大きく、取扱店の指定による価格競争も起きないことから値段も高すぎると思う。また東京都がすすめていて決定した高校学費無償に対しても県に働きかけてほしい。
- 子供に関する支援がまだまだ足りないと思います。子育て世代が住みやすい環境づくりをしなければ富津市の高齢化は避けられない気がします。財政難で富津市の予算がないことはわかりますが、子育て世代への資金の支援はもっとしてほしいです。非課税世帯以外にも申請すれば補助金がもらえるとか。ヤングケアラーの流れでいえば、小児の難病の方達の支援もしてあげてほしいと思います。訪問看護の紹介や在宅患者さんへのお薬の配達などをしてくれる薬局の紹介などを市でも把握して伝えてほしいです。他の市での話ですが、そういうのを市で教えてくれず SNS などのコミュニティで知ってやっと利用できて助かったという事例がありました。SNS も市での発信ももっとしたほうが良いと思いました。子育て世代として虐待などをなくしたいのであれば、悩んでる親たちに市がもっと寄り添うべきだと思います。
- 子供のためにももう少し資金がほしいです。家族手当のためパートで働いてもそんなに働けず、その辺をもう少し考えてほしいです。お願いします。

- 子供が３人います。富津市は給食費が中学校３年生の子が対象ですが、全学年の子が対象になると助かります。
- 学校の集金、給食費…兄弟、姉妹がいると高く感じる。義務教育なのにどうしてこんなに入学や卒業でかかるのか、中学校も制服は本当に必要なのか？実際両親朝から晩までずっと働かないと生活できていないのに、子供と一緒にいる時間なんて本当にわずかでしかない。富津は他の市と比べても税金が高いし←本当にこれ！昔からの地元民の年寄りばかり。特に人が入るようなお店もないし、すぐ潰れてしまう。仕事をする場所も少ない。学校から近い借家もめったになく、本当に地元の人しか暮らせないと思う。そしてその割に家も高すぎ！そんな価値があるのかって思うほど高くて、家を買う気にもならない。もう少し子育てしやすくして生活が少しでも楽になるような事がないと、どんどん人がいなくなると思う。
- 子育てがしにくい。お金がかかる。働きたいが、幼稚園や学校の帰りが早く、長時間働くことができない。母親の負担が多く（PTA や子どもの看病など）体も心も休まらず、とても辛い。子どもに習い事をさせたくても、送迎の負担があったり金額が高くさせてあげられない。年配者ではなく子育て世代を手厚くすべき。独身の方から徴税すべき。
- 給食費無償化。学校集金。中学校進学時の制服等、初期費用等。環境の充実だけでなく、家庭が負担する教育費を減らしていただければと思う。環境を充実にしても親が働く時間が増え、家族の時間が減ってしまえば、子供の心のよりどころはなくなってしまうと思う。ヤングケアラーになってしまう家庭も、結局はお金の問題が大きいと思う。市民にとってより良い、市民の声を聞く市にしていっていただきたいです。よろしくお願いします。
- 子供手当、子供の年齢が上がるとなぜ額が減るのか？大きくなるほど食費も教育費なども増えるのに…納得できません。制服など学校で使う物を少しでも安くするか補助してもらいたい。
- 低所得世帯の給付金は多いのに、子供のいる世帯は給付金が少ないように思う。物価の高騰でみんな大変だと思う。食費も教育費なども増えていくのに子供手当が減るのは納得できない。制服、体操服など補助してもらいたい。働いて、子育てして、働くには子供をどうにかしないとイケないし、限界がある。でも給料は低く物価はどんどん上がる。毎日疲れるし、子供という時間を減らしてまで働くのは幸せなのかなんなのかわからない。（子供いらないと思う時もある。）子供はもちろん、母親を支援してもらいたい。
- 小学生が安心して遊べるような施設があると良い。近隣の子供と遊んでいるが、自転車に乗らないと遠いし保護者が送迎している。それでも良いが、現在、共働きの家庭が多く、家主が家にいないまま子ども同士で遊ぶこともある。お互いに納得していれば良いが、トラブルになりかねないので、公共の場で集まって過ごせるような所があると良いのではないかと。その場合、地区ごとにそのような場がないとイケないため、予算的には現実的ではないと思う。でも子どもが比較的多いエリアなど空き家を利用したりして作るのも良いのではないかと。都心から富津市に移住してくる人は多いが、主にシニアである。小学校も１クラスばかりである。どんな支援があればいいのか手立てを考えてほしい。子育て世代に大きなメリットがあれば、子どもの数も増えると思う。まずは保育所などの施設を拡充したりすべき。また地域柄、祖父母と住んでいる家族が多いので、孫と住んでいる世帯に手当を出すなどすれば良いのではないかと。思う。
- 小学生の教育費の補助も行ってほしいです。所得制限を撤廃してほしいです。（児童手当等。）スクールバスの運行に関して、悪天候時の対応を見直してほしいと思います。台風が接近している

予報が出ているのに通常登校の連絡があり登校したが、学校から連絡があり午前中で下校、ということが何度かあり、仕事を持っている保護者にとっては、仕事に携帯を見れる状況ではない時に学校から連絡が入っても、確認もできず子供も迎えに行くことができず、子供は徒歩で帰宅となると危険だからです。危機管理不足です。そのために悪天候時の登校や下校、及び休校の判断を早くしてほしいですし、「保護者の判断で…」との表記は責任逃れにしか思えないです。

■1人親世帯、低所得者ばかりに支援があるのはおかしい。当てはまらなくても生活に苦しんでいる人はいっぱいいる。1人親の方が支援や手当が多いから簡単に離婚できてしまう。我慢して離婚しないメリットがない。

■小学・中学・高校位まで学校でかかる費用は市で負担していただきたいです。

■子ども支援に低所得者のみとか住民税非課税世帯のみとかしか支援の対象にならないのは納得できません。夫一人の収入で家計への影響は物価高騰により生活は苦しいです。同じ児童には変わらないのでは？

■給食費を無料にしてほしいです。雨の日でも子供を遊ばせる場所を作ってもらいたい。

■塾の費用負担希望

■いつも非課税世帯の支援ばかりだがそうではない世帯も税金ばかりひかれて結構生活もきつい。

■鎌ヶ谷市で始まるように給食費無償化をして 富津での子育てを周りの市との差別化をした方がよいと思います

■産後半年でも構わないので、週に数日気軽に預けられる場所や室内の遊ぶ場所が充実していれば嬉しかった。 第三子の費用軽減と、保育料などの待遇は年々良くなり嬉しい傾向だが、もっとも多いであろう子供が二人の家庭の負担は多いままである。 世帯や環境は昔と違い、学童はとても重要な中、費用は高く昼食支援もない学童しか選択できない現状。長期休みの毎日のお弁当、二人分の利用料の為、就労していても年収ほど豊かな消費選択はできない。 現市長になり、目に見えて子育て世代への考慮は感じており、今後学童への配慮も期待している

■給食費無償化

■「すすくギフト」非常に助かりました。ありがとうございました。 無理なお願いだとは思いますが、給食費無償化にしていただけたら嬉しいな〜と心から願っております。

■給食費を無償希望

■児童扶養手当の所得制限を緩和してもらいたい。少しでも収入が増えると減額される。収入が中間層の親が手当て貰えなくなるのが一番きついです。

■ひとり親でない世帯、低所得者でない世帯への支援も充実させてもらいたい

■ひとり親世帯、低所得者世帯でない世帯への支援を充実させてほしい

■給食費は全児童無料にしてほしい。

■前にもあった給食費無料があると家庭としては大変助かります。

■給食費を無料にして欲しい

■中学卒業まで、給食費無料。

■補助金等の手当受給制度が多く利用できると助かります。

■金銭的な支援がもっとあると思う。 職種に関わらず、休みやすい環境が欲しい。

■放課後児童クラブの第三子への補助金など、運営側の事務手続きが煩雑になるような変な補助金はやめたほうが良いと思います。 第三子にこだわるようだけど本当に困っているのは第三子以

降の子どもがいる家なのでしょうか。しかも、上の子がかかり歳が離れていたり、父親が違う子どもでも第三子に入れるなど、しているようですが…ほかにもっとわかりやすく、本当に困っている家庭への支援にお金が行き届くようにしてほしいです。

- 地域の見回りをしてほしいです。給食費などの無償化。
- 去年夫が亡くなり、現状が辛いにもかかわらず、前年度の所得税等で扶養手当等止められてしまう事。給付金を受けられずカードローンにすぎる現実がある事も知って頂きたい。今を見て欲しい。
- 無料で放課後に勉強を教えてくれる施設がほしい 塾などはお金がかかるので
- 富津市の財政状況が悪いのは充分、承知していますが、子供に対する手当てを充実させなければ、この市は終わると思います。
- 学校に関わるお金がもうちょっと負担していただけると嬉しいです
- 税金どうにかありませんか
- もっと給食費の軽減の拡充をしてほしい
- 入学 準備金を高校に上がる時にも支給して欲しい
- 非課税だけ〇万円だなんて！ 課税世代にも給付金出して下さい。富津市独自の支援が他所より全く少なくて引っ越ししてきたいと思えないと思います。ウチも本当は独自の子育て支援しているところに引っ越したい位です。富津市にお金が無くても給付金とか制度とか施設増やさないとも人口も増えません！
- 教育資金の支援をもっと充実してほしい。
- 子供が小さい時は手厚い支援に本当に助けていただきました。しかし成長するにつれて、塾や進学でお金がかさむようになり、夫婦共働きでも正直キツイです。全ての人ではないけど、母子家庭で元旦那さんから養育費をもらい、市からの子供手当の他にコロナになってから何度となく支援金をもらっている人もいれば、同じ母子家庭でも手当てと支援金だけでは進学費用が足らず昼夜働いている人もいます。うちは旦那もいるから何とか頑張ろうと思っていても、何度もメールで低所得者や母子家庭への支援を知ってしまうと、なんだか切なくなります。今は高校無償化と謳われていますが、全く費用がかからない訳でもないし、大学だって母子家庭の方の方が優遇されているように思えます。大きくなってからお金がかかるとは聞いていましたが、身内の不幸だったり予想外の出費がかさんだりして毎日カツカツです。私もこれから副業をするつもりですが、子供が成長してからの支援がもっとあったらいいなと思いました。長々とすみません。
- 稼いでも稼いでも子供達にお金が出て行く。一体、子供が自立できるようになるまでにいくらかかるだろうか。本当はさせてあげたいこと体験して見てほしいこととしてあげたいことが沢山あるのに時間も資金もなく悔しい。環境も経済も改善して貰いたい
- 経済的負担の軽減策（補助、貸付制度など）の充実
- 社会的に子育てに関する費用が掛かり過ぎます。学問こそ国をあげて支援しなければならないと思います。
- 130 万の壁の話など、所定の金額を超えて働いても税金など高くなる分を市で補助してもらえシステムなどがあるよい。もしくは、無償か低料金で学校が終わっても園の延長のように 18:00 や 19:00 までそのまま学校で預かっていただけるとよい。大学の費用を貯める為に正

社員でフルタイムで働きたいが、子供の下校時刻を気にしたり、年収を気にしたり、なかなか安心して働けない。

- 物価高やコロナやインフルでの仕事を休んで対応など 色んな事が重なり、まだまだ続き子育てするために 給食費無料支援など子育て支援を拡充していただきたい。
- ひとり親の支援ばかりお金を国が配り、両親揃っていても平等な世の中になってほしい。 富津市の先生の働き方改革のあり方はわかるが、部活が少なくなり、練習したくてもできない。 お金を出せば習えるが、その負担が家庭には負担になり生活が厳しくなる。 もう少し子供のことを考えてほしい。
- 義務教育でかかる費用は、市で払って頂きたい。
- 教育にかかる費用の軽減を、早急に実現させていただきたい。
- 我が家は子供の歳が最大 15 歳離れている。 第三子の保育料が兄弟の年齢差関係無く無料でとても有り難かった。 しかし、児童手当は年齢差により第三子とはいえ 1 万円。 今年度から改正されるようですが やはり 1 万円の見込み。 改正により保険料が上がる予定だと聞くと子育て支援と言えるか疑問。（国の政策と理解はしています） 第二子が病気と障害があり、病気が判ってから 14 年、 富津市の福祉課では大変お世話になっております。 親切と励ましといつもありがとうございます。

2. 遊び場や公園等について

- 子どもたちが遊べるスペースがほしいです。木と芝生のある公園。
- 毎日の宿題は大切だと思いますが、低学年から量が多すぎるように思う。帰ってからの遊ぶ時間はほとんどなく疲れてしまう。もう少し学校でしっかりと基礎をやってほしい。親がやっているような宿題（教えたり、ずっと見ていないといけない）になってしまっている。宿題がある日、ない日など ON、OFF をつけて子供達が楽しめるような授業の進め方なりにしてほしい。給食が少なすぎる。帰宅後お腹が空いてることが多い。もう少し子供が楽しめる公共施設があってもと思います。ふれあい公園にバスケットができたり遊具を増やしたり、誰が遊んでも楽しめる公園がほしい。
- 毎日の宿題は大切だと思うが、低学年から量が多すぎる。帰宅後遊ぶ時間がほとんどない。（宿題をやる時間で。）もう少し学校で基礎をしっかりやってほしい。子供の理解力に合わせた進め方でやってくれないと、親が見ることが多くて、学校での教え方だったり違って親子共々負担になることもある。宿題はない日を作ったり、子供達が楽しめるような進め方だったり学校では特にしてほしい。給食が少なすぎる。バスケットコートを作してほしい。変な銀色のゴールをなくしてちゃんとしたコートに整地してほしい。小さい子からお年寄りまで楽しめる遊具が充実した公園、ふれあい公園をもう少し整備してほしい。
- 子どもが元気いっぱい体を動かして遊べる公園が飯野地区に全くない。公園を作っていただくか、放課後のグラウンドを開放するかしていただけるとありがたい。
- 塾の代金がどこも高いのが困る。子供が楽しく遊べる所がない。（高学年～高 1 までの子用の）（今の子は遊んだり出たりしなさすぎ…ゲームばかりは良くない。）高学年（5～6 年生）、中学生、高校生が着る洋服店が少ない。違う市へ行ってしまふ。市内でファッションセンター多いと、子供も親もより良くなると思う。コロナがあってから学校行事で行かれない子がいるとか中

止とかを聞くと切なくなる。マスクは今の子どもたちには必要だけど、コロナやインフル等風邪と付き合っていく以上に、マスクの付け方の正しい仕方をもっと初心に戻し講習すべきだと思う。（マスクして口隠してても鼻が出てるマスクの仕方はおかしい。）赤ちゃんにもマスクを嫌わずにさせてあげる工夫も皆で考えるべきだと思う。たばこを吸う人に注意したりやめてほしいと思う。煙を吸う人の体のことも気にしてもらいたい。（特に小さな子や喘息持ちの子の前で。）吸うのは良くない。たばこいらない市にってもらいたいと思う。たばこ嫌いです。タバコの値上げ、お酒の値上げ、市からなくしてほしい。子供の洋服、身につける物、今後必要な物を第一にたくさんほしい。子供第一優先すべきだ。子供大事。大切。いじめがあったら色んな人と助けるべきだ。ヤングケアラーをだしてはならない。子供に職業体験またしてほしい。（させてほしい。）病気になった時、発熱外来の予約いつしてるの？いっぱいになると電話に出てくれない所が多い。それに対してすごく困ります。前のように常に繋がるようにしてほしい。子供のためにもお願いしたいです。自分が子供の頃よりは、今の子どもたちは賑やかに遊んだりしていない。遊べる年齢層を考えて遊べる所をもっと作ってもらいたい。子供たちがドキドキ・ワクワク体験をさせてあげたいと思った。子供たちが富津市が大好きって思ってもらえるために服屋さん、映画館あるといい。

- 飯野地区ですが、子どもが遊ぶ公園を作ってほしいです。コミュニティセンターがありますが、ボール遊びなどできる所があったら良いかと思います。
- 各地区に小さな公園があるが、場所によっては遊べず、犬の散歩（ウンチをそのまま）の利用になっていて使えない。新富グラウンド（サッカー場）のトイレの整備。利用者が多いのに汚いし、男性用が丸見え。総合体育館の駐車場の整備。青堀 2 号公園（青木八坂神社前）を学校のグラウンドみたいに土で固めるか他の方法で整備してほしい。6 月から神社で祭りの太鼓の練習があるが、雨が降ると土がぬかって車が大変なことになっている。また、あと 10 年もすれば高齢者が増えるので、筋トレができるような遊具やトラックができてほしい。乳児～高齢者が利用できる施設にしてほしい。富津市の教育レベルや意識が低い。レベルの高い教師の配置を。
- 給食費をなくしてほしい。公園を増やしてほしい。青堀駅前の充実。
- 金谷地区は市内で 1 番の観光地ですが、子どもが出生していません。保育所も統合する話が挙がっています。公園もなく、とても遊ぶ場所がなく不便です。小学校跡地にも劣化した遊具しかないので、子どもを遊ばせる場所がありません。自然（海や山）の中で遊べば良い、との考えもありますが、子ども達が自発的に集まれる場所があったら良いなと心から思います。海浜公園など、もう少し有効活用してもらいたいと思います。クラファンなど行い、市民として色々取り組みたく思います。市が子育てしやすい市としていますが、あまりしやすいと感じたことはありません。ですのでどんどん声を上げていきます。未来ある子ども達へより良い環境を作ってゆけたらと思います。不満ではなくどうしたらもっと良い方向へ行くのか、市民として考えていけたら良いです。これからもよろしくお願いします。
- 放課後子供が集まって安全に遊べる場所（公園等）がないため、大貫地区内に 1 ヶ所でも作ってほしいです。
- 子どもたちが遊ぶことのできる公園を作っていただきたいです。（上総湊のあたりで）
- 学校への通学路が歩道がなく危ないので整備してほしい！何回も学校へも言っているが、事故が起きてからでは遅いのでお願いします。小さい公園が飯野地区はないので作ってほしいです。

- 公園をもっと使いやすくしてほしい。(遊具の充実、古い小学校などの活用。)天羽小学校、校庭内の通路、駐車場を整備してほしい。収入があっても子供にまわせるお金は限られているので、低所得者だけでなく全体への支援をお願いしたい。
- 子どもが少ないと思うが、小さな公園でもトイレ・手洗い場などを作ってほしい。古くなっている遊具をたくさん見かけるが、禁止になっているだけで何年も修理してくれる様子が見られない。学校の遊具に関しても使用ができない物が多い。
- 子供も親も安心して遊べる遊具が充実している公園や、室内の遊び場があまりにもなさすぎます。市外に連れて行くことの方が多く、市内で遊ばせられるととても助かります。また場所によっては、学童が高く、支払いが大変です。見直しをしていただきたいです。
- 公園の充実も良いが、市の公園の遊具が壊れたままであるなら、まず直してもらいたい。市として箱物を作って子育て世帯をねらう政策は良いと思えない。まず現状を是正し、今の世代が満足できることが優先ではないだろうか。
- 問 15 は 1～11 どれも充実させてほしいと思いました。図書館は自分で行ける場所にあるとありがたいです。子ども用の無料バスなどあると行かせやすいです。児童館があるといいと思います。公民館で君津市のように家庭学級やこどもクラブ(公民館主催の)があるとつながりが持て、子育て仲間ができ、悩みなど相談しやすいと思う。海賊船のようなものがある公園を遊具が使えるようにしてほしい。
- 大貫海浜児童遊園地のトイレをきれいにしてほしい。
- 市内の公園の遊具が少し新しくなってきて嬉しく思います。でもトイレが汚くて、子どもが嫌がり使用できません。大きな公園は利用者も多く、小さい公園よりも新しい遊具ができたり、修理されたりしているように感じます。富津公園もいつまでたってもロープが張られていて使用禁止が続いています。お金の関係だと思いますが、行く度に子どもに「まだ遊べないの?」と聞かれるので悲しくなります。あと岩瀬にある昔ながらの公園にあるトイレは、設置してあるだけで不気味です。学校へ行く通学路も安全に歩道があれば安心です。
- 富津市に限らず近隣の市内で、子供が遊べるアミューズメント施設がないこと。富津市でも近隣の市内でも良いので「ラウンド 1」を建ててほしい。そうすればもう少し活気が出るのではないのでしょうか?小学生・中学生・高校生の遊び場が全くとっていいほどないと思います。市の活性化のために、子供達が遊べる場を作るべきだと思います。
- 子どもたちが自ら遊びに行く場所(公園のようなところ)が少なすぎると思います。飯野地区の飯野中学校跡地(?)のグラウンドを公園にできないものではないのでしょうか?君津の中央公園のような色々と充実した遊び場にすれば多くの人が助かると思うのですが…。本郷に大貫へぬける新しい道路が開通され、交通の便が良くなった分、車がなかなかのスピードで交差点も走っていかれるので信号機をつけてほしいと思います。何かが起こる前に対応をお願いします。
- 子供達の遊ぶ(遊べる)場所は失くしてほしくないです。(例えば近くの公園(更和)の滑り台が今使えない状況ですが、新しい物と交換できないとしても、公園は失くしてほしくないです。あと金谷プール etc.)
- 富津公園のような駐車場があり遊具のある公園が市の南にはない。竹岡保育所の裏に「遊び場」があるが、利用している親子を見たこともないし、遊ばせようと思えるような場所ではない。保育所の子供達が利用しているのも見たことがない。他の市から移住したのですが、とにかく公園

といえるような場所がないので、また引っ越そうかとすら思える。天羽小学校の校舎が古くて子供達がかawaiiそう。市役所の外壁を直すのであれば子供達を優先してあげてほしい。

- 遊べる遊具（公園）が少ない。子供が公園に行ってもつまらないと言う。
- 富津に図書館ができ、とても嬉しいです。放課後子どもたちが安全に遊べる児童館ができればもっといいと思います。ふれあい公園はとてもいいのですが、見通しが悪く、子どもたちだけで遊ばせるのは不安です。
- 現在は子供達も大きくなりましたが、小さい頃近くに公園がなく、離れた公園まで自転車に2人の子供を乗せ連れて行きました。車に乗れない時期もあり、体力的にキツかったです。今も家の中でゲームをして遊ぶのが常ですが、公園があれば走り回ったり楽しく皆で遊べる気がします。外で遊べる場所がほしいです。
- 子供達が外で遊べる場所がない。ふれあい公園という大きな公園はあるが、広すぎて人があまりいなく、低学年や少人数で遊ばせるのは危ない気がしてしまう。遊具などもないため、子供が行きたがらないので結果的に君津や木更津、船橋(アンデルセン公園)など車で公園まで行くことになってしまう。そのため家族が仕事などがある日や、学校のある日はいけないため家の中で遊ぶことが多い。
- 子ども達だけでも遊べる立地と安全性を兼ね揃えた、公園がほしい。
- 遊具の充実した公園がもっとあったら、いいと思います。また小学校低学年だと、ALTの授業が一年に一回しかないと言われ、もう少し授業があればいいなと思いました。
- 子供達で放課後、集まる公園、広場がない。学校の校庭を放課後も解放して欲しい。
- 人口が少ない中で、利便性が悪く、子供の習い事や、学校の送り迎えが、仕事をしている時間とかぶり、大変である。また、市役所等の時間も、仕事を休んで対応しなければならないことが多く、共働きは大変だと思うが多々あり、これでは子育て世帯は増えていかない。学校が終わったあとの時間を学校出過ぎせるように対応して貰いたい。友達と遊ぶ時間もなく、すぐに帰される子供達は、親がいなければ公園で遊ぶことも出来なくなっている。仕事をしている親の子供は、それが出来ない
- 大貫在住ですが新しい公園など出来たら嬉しいなと思います。あとは今大きな地震が来るかも知れないと言われているので安全面や起きた時の対応をいま一度学校幼稚園で考えなおし子供達、保護者、地域の人達と対応策を見直し共有して欲しいです。例えば木更津市の小学校でトライアルでGPSが配られたと聞きました、市でやっているのかその小学校でやっているのかはわかりませんがそういった取り組みも知らない人からしたら有効な安全対策になります。あとは学校にいる時の地震対策、避難訓練はやっていいますが登下校中に起きた場合などの対応策も家庭だけでなく市や学校でもご指導いただけたらいいかなと思います。
- 富津市には臨海公園があるので、そこを中心に子育てしやすいまちづくりを進めればよいと思います。アンデルセン公園など参考にしてみればと思います。
- 遊具が豊富な公園がほしい 子供手当などの給付金
- 就労により放課後子供を預けられる環境の充実と外で遊ばせる公園や遊具がないため充実させてほしい。また習い事をさせたいが、お金がかかるのと、送迎できない為、無料でみんなでお勉強やスポーツを習えて送迎してもらえたりといった支援があると嬉しいです。

- 小学校 3 年生で自転車の授業が一回ありますが、もっと学校や休日に公園や公民館で自転車の乗り方やマナーを学べる場を作ってもらえると非常に助かります。0 歳から週 6 日保育園・学童保育で放課後を過ごしており自転車に乗る機会がありません。休日も天候に左右されたり下の兄弟に手がかかるので自転車の練習もなかなか難しいので中学校に行く前に自転車に慣れる・学ぶ機会があればとても助かります。
- 子供の多い地域の公園だけではなく、平等に新しい遊具を設置していただきたいです。
- 遊具が豊富な公園が欲しい
- 環、関豊地区は公園がありません 人口が少ないので、なかなか対応は出来ないと思うが 学校終わった後に遊べる場所が欲しい 放課後ルームも時間が中途半端で迎えの対応出来ない為利用したいが出来ない 時間を変えれないならスクールバスを出す等出来ないか？
- 子供達が遊ぶ場所、過ごせる場所、行ける場所があまりに無い。
- 子供たちだけで自転車や徒歩でいかれる距離に公園を作ってほしい。乳児健診の他に定期的に同じ月齢の子が集まれる場や市の保健師さんに発育相談をできる機会を設けてほしい。市役所の立地条件を活用して小さな子を遊ばせるオープンなスペースを作ってほしい。
- 公園(トイレなど整備)の充実。学校内での課外授業や放課後支援
- 近くに公園予定地と書いてある空き地があります。ちょっとした遊具、鉄棒滑り台ブランコなど、ベンチ、大それたものでなくていいので置いて公園にしてほしいです。公園になる前に、みんな大きくなってしまいます。予定地だから勝手に入っちゃいけないんだろうし。大堀にはたくさん公園があるのに…。子どもなどに対する〇〇手当的なものですが、低所得者の方ばかりでなく、やるなら制限なくしてほしいです。もちろん様々な理由で大変なのはわかりますが、こちらも余裕ある訳じゃないし、物価高とかで大変なのは同じかと。市の LINE など、「給付！」などと！マークが付いているのを見ると、正直腹が立ちます。
- 未就学児対応の遊び場があるが、知らない人や行きたくても一歩が踏み出せない人もいないのか。特に子供が小さいと、親も余裕がないため特に息抜きができる場所が必要と思う。(親自身に余裕がないと、イライラが募り爆発するのでは？=虐待に繋がる) 学校に行けない子に対する場所の提供もあるが、場所が遠い。
- 気軽に自然を活かした遊びができる公園があると嬉しい。ザリガニ釣りや生き物の観察など。児童館があると嬉しい。
- 非課税世帯などには補助や支援があったりするが、そこに当てはまらない低～中所得の間の層にも支援があれば助かると思う。自分が子供の時から感じていたが、遊びに行くにも遊具がある公園が無い地区や道路が狭く歩道も無いので子供だけでは不便だったり危険に感じる。親となった今、さらにそう思う。
- 公園の充実 特に富津地区の公園は酷い状態です バスの充実 富津地区から電車の駅までバスの本数を増やして欲しい 孫の送迎なども含め、いつまでも高齢者が運転せざるえない状況を改善出来るはずで それにより、事故件数も減るかと思います 歩道の整備 草木が茂っていて死角になっている場所がたくさんあります
- もっと気軽にサッカーや野球を出来る場所が欲しい。と子どもが言っています。浅間山は子ども達だけでは不便。フットサルコートがあるとすごく嬉しいそうです。天羽地区は、遊具などある公園も少なく海浜公園まで行っているが遠くて人目につきににくく不安ではある。

- 子供同士で遊べる場所が本当はない。制服のリサイクル等があると今後助かる。
- 1.遊べる公園がない。本当に子供や保護者、市民の使いたい過ごしたい公園を複数作ってほしい。公園を毎年環境整備してほしい、汚い、草木が生い茂っていて危険である。 2.廃校も民間に売ってしまい、屋外屋内共に子どもが過ごせる場所がない。 3.補助金が3人目からで、恩恵がある人が少ない。出産を助ける、出産数を増やすなら1人目から必要である。 4.子育て市政を考えてるのが、市役所の年配男性職員なのか当事者目線がない。子育て世代の女性を80%くらい登用すべきだ。 5.市役所の相談に乗ってくれる職員さん、親切で適切な方法を考えてくれます。 6.子供が多い青堀地区でなく、子供の少ない天羽地区にカナリエを作ったのは不可解である。市民の声や要望が反映されてない。 7.移住や出産したら、あとは自分たちでやって。口だけで、本質が伴ってない富津市の場当たり的な市政がある。移住など力をいれるが、来ても何もないので詐欺だと思う。 8.天羽小の放課後学習が良かったので、他の学年でもやってほしい。富津市の学力はとても低いので、放課後に塾の役割を備えた教室があれば、とても特色になり、子供たちの将来にも直接アプローチ出来る。
- 子ども達が遊べる公園が必要。回りが田んぼや畑しかない地域に住んでいると、伸び伸び遊べていーねーってよく言われます。確かにそうなんですが、自転車の練習をしようすると田んぼに落ちそうになるし、子どもだけで外で遊んでいると回りが山なので、猿やイノシシが日中でも出たりするので、怖いです。以前住んでいた地域では所々に公園があって、鉄棒やブランコ等々あって、遊ばせていたので公園が増えるといいなぁ…と思います。遊具が無くて、子どもが走ったりできる場所があれば……。
- 私はシングルマザーで頼れる親や兄弟はいない。子育てや家事をしながら生計を維持するために常勤で仕事をしながら休日はアルバイトをしていた。現在は体調を崩してしまったためアルバイトはせずに常勤での仕事だけに専念している。休暇は子供の行事や療養で終わってしまう。子供との時間を確保するためには残業がない、夜勤がないなど働く場所も制限されるため、子供の成長に合わせて働く場を変更しなければならなかった。しかしながら労働の時間を制限すれば生活資金はおろか、老後年金なども制限される。やりたい仕事や退職金も保障されない。子供を持っても変わらないのは男性だけでそうした精神は根強い。ジェンダー平等とは言えない。男性の育児・家事分担の理解を深めるための教育や支援、子育て世代の労働の保障、PTA活動の強制の禁止や活動できる人の参加への変更、学童保育の時間延長、18歳未満までの療養休暇の拡充、子育てで労働を制限されるものへの時間や資金・年金の保障、大学までの低額化を希望する。環境に関しては満足しており、幼少期から思春期までふれあい公園や富津公園、おしゃべり公園などで四季折々の木々や花を楽しみながら遊具やサイクリングなどウォーキングなど成長と共に楽しむことができた。プールや海もあり楽しい思い出がたくさんある。天候の悪い日は子育て支援の保育所を利用していた。今後も子供が育ちやすい支援や環境が保障され、未来を担うたくさんの子供たちが成長しよりよく社会を変えていけるように私も子供の自立支援のため精進していきたい。

3. 子育て環境全般について

- とにかくお金、時間が足りない。足りないものをやりくりしながら、子供のメンタル、教育、友人関係に気を配り、自分も仕事をして、全く生活は楽にならず毎日限界です。

- 子育て支援もっと頑張ってもらいたい。
- 私の父母は具合が悪く、主人の父母はもう亡くなっています。何とか親戚や兄弟、友人にも力を借りながら子育てしてきましたが、たまにいっぱいいっぱいになってしまう時もあります。周りに頼るのも、申し訳ない気持ちを持っていたり、どうしてもその時に周りを頼ります。子供も大きくなってきたのでだいぶ手もかからなくなってきましたが、仕事と家庭、育児と大変なことも多々あります。父母の身の回りのお世話もできていて、自分の自由になる時間をとれません。何か変えたいと思ってはどうしてもよいのかわからないです。頑張らずにすむような何か策を考えてください。母親ばかり我慢をしていることが多い気がします。友人と話をしてもそう感じます。
- 令和4年の全国の小中高の自殺した子どもは512人と記憶しています。これほど豊かな日本国で、なぜ自殺する子どもが多いのでしょうか？他国では考えられない事態だと思います。子ども達が自殺する理由は様々ですが、おそらくこのまま生きていても仕方がないなど絶望を感じているのだと思います。希望も未来もない社会にしてしまったのは私達大人の責任です。もう一度原点に帰って、生きるとは何か？を考えて、子ども達に接し、子育てを考える時期にきているのではないのでしょうか？磐田市(静岡県)のこども憲章に感銘を受けました。とにかく子ども達には、勉強が苦手でも学校に行けなくても「1日1日を生きてほしい」と思っています！小学生までは思いっきり自然の中で遊ぶこと！これが1番大切だと感じています。
- 先生や年上の方を敬わない子供、いじわるな子供、勉強のできない難しい子供、私が子供の時よりすごく増えています。働きやすくなって預けやすくなっていいと思うのですが、この先このような子供がさらに増える気がします。預けられて働きやすくなっても、年上の人を敬ったり、いじめはダメと常々いろんな方向からしかってくれたり、勉強の楽しさ、大切さを教えてくれるそんな環境を整えた状況でないと、子育ては楽になってもその子が大人になった時大変になると思います。その時だけじゃなく、将来を見据えての対策があったらみんなにとって良いと思います。
- 子育てをする上で富津市が「子育てしやすいか」と言われたら、そうとも言えない現状が悲しい。人口が減り続け、学校もどんどん減り「バスに乗らないと行けない」環境で子育てしやすいとは言いがたい。その中でも保育料無料や産後ケアなど、子育てへの取り組みをしてくれているのは大変ありがたいですが、人口を増やす取り組みが足りないように思います。私が育った頃は同級生もたくさんいましたが、同じ地域で子育て(市内で)している人は10%以下です。その大半は君津・木更津にいます。富津とそう遠くない所にいるのに富津を選ばない理由は何なのか。同級生みんなが私と同じようにここで子育てをしていれば、廃校はなかっただろうと残念に思う。手遅れではないと思います。ここまで減ってしまいましたが全国にも珍しいような「子育てしやすい政策」を打ち出し注目を集め、木更津や君津ではなく富津を選んでもらえるように努力していただけないのでしょうか？大きな企業の社宅を誘致するなど子育て世帯を増やす取り組みを望みます。
- 昔は学校の校庭など、許可がなくても遊べたが、今は許可がもらえないと遊ぶことすらできない。結局家に帰ってゲームかスマホをやるしか時間を潰す方法がない。もっと子供達がのびのび遊べる場所があれば、ゲームとかスマホをしなくても済むのにと思う。例えば自由に使える大きな体育館とか。
- いつでも子供のことについて相談できるところがほしいです。富津市内に。

- このアンケートに当てはまる子は「きょうだい児」です。親自身、かなりメンタル的に負担にさせていること、自覚があります。常に弟（知的障害 A1）を真っ先に考え計画しなければなりません。デイサービスも利用していますが（9:00～17:00）←の時間だと遠出は不可能です。低学年の子も利用できるショートステイ、重度の知的の子（脱走等あります）でも安心して預けられるショートステイ等、専門にあると非常に助かります。障害者（児）本人に目が行きがちですが、きょうだい児にも目を向けてあげてください。親の努力ではどうしようもないこともあるので…。正直、健常児だけの家庭をうらやましく思っているところもあります。大きくなると結婚等で悩むこともあると思います。せめて子供の頃、弟に負の感情がわからないようにしてあげたいです。
- ヤングケアラーにドキッとしました。お手伝いがどこまでなら子供の負担にならないのか子供と話し合ってお願ひしていこうと思いました。今はまだ皿洗い 1 回 10 円程度をお願いであったり、子供からやるよと言ってくる時はやってもらったりしますが、仕事と一緒に適正配置を意識するよう心がけます。調査対象の子が発達障害があるため、日頃からのコミュニケーションが充実するようにしていきたいです。よくこの子供が同学年の子より幼いせいか、同級生から悪く言えば「暴力」を振るわれます。じゃれあいですむ場合もあると思いますが、やっぱり嫌な気持ち、痛い思いをします。相手の親の考えは「子供のけんかに親が出てくるな」状態で一向に改善しません。よく学校に行きたくないと言うので、毎朝説得するのも大変です…。おそらく先生方も大変だと思います。これから更に高学年になっていくので不安です。息子が上手に状況説明ができないのを逆にとり、うまく丸め込まれてるような気もしています。なのでいつも怒られるのが息子なのでしょう。それを同級生達はわかっていてやっています。生徒が少ないながらもクラス替えも必要かと思ひますよ。
- 子育てに力を入れている市があります。そういう市で効果的によかった等あるものは富津市もどんどん取り入れてほしいです。子供の数が減少しているので移住するメリット（費用等）を作り、増加していくように行ったらいいと思います。都心からも遠くなく高速バスも充実しているのであと、子育てするにあたり魅力的な支援があったらいいと思います。習い事があまり近くにないと君津市、木更津市に住んだ方が楽ということで富津市に産まれ育った人もでていってしまったり、地域で学習する場があったら嬉しいです。仕事をやりながら習い事に通うのも大変なので、また、塾代が全くかからない、教えたい方々ボランティアで行っていると家庭の負担も少なく、地域の方々とつながり、子どもの成績も上げ地域活性化になるといいと思います。
- 子育てしながら仕事をガッツリしたいので、休みやすい職場、病後児保育、学童の充実を希望します
- とにかく子供が少ないんだから、子供を大事にすべきです。未来を担うのは子供たちです。その事を理解していない役所仕事が多い。また、シングルマザーにはとてつもなく、いばらの道でしかない。
- 子育て支援に関して申請者主義ではどんな手厚い制度を作ったところで効果は期待できない。徹底的なプッシュ方式への以降と各種申請手続きのオンライン化を全力で進めることが費用対効果の面で最も効果的だと思う。何せ子育て世代は稼ぎに忙しい。わずかな補助受けるために休みとって市役所窓口行くなんて、コスパ、タイパからしたら全くもってナンセンス。

- 虐待については、我が子が社会に出るまでに恥をかかぬようにしっかり指導(しつけを)しているパターンもあるかと思います。時には声を荒げることもあるでしょう。危ない事(飛び出しをしたりの事故)をしたら手を上げることもあるでしょう。子を育てた経験がない人、子供を叱らずに育てる方針の方からみたら何もそんな大きな声を出さなくてもとか思うかもしれませんが、それも人それぞれのやり方があると思います。一瞬の判断で通報されるのもいかなものかな？良いこと悪いことを明確にしてあげないと、集団生活の中で人に迷惑をかけていることすら気付けない子供が更に増えていくと思います。子供に指導というより、子を育てる親たちに子育てアドバイスなどの支援する場も必要かと思います。
- 母子家庭への援助や相談体制を整えて欲しい。介護や子育てで、働けない・その為生活も大変である。その様な、1人で抱えている人に必要な援助をしてほしい。
- 年収や兄弟の人数に関係なく、子ども達は平等に支援してほしい。
- 母子家庭になる予定。旦那は半年別居中。別居でも支援は受けられるのか？
- 旦那が家を出て半年以上。その際の支援はあるのか？離婚協議中
- 子供の人数などが取り上げられることのみが多いが、各家庭により、環境は大きく違う。同じ子供の人数でも年の差がかなり開くこともある。扶養からはずれたら第3子だったものが第2子になったり変化するのは充実な子育て環境、支援とは言えない。ある程度制限をかけるのは理解できるが、その制限の仕方は理解できない。
- 共働きしないとやっていけない現状がある中で学校に任せっきりになる。子供は親が見ていないところで先生に暴言を吐いたり友達をいじめたりしている。SOSに気づかない母親たちも多い。これだけ物が豊かな世の中なのに子供は満足感が得られていない。親だってじっくり子供をみる時間がない。お互い余裕がなさすぎる。もっと親のどちらかが家にいてもお金の心配をしなくていい生活をしたい。低所得者ばかりに支援が傾いている気がする。苦しいながらも税金を払っている世帯、子供が多い世帯、発達障害がある世帯、細かく見極めて税金を決めてほしい。本当に余裕がないです。
- 私の家庭では、祖父母がもういないので、何かあった時に預け先がなくて、とても困っています。父親は仕事で朝から夜遅くまで働いていて、私(母親)しか子供を見る人がいない環境です。私が体調が悪くても誰にも頼れないのが、すごく負担に感じます。もう少し保育園も含め、子育て世帯、子育てをしている人に優しい富津市になってほしい。
- 安心して子育てできました。
- 子育てLINEはやめるべき。あんな内容が他社より優っていると思いますか？無駄です。担当者もつかいますか？お金をもっと配るべきです。どこの自治体もやっているからと、というような理由で無駄な事業をやるのは辞めましょう。リアルな意見を聞きましょう。
- 若夫婦が子育てしやすいから、と定着してくれるしくみがあると良いと思います。
- 子供も、胸を張って休める年休みたいなのがあれば、助かる。土日祝働く親と休みが合わない。他の地域では、ラーニングと、バケーションを合わせたラーケーションがある。富津市も、導入してみてもどうか。
- もっとハードルを下げて、相談できる環境を作って欲しい。
- 子育て環境や子育て支援は、子どもに焦点が当たることが多いが、養育者のウェルビーイングにも視野を広げる必要があると感じている。その理由は、養育者が公私、心身ともに安定している

ことが、養育には重要な一因と思うから。例えば、養育者の体調を相談しやすい場所があるなど。病気ではなくても、生理や日々の体調について気軽に相談できる、受診のために休みが取りやすい、受診費用の補助があるなど。また乳幼児健診では、休みを取って行ったのに、指導されて帰ってきた感が強かった記憶がある。行って良かったな、と感じられる乳幼児健診になるように内容や対応を検討してもらいたい。鋸南町では、子育て支援センターで子供服の物物交換会をやっていた。そのような企画もカナリエでやってみるのはどうか。療育支援を必要とする子が増えている昨今。療育相談が（障がい福祉課）だから申込にくい、と感じる保護者も多いと聞く。そのような理由になる社会的な文化を変えて行く必要があると思う。初めての出産子育てが始まってからでは、知識を得るのも心の準備も遅かった、と自分を振り返って感じている。産む前に、産んだ後はこんなに大変なんだ！自分が自由に使える時間が制限されるんだ！とキレイゴトではなく、知識として知りたかった。これからママになりたい人のための講座的なものがあるのもいいかも知れない。

4. 学校生活や授業について

- 学校、先生によって学習時間が違う、学習ノート作成があったりなかったり…と対応が違っていると聞きます。学校であった出来事も、先生に相談したくても話しぶりです。もっと先生と話す機会がほしいです。先生がヒステリックで学校へ行きづらくなっている、校長先生がどなる等、他の学年の子から聞きました。自分の子ではないにしろ、高学年の子からの話ですが少し気になります。登校拒否の子も低学年からいるようなのも気になります。地区で学校の人数が違いすぎることも気になります。
- 東京都のようにもっと子育て支援の充実を望みます。給食費免除や授業料免除や軽減等、費用面での援助をしてほしいです。
- 小・中学校の給食費の無償化。私立高校授業料無償化にしてほしい。
- とにかく保育園や小学校の施設が古く、利用したいと思わない。したがって他の地域からの流入が少なく、児童数が増えない。通いたいと思える魅力的な施設にしていかないと、今後も児童数は減っていき、増々活気のない市となっていくと思います。
- 全ての保育・教育環境は土日祝休みで設定されている。土日祝関係ない仕事をしている人は土日祝に子供を見てくれる人を探したり、やりくりするのが本当に大変です。土曜日に授業参観があり月が休みなど、代休を要するものは大変です。子供がどんどん減っていつているのは、富津市の子育て支援の問題ばかりではなく、住むところがないのでどんどん外へ（君津、木更津）などへ出て行ってしまう方が多いと思います。子育てにとっても良い自然が多く残る環境を活かしきれていないような気がします。空き家が多すぎると思います。その空き家がボロボロになり、それが通学路にあるのも大変危険ですし、家主が放置しているのも問題だと思います。そちら方面の対策もどんどんやっていくべきだと思います。新しい区画整備も大切ですが、今起こっている事柄の解決にも動いていただけるとありがたいと思います。
- 子供が安全に健康に生きていける環境はとても大事だと思いますが、例えば貧困におちいった時に必要なのは、衣食住だけではなく教育だと思います。学校教育はありますが、そこで6年生までに四則計算がきちんと習得できるようにならない子供の割合が多すぎると思います。子供の側もやりたくなかったりいろいろ気持ちの部分で受け入れられず、教育する側だけの問題ではない

とは思いますが、子供が生きていく力としての教育をきちんと習得できる環境を作ってほしいと思いました。例えば木更津市の算数・数学検定や漢字検定への取り組みのような物からでも、あるのとないのでは違うと思います。また子供が君津などへ行かないと小学生などの塾が少ない点も気になります。そしていざ行こうとすると親の送迎が必須となり、結局共働きの家庭では通塾が難しいです。路線バスがある地域でも青堀駅ではバスが着く前に電車が発車するので非常に接続が悪いのです。これは利用者が減る要因だと思います。子供が行動しにくいだけでなく、免許を持たない方たち全ての方に通じるものなのではないかと思います。子供たちのために、ないよりはあるだけではなく、あるなら使える物をお願いしたいと思います。

- 富津市は自然豊かな土地柄ですが、教育内容や学校での過ごし方はどうしても画一的で地域の人材や資源を活かせていないように思えます。不登校傾向の子の話も周りでよく耳にするようになりましたし、教育方法として田舎ならではの取り組みが必要ではないかと思います。外の人材が授業に來たり、課外授業で地域について知ったり、安全面で難しいことも多いと思いますが、地域の助けをもっと借り、地域の人と交流できる学校づくりができればいいのになと思います。
- うちの子は学校の授業についていけないようです。家族が教えようとしても、甘えもあり勉強嫌いもあり、全く家庭学習できません。塾も近くになく、送迎できる時間がとれないので、家庭教師の（できればボランティアのような）サービスはあるのでしょうか。
- 大学無償化が子供 3 人以上というのは不平等！市の力だけではどうにもならないかもしれないが…。子育てにお金がかかる！そこを市で支援することで子育て世帯が集まるのでは？小さな子供にもお金がかかるが、結局は高校や大学の時に大きなお金が動くので、そこも支援してほしい。また結局、小中学校で普通に授業を受けただけでは不十分で塾に行かせるのにまたお金がかかる。公立の小中を普通に卒業しただけでも十分大学進学まで心配することのない内容にしてほしい。外部から時間外講師、公立の塾、無償の塾、塾代支援。
- 児童生徒数が少なくなっているので、部活動が昔の様にできない。学校の統合の統合が必要と感じる。もしくは、子育て世代の移住に力を入れなくては。小学校のプール教室は短い期間と数回しか授業ができない。市民プールを立て直し、プールの授業を委託化する方がコスト面・環境面に関してもプラスである。プールも年数が経過し、衛生面も心配あるし、子どもからも「きれいじゃない」という声はよく聞きます。各学校でプールをつくる水道代や維持費を考えたら、市民プールの充実にコストをかけた方が市全体の為によいと思います。健康増進
- 公共交通機関の便が少ないので、車がないと思うように支援を受けにくい環境であると思います。共働きの両親の世帯も多く、習い事をするにも思うようにできなかったです。例えば、学校教育で行うプールの授業は民間のスィミングクラブなどに委託できると専門的に学べ嬉しいです。また、木更津市には英検の受験をするのに、受験料無料制度があります。数少ない子ども達に教育をしっかりとできるようにお願いしたいです。
- 先生が生徒に「お前」と呼ぶ。他の子には名前や名字にさん付けなのに、一部の生徒にだけお前という先生がいる 卒業式練習で生徒の足の角度調整を先生が足で行う。できる子には「誰々は天才」だとみんなの前で言う。生徒が助けを求めても嫌がることはしないよという声掛けではなく、やっても大丈夫という先生がいる。本当に子供達のことを考えて日々過ごしてくれているのだろうかと親としては不安です。ただ、先生本人を前に言って子供が過ごしにくくなるのは避け

たく、誰にも相談できないまま 1 年過ぎました。もし解決して頂けるのなら、市から学校へ指導してもらえると助かります

- 教育費にお金をかけている子供とかけられない子供の差がでてきたり、学校も出来る子供と出来ない子供と一緒に授業すると、どちらかに負担がかかり、伸びる子も伸びずに、分からない子は分からないまま進んでしまうので 富津市全体の学力が向上せず 塾の講師の方に言われる事は 富津市の学校はレベル低いとハッキリ言われます。このままでは富津市全体が学力低下するのでは？ 放課後学習に力を入れるべきだと思います。そうすれば塾に行けない子供も助かるのでは？
- オンライン授業と通学型と学校のあり方を考え直すべき。 勉強をしたくても通学したくない子もいますし、コミュニケーションはチーム分け等でできるかと思います。 なぜ世の中進んでおり ICT と言っている割には何も活用出来ていないように思う。

5. 学童保育(放課後児童クラブ)、放課後こども教室等について

- 学童が少ない。(合わない場所もあるので。) 金額も高い…。
- 今ひとり親で育てていますが、学童代が高すぎて子供のために使えるお金がありません。フルタイムで働いて高い学童代を払ってはい本当に生活が苦しいです。パートや生活保護を受けている人の方が楽に生活しているのを聞くと、フルタイムで働いている方がバカくさくなります。学校や市役所でひとり親になった時に色々援助してもらえることを全く教えてもらえずに 1 年生の入学援助などがもらえなかった。何で市役所や学校で教えてくれないのですか？わざわざ聞きに行かないと教えてくれない…。そんなんで子供の未来のためにとか嘘くさい。(学校は先生によってひとり親などの使える制度を全く知らなかった。)
- 両親共に就労しているために学童に通っていますが、学童の費用が高いと思います。学童の費用がかかるため自宅で過ごさせているという方もいますが、低学年で 1 人の留守番は危ないと感じました。
- 学童の利用料金が安い。
- 保護者の就労の都合で週 6 日学童保育で過ごしております。子ども本人も学童で過ごすのが楽しいらしく高学年になっても辞めたくないと言います。学童が良いところなのは非常にありがたいのですが、今後中学校への進学もありますので子どもだけで自宅で過ごせるようになってほしいです。放課後子ども教室があると学童を辞めても楽しく放課後を過ごすことができるのかなと思うので、子どもが安心して放課後集まれる場を作っていただけるとありがたいです。
- 小学校での放課後教室の実施を低学年だけでなく全学年でやってほしい
- 長男次男の低学年の頃は、ひとり親家庭の学童の利用料の減免がなく、経済的に利用出来ず子ども達だけで留守番をさせるしかなかった。今は減額してもらえるようになり、末っ子は学童に通っています。小さいうちから一人で留守番は心配なので、そういう制度ができて本当に感謝しています。
- 利用料金がかかっても、学童・保育等行ってもらいたい。保護者負担でも、安心して任せておける環境が整っていれば利用すると思う。特に乳幼児支援。明確な資格保持者にお願いしたい。
- 学童の利用料が高い。パートに出て今後 2 人学童を利用すると、1 日パートで 4~5 千円稼いだとして、1000 円/1 人 1 日にかかると半分は学童代に持っていかれる。他地域のママ友に聞くともう少し安いそう。この地域の知人はやはり学童に行かせるとなんのために働いているのかわ

からないから、子供は放課後はやむなく家で留守番させると言っていた。経営支援のシステムがよく分からないが、市が補助するなどしてもう少し安いと利用しやすい。日割り利用で放課後は1000円/1日、学校のない日は1100円/1日。1日500円くらいだとありがたいです。

- 相談できる場所があることを周知すること、学童保育の充実はとても必要だと思います。両親ともに働いている、または、父、母だけで子育てをしている家庭がかなり多いので。富津市は子育てがしやすいという市になれば(評判が広がれば)、豊かになるし、移住者も増えるだろうし、発展していくと思います。よろしくおねがいします。アンケートをしていただき、ありがとうございます。
- 子どもの過ごす場としてそこに行けばなんでもある、例えば学童と公文などの塾と保育園となどなどあればいいなと思うことはあります。法人が変わる前の青堀保育園は体操教室や学童が同じ場所であったりしたのでそのようなイメージで。富津の現在と今後の人口規模では新たな施設を作るのはまず無理(無駄)だとは思いますが、(行くたびに寂しい気持ちになる)富津イオンの空きスペースを使ったりできたら活性化にもなるのになぁと夢んでいます。
- 小学校入学後、様々な面でお金がかかっている。・学校で使う教材は、共用でいいのではないかな?算数セット、絵具、書道、彫刻刀、裁縫セット等々。必要な方は購入してもいいと思いますが、学校に常備して使えるようにしてほしい。ほとんど使っていないような道具もあるので金銭的な負担が多い。・学童保育の費用が近隣自治体に比べて高いのでは?保育料が無料なので、小学校入学後の負担が一気に増える。今後の少子化について・日本全体の少子化は避けることはできない中、移住者も様々な自治体で取り合いになるわけなので期待はできないと思う。しかも急速に少子化が進んでいるので、小学校の合併も早く進めてほしい。現在子どもが通っている小学校も空き教室がたくさんあって非常にもったいない感じがする。その他小学校に関して・体操服は自由で良いのでは?体操服は体の線が出やすいので高学年女子には少しかわいそうな気がする。世の中全く変質者がいないわけではないので。・来年度中学校の制服が変わるようですが、いっそのこと私服でいいのでは?金銭的な負担もさることながら、個を尊重するという意味で私服で良いと思う。・PTAバレーは必要ない。一部の保護者と生徒しか関わらないものにPTA役員の負担や費用をかける必要性がない。同様の理由で「かるた大会」「ボウリング大会」も不要。少子化で役員を担う人も減っている中、このような大会はなくしたほうがよい。

6. 通学、スクールバス等について

- 通学路の安全対策をお願いしたい
- 高校生等が使えるバスがあるとありがたいです
- 高校生が登下校に駅まで利用できるバスをスクールバス等を活用して、中学校を起点として走らせてほしい
- 子供が安心して外で遊ぶ事が不安な世の中です。子供が嫌いなのか?通学時間に暴走する車もいます。また田舎で猪や蛇など危険で少子化で近くに友達がいない、遊ぶ場所が無い…本当に可哀想です。10年や戦争など我慢我慢…大きな地震…不安だらけで子供の笑顔が見たい!高齢者ばかりの近所…若い人がここに住みたい、子供を産みたい!と思える町にして欲しい!大きな道路や栄えてる道路は整備されて田舎道は林道です…空き家や放置の土地も沢山…悲しくなります。

- 学校登下校に関して あるかない子供が多い みんなで登下校する習慣をつけてほしい
- 小学生の子供がいます。通学路は、子供のすぐ側を車が通る事があるのでヒヤヒヤします。かと言って共働きの為、毎日、通学に付き添う事は出来ず。地域の定年された高齢者等にボランティア、または多少の報酬などをお渡しして、子供の登下校時の見守りをして頂きたいです。子供の安心が確保できる+定年後の高齢者も自分の役割が出来て生活に張り合いが出る！！ ウィンウィンだと思います。よろしくお願い致します。 どうぞ宜しくお願い致します。
- 学校の登校班の人数が減少傾向にあり、班を組めない地域が出て来ている。 現状登校班の振り分けはPTA 役員が行っているが、今一度振り分けが適正であるか見直す必要があるのではないかな？
- 安全な通学路の整備 横断歩道設置・他県からのレジャー・観光を目的で来県された方への危険箇所を案内 以上です。
- 登校する際、長い距離を歩く為、中間地点にトイレの設置があると、とても有難いです。特に低学年には時と場合により間に合わなくなってしまうのでご検討いただきたいです。
- 歩道が少なく通学路がほぼ危険。高齢者の運転手も多く不安。 子どもがだいぶ減ってきているので、通学バスを充実させて小学校を早く合併してほしい。
- 次男は小学校を卒業しましたが、4月から長男が大学に進学します。高速バスを利用し、バスでの通学に関して、富津市は浅間山バスストップを利用すると、新宿まで行けるため便利ですが、JRよりも高速バス通学定期券の料金が2倍以上かかるので保護者は大変です。君津市は、月2万円補助があります。子育て支援とは、保育園、小学校、中学校の子たちばかりではありません、県外の大学に進学しても、安心して富津市から通学できるように、君津市の様に高速バスの援助をして欲しい。

7. 教育、福祉サービスの質等について

- 学校の先生には日頃より大変感謝しておりますが、昔ながらの考え、思い込みによる生徒への対応や態度、接し方など。お若い先生の友達感覚の接し方や言葉遣い、子供に嫌われたくないのか叱り方をわからないなど。教育者にふさわしいような人間になるべく、セミナーとは言いませんが勉強会等、開いてもらいたいと思うことが何度もあります。子供、生徒に対して「失せろ」だの「ゴミ女」だの「クソ女」だの先生が言う言葉ではないような（人としても、ましてや先生）発言が現に青堀小ではされています。その子が大変かわいそうだし心配です。
- 義務教育にもかかわらず、教材や部活の種類に地域格差があります。これでは人数の多い学校へ通わせたいと思い、少ない学校からどんどん人が減ってしまいます。学区外の小中学校への転入を良しとするのはいかなものかと思います。
- とにかく子どもが減っています。子育てしたくなる富津市になれば、移住が増えるはずですが。富津市独自の教育施策を求めています
- 放課後の学習を全学年行ってもらえるとつまづきが少しでもへるかなと思うので、先生は大変だと思いますが、行ってほしいです。
- 国の教育政策があてにならないものばかりなので、富津市独自で子どもたち、子どもを育てる人達が心穏やかに過ごせるような支援を考えていただけますと幸いです。
- 年の離れた兄弟がいた場合の教育環境も整えてほしい

- 教職員による体罰や暴言、相性等により、登校拒否になってしまった児童が知り合いにいます。学校は教職員と児童が閉鎖的空間で生活するため、逸脱した行為が見逃されてしまうこともあります。保護者が安心できる教育環境づくりを望んでいます。
- 子どもたちを見守る大人の教育が必要だと思います。ヤングケアラーだと気がついて、どう対応すべきかわからないケースが多いのではないかと思います。私もその一人です。例えば、平日の昼間に小中学生が幼い子と一緒にいる事自体、どうしてかな？と気付ける大人を増やしたいです。
- 保護者が安心して子どもを預けられる環境を作るためには、保育所や幼稚園、学校等の職員を充実させるために行政により待遇の改善にもっと努めてほしい。職員の数を増やして、1人1人の負担を減らし、長く働ける環境を作ってほしい。ベテランの先生は、経験も豊富で困った時にアドバイスをたくさんいただき本当に助かった。ICT化を進め、学校のお便りを紙での配布ではなく、アプリを使った配信にして欲しい。連絡帳に手紙〇枚と書いてあっても持ち帰ってこない事がある。子どもが悪いとは思いますが、学校も配り忘れて日付が過ぎた手紙を配ってくることもあり、その日に配ったのか子どもが出し忘れたのか、正直わからないことがある。コロナ等で学校をまとまった欠席をすることもあり、先生がわざわざ家に届けてくれた事もあったが、配信ならその必要もなくなる。兄弟が多いと手紙も多くなり、後で確認もしやすくなる。
- 数十年前までは当たり前のようにあったと思われる家族であったり、近所の人々であったり、地域であったり助け合い精神が今ではとても希薄になっていると思います。行政側の努力はわからないでもないですが、根本的な共同体である家族構成（三世代家族から核家族、そしてそれぞれ一代世代）の変化（崩壊と思います）や地域の衰退が今の状態を招いてしまっているのではないかと考えています。学校などでは地域の歴史や何かを成し遂げようとする学習などみんなで頑張ろうといった教育をするようになってきたように感じますが、全体として集団よりも個人に重きが置かれていて、個人は集団の中にいるといった教えがなおざりになっていると思います。子育てが最も重要な核になるでしょうが、親世代が意識をとり戻していくことが大切ではないかと思っています。

8. 交通、移動手段等について

- 公共の教育・保育に係る費用の完全無償化。（お金を配るのではなく給食の無償化を！）移住支援（若年層）の強化→子供の減少抑制。公共交通機関や送迎サービスの充実→通学・習い事の支援、親の負担軽減。害獣対策強化→子供を外出させられない。（冬場の夕方など。）ファミリーサポートセンター利用方法の電子化。通学路の安全対策強化。教育事業参入支援。異文化交流支援、機会の増加。天羽小学校は多くの経験の機会を与えてくれるのでありがたいです。子供が参加できる市や市関連団体の行事が多いので、楽しませてもらっています。富津市は子供を育てたいと思える要素がたくさんあると思いますので、それを活かし支援をし、より良い育児・教育環境になることを期待しています！
- 自宅の周り近辺には本当に何も遊ぶ所がありません。車で移動20分以上運転しなければなりません。体を動かして遊ぶ所を確保してほしいです。
- 子育て支援とは少し論点がズレてしまうかもしれませんが、子どもが中・高・大学生になってもずっと住みたいと思える環境作りが必要です。高校生の子は、不便だから早く利便性の良い街へ

行きたいと言っています。まずは交通面！富津地区の子、青年がいなくなってしまう。青堀地区の子どもの増加が著しく、中学進学の際圧倒されてしまう他小学校の卒業生。苦しい姿を見てきました。どうにか配慮できないのでしょうか…。

- スクールバスでの学区であるため、子供同士で休日や放課後に集まるとなると、送迎が必須である。その為、送迎が出来るか否かで子供同士の交流に制限がある。日東交通などの交通機関を学区の子供たちが無料で使うことが出来ると助かる。
- 病児保育でカナリエがあることは理解しているが、交通の便が悪く遠すぎて利用できる方が一部地域の一部の人に限られてしまっているように思います。子どもが大きくなり塾や習い事に行くのに親が仕事で送り迎えできないため、公共交通機関を使うにも交通の便が悪く、ファミリーサポートは希望に合わず苦慮しています。
- 域内の学校、塾のレベルが低いため、地域外への通学・通塾を容易にするための施策を講じてほしい。例えば、コロナで減便した東京へのバス便の増便。千葉行きバスの増便。公共交通機関への支援と、住民への利用促進施策。議員と市長含む市役所勤務者はマイカー通勤禁止にするなど。駅前の駐車場整備。子育て支援のリソース確保のための、行政のスリム化(人員削減計画が達成されていない)。テレワーク勤務者移住促進による人口増。
- 高学年、中学生の習い事等の移動手段として、バスの本数がほとんどないため、公共交通の充実。
- 中学生の生徒の部活動について、大会等への送迎などを積極的に支援することにより、保護者の負担を軽減させてほしい。金銭的な負担があってもよいので、生徒の移動を含む各種運搬など、学校で完結させてほしい。私が子どものときは、親が部活動に関わることはなかった。そのときと比べ、何が違うのか、何が足りないかなど、具体的に保護者の支援が必要な理由を示してほしい。

9. 市、行政サービスの改善について

- ひとり親が使える制度をもっとわかりやすくしてほしい。市役所の部署で言うことが違いすぎる。学童代が高すぎて働いている意味がない。パート数時間、生活保護のひとり親の方が楽に生活している。フルタイムで働いて学童入れても、残るお金が少なく子供に使えない。
- 富津市にかかっている保育などしらべて TEL しても、いろいろな決まりなどで、うけいれてもらえない事がおおく、病後児も機能していません。
- 富津市独自の支援が全く無いのは引越して来たいと思う人は少ないです。兵庫県明石市のような支援をしている所が人が集まって経済が回ってくると思います。低所得世帯、非課税世帯のみの支援があり、ギリギリの生活をしている課税世帯には給付も何もないのは本当に苦しいです。他の市町村は独自の支援をしている所が多いみたいで、富津市だけが市民の経済に寄り添ってないと思います！本当に移住者を増やしたいならば市民の経済支援をしたりしないと集まるわけありません！
- 市内でもエリアによって住宅の密集度合いや環境が全く異なるので、各エリアに沿った支援の検討をお願いしたいと思います。
- 他市では見守り GPS の配布などがありますが、富津市でも配布があると今より安心して登下校が出来ると思います。予算的に厳しいなどの理由があるのなら希望者のみに配布や GPS 代わ

りになる端末の持参（スマホ以外）を許可するなどのご対応があると有難いです。在学中のお子さんもいらっしゃるので迅速なご対応をお願い致します。

- 土日などの休みになると父親が自分の都合でほとんど関わってくることがなく、ワンオペ状態になることが多いです。まだまだ手がかかる子どもたちなので、一人では精神的に厳しいこともあります。市役所に相談したところ、ファミサポ等を紹介していただきました。しかし、必要な日の何日か前に予約するという形だったので、利用ができませんでした。私が必要としているのは、当日突然ワンオペになってしまって助けが必要になった時に助けてくれる体制です。お金はかかってもいいから1時間でも2時間でも一緒にいて子どもをみてほしいです。
- 行政サービスの電子化やオンライン化を強力に進めて、平日に市役所窓口に行く必要が減るようにして下さい。子育てに携わる人達の処遇を、市独自の取り組みにより大幅に改善して、優秀な人材の確保に努めてください。
- 子育て支援課や健康づくり課の取り組み、左記の課が他機関と連携して行っている取り組みがあると想像します。すでに行われている取り組みについて、発信する機会が今よりも多くなることを期待します。既に行われていること自体を私も含めた富津市の子育て世代が、知らないケース多いように思います。

10. 医療、健康等について

- 市内の産婦人科医、出産できる医療機関がないことや、専門の小児科医が少なく、若い医師も少ない現状であることから、英検などの受験料助成、大学生が講師をしてくれる学習支援、学校の空教室を利用したそろばん塾や公文教室など、民間とのコラボが実現すると、教員の方々の働き方改革にもつながり興味深いと思います。共働きをしていると通わせたい習い事に送迎できなかったのも、もっと市と民間コラボが進むと良いと感じています。給食は地産地消が嬉しいです。
- 未就学の子、療育をもっと受けたいが共働きだと市のことば教室に連れて行けず、仕事復帰と共に終了することになってしまい残念だった。学校が終わってから自宅に帰りたいが、家が遠く一人になってしまうため、自力での下校が難しいため学童に通っている。その費用が高く残念な気持ちでいる。登下校の安全確保に力を入れてもらいたい。佐貫小が統廃合されるのはもったいない。小規模特認校にしてほしい。
- 子供が具合が悪い時に仕事を休まなければいけないのが大変だったから、当時（7.8年前）あずけられる病院があれば助かるのと思った。祖父母も近くに住んでいなかったのが大変だった。
- フルタイムで就労しながら子育てをしてきました。祖父母も遠方で生活していたため、最も大変だったのは、病気にかかった時に、突然仕事を長期に休まなくてはならなくなる状況でした。また、インフルエンザやコロナ等流行時の学級閉鎖時は、自分の子供は罹患していなくても、学童に預ける事が出来なくなり、仕事を休まざる得ない状況で大変でした。病気がある程度回復したら、預けられる場(病気後保育や学童)を充実すると良いと思います。
- コロナやインフルエンザ、その他発熱等で、仕事を休む事が多かった。祖母等も遠方であったり仕事もあるので、自分が休む事が多いです。まだ小さいのでできるだけ側に居てあげたいが、年休も限られているので、病児保育があれば、休む日数を減らせると思います。また、利用する学童によっても違いがありますが、長期休業中は開所時間が短いので、送り迎えができるよう勤務

時間を融通してもらっています。家庭によっては送迎の都合で、利用できる学童が限られているのではないかと思います。

- 子供はすぐ体調を崩してしまう。有休なんて全然足りない。両立の難しさをすごく感じる。どうにも出来ないけど。
- 他県では移住したい町などで、子育てに関して塾だったり、給食費だったり、医療費だったりとしが負担し子育てしやすい街を築いている街などの特集をテレビで見たことがあります。高齢化も進んでおり、子育てもお金がかかることなので 子供がやりたい習い事も通わせられなかったりします。 子供達だけで安全に遊べる場所を作ったりと子育てしやすい環境を作ってもらいたいです。

11. 図書館、児童館等について

- 富津市立図書館をありがたく利用させていただいております。18-20 時（平日）は家族で利用しやすい時間のため、今後も是非開館をお願いしたいです。
- 図書館ができてとてもよかったです。
- 小学校の図書室の本を増やしてほしい。コロナ禍でデジタルに置き換えて対応できたこと、わざわざ集まらずとも伝達できたことなどは、平時そのまま生かしてほしい。子育ては楽しいし子どもがいることは幸せだが、収入の全てが子どもに使われるため、子のいない親族が旅行や趣味を楽しんでいるのを目の当たりにすると、未来を担う子たちを育てているはずなのにいつもきゅうきゅうと生活に追われている私たちは何なのかと虚しくなることもある。たまにでいいので、多子家族でも安く長距離旅行ができるような支援なども検討してもらえると嬉しい。
- 児童館があればいいと思います。
- 地域の子どもが自由に遊びに行けて、運動や読書などができる児童館があると良いと思います。
- 茨城県つくば市は転勤族が多いこともありほとんどの世代が身近に頼れる人がいない共働きの核家族ばかりです。そのため、どんな事に困っていて、どのような支援が必要とされているのが明確に示されていて、子育て事業や環境設定などなど非常に参考になるモデルだと思います。それぞれの公民館、児童館、保育施設、学校が隣接されていて、子ども達や子育てをする保護者が安心して過ごせるようになっています。 市役所の方々や、子育て支援事業に関わる方々、是非、つくば市の子育て支援、教育支援、福祉事業、を学びに行っていただきたいです。 富津市は、素敵な環境があるのに、全くと言っていい程、生かされていません…。 色々な地域の良いアイデアを取り入れてみてはいかがでしょうか。 例えば富津市役所敷地内の、元レストラン？を児童施設のようなものにして、その前の広大な芝生に遊具を設置すれば児童館にもなる？とか… 飯野コミュニティセンターは、外の敷地に高いフェンスをすれば球技などをして遊べたり、雨の日は、体育館のように一輪車や跳び箱など存分に身体を使って遊べるように…などなど…。 沢山、今ある施設で、少しのアイデアがあれば、なんでもできると思います。 これからの富津市が良くなっていくよう期待したいです。

12. コミュニティー、地域活動等について

- 地域の大人が先生役になるような場がもっとあればいいのにとします。仕事の話や生活の話を大人から直接聞ける機会や、地域の大人と子がつながれる機会・場を学校に設けてもらうと、子

どもたちの将来の選択肢が広がるし、先生方の負担も減るのではないのでしょうか？もしくは保育所や学校での「子どもサポーター」のような形で、子どもと遊んだり学校や保育所の環境を整える地域の人を入れてもいいんじゃないかと思います。とにかく「学校が何をしているかわからない」「保育所内だけで活動する」は無理があると思うので、管理など大変なことはあると思いますが「行き来できる環境」作りが地域にとっても良いんじゃないでしょうか。

- 住みやすい地域だと思います。もっと子ども向けのイベントが行われて地域交流できたらと思います。安心が伝われば主張できない子どもや大人にも傾聴できる場にもなっていくのではないのでしょうか。
- 子供達に目を向ける大人や時間が減っています。それだけ働きに出なければいけない環境。大人自身の知識不足が否めません。親に限らず、大人へのアプローチも必要なのだと思っております。難しい問題かとは思いますが、子供達をどう見守って行けば良いのか、よびかけが増えたらなと思っています。
- まだまだ地域で子供達に対しての支援ができると思っています。例えば、卒業した後に着なくなった制服を無償で回収して、また新たな子達に渡したり、使わなくなった参考書を寄付したり。あとは、やはり市全体として見守る形がとれたら良いです。

13. 宿題や家庭での学習等について

- 知り合いで千葉市や木更津市の小学校に通う子供がいますが、どちらとも青堀小学校より下校時刻が早いです。青堀小だけが遅いのか、市内の小学校はみんなこのぐらいの時刻なのかわかりませんが、うちは青堀小の中でも家が遠い地区で、6時間目が終わって子供の足で家まで帰ってくると16時はもちろん過ぎています。そこから宿題を始めますが、日によって多い時には音読も含め4〜5種類の宿題が出ている日もあります。こういう日は宿題が終わった後、子供は疲れきって大好きなゲームもできず、そのストレスを周りにぶつけてきたりと、見ていてもとてもかわいそうです。今の子供は塾に行く子も多いので、宿題は基本的になしにして自主学習のみにするか、下校時刻を早めるなどご検討していただけないでしょうか。よろしくお願い致します。
- 市外の友人の同学年の学校では、タブレットを自宅に持ち帰ることが多いようで、学びの差が出ないか少し心配である。
- 富津中の学力が他の学校より低いという話をよく聞きます。希望者が誰でも利用できる塾というか昔の寺子屋と呼ばれるようなところが市の運営としてあったら塾代のカットとしても、富津市の学力向上としてもありがたいです。
- 市内で子供に体験させる場所、習い事が少ない

14. その他

- 富津は年配の人が多いのだから、ゲームばかりの子供達に昔の遊びを教えてくれる無料イベントをたくさんしてほしい。無料で勉強を教えてほしい！
- 片親支援しすぎでは!?
- 子どもが留守番してる時、地震、災害などあった時が怖く、学校で預かり（残り勉強できるような場所）があれば助かる。本当なら塾にも通わせたいけれど、送迎ができず送る方が難しい。学校で先生が教えてくれるシステムがあればいいなと思いました。学童に入っていたけれど、学童

の費用も高く、働いていても費用を払うのが大変。子どもも本当ならもう 1 人（3 人目）がほしいけれど金がかかり、とてもじゃないけど無理。オムツとかミルク代とかかかるので（生活費も）市の方からオムツ、ミルクの援助を少しでもしてくれれば子どもを産む人も増えるのかなと感じた。富津は保育園も少ないので保育園も増やしてほしい。幼稚園も。未就園児が入れる幼稚園がほしい。

- 何も期待できない。相談してもムダだった→市役所やピーターパン。このアンケートも形だけとしか思えない。
- 例えば（スポーツ）イベントなど、どうしても会場が大堀青木の方だとなかなか行けず、小学校などで開催していただけると参加しやすいです。今学校の制帽がないですが、安全上いいんでしょうか？（夏場だけ自分の帽子で行っている。）
- 学校によって地域でのイベント情報などのお知らせが違ったり、他校の子からこんなイベントあったと聞くことが多々あった。又青堀地区は人数が多いのかもしれませんが、ドッチボール大会などがあっても手紙がくるだけなので、人数を集めることができず参加もできない。（先生によるのか？）またいじめの手紙もよくもらってくるが、つらい時はここに電話してと書いてあるけど、家に電話がある家はどれくらいあるのか？低学年はまだスマホも持ってはいないだろうし、どうやって電話するのかなどと思いながら見えています。このアンケートの内容で子育て支援の充実につながるのか疑問しかない。
- ストレスのたまるアンケートでした。上から目線の物言いはやめた方がいいと思います。
- 最近、家の近くにいのししが出てきます。子供が安心して登下校できる、また外で遊べるよう、いのしし対策をしていてもらいたいです。子供の数よりいのししの数がどんどん増え、住みにくくなると思うので、の対策が未来へつながると思います
- SNS の発達で、いじめ行為は変化しており、取り返しのつかない事態になるまで、発覚しないケースが増えているように感じる。モラル意識の醸成を期待します。

資料編

就学前児童の保護者対象

第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査



皆様は、日頃から市政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」(2025年度～2029年度)の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握したく、アンケートを実施することになりました。

このアンケートは、就学前の子どもと保護者の方を対象としています。きょうだいなどで、このアンケート用紙が複数届く場合がありますが、お子さん一人ひとりの利用希望や状況を把握するため、できる範囲で結構ですので、それぞれのお子さんについてご回答ください。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関する内容が公表されることは一切ありません。

設問も多く大変恐縮ですが、富津市を安心して子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ご協力を願います。

令和6年3月 富津市長 高橋 恭市

【ご回答に当たってのお願い】

- 1 アンケートには、宛名のお子さんの保護者の方が記入してください。アンケートへの回答は、アンケート用紙にご記入いただくか、Web 回答専用フォームからご回答ください。(無記名ですと、氏名・住所の記入の必要はありません)
以下のURL をブラウザのアドレスバーに入力しても回答できます
https://gyosai.qualtrics.com/jfe/form/SV_4Z2cWZfmsAdk9PE
- 2 ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある() 内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間(時刻)を記入していただく場合は、24 時間制(例：午後6時～18 時)で、記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進みください。
- 6 《通園している園・地域子育て支援センターに提出する場合》
3月25日(月)までに通園している園又は地域子育て支援センターにご提出ください。
《郵送の場合》
同封の返信用封筒(切手は貼らず)に入れ、3月31日(日)までにご投函ください。
《Web 回答の場合》
Web 回答専用フォームから3月31日(日)までにご回答ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
富津市健康福祉部 こども家庭課 子育て支援係 0439-80-1256

調査実施の趣旨とその目的

市では、子ども・子育て支援法(平成24 年法律第65 号)に基づく子ども・子育て支援の利度(以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間をとり子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業に取り組んでいます(平成27 年度から実施)。

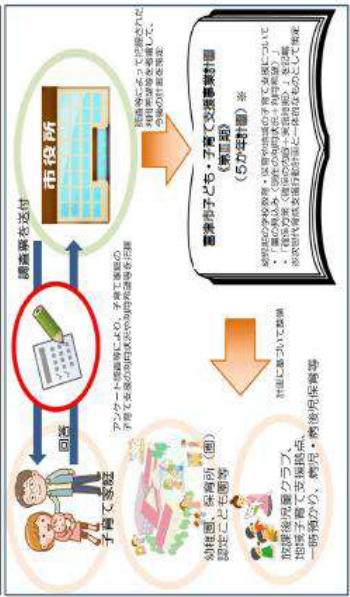
本調査は、2025 年度～2029 年度の5 年間の対象とした「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」において確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、子育て世代の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、子どもと保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、一人ひとりがかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることを目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義) この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- 幼稚園： 学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22 条)
- 保育所(園)： 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5 歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39 条)
- 認定こども園： 幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2 条第6 項)
- 子育て支援： 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援の意味
- 教育： 家庭での教育を含めた広い意味と幼児期における教育の意味
- 定期・非定期を問わず幼稚園、保育所(園)、認定こども園等に通わせたり、預けること教育・保育事業として教育・保育等を行う事業

市の取り組みについてうかがいます。

問 1 市は富津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援に取り組んでいます。市の子育ての環境や支援に対する満足度をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←	2	3	4	→	満足度が高い
1						5

お住まいの状況についてうかがいます。

問 2 お住まいの地区はどこになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青堀地区	4. 大貫地区	5. 吉野地区
6. 佐賀地区	7. 湊地区	8. 天神山地区	9. 竹岡地区	10. 金谷地区
11. 環・岡豊地区				

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 3 宛名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

平成・令和 □□年□□月生まれ

問 4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 □ 人

問 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問 6 問 5 で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。→該当しない方は問 7へこの調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。

※おさんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

封筒の宛名のお子さんのお育てをめぐめる環境についてうかがいます。

問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。または、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問 9-1へ	2. いない/ない ⇒ 問 10へ
-------------------	-------------------

問 9-1 問 9 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族	3. 友人や知人
4. 近所の人	5. 子育て支援センター	6. 保健所
7. 保育所(園)・認定こども園	8. 幼稚園	9. 民生委員・児童委員
10. 市役所の子育て関連窓口(こども家庭課・保育課・健康づくり課など)		
11. かかりつけの医師	12. その他 ()	

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
※ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみにお答えください。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就業）で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就業）で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就業していたが、現在は就業していない	5	5
6. これまで就業したことがない	6	6

⇒ 問 10-1 へ

⇒ 問 12 へ

問10-1 問10で「1.～4.」（就業している）に○をつけた方にうかがいます。

普段の就業時間帯について、最も多いパターンをお答えください。（あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. 主に昼間の就業	1	1
2. 主に夜間の就業	2	2
3. 昼間・夜間の就業、いずれもある	3	3

問 11 問 10 で「3. または 4.」（パート・アルバイト等で就業している）に○をつけた方にうかがいます。
す。 ⇒該当しない方は 問 13 へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就業を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 12 問 10 で、「5. 以前は就業していたが、現在は就業していない」または「6. これまで就業したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は 問 13 へ

就業したいという希望はありますか。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○） また、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一律に一字）

	①母親	②父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就業の予定はない）	1	1
2. 1年より先、一番下の子どものが□□歳になったところに就業したい	2	2
3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい	3	3

⇒ 問 13 へ

⇒ 問 12-1 へ

問 12-1 問 12 で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい」に○をつけた方にうかがいます。

希望する就業形態をお答えください。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）	1	1
2. パートタイム、アルバイト等	2	2

⇒ 問 12-3 へ

⇒ 問 12-2 へ

問 12-2 問 12-1 で「2. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

1週間あたりの就業希望日数、1日あたりの就業希望時間をご記入ください。

※口内に数字をご記入ください。（数字は一律に一字）

	①母親	②父親
1週間あたり	□□ 日	□□ 日
1日あたり	□□ 時間	□□ 時間

問 12-3 問 12 で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい」に○をつけた方にうかがいます。
就業希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	①母親	②父親
1. 保育所（園）・認定こども園（保育利用）の保育料が高く利用できないため	1	1
2. 希望する保育所（園）・認定こども園（保育利用）に空きがないため	2	2
3. 自分の知識、能力に合う仕事がないため	3	3
4. 賃金や休暇等、希望する条件に合う仕事がないため	4	4
5. 家族の考え方（親族の理解が得られない）や介護等、就労する環境が整っていないため	5	5
6. その他（□□□□□□□□）	6	6

問 13 前年の世帯年収（総支給額）はおおよそいくらでしたか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 100万円未満	2. 100～200万円未満
3. 200～400万円未満	4. 400～600万円未満
5. 600～800万円未満	6. 800～1,000万円未満
7. 1,000万円以上	

問 14 あなたの世帯では、おおむね 1 年の間に、経済的な理由で、次のような経験がありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 必要な食材が買えなかった
2. 電気・ガス・水道料金を滞納した
3. 公的な保険料（健康保険・介護保険・年金）や税金を滞納した
4. 家賃や住宅ローンを滞納した
5. お子さんのためのもの（服・靴・本など）を買えなかった
6. お子さんを遠足などの行事に参加させることができなかった
7. お子さんの給食費や保育料を払うことができなかった

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 利用している	⇒ 問 15-1 へ	2. 利用していない	⇒ 問 16 へ
-----------	------------	------------	----------

問 15-1 ～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は 問 16 へ

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 幼稚園	2. 保育所（園）
3. 認定こども園	4. 事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設）
5. その他（ ）	

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※ 1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に数字で記入ください。
※ 時間は、必ず（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日	1 日当たり □ □ 時間（ □ □ 時～ □ □ 時）
------------	------------------------------

(2) 希望

1 週当たり □ 日	1 日当たり □ □ 時間（ □ □ 時～ □ □ 時）
------------	------------------------------

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所の地区はどこになりますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青砥地区	4. 大賀地区
5. 吉野地区	6. 佐賀地区	7. 湊地区	8. 天神山地区
9. 竹岡地区	10. 金谷地区	11. 旗・閑豊地区	12. 君津市
13. 木更津市	14. 袖ヶ浦市	15. その他	

問 15-4 今後、利用したい教育・保育事業の実施場所の地区はどこになりますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青砥地区	4. 大賀地区
5. 吉野地区	6. 佐賀地区	7. 湊地区	8. 天神山地区
9. 竹岡地区	10. 金谷地区	11. 旗・閑豊地区	12. 君津市
13. 木更津市	14. 袖ヶ浦市	15. その他	

問 16 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は 問 17 へ
利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）
※ 「18」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字で記入ください。

1. 利用する必要がない （子どもの教育や発達のため、「子どもの母親が父親が就労していない」などの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問 17 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) (利用料：月額19,800円～26,000円) (利用料：園によって異なります。)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預ける事業のうち 定期的な利用のみ) (利用料：園によって異なります。)
3. 保育所(園) (利用料：0円～67,000円) 年齢や市民税課税状況によって異なります。	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) (利用料：0円～67,000円) 年齢や市民税課税状況によって異なります。
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) (利用料：各施設が設定します。)	6. ファミリー・サポート・センター (子どもの預かり等の援助を行いたい方と援助 を希望する方が会員となり、有料で子育てを支 え合うもの) (利用料：1時間あたり700円程度)
7. その他()	



宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援センターなどを利用している、または利用したことがあ
りますか。(あてはまる番号すべてに○)

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

※利用した保育所(園)は、主に利用したところをカタカナ1つに○

1. 地域子育て支援センター(親子が集まり、子どもを遊ばせたり、相談ができる場) 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度 利用した地域子育て支援センター イ. もうひとつのお家(和光保育園) ウ. 葛津市地域交流支援センター「カナリエ」	2. その他、保育所(園)で実施している事業(園庭開放など) 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度 利用した保育所(園) ア. 飯野 イ. 吉野 ウ. 佐賀 エ. 中央 オ. 竹岡 カ. 金谷 キ. 峰上 ク. 葛津 ケ. 青堀 コ. 和光 サ. 大賀
3. 利用していない	

問 19 地域子育て支援センターについて、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日
数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが利用したい 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度	2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい 1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回 程度
3. 利用日数を増やしたいとは思わない	4. 新たに利用したいとは思わない(理由：)

問 20 地域子育て支援センターにどんなことを求めていますか。またはどうしたら行きたくなくなりますか。
(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 土日祝日の開設	2. 長時間の開設 (17時以降)
3. 発育に関する相談対応	4. 子育て相談や子育て講座の開催
5. 保護者の心身に関する相談対応	6. 利用できる子育て支援サービス情報の提供
7. 親子や地域の人と交流できるイベントの開催	8. その他 ()

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを答えてください。

(※①～④の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○)

事業名	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい
②産前産後ヘルパー派遣事業	はい	いいえ	はい
③子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイラइटステイ) ※	はい	いいえ	はい
④子育ての訪問でも聴きます窓口	はい	いいえ	はい

※保護者の就労や疾病等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難な場合にお子さんを預かりする事業

子どもの遊び場の利用状況についてうかがいます。

問 22-1 児童遊園地 (5 か所) や子どもの遊び場 (20 か所) について知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っている	2. 知らない
※児童遊園地・子どもの遊び場の所在地は、市のホームページの「～子育て子育ての支援・児童遊園地」に一覧があります。 URL → https://www.city.futtsu.lg.jp/00000000326.html	

問 22-2 児童遊園地 (5 か所) や子どもの遊び場 (20 か所) をこれまでに利用したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用したことがある	2. 利用したことはない
--------------	--------------

問 22-3 児童遊園地 (5 か所) や子どもの遊び場 (20 か所) を今後利用したいですか。(これまで利用したことがある方も含む)。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用したい	2. 利用したくない⇒ 問 23-2へ
----------	---------------------

問 23-1 問 22-1もしくは問 22-2で「1. 知っている」、「1. 利用したことがある」と答えた人に伺います。

今後何を望みますか？(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 設備、遊具の充実	2. 駐車場の整備・拡大
3. 安全、衛生面の向上 (例:)	
4. 球技等ができるようにする	5. 柵に望むものはない
6. その他 ()	

問 23-2 問 22-3で「2. 利用したくない」と答えた人に伺います。⇒該当しない方は 問 24へ遊び場を利用したいと思わない理由は何ですか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. アクセスが良くない	2. 駐車場が少ない
3. 設備・遊具が少ない	
4. 安全、衛生面に問題がある(例:)	
5. 球技等をする人がいて危ない	
6. その他 ()	

問 24 身近な地域でお子さんが過ごせる場所としてどのようなところを望みますか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 身近な小さな公園や遊び場
2. ボール遊びなどができる公園等
3. 親子で安全に水遊びできる公園等
4. 雨天でも利用できる遊び場
5. 遊具が充実した公園や遊び場
6. トイレの設置やオムツ替えのスペースがある公園等
7. 授乳する場所や設備がある公園等
8. スポーツ競技のできるグラウンドや大きな公園等
9. 木や池があり昆虫や小鳥もいる自然を残した公園等
10. 子どもたちに遊びを教えてくれる指導員のいる児童館等
11. 公共施設の中に子どもの遊べるスペース
12. 子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主的な活動などができる場
13. その他 ()

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)。(あてはまる番号 1つに○)
 ※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。
 (例)08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。(数字は一律に一字)

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		□□ 時から □□ 時まで
3. 月に 1～2 回は利用したい		□□ 時から □□ 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		□□ 時から □□ 時まで
3. 月に 1～2 回は利用したい		□□ 時から □□ 時まで

問 26 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。(P. 5 問 15-1 で「1. 幼稚園」に○をつけた方)
 ⇒ 該当しない方は問 27へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号 1つに○)
 ※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。
 (例) 08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。(数字は一律に一字)
 ※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		□□ 時から □□ 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		□□ 時から □□ 時まで

問 26-1 問 26 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 定期的に仕事をしているため	2. 週に数回仕事が入るため
3. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	4. 親や祖父母の介護や手伝いが必要のため
5. 息抜きのため	6. その他 ()

宛名のお子さんの病気の病気の対応についてうかがいます。
 (平日の教育・保育事業を利用する方のみ)

問 27 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(P. 5 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。⇒ 該当しない方は問 28へ
 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで登園できなかったことはありますか。(あてはまる番号 1つに○)

1. あった ⇒ 問 27-1へ 2. なかった ⇒ 問 28へ

問 27-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)
 ※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字) (半日程度の場合も 1 日と数えます)

1 年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	□□ 日
2. 母親が休んだ	□□ 日
3. (同居者をきむ) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□□ 日
5. 病後児保育を利用した	□□ 日
6. ベビーシッターを利用した	□□ 日
7. 子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
8. その他 ()	□□ 日

⇒ 問 27-2へ

⇒ 問 28へ

問 27-2 問 27-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 ⇒ 該当しない方は 問 28へ

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号 1つに○)
 ※日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※病後児保育は、富津保育園、カナリエで実施しています(病後児：回復期にあって、集団保育等が困難な児童)。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	→	□□ 日	⇒ 問 28へ
2. 利用したいとは思わない			⇒ 問 27-3へ

問 27-3 問 27-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に育ててもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよいくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用方法がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する	7. その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※ 1 年間の利用日数 (おおよそ) も口内に数字でご記入ください。(数字は一枚に一字)

利用している事業	日数 (年間)
1. 一時預かり (利用など理由を問わずに保育所 (園) で一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (不定期に利用する場合のみで、通常の就園時間を延長して預かる事業)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (子どもの預かり等の援助を行いたい方と援助を希望する方が会員となり、有料で子育てを支え合う事業)	□ □ 日
4. 子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) (保護者の就労や疾病等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難な場合にお子さんをお預かりする事業)	□ □ 日
5. その他 ()	□ □ 日
6. 利用していない	

⇒ 問 29 へ

⇒ 問 28-1 へ

問 28-1 問 28 「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数など) がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用方法がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法 (手続き等) がわからない
9. 利用を申し込んだが断られた
10. その他 ()

問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無・日数をお書きください。(あてはまる番号・記号すべてに○)

※ 利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枚に一字)

※ 事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計
ア 買物、子どもや親の買い物、リフレッシュ目的等	□ □ 日
イ 学校行事、子どもや親の通院等	□ □ 日
ウ 不定期の就労	□ □ 日
エ その他 ()	□ □ 日
2. 利用したいとは思わない	

問 30 この 1 年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・記号すべてに○)

※ それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(数字は一枚に一字)

1 年間の対応方法	日数
1. あった	□ □ 日
ア 親族・知人にみてもらった	
イ 子育て短期支援事業 (ショートステイ、トワイライトステイ) を利用した ※ 保護者の就労や疾病等の理由により、家庭でお子さんを養育することが一時的に困難な場合にお子さんをお預かりする事業	□ □ 日
ウ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	□ □ 日
エ 子どもを同行させた	□ □ 日
オ 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
カ その他 ()	□ □ 日
2. なかった	

問 31 現在国では、親が就労していても子どもを保育所 (園) などに預けることができる「こども誰でも通園制度 (仮称)」の導入を進めています。

月 10 時間程度の利用枠の中で、保育所 (園) や幼稚園に時間単位で通園が可能となった場合、利用したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 利用したい
2. 利用したいとは思わない
3. わからない

宛名のお子さんが年長児(5歳・6歳)の方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問33へ

問32 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）や夏休みなどの長期の休暇中の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（低学年・高学年のそれぞれ、主に当てはまる番号3つまでに○）

場所	1～3年生	4～6年生
1. 自宅	1	1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2	2
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	3	3
4. 放課後子ども教室 ※	4	4
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	5	5
6. ファミリー・サポート・センター	6	6
7. その他（公民館、公園など）	7	7

※地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の意向の如何にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

問32-1 問32で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えたい方は、問33へ

⇒該当しない方は 問33へ

宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。（低学年・高学年のそれぞれ当てはまる番号すべてに○）

時期	1～3年生	4～6年生
1. 土曜日	1	1
2. 日曜・祝日	2	2
3. 長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）	3	3



子どもの虐待についてうかがいます。

問33 法律によって、すべての人に「虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合に通告する義務」があります。児童虐待の通告についてご存知のものを全て選択してください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 「児童虐待の疑いがある」時にも通告できる
2. 通告者は特定されないように配慮される
3. 匿名でも通告ができる
4. 相談・通告したが、虐待ではないと判明した場合でも責任を追及されることはない
5. 虐待の通告後は、児童相談所等が家庭訪問等で安全の確認を行う
6. その他（具体的に）（ ）
7. 知らない

問34 あなたが児童虐待を受けた（その疑いを含む）と思われる子どもを見たり、聞いたりした時にとる対応として、あてはまるものを全て選択してください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 児童相談所に通告する
2. 市役所（こども家庭課）に通告する
3. 児童相談所虐待対応ダイヤル(189) いち・はや・く に通告する
4. 地域の民生委員・児童委員・主任児童委員に相談する
5. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・学校に相談する
6. 警察に通報する
7. 友人・知人に相談する
8. 自分でその子どもに声をかける、相談にのる
9. 自分でその子どもの保護者に声をかける、相談にのる
10. その他（具体的に）（ ）
11. 特に何もしない
12. わからない

問35 次の児童虐待防止の啓発活動のうち、効果的であると思う取り組みを3つ選択してください。（あてはまる番号3つまでに○）

1. 市の広報紙
2. 市のホームページ
3. 市が配布するパンフレットや冊子
4. 市主催の市民向け講演会や研修会
5. 地区の回覧板による周知
6. 公共機関や店舗等にポスターを掲示
7. 学校の授業
8. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園による保護者向け懇談会
9. その他（具体的に）（ ）

小学生の保護者対象

第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査

こどもの未来のためにあなたの声を お聞かせください！



皆様には、日頃から市政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」(2025年度～2029年度)の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握し、アンケートを実施することになりました。

このアンケートは、小学校1～6年生のお子さんについてお尋ねします。きょうだいなどで、このアンケート用紙が複数届く場合がありますが、お子さん一人ひとりの利用希望や状況を把握するため、できる範囲で結構ですので、**それぞれのお子さんについてご回答ください。**

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

説明も多くなり大変恐縮ですが、富津市を安心して子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ご協力をお願いいたします。

令和6年3月

富津市長 高橋 恭市

【ご回答に当たってのお願い】

1 アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。アンケートへの回答は、アンケート用紙にご記入いただくか、Web 回答専用フォームからご回答ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)

以下の URL をブラウザのアドレスバーに入力しても回答できます
https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_cRMtMocYEovgzxu



2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。

3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。

また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある()内には、具体的な内容を記入してください。

4 数字で時間(時刻)を記入していただく場合は、24時間制(例：午後6時～18時)で、記入してください。

5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問に進んでください。

6 「小学校へ提出する場合」

3月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて小学校へご提出ください。

《Web 回答の場合》

Web 回答専用フォームから3月31日(日)までに回答ください。

ご回答いただくようでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

富津市健康福祉部 子ども家庭課 子育て支援係 0439-80-1256

調査実施の趣旨とその目的

市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく子ども・子育て支援の制度(以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業に取り組んでいます(平成27年度から実施)。

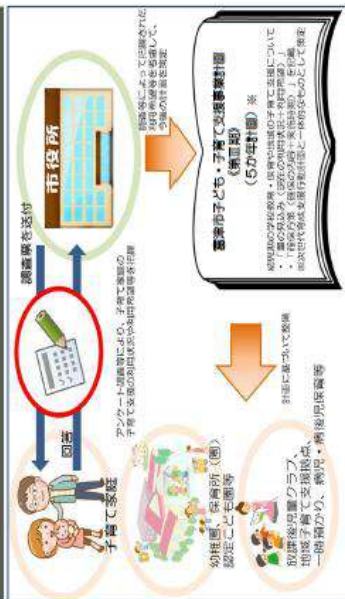
本調査は、2025年度～2029年度の5年間の対象とした「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」において確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、子育て世代の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健康やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子ども・子育て支援新制度は、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子育てで子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義) この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)

保育所(園)：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)

認定こども園：幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(幼保小の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)

子育て支援：教育・保育その他の子どもの健全な成長のために行われる支援の意味

教育：家庭での教育を含めた広い意味で幼児期における教育の意味

教育・保育事業：定期、非定期を問わず幼稚園、保育所(園)、認定こども園等に送らせたり、預けることと教育・保育等を行う事業

市の取り組みについてうかがいます。

問1 市は富津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援に取り組んでいます。市の子育ての環境や支援に対する満足度をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	← 2 3 4 5 満足度が高い				
1	2	3	4	5	

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 お住まいの地区はどこになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 富津地区	2. 飯野地区	3. 青砥地区	4. 大賀地区	5. 吉野地区
6. 佐賀地区	7. 湊地区	8. 天神山地区	9. 竹岡地区	10. 金谷地区
11. 塚・閑園地区				

問3 お子さんの学年をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生	4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生
--------	--------	--------	--------	--------	--------

問4 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※お子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。

きょうだい数□人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問6 問5で「1. 母親」または「2. 父親」に○をつけた方にうかがいます。→該当しない方は問7へ
この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。
※お子さんから見た関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他()	

問8 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。または、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある	⇒ 問8-1へ	2. いない/ない	⇒ 問9へ
----------	---------	-----------	-------

問8-1 問8で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者	2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 保健所・市役所の健康づくり課	6. 小学校
7. 民生委員・児童委員	8. かかりつけの医師
9. 市役所の子育て関連担当窓口 (こども家庭課、教育センターなど)	10. その他()

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみにお答えください。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

⇒ 問9-1へ

⇒ 問11へ

問 11-2 問 11-1 で「2. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。
 1週間あたりの就労希望日数、1日あたりの就労希望時間をご記入ください。
 ※口内に数字をご記入ください。(数字は一律に一字)

	①母親	②父親
1週間あたり	日	日
1日あたり	時間	時間

問 12 前年の世帯年収（総支給額）はおおよそいくらかでしたか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 100万円未満	2. 100～200万円未満
3. 200～400万円未満	4. 400～600万円未満
5. 600～800万円未満	6. 800～1,000万円未満
7. 1,000万円以上	

問 13 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験がありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 必要な食料が買えなかった
2. 電気・ガス・水道料金を滞納した
3. 公的な保険料（健康保険・介護保険・年金）や税金を滞納した
4. 家賃や住宅ローンを滞納した
5. お子さんのためのもの（服・靴・本など）を買えなかった
6. お子さんを遠足などの行事に参加させることができなかった
7. お子さんの給食費や保育料を払うことができなかった

問 9-1 問 9 で「1. ～ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。(あてはまる番号 1 つに○)

	①母親	②父親
1. 主に昼間の就労	1	1
2. 主に夜間の就労	2	2
3. 昼間・夜間の就労、いずれもある	3	3

問 10 問 9 で「3. または 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
 ⇒該当しない方は 問 12へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 11 問 9 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 ⇒該当しない方は 問 12へ

就労したいという希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○) また、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一律に一字)

	①母親	②父親	
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	1	⇒ 問 12へ
2. 1年より先、一番下の子どもの□歳になったころに就労したい	2	2	⇒ 問 12へ
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3	3	⇒ 問 11-1へ

問 11-1 問 11 で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

希望する就労形態をお答え下さい。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○)

	①母親	②父親	
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	1	⇒ 問 12へ
2. パートタイム、アルバイト等	2	2	⇒ 問 11-2へ

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 14 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。または、過ごしていましたか。（低学年・高学年のそれぞれ、最もあてはまる番号3つに○）

場所	1～3年生	4～6年生
1. 自宅	1	1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2	2
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	3	3
4. 放課後子ども教室 ※	4	4
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	5	5
6. ファミリー・サポート・センター	6	6
7. その他（公民館、公園など）	7	7

※地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

問 14-1 問 14 で「5. 放課後児童クラブ」と答えた人に伺います。

お子さんについて、土曜日・日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。または、過ごしていましたか。（低学年・高学年のそれぞれあてはまる番号すべてに○）

時期	1～3年生	4～6年生
1. 土曜日	1	1
2. 日曜・祝日	2	2
3. 長期の休暇期間中（事業の利用には、一定の利用料がかかります）	3	3

問 15 身近な地域でお子さんが過ごせる場所としてどのようなところを望みますか。（主にあてはまる番号3つまで○）

1. 身近な小さな公園や遊び場
2. ボール遊びなどができる公園等
3. 親子で安全に水遊びできる公園等
4. 雨天でも利用できる遊び場
5. 遊具が充実した公園や遊び場
6. トイレや手洗い場が整備されている公園等
7. スポーツ競技のできるグラウンドや大きな公園等
8. 木や池があり昆虫や小鳥もいる自然を残した公園等
9. 子どもたちに遊びを教えてくれる指導員のいる児童館等
10. 公共施設の中に子どもの遊べるスペース
11. 子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主的な活動などができる場
12. その他（ ）

5

子どもの虐待についてうかがいます。

問 16 法律によって、すべての人に「虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合に通告する義務」がありますが、児童虐待の通告についてご存知のものを全て選択してください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 「児童虐待の疑いがある」時にも通告できる
2. 通告者は特定されないように配慮される
3. 匿名でも通告ができる
4. 相談・通告したが、虐待ではないと判明した場合でも責任を追究されることはない
5. 虐待の通告後は、児童相談所等が家庭訪問等で安全の確認を行う
6. その他（具体的に）（ ）
7. 知らない

問 17 あなたが児童虐待を受けた（その疑いを含む）と思われる子どもを見たり、聞いたりした時にとる対応として、あてはまるものを全て選択してください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 児童相談所に通告する
2. 市役所（こども家庭課）に通告する
3. 児童相談所虐待対応ダイヤル(189) いち・はや・く)に通告する
4. 地域の民生委員・児童委員・主任児童委員に相談する
5. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園・学校に相談する
6. 警察に通報する
7. 友人・知人に相談する
8. 自分でその子どもに声をかける、相談にのる
9. 自分でその子どもの保護者に声をかける、相談にのる
10. その他（具体的に）（ ）
11. 特に伺わない
12. わからない

問 18 次の児童虐待防止の啓発活動のうち、効果的であると思う取り組みを3つ選択してください。（あてはまる番号3つまで○）

1. 市の広報紙
2. 市のホームページ
3. 市が配布するパンフレットや冊子
4. 主催の市民向け講演会や研修会
5. 地区の回覧板による周知
6. 公共機関や店舗等にポスターを掲示
7. 学校の授業
8. 保育所（園）・認定こども園・幼稚園による保護者向け懇談会
9. その他（具体的に）（ ）

6

今後希望する子育て支援サービスについてうかがいます。

問 19 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 未就児（0～2歳児）保育の充実	2. 延長保育の充実
3. 休日保育の充実	4. 病児・病後児保育の充実
5. 乳幼児健診の充実	6. ファミリー・サポート・センターの充実
7. 子育て世代への訪問事業の充実	8. 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実
9. 悩みを相談できる支援体制の充実	10. 親子や地域の人との交流の場の創設
11. 地域の人による支援	12. 病氣や障がいなどへの専門的な支援
13. 男性の育児・家事参加の意識啓発	14. 子育て支援情報の充実
15. 保育料の軽減の充実	16. 子どもの就学に係る費用の軽減
17. 住居確保のための支援	18. 一時的に必要な資金の貸与
19. その他（具体的に：_____）	

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 20 お子さんが病気やけがで普段利用している教育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字) (半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対応方法		日数
1. 父親が休んだ		□□日
2. 母親が休んだ		□□日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		□□日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた		□□日
5. 病後児保育を利用した		□□日
6. ベビーシッターを利用した		□□日
7. 子どもだけで留守番をさせた		□□日
8. その他（_____）		□□日

⇒ 問 20・1へ

問 20-1 問 20 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※病後児保育は、富津保育園、カナリエで実施しています(病後児：回復期にあって、集団保育等が困難な児童)。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	→ □□日	⇒ 問 21へ
2. 利用したいとは思わない		⇒ 問 20・2へ

問 20-2 問 20-1 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらえないのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよいくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用方法がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（_____）

ヤングケアラーについてうかがいます。

問 21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

問 22 家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われるお子さんはいますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 家族・親族にいる
- 2. 友人・知人のお子さんにいる
- 3. いない・わからない

問 23 ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要なことはどんなことだと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. ヤングケアラー専用の相談窓口があること
- 2. 学校に相談窓口があること
- 3. 電話やメール、SNSでの相談が可能であること
- 4. 24時間いつでも相談できること
- 5. その他 ()
- 6. 持っていない

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもです。状況によっては、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。	家族に代わり、さまざまな世話をしている。	障がいや病気のある家族に代わり、さまざまな世話をしている。	障がいや病気のある家族に代わり、さまざまな世話をしている。	障がいや病気のある家族に代わり、さまざまな世話をしている。	障がいや病気のある家族に代わり、さまざまな世話をしている。

(参考：こども家庭庁資料)

問 24 最後に、経済・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

《小学校へ提出する場合》

3月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて小学校へご提出ください。

《Web 回答の場合》

Web 回答専用フォームから3月31日(日)までにご回答ください。



第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書

発行年月	令和6年6月	
発 行	富津市健康福祉部こども家庭課	
住 所	千葉県富津市下飯野 2443 番地	〒293-8506
連 絡 先	TEL：0439-80-1256（直通）	FAX：0439-80-1350